

第13回
入間市市民意識調査
報告書

令和4年1月
入間市

入間市民憲章

わたくしたちは、武蔵野の自然にめぐまれた
入間市を愛し、より明るく、豊かな文化のまちを
つくるため、ここに市民憲章を定めます。

- 一．自然を愛し、
環境のよいまちをつくりましょう。
- 一．きまりを守り、
平和な住みよいまちをつくりましょう。
- 一．健康で働き、
希望にみちたまちをつくりましょう。
- 一．教養を高め、
心豊かなまちをつくりましょう。
- 一．お互いに助けあい、
やすらぎのあるまちをつくりましょう。

は じ め に

入間市では、全ての市民が生き生きと暮らせるまちづくりを進めるとともに、地域を活性化し、まちの魅力を発見・想像していくために、まちづくりのビジョンとして「香り豊かな緑の文化都市」を掲げ、「みんなでつくる 住みやすさが実感できるまち いるま」を目指しています。

現在は「第6次入間市総合計画」を市政運営の基本方針とし、総合的かつ計画的にまちづくりを進めています。

市民意識調査は、市政の運営に必要なまちづくりの成果や市民ニーズ等を把握することを目的に、昭和53年（1978年）から実施しています。この報告書は、令和3年9月1日から9月17日に実施した「第13回市民意識調査」の結果をまとめたものです。

社会経済情勢、生活環境および地域社会が大きく変化する中で市民の生活様式や一人ひとりの考え方・価値観も多様化してきていますが、得られた調査結果を十分に検討することで、市民ニーズをできる限りの確に把握して、これからのまちづくりを進めるための基礎資料として幅広く活用していきたいと考えています。

最後に、本調査にご協力をいただきました市民の皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、市政に対するなお一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

令和4年1月

入間市長 杉島 理一郎

I 調査の概要

1. 調査目的	3
2. 調査設計	3
3. 回収状況	3
4. 標本誤差	4
5. 調査項目	4
6. 報告書の見方	4

II 基本的な属性

1. フェースシート集計

(1) 性別	7
(2) 年齢	7
(3) 性・年齢	7
(4) 家族構成	8
(5) 居住年数	8
(6) 前居住地	8
(7) 職業	8
(8) 職場（通学地）の所在地	9
(9) 住居形態	9
(10) 居住地区	9

III 調査結果の分析

1. くらしやイメージ、地域活動などについて

(1) 住みよさ	13
(2) 住みよい理由	16
(3) 住みにくい理由	19
(4) 誇りや愛着	20
(5) 入間市の魅力	23
(6) 市が優先してPRに取り組むべきもの	25
(7) 将来の入間市のまちづくり	27
(8) 定住意向	30
(9) 住み続ける理由	33
(10) 市外へ移りたい理由	35
(11) 近所付き合い	37
(12) 区・自治会への加入	40
(13) 地域活動への参加	43
(14) 地域活動に参加する主な理由	46
(15) 地域活動に消極的な理由	49
(16) 区・自治会に加入しない主な理由	52
(17) 区・自治会を退会した主な理由	53

目 次

2. 生活環境について

- (1) 生活環境の満足度と重要度 54
- (2) 優先的に取り組むべき施策 86
- (3) 環境にやさしい取り組み 91

3. 防災について

- (1) 防災への準備や対策 93
- (2) 防災に対する具体的な内容 96

4. ボランティア活動について

- (1) ボランティア活動への参加 98
- (2) ボランティア活動の参加の動機 100
- (3) ボランティア活動に参加しない理由 102
- (4) 今後のボランティア活動の参加意向 104
- (5) 参加したいボランティア活動の内容 106

5. 情報化について

- (1) メディアの利用状況 108
- (2) 市公式ホームページの閲覧状況 109
- (3) 市公式ホームページの満足度 111
- (4) 市のインターネットサービスで利用している（利用したい）情報 115
- (5) マイナンバーカードの保有状況 117
- (6) マイナンバーカードを取得したきっかけ 119
- (7) マイナンバーカードを持っていない理由 121

6. 市政への関心度や市政情報について

- (1) 市政への関心度 123
- (2) 市政に関心のある理由 126
- (3) 市政に関心のない理由 128
- (4) 入間市の情報入手先 130
- (5) 市政に関する情報について 132
- (6) 「広報いるま」について 134
- (7) 関心を持って読んでいる内容 136
- (8) 「広報いるま」を読まない理由 137
- (9) 「市議会だより」について 138
- (10) メディアによる市議会の放送について 139

7. 施設利用について

- (1) 施設の利用状況 140

8. 健康・スポーツ、芸術文化活動について

(1) 運動やスポーツの状況	143
(2) 運動やスポーツの内容	146
(3) 運動やスポーツを行う場所	148
(4) 運動やスポーツを行った目的	149
(5) 運動やスポーツを行わなかった（少なかった）理由	150
(6) 芸術文化活動について	152
(7) 芸術文化鑑賞について	153
(8) 芸術文化の振興のための市の取組について	154

9. 市で行っている行政改革の取組について

(1) 重点的に取り組むべき行財政改革	155
(2) 行政サービスの利用者負担について	157
(3) 公共的なサービスの民間委託について	159
(4) 目的を達成した事業・効果が低くなった事業の廃止・見直し・再構築について	161
(5) 歳入の増加・歳出の削減の取組について	163
(6) 市役所の組織の見直しについて	165
(7) 施設で提供するサービスや施設機能の見直しが進むことについて	167
(8) 施設の統廃合や複合化が進むことについて	170

10. 人権や持続可能な開発目標について

(1) 差別を受けたと感じた・差別しているのを見聞きしたことがあるか	173
(2) 差別の内容	175
(3) 持続可能な開発目標について	177

IV 調査票	183
---------------------	------------

I 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、市民の生活実態や生活環境に関する意識、および行政に対する要望など、市民生活全般にわたり市民の意識を聴取し、今後の行政施策の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査設計

- (1) 調査地域 入間市全域
- (2) 調査対象 入間市在住の満18歳以上の男女個人
- (3) 標本数 2,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳による等間隔無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送配布、郵送回収及びインターネット回答
- (6) 調査期間 令和3年9月1日～9月17日

3. 回収状況

- (1) 配布数 2,000件
- (2) 回収数 1,106件（インターネット回答301件含む）
- (3) 有効回答数 1,105件 ※分析は有効回答数で実施
- (4) 回収率 55.3%

①年齢別の基数と回収率（人口は18歳以上）

年 齢	人口	比率	発送数	回収数	回収率
合 計	126,046	100.0%	2,000	1,106	55.3%
18～29歳	16,503	13.1%	267	87	32.6%
30～39歳	14,941	11.9%	252	118	46.8%
40～49歳	21,220	16.8%	389	191	49.1%
50～59歳	20,890	16.6%	391	223	57.0%
60～69歳	18,929	15.0%	329	224	68.1%
70歳以上	33,563	26.6%	372	256	68.8%
無回答	—	—	—	7	—

②地区別の基数と回収率（人口は18歳以上）

地 区	人口	比率	発送数	回収数	回収率
合 計	126,046	100.0%	2,000	1,106	55.3%
豊 岡	46,388	36.8%	708	342	48.3%
東金子	14,033	11.1%	224	116	51.8%
金 子	8,281	6.6%	136	83	61.0%
宮寺・二本木	9,590	7.6%	163	84	51.5%
藤 沢	29,240	23.2%	475	298	62.7%
西 武	18,514	14.7%	294	168	57.1%
無回答	—	—	—	15	—

4. 標本誤差

今回の調査の回答結果から、調査対象となる母集団全体（入間市に住む満18歳以上の男女）の比率を推定するため、単純無作為抽出の場合の標本誤差の算出式と早見表を以下に示す。

統計学上の標本誤差は、①比率算出の基数（サンプル数）および②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。「ある設問の回答者数が1,105人で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差範囲は、最高でも2.95%である」というようにみる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N：母集団数（＝126,046：入間市に住む満18歳以上の男女）
n：回答サンプル数（＝1,105）
p：サンプルの回答比率

〈標本誤差早見表〉

サンプル数（n） 回答比率（p）	5%または 95%	10%または 90%	20%または 80%	30%または 70%	40%または 60%	50%
1,105	±1.31%	±1.80%	±2.41%	±2.76%	±2.95%	±3.01%
700	±1.65%	±2.27%	±3.02%	±3.46%	±3.70%	±3.78%
500	±1.95%	±2.68%	±3.58%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
200	±3.08%	±4.24%	±5.66%	±6.48%	±6.93%	±7.07%
100	±4.36%	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ として算出。この表の計算式の信頼度は95%である。

5. 調査項目

- (1) くらしやイメージ、地域活動などについて
- (2) 生活環境について
- (3) 防災について
- (4) ボランティア活動について
- (5) 情報化について
- (6) 市政への関心度や市政情報について
- (7) 施設利用について
- (8) 健康・スポーツ、芸術文化活動について
- (9) 市で行っている行政改革の取組について
- (10) 人権や持続可能な開発目標について
- (11) フェースシート
- (12) 自由意見

6. 報告書の見方

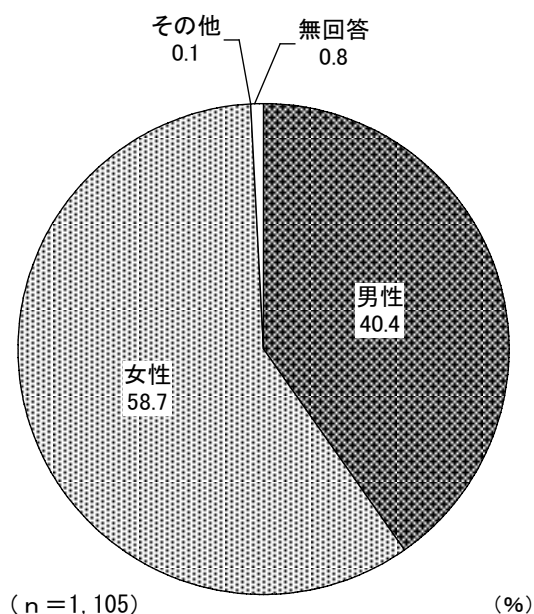
- (1) 図表中のnとは、回答者総数のことである。
- (2) 割合比はnを100.0%として算出し、小数点以下第二位を四捨五入したため合計が100.0%にならない場合がある。
- (3) 回答が2つ以上ありうる複数回答は、比率の合計は100.0%を超える場合がある。
- (4) 属性別（クロス集計）の記述では、原則として全体の集計結果と比較し、特徴または傾向が見られるものをコメントの対象とした。ただし、件数が20未満の項目については特徴または傾向が見られる場合でも本文中では原則としてふれていない。

Ⅱ 基本的な属性

1. フェースシート集計

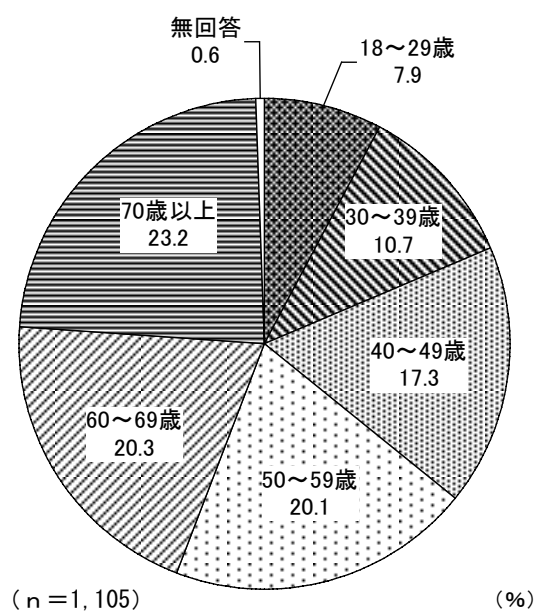
(1) 性 別

性別は、「男性」(40.4%) が4割で、「女性」(58.7%) が6割近くとなっている。



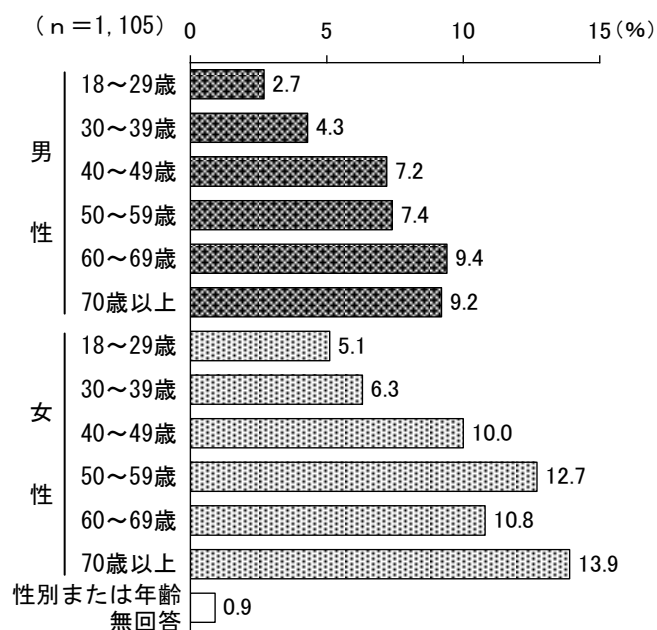
(2) 年 齢

年齢は、「70歳以上」(23.2%) が2割を超えて最も高く、次いで「60～69歳」(20.3%)、「50～59歳」(20.1%)、「40～49歳」(17.3%)、「30～39歳」(10.7%)、「18～29歳」(7.9%) の順となっている。



(3) 性・年齢

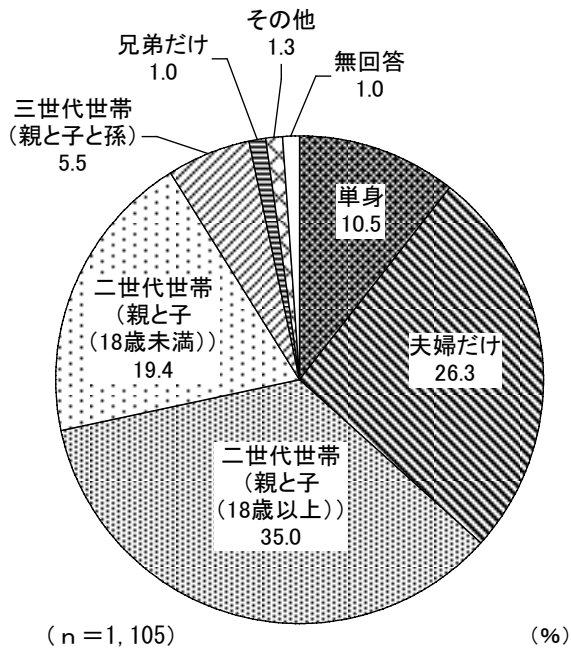
性・年齢は、「女性50～59歳」(12.7%) と「女性70歳以上」(13.9%) で1割を超えている。



※「性別または年齢無回答」には、性別で「その他」(1件)と答えた方が含まれている。

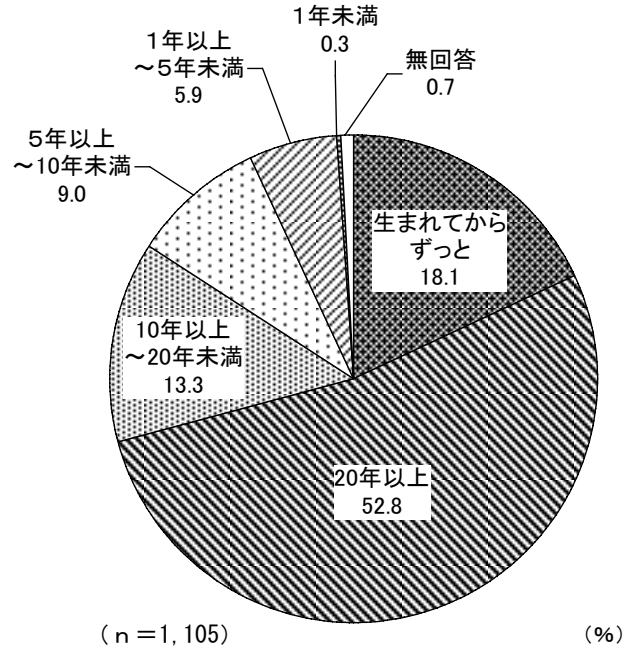
(4) 家族構成

家族構成は、「二世世代世帯（親と子（18歳以上））」（35.0%）が3割半ばで最も高く、次いで「夫婦だけ」（26.3%）、「二世世代世帯（親と子（18歳未満））」（19.4%）、「単身」（10.5%）などの順となっている。



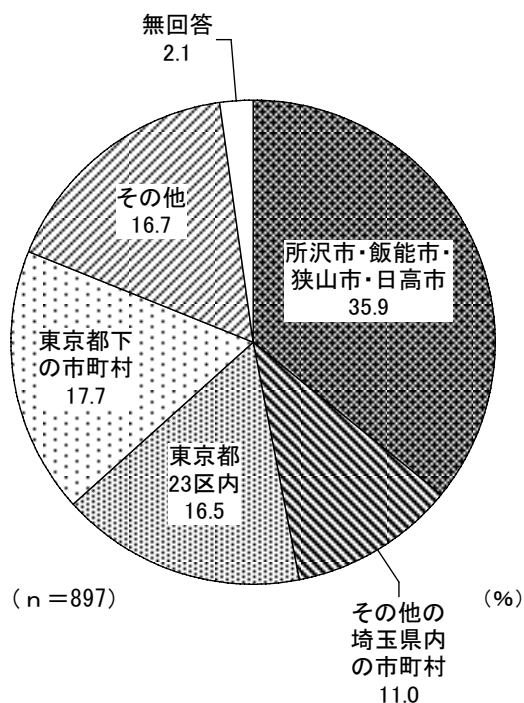
(5) 居住年数

居住年数は、「20年以上」（52.8%）が5割を超えて最も高く、次いで「生まれてからずっと」（18.1%）、「10年以上～20年未満」（13.3%）、「5年以上～10年未満」（9.0%）などの順となっている。



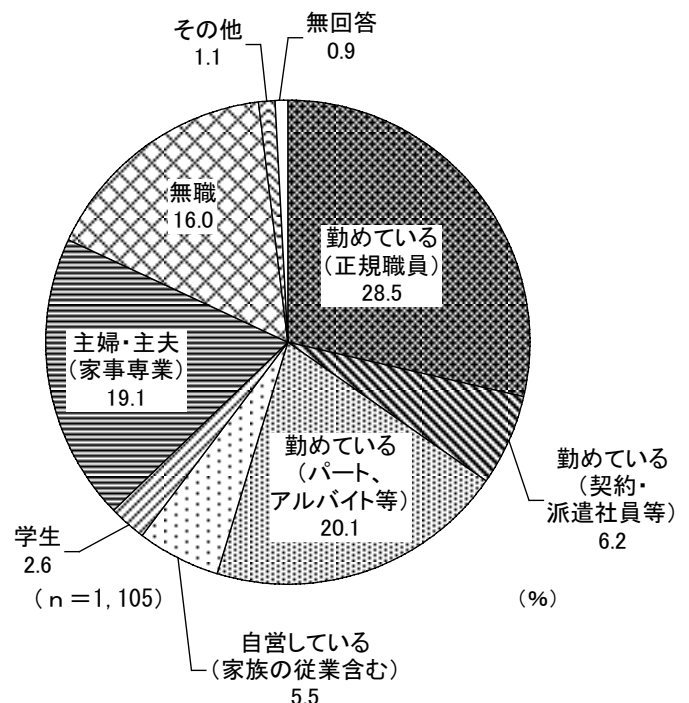
(6) 前居住地

前居住地は、「所沢市・飯能市・狭山市・日高市」（35.9%）が3割半ばで最も高く、次いで「東京都下の市町村」（17.7%）、「東京都23区内」（16.5%）、「その他の埼玉県内の市町村」（11.0%）などの順となっている。



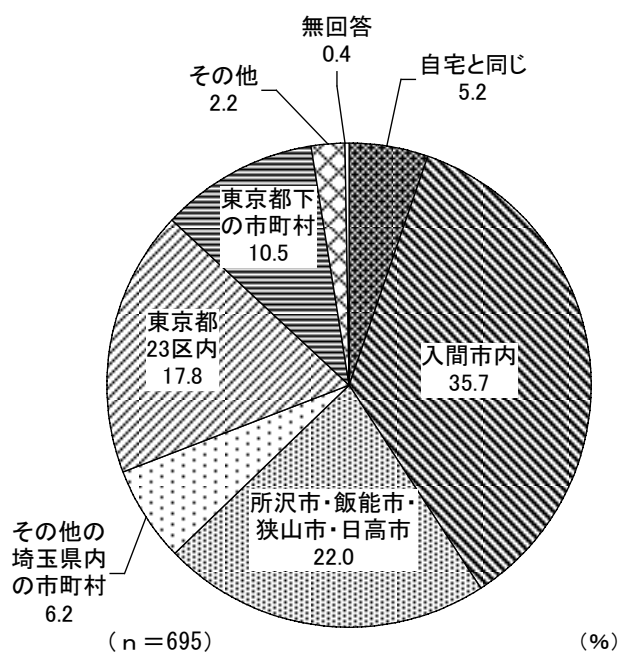
(7) 職業

職業は、「勤めている（正規職員）」（28.5%）が3割近くで最も高く、次いで「勤めている（パート、アルバイト等）」（20.1%）、「主婦・主夫（家事専業）」（19.1%）、「無職」（16.0%）などの順となっている。



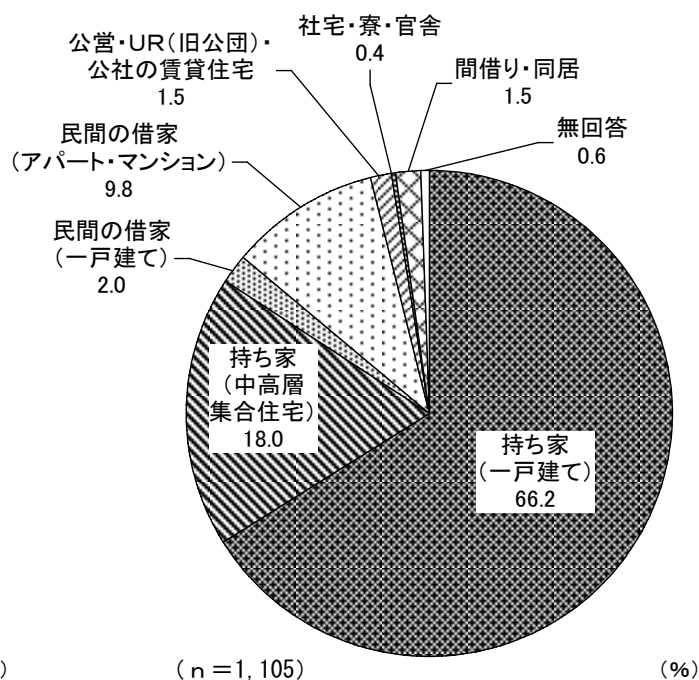
(8) 職場（通学地）の所在地

職場（通学地）の所在地は、「入間市内」（35.7%）が3割半ばで最も高く、次いで「所沢市・飯能市・狭山市・日高市」（22.0%）、「東京都23区内」（17.8%）、「東京都下の市町村」（10.5%）などの順となっている。



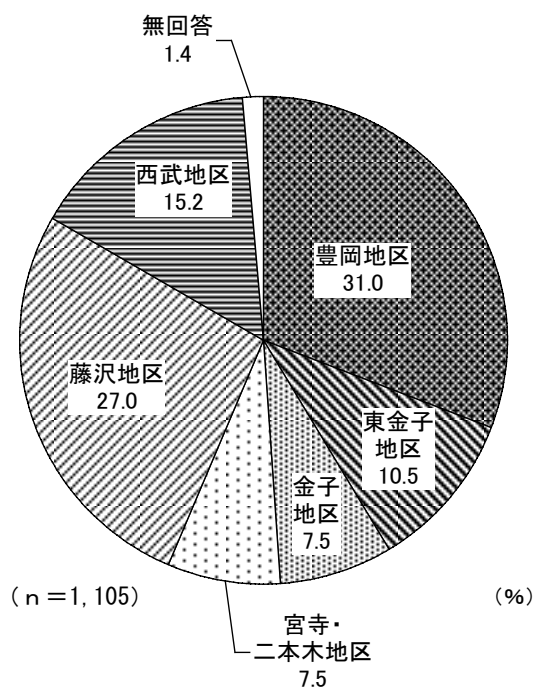
(9) 住居形態

住居形態は、「持ち家（一戸建て）」（66.2%）が6割半ばで最も高く、次いで「持ち家（中高層集合住宅）」（18.0%）、「民間の借家（アパート・マンション）」（9.8%）などの順となっている。



(10) 居住地区

居住地区は、「豊岡地区」（31.0%）が3割を超えて最も高く、次いで「藤沢地区」（27.0%）、「西武地区」（15.2%）、「東金子地区」（10.5%）などの順となっている。



Ⅲ 調査結果の分析

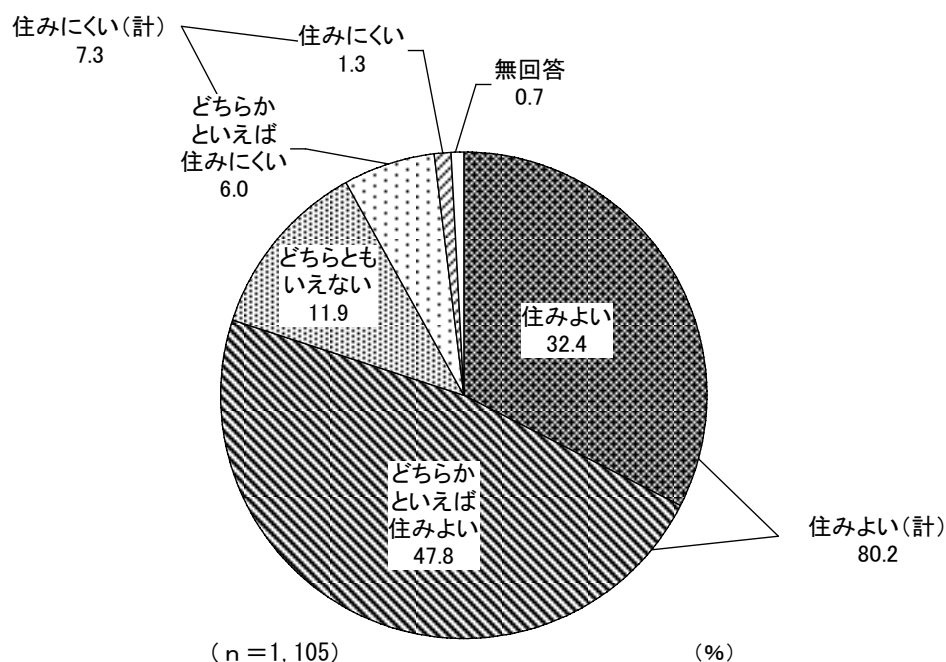
1. くらしやイメージ、地域活動などについて

(1) 住みよさ

◇『住みよい(計)』が8割

問1 あなたは、今住んでいる入間市を住みよい所であると思いますか。それとも住みにくい所であると思いますか。次の中から1つ選んでください。

図1-1-1

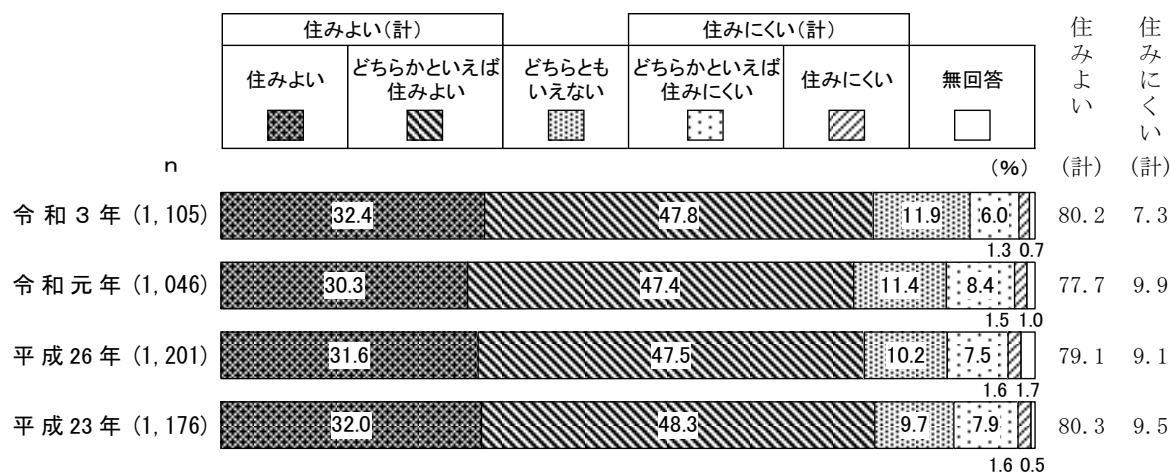


入間市の住みよさについて聞いたところ、「住みよい」(32.4%)と「どちらかといえば住みよい」(47.8%)を合わせた『住みよい(計)』(80.2%)が8割と高くなっている。一方、「どちらかといえば住みにくい」(6.0%)と「住みにくい」(1.3%)を合わせた『住みにくい(計)』(7.3%)は1割未満となっている。(図1-1-1)

過年度調査と比較すると、令和元年調査と比べて大きな傾向の違いはみられない。

(図1-1-2)

図1-1-2 住みよさ(経年比較)

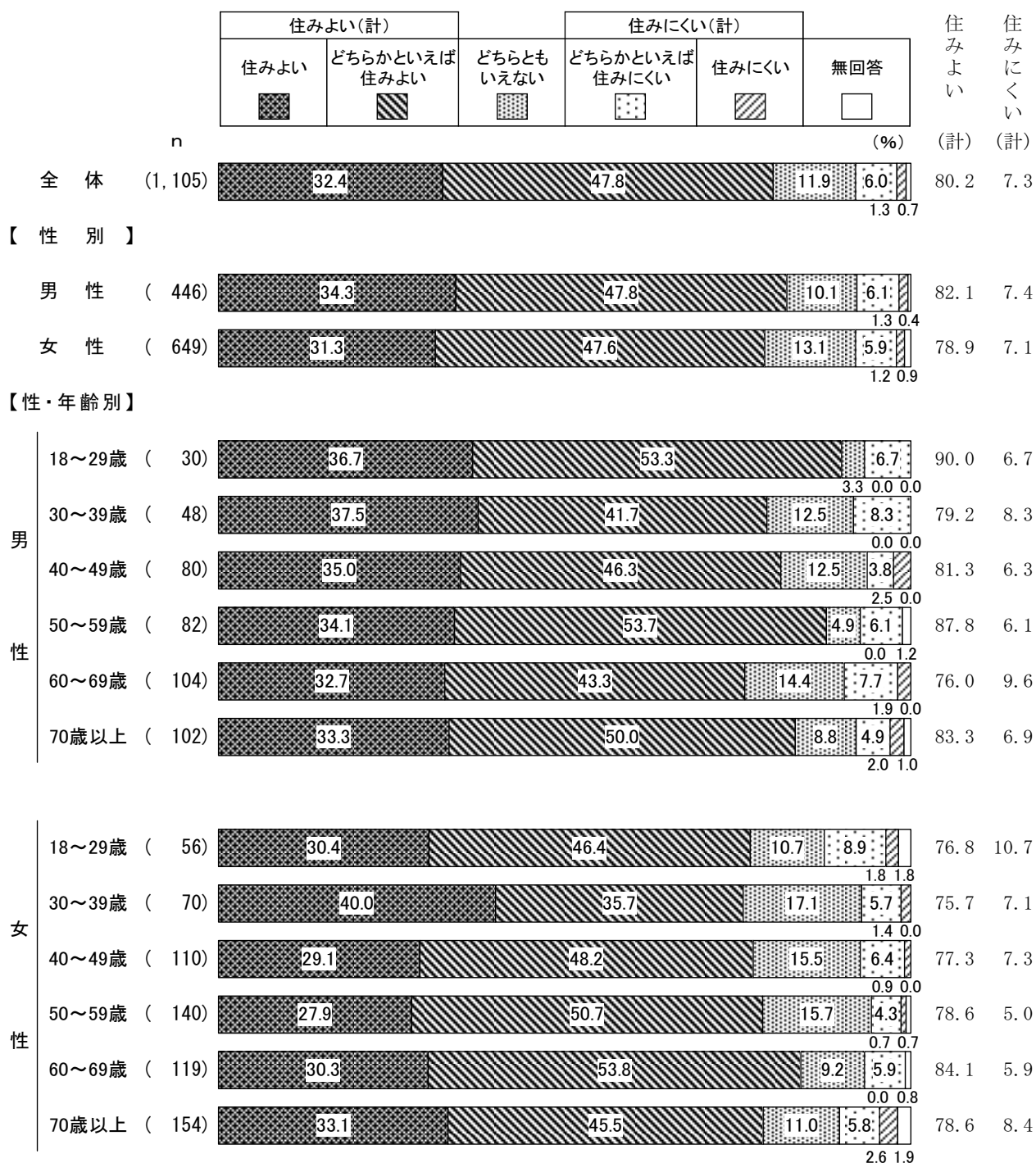


性別にみると、『住みよい（計）』は男性（82.1%）が女性（78.9%）より3.2ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、『住みよい（計）』は男性18～29歳（90.0%）で9割と高くなっている。

（図1－1－3）

図1－1－3 住みよさ（性・年齢別）

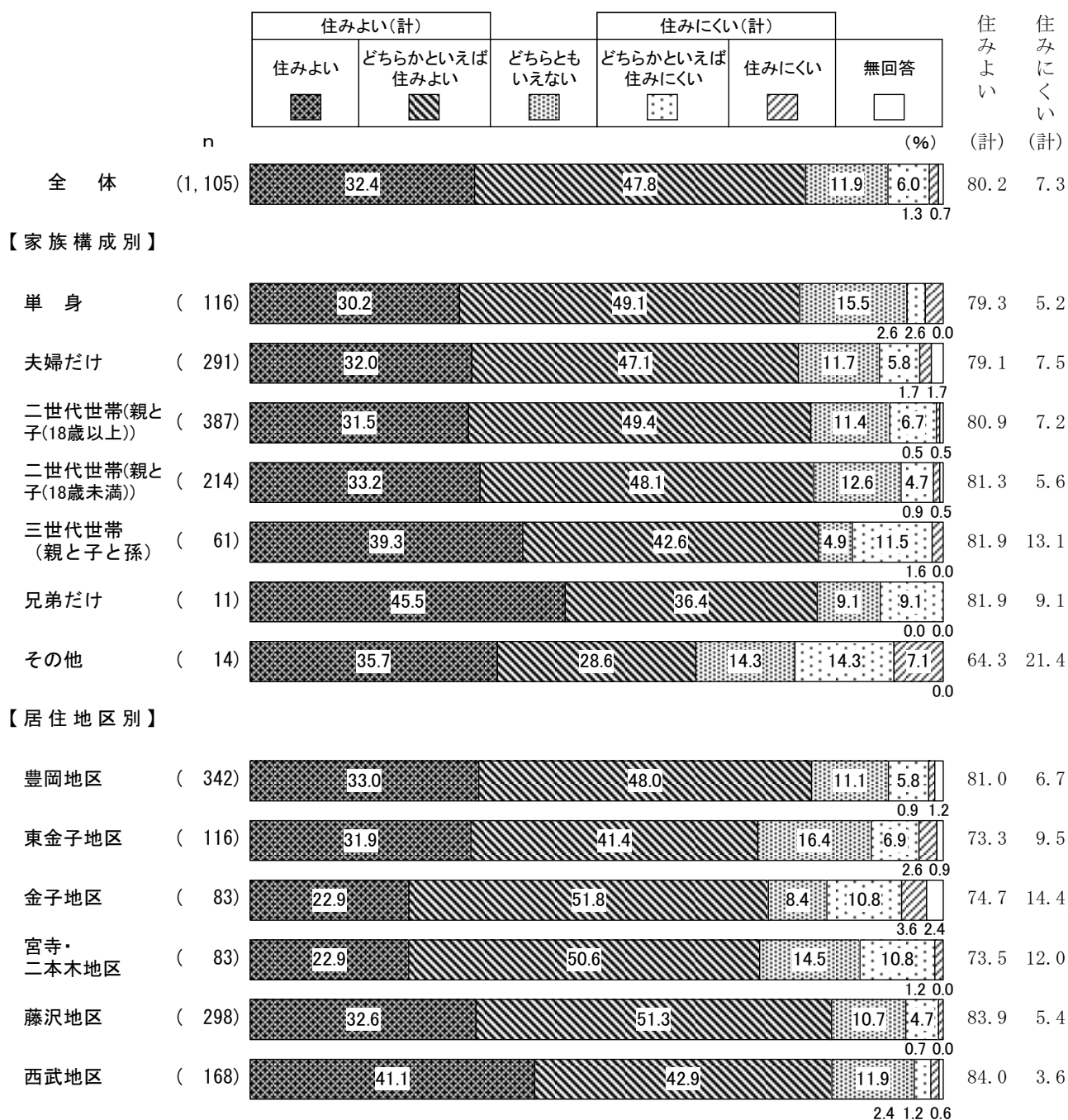


家族構成別にみると、『住みよい（計）』は“三世代世帯（親と子と孫）”（81.9%）、“二世世代世帯（親と子（18歳未満））”（81.3%）、“二世世代世帯（親と子（18歳以上））”（80.9%）で8割台と高くなっている。

居住地区別にみると、『住みよい（計）』は西武地区（84.0%）で8割半ばと高くなっている。

（図1-1-4）

図1-1-4 住みよさ（家族構成別、居住地区別）



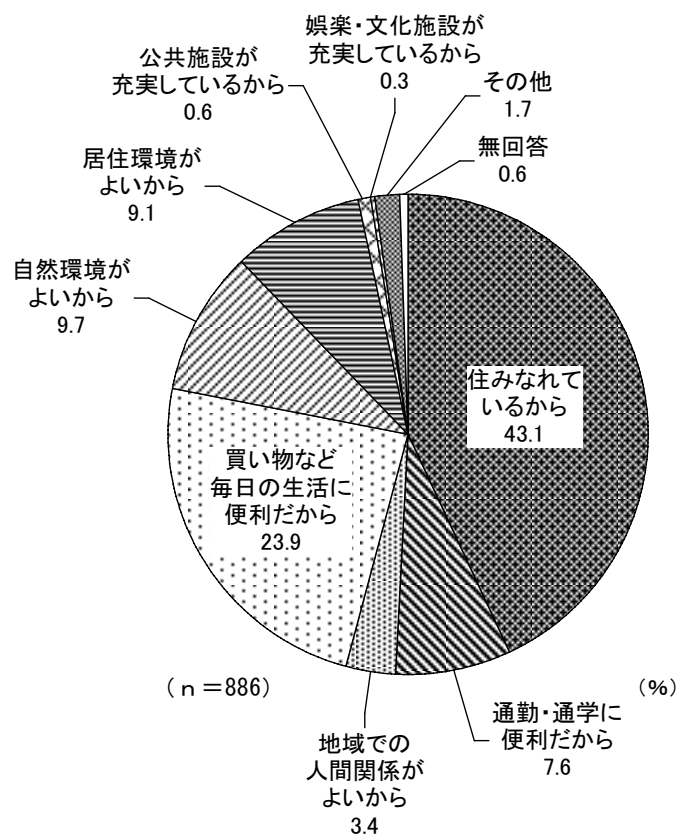
(2) 住みよい理由

◇「住みなれているから」が4割を超える

(問1で、「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と答えた方に)

問1-1 住みよいと思われる理由を1つ選んでください。

図1-2-1

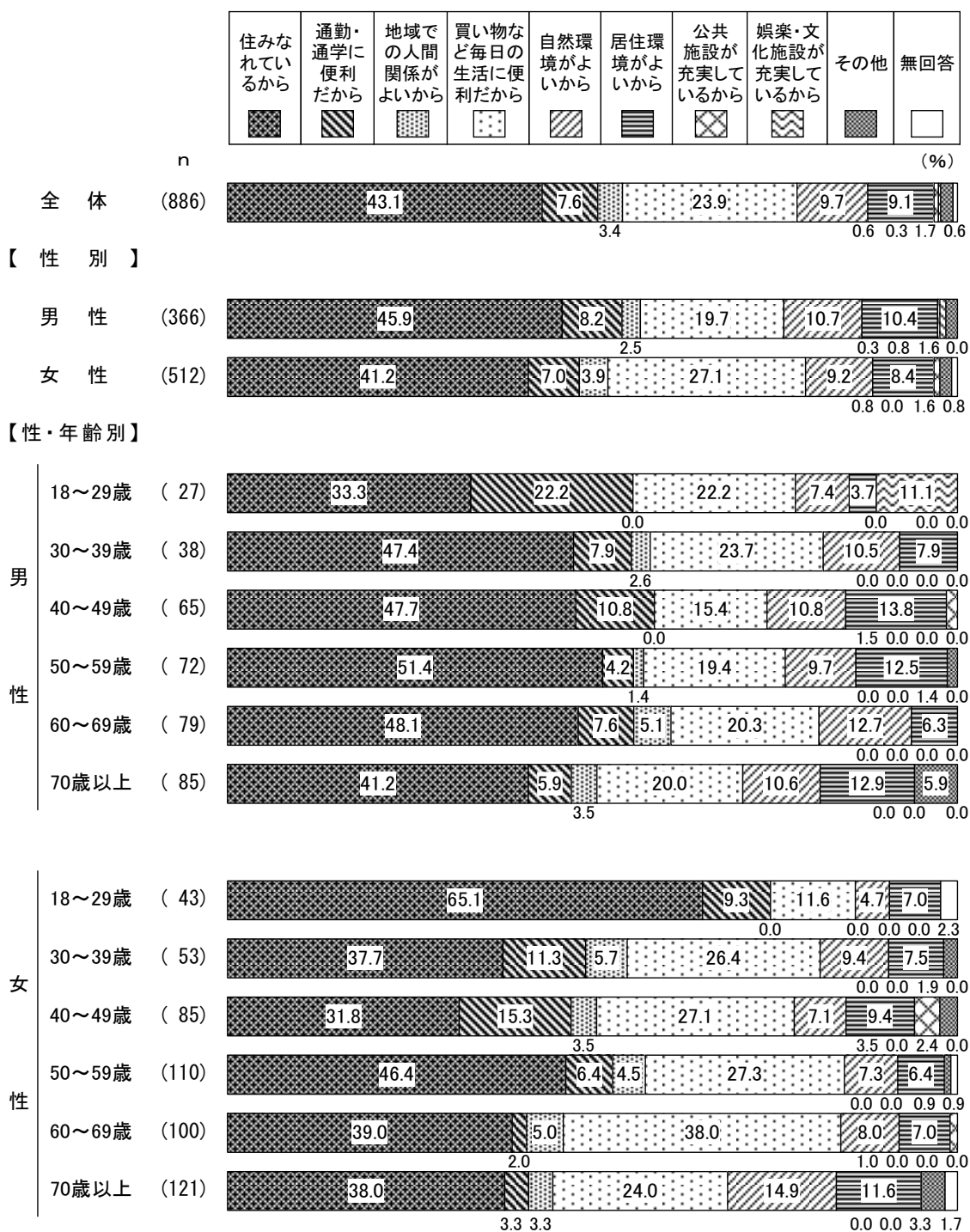


入間市を「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と答えた人(886人)に、その理由について聞いたところ、「住みなれているから」(43.1%)が4割を超えて最も高く、次いで「買い物など毎日の生活に便利だから」(23.9%)、「自然環境がよいから」(9.7%)、「居住環境がよいから」(9.1%)などの順となっている。(図1-2-1)

性別にみると、「買い物など毎日の生活に便利だから」は女性（27.1%）が男性（19.7%）より7.4ポイント高くなっている。一方、「住みなれているから」は男性（45.9%）が女性（41.2%）より4.7ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「住みなれているから」は女性18～29歳（65.1%）で6割半ば、男性50～59歳（51.4%）で5割を超えて高くなっている。「通勤・通学に便利だから」は男性18～29歳（22.2%）で2割を超えて高くなっている。「買い物など毎日の生活に便利だから」は女性60～69歳（38.0%）で4割近くと高くなっている。（図1-2-2）

図1-2-2 住みよい理由（性・年齢別）

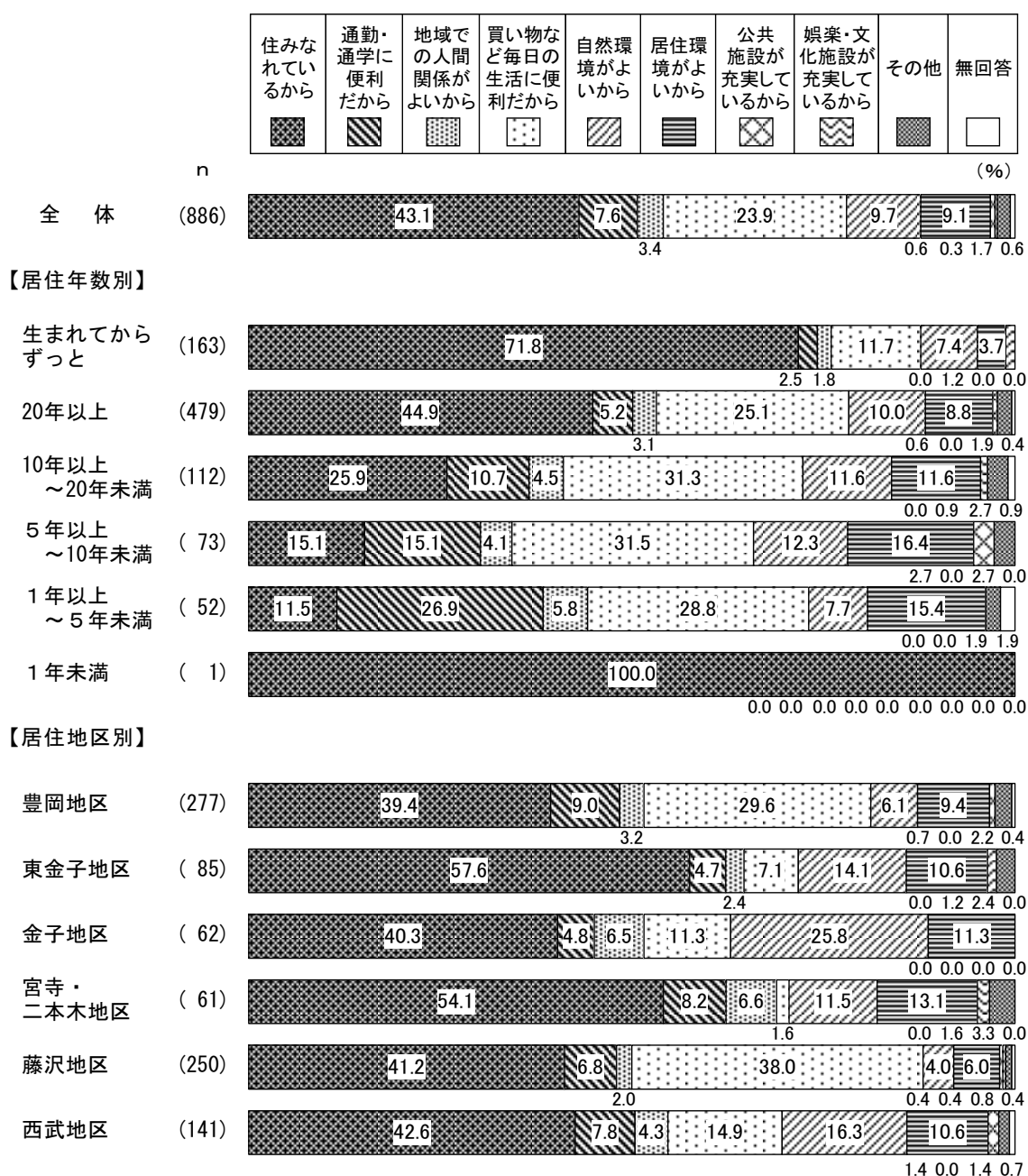


居住年数別にみると、「住みなれているから」は“生まれてからずっと”(71.8%)で7割を超えて高くなっている。「通勤・通学に便利だから」は“1年以上～5年未満”(26.9%)で3割近くと高くなっている。「買い物など毎日の生活に便利だから」は“5年以上～10年未満”(31.5%)と“10年以上～20年未満”(31.3%)で3割を超えて高くなっている。

居住地区別にみると、「住みなれているから」は東金子地区(57.6%)と宮寺・二本木地区(54.1%)で5割台と高くなっている。「買い物など毎日の生活に便利だから」は藤沢地区(38.0%)で4割近くと高くなっている。「自然環境がよいから」は金子地区(25.8%)で2割半ばと高くなっている。

(図1-2-3)

図1-2-3 住みよい理由(居住年数別、居住地区別)



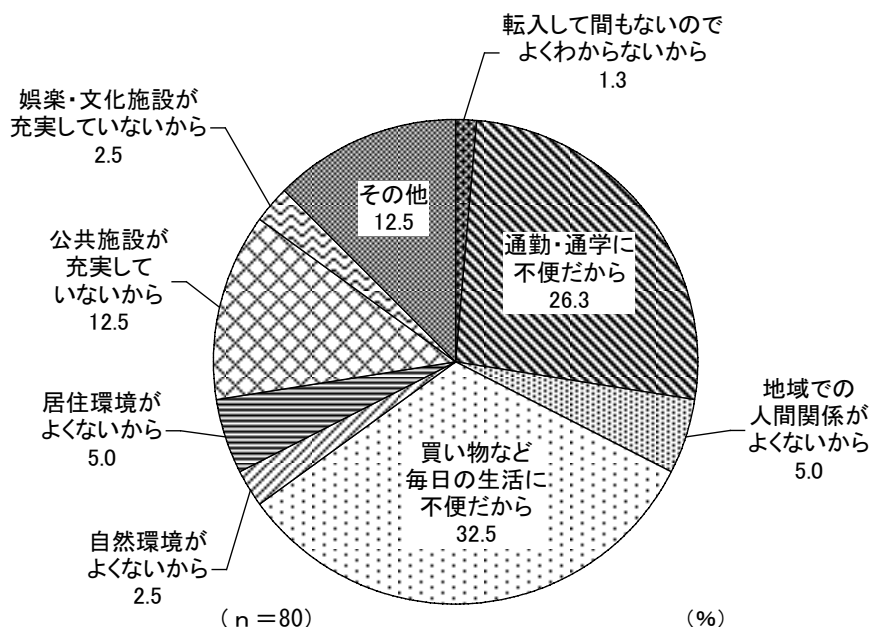
(3) 住みにくい理由

◇「買い物など毎日の生活に不便だから」が3割を超える

(問1で、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方に)

問1-2 住みにくいと思われる理由を1つ選んでください。

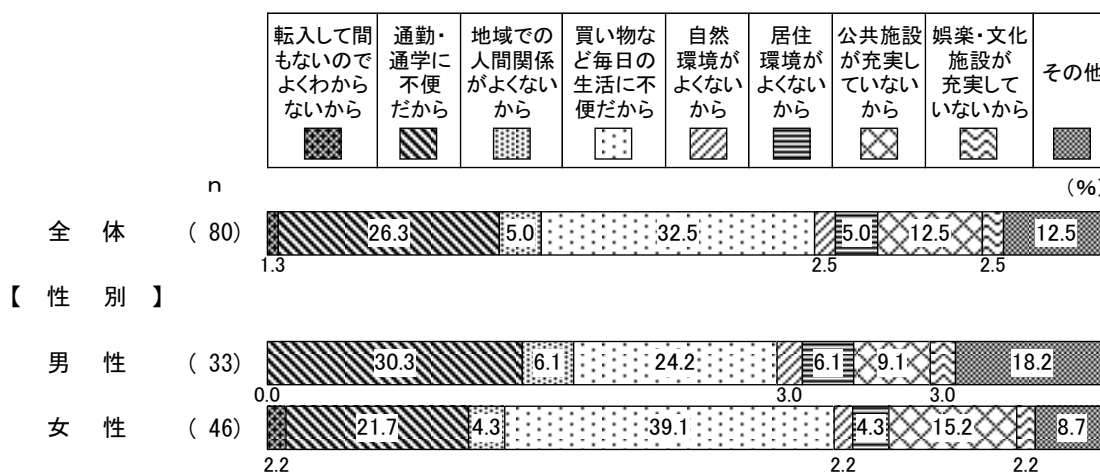
図1-3-1



入間市に「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた人(80人)に、その理由について聞いたところ、「買い物など毎日の生活に不便だから」(32.5%)が3割を超えて最も高く、次いで「通勤・通学に不便だから」(26.3%)、「公共施設が充実していないから」(12.5%)などの順となっている。(図1-3-1)

性別にみると、「買い物など毎日の生活に不便だから」は女性(39.1%)が男性(24.2%)より14.9ポイント高くなっている。一方、「通勤・通学に不便だから」は男性(30.3%)が女性(21.7%)より8.6ポイント高くなっている。(図1-3-2)

図1-3-2 住みにくい理由(性別)

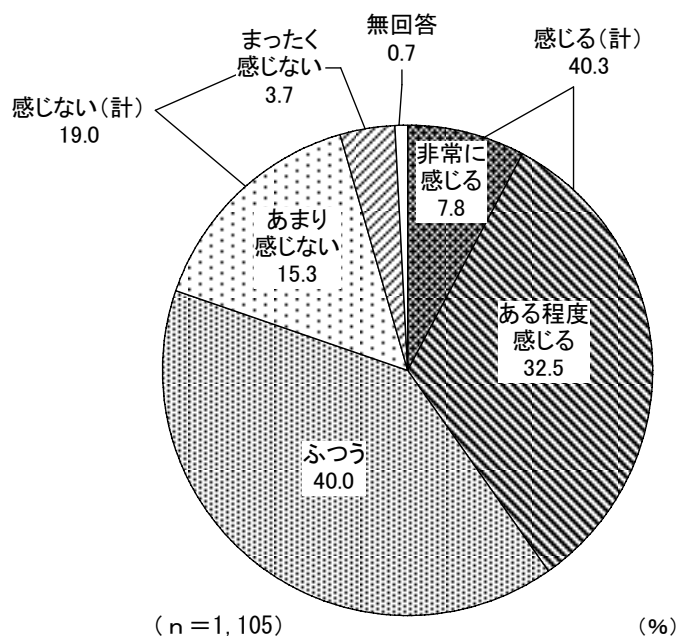


(4) 誇りや愛着

◇『感じる(計)』が4割

問2 あなたは、入間市に何か誇りや、愛着のようなものを感じますか。次の中から1つ選んでください。

図1-4-1



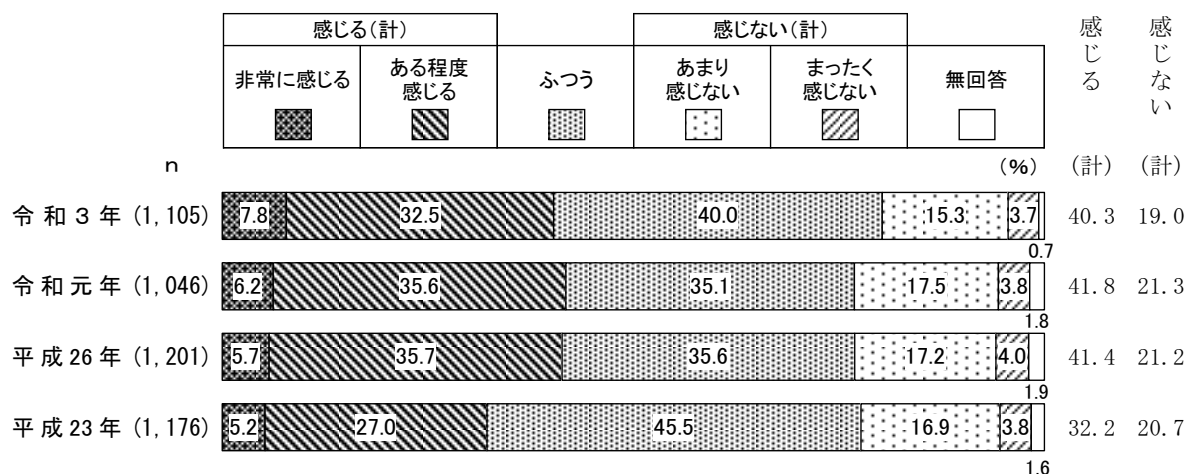
誇りや愛着について聞いたところ、「非常に感じる」(7.8%)と「ある程度感じる」(32.5%)を合わせた『感じる(計)』(40.3%)が4割となっている。一方、「あまり感じない」(15.3%)と「まったく感じない」(3.7%)を合わせた『感じない(計)』(19.0%)はほぼ2割となっている。

(図1-4-1)

過年度調査と比較すると、「ふつう」は令和元年調査と比べて4.9ポイント増加している。

(図1-4-2)

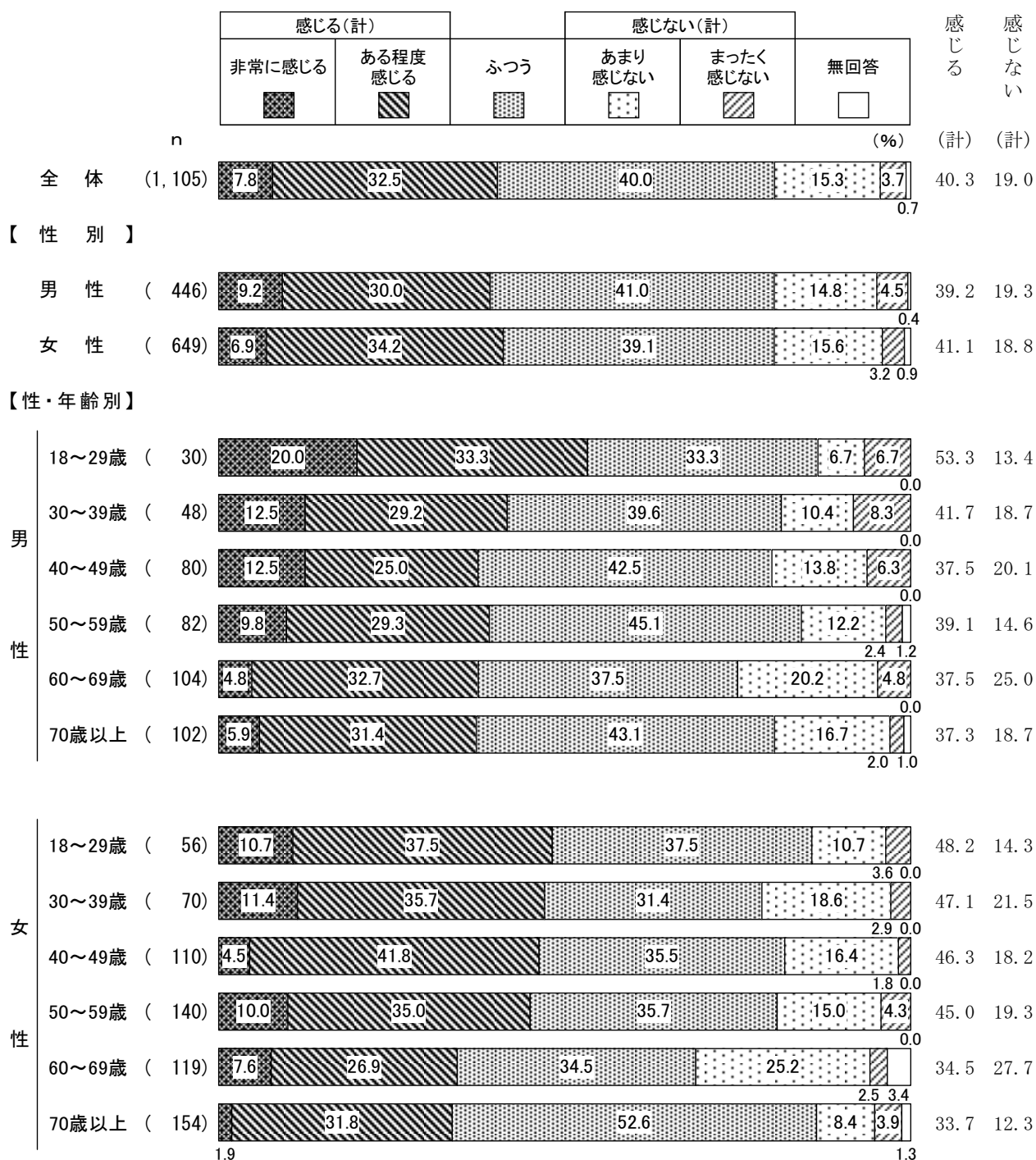
図1-4-2 誇りや愛着(経年比較)



性別にみると、「ある程度感じる」は女性（34.2％）が男性（30.0％）より4.2ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、『感じる（計）』は男性18～29歳（53.3％）で5割を超えて高くなっている。一方、『感じない（計）』は女性60～69歳（27.7％）で3割近くと高くなっている。（図1－4－3）

図1－4－3 誇りや愛着（性・年齢別）



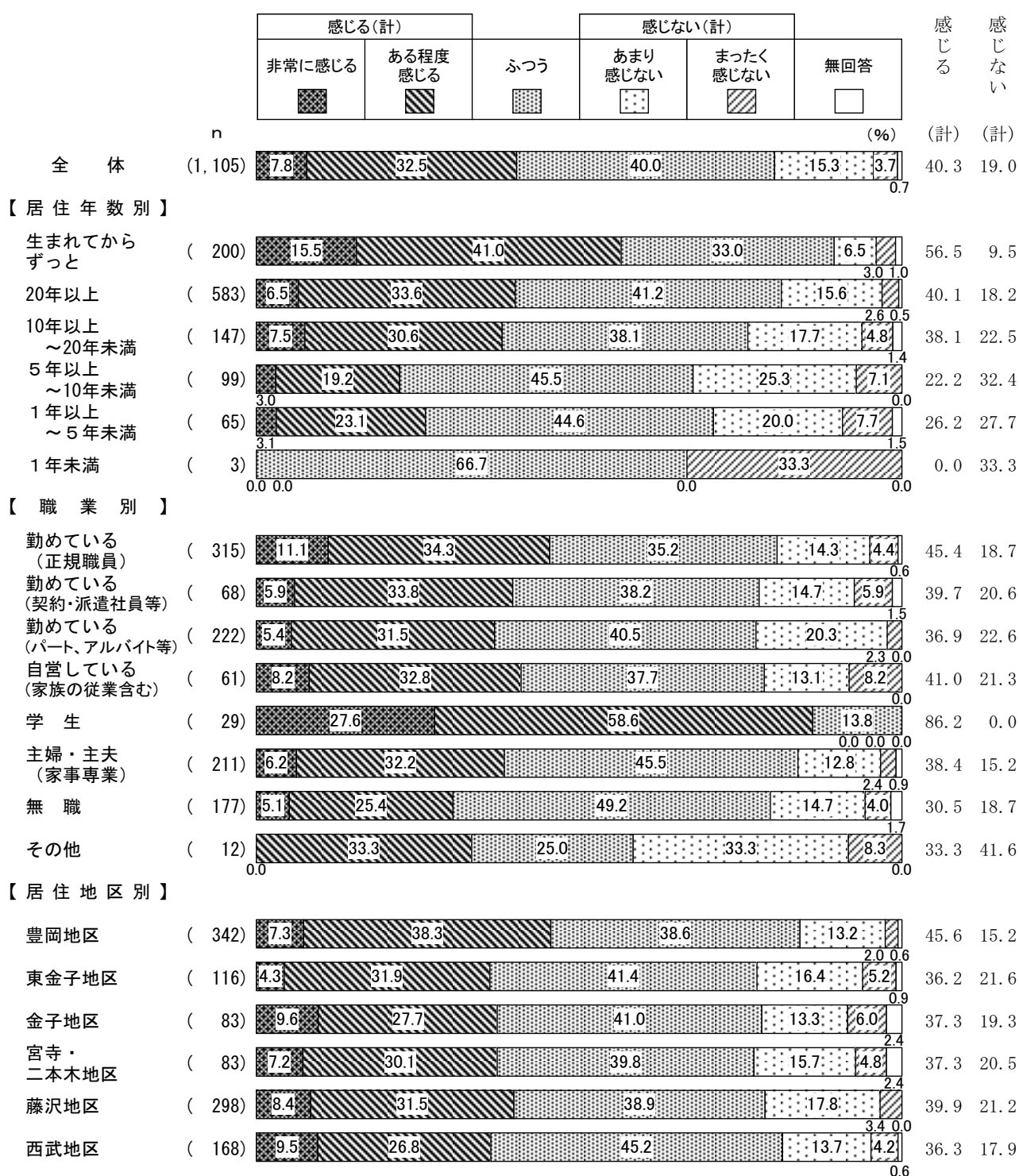
居住年数別にみると、『感じる（計）』は“生まれてからずっと”（56.5%）で6割近くと高くなっている。一方、『感じる（計）』は“5年以上～10年未満”（32.4%）で3割を超えて高くなっている。

職業別にみると、『感じる（計）』は“学生”（86.2%）で8割半ばと高くなっている。

居住地区別にみると、『感じる（計）』は豊岡地区（45.6%）で4割半ばと高くなっている。

（図1－4－4）

図1－4－4 誇りや愛着（居住年数別、職業別、居住地区別）

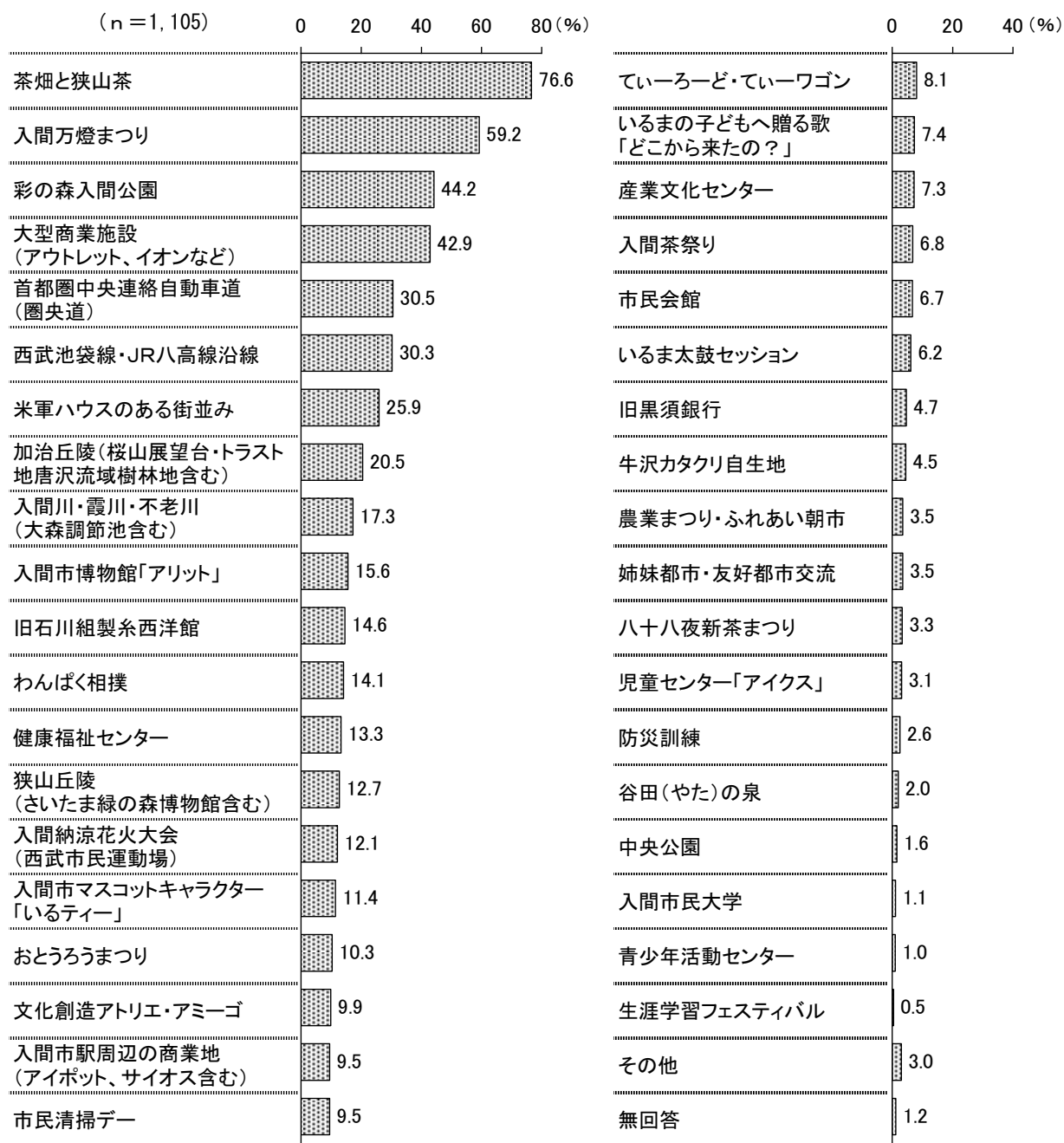


(5) 入間市の魅力

◇「茶畑と狭山茶」が8割近く

問3 市では、「暮らしてみたいまち」「住み続けたいまち」を目指して、地域資源を活かしたシティセールスに取り組んでいます。あなたが入間市の環境や施設、行事等の中で入間らしい魅力や個性を感じるものは何ですか。次の1～39の項目の中から7つまで選んでください。

図 1-5-1



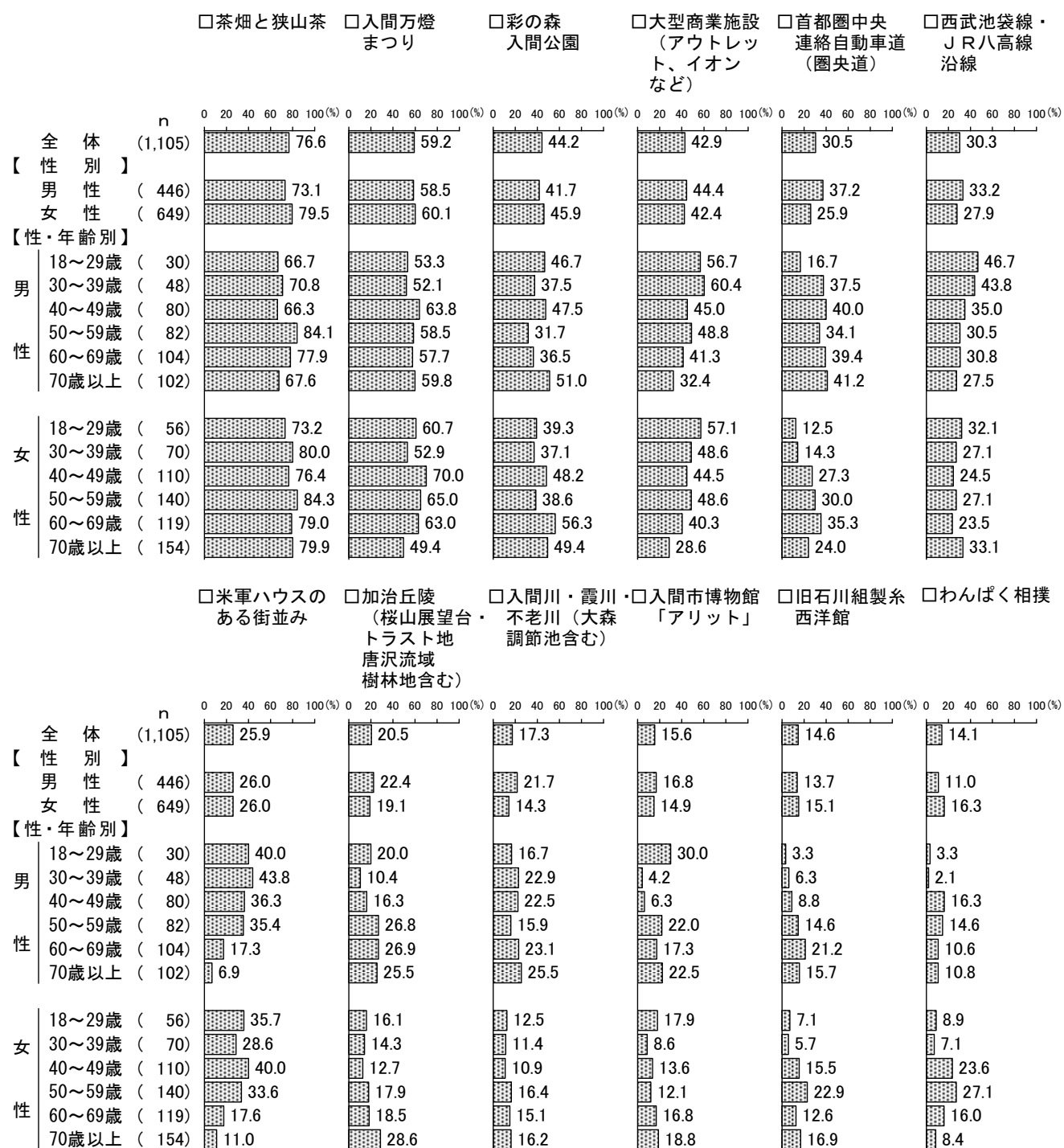
入間市の魅力について聞いたところ、「茶畑と狭山茶」（76.6%）が8割近くで最も高く、次いで「入間万燈まつり」（59.2%）、「彩の森入間公園」（44.2%）、「大型商業施設（アウトレット、イオンなど）」（42.9%）などの順となっている。（図1-5-1）

性別にみると、「首都圏中央連絡自動車道（圏央道）」は男性（37.2%）が女性（25.9%）より11.3ポイント、「入間川・霞川・不老川（大森調節池含む）」は男性（21.7%）が女性（14.3%）より7.4ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「茶畑と狭山茶」は女性（79.5%）が男性（73.1%）より6.4ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「茶畑と狭山茶」は女性50～59歳（84.3%）と男性50～59歳（84.1%）で8割半ばと高くなっている。「入間万燈まつり」は女性40～49歳（70.0%）で7割と高くなっている。

「大型商業施設（アウトレット、イオンなど）」は男性30～39歳（60.4%）で6割と高くなっている。（図1－5－2）

図1－5－2 入間市の魅力（性・年齢別）－上位12項目

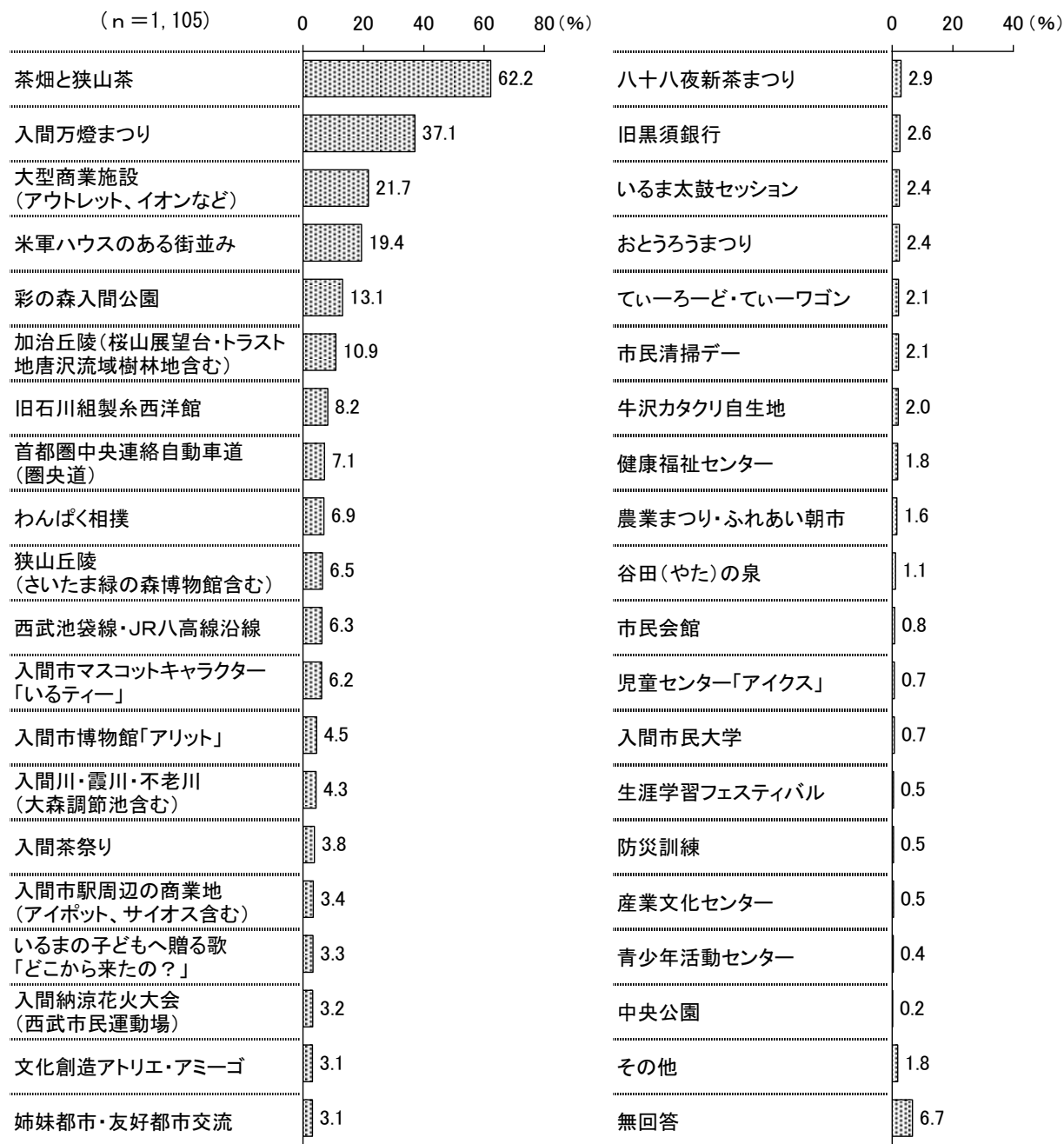


(6) 市が優先してPRに取り組むべきもの

◇「茶畑と狭山茶」が6割を超える

問3-1 問3の1～39の項目のうち、入間市の魅力を市内外に発信するために、市が優先してPRに取り組むべきものは何ですか。該当する番号を【記入欄】に3つ選んで記入してください。

図1-6-1

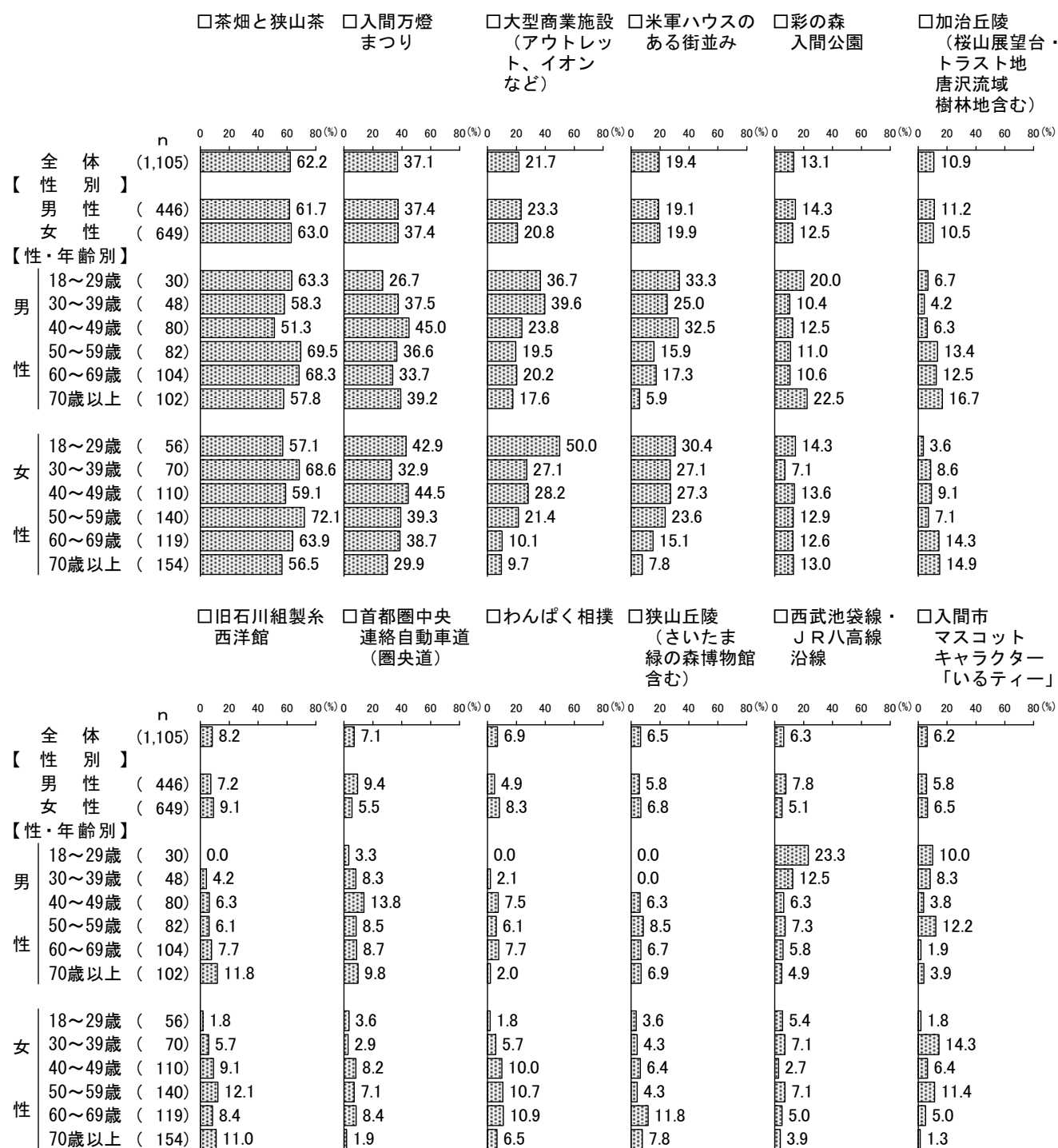


市が優先してPRに取り組むべきものについて聞いたところ、「茶畑と狭山茶」(62.2%)が6割を超えて最も高く、次いで「入間万燈まつり」(37.1%)、「大型商業施設(アウトレット、イオンなど)」(21.7%)、「米軍ハウスのある街並み」(19.4%)、「彩の森入間公園」(13.1%)などの順となっている。(図1-6-1)

性別にみると、「首都圏中央連絡自動車道（圏央道）」は男性（9.4%）が女性（5.5%）より3.9ポイント高くなっている。一方、「わんぱく相撲」は女性（8.3%）が男性（4.9%）より3.4ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「茶畑と狭山茶」は女性50～59歳（72.1%）で7割を超えて高くなっている。「入間万燈まつり」は男性40～49歳（45.0%）と女性40～49歳（44.5%）で4割半ばと高くなっている。「大型商業施設（アウトレット、イオンなど）」は女性18～29歳（50.0%）で5割と高くなっている。（図1-6-2）

図1-6-2 市が優先してPRに取り組むべきもの（性・年齢別）ー上位12項目

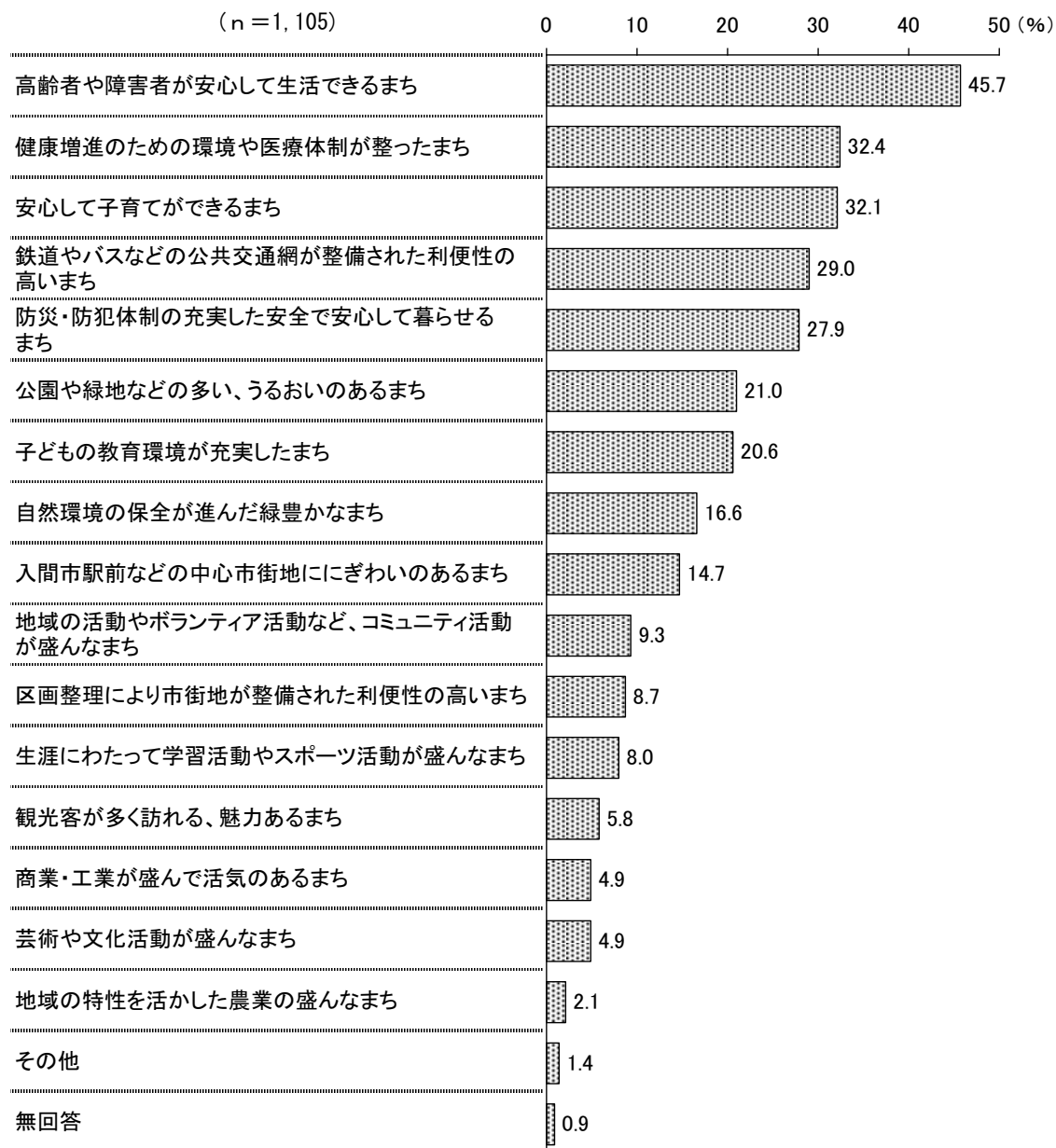


(7) 将来の入間市のまちづくり

◇「高齢者や障害者が安心して生活できるまち」が4割半ば

問4 あなたは、将来の入間市はどのようなまちであってほしいと思いますか。あなたが希望するまちを次の項目の中から3つまで選んでください。

図1-7-1

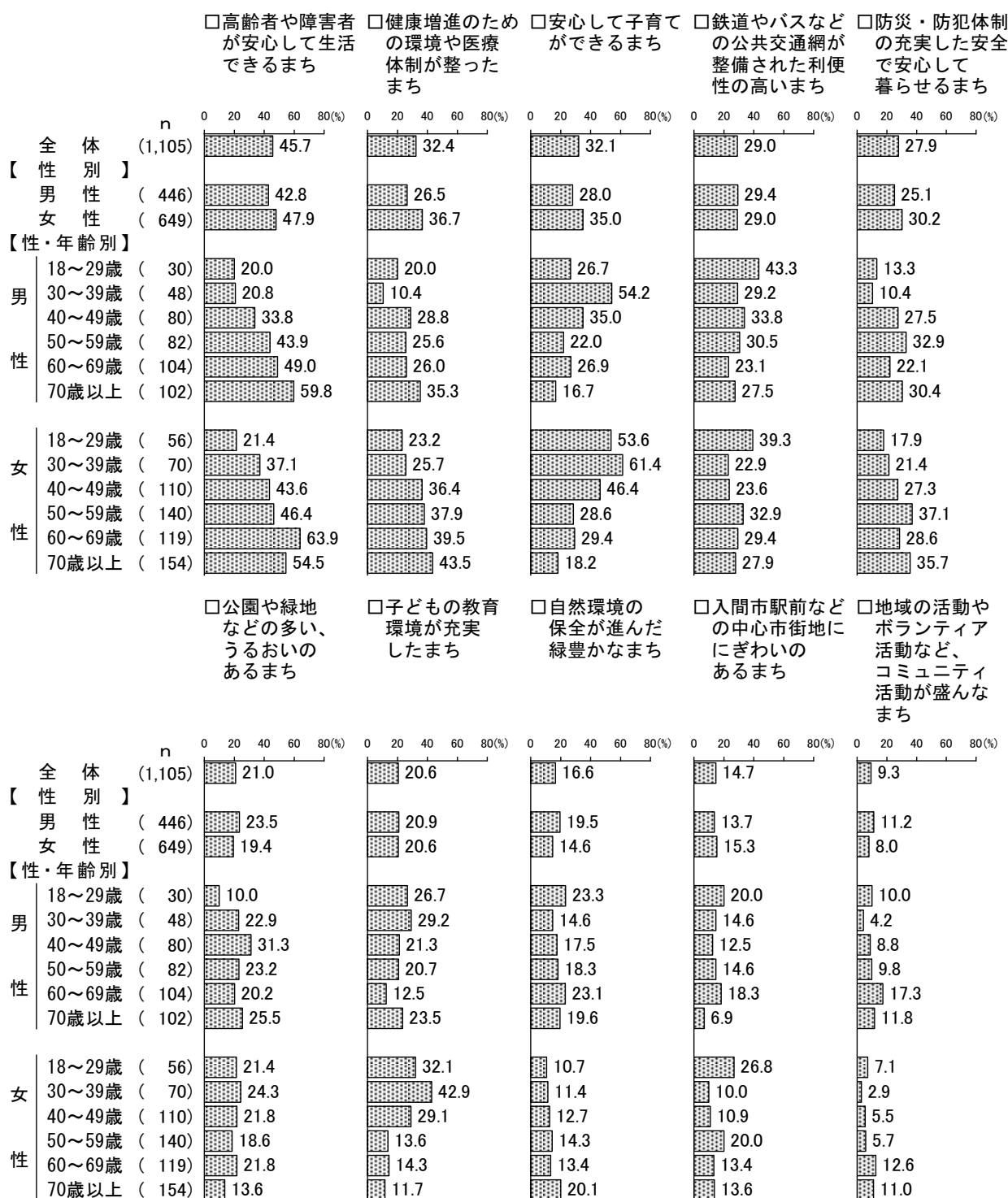


将来の入間市のまちづくりについて聞いたところ、「高齢者や障害者が安心して生活できるまち」(45.7%) が4割半ばで最も高く、次いで「健康増進のための環境や医療体制が整ったまち」(32.4%)、「安心して子育てができるまち」(32.1%)、「鉄道やバスなどの公共交通網が整備された利便性の高いまち」(29.0%)、「防災・防犯体制の充実した安全で安心して暮らせるまち」(27.9%)などの順となっている。(図1-7-1)

性別にみると、「健康増進のための環境や医療体制が整ったまち」は女性(36.7%)が男性(26.5%)より10.2ポイント、「安心して子育てができるまち」は女性(35.0%)が男性(28.0%)より7.0ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「自然環境の保全が進んだ緑豊かなまち」は男性(19.5%)が女性(14.6%)より4.9ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「高齢者や障害者が安心して生活できるまち」は女性60～69歳(63.9%)で6割を超え、男性70歳以上(59.8%)で6割と高くなっている。「安心して子育てができるまち」は女性30～39歳(61.4%)で6割を超えて高くなっている。「子どもの教育環境が充実したまち」は女性30～39歳(42.9%)で4割を超えて高くなっている。(図1-7-2)

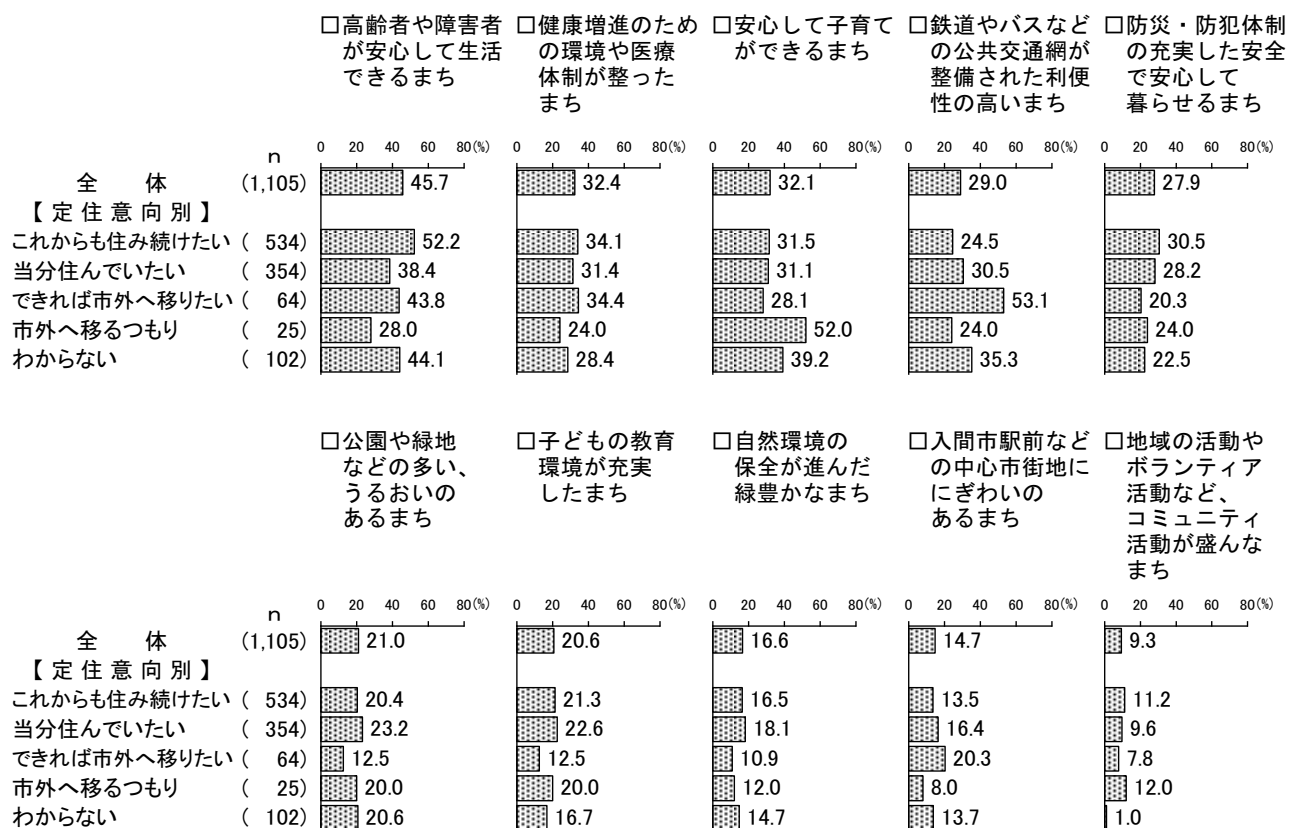
図1-7-2 将来の入間市のまちづくり(性・年齢別)ー上位10項目



定住意向別にみると、「高齢者や障害者が安心して生活できるまち」は“これからも住み続けたい”（52.2%）で5割を超えて高くなっている。「安心して子育てができるまち」は“市外へ移るつもり”（52.0%）で5割を超えて高くなっている。「鉄道やバスなどの公共交通網が整備された利便性の高いまち」は“できれば市外へ移りたい”（53.1%）で5割を超えて高くなっている。

（図 1－7－3）

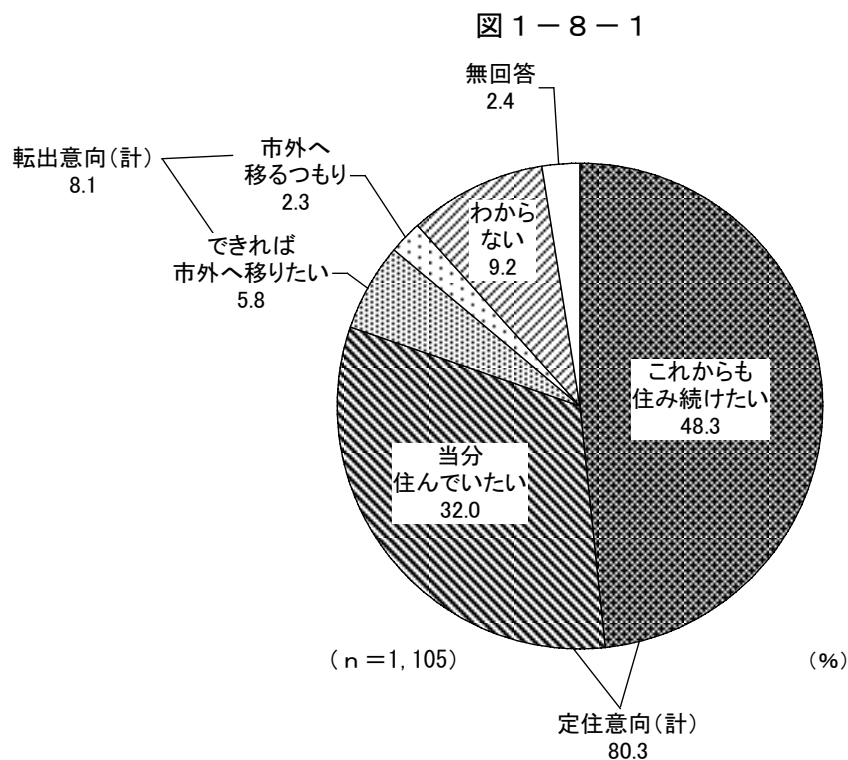
図 1－7－3 将来の入間市のまちづくり（定住意向別）－上位10項目



(8) 定住意向

◇『定住意向（計）』が8割

問5 あなたは、これからもずっと入間市に住んでいたいと思いますか。それとも市外に移りたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

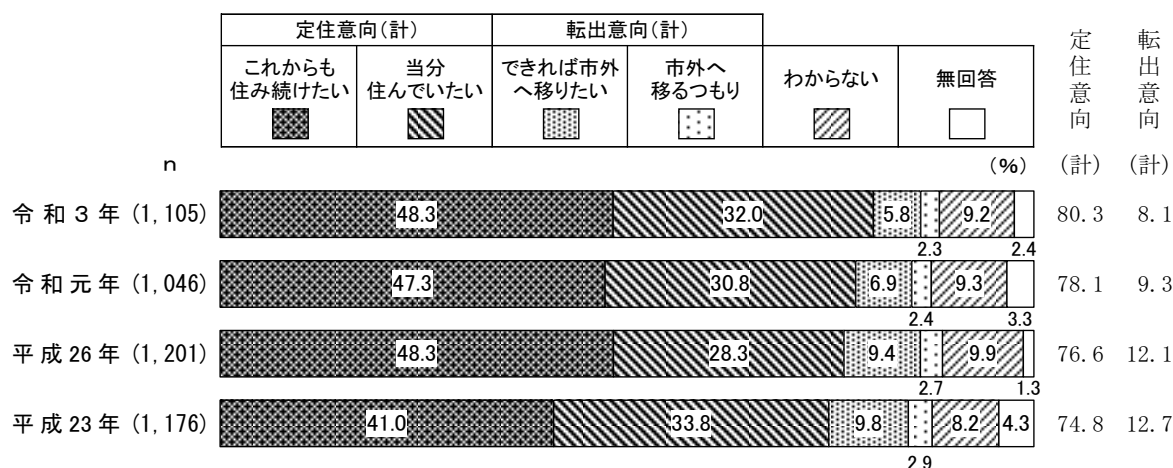


定住意向について聞いたところ、「これからも住み続けたい」(48.3%)と「当分住んでいたい」(32.0%)を合わせた『定住意向（計）』(80.3%)が8割と高くなっている。一方、「できれば市外へ移りたい」(5.8%)と「市外へ移るつもり」(2.3%)を合わせた『転出意向（計）』(8.1%)は1割未満となっている。(図1-8-1)

過年度調査と比較すると、『定住意向（計）』は平成23年調査以降増加傾向にある。

(図1-8-2)

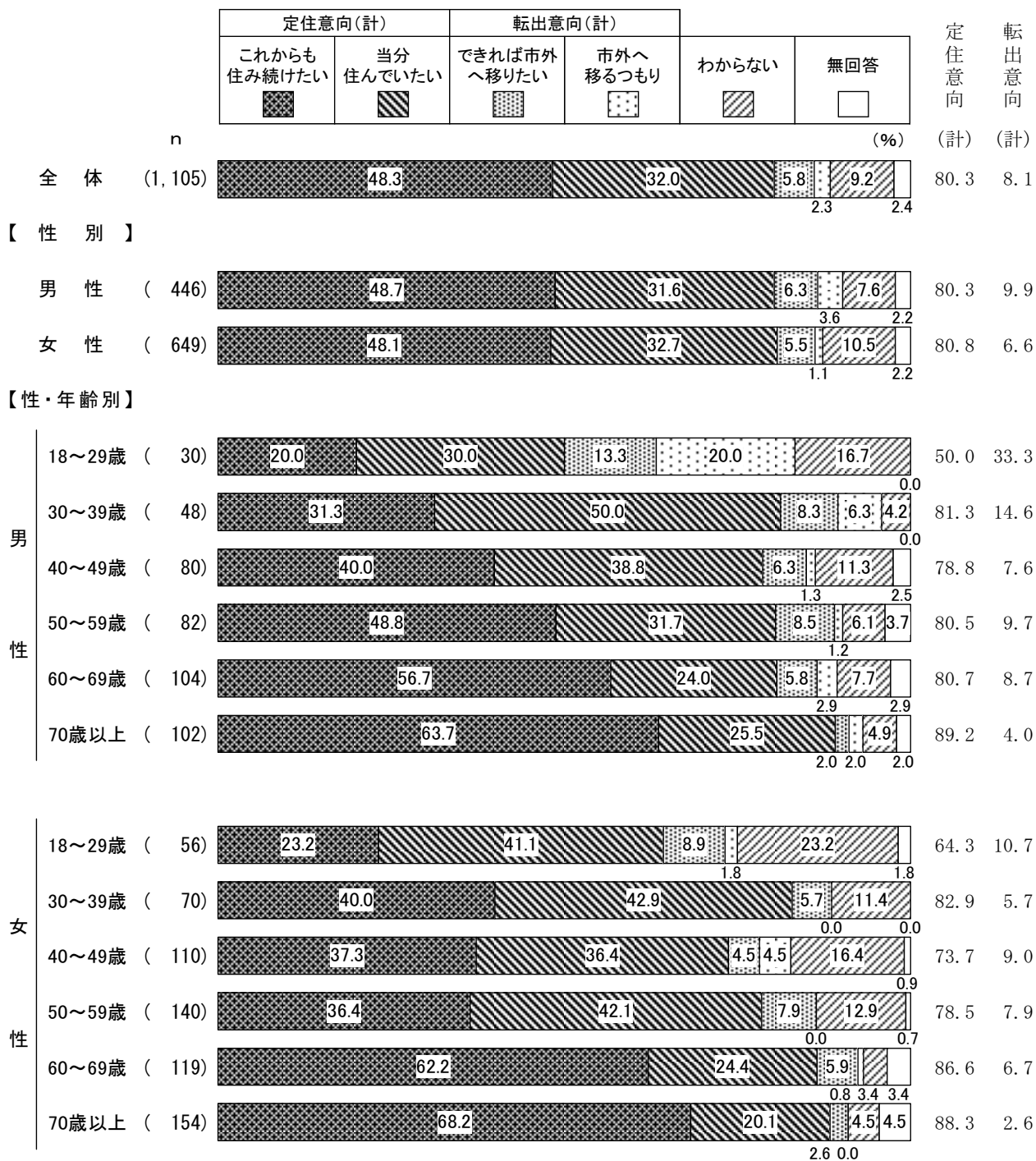
図1-8-2 定住意向（経年比較）



性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年齢別にみると、『定住意向（計）』は男性70歳以上（89.2%）でほぼ9割と高くなっている。一方、『転出意向（計）』は男性18～29歳（33.3%）で3割を超えて高くなっている。（図1－8－3）

図1－8－3 定住意向（性・年齢別）



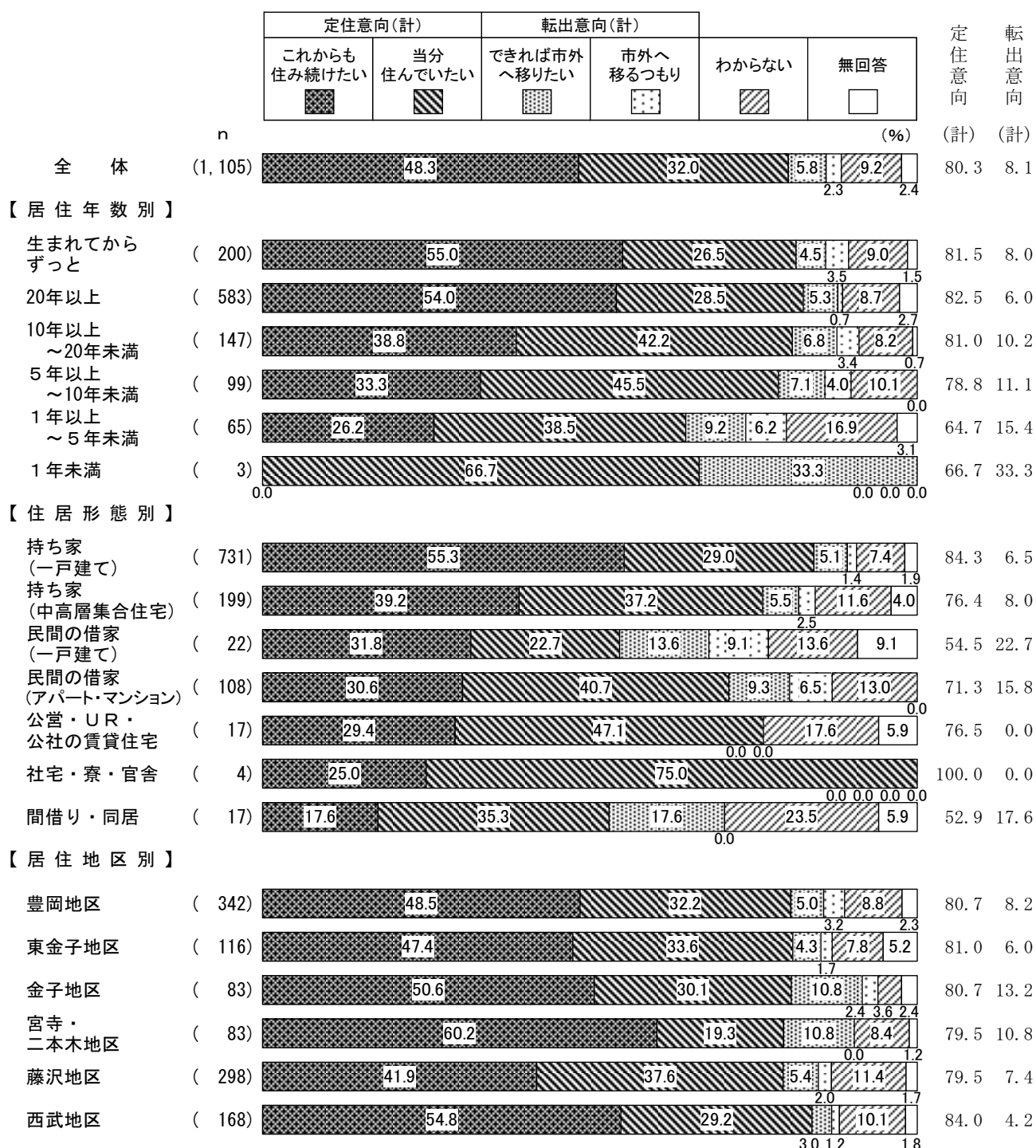
居住年数別にみると、「これからも住み続けたい」は“生まれてからずっと”(55.0%)と“20年以上”(54.0%)で5割半ばと高くなっている。

住居形態別にみると、『定住意向(計)』は“持ち家(一戸建て)”(84.3%)で8割半ばと高くなっている。一方、『転出意向(計)』は“民間の借家(一戸建て)”(22.7%)で2割を超えて高くなっている。

居住地区別にみると、『定住意向(計)』は西武地区(84.0%)で8割半ばと高くなっている。

(図1-8-4)

図1-8-4 定住意向(居住年数別、住居形態別、居住地区別)



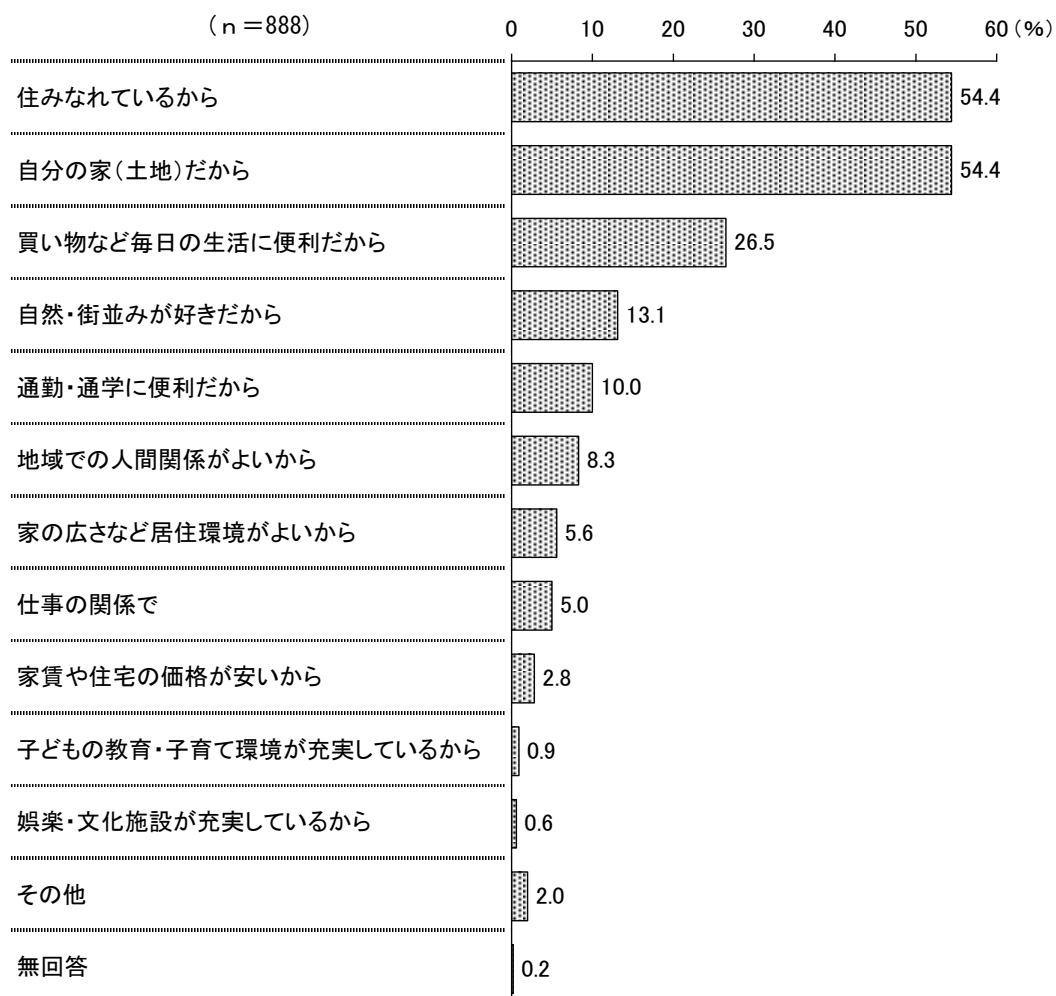
(9) 住み続ける理由

◇「住みなれているから」と「自分の家(土地)だから」がともに5割半ば

(問5で、「これからも住み続けたい」「当分住んでいたい」と答えた方に)

問5-1 住み続けたいと思われる理由を2つまで選んでください。

図1-9-1

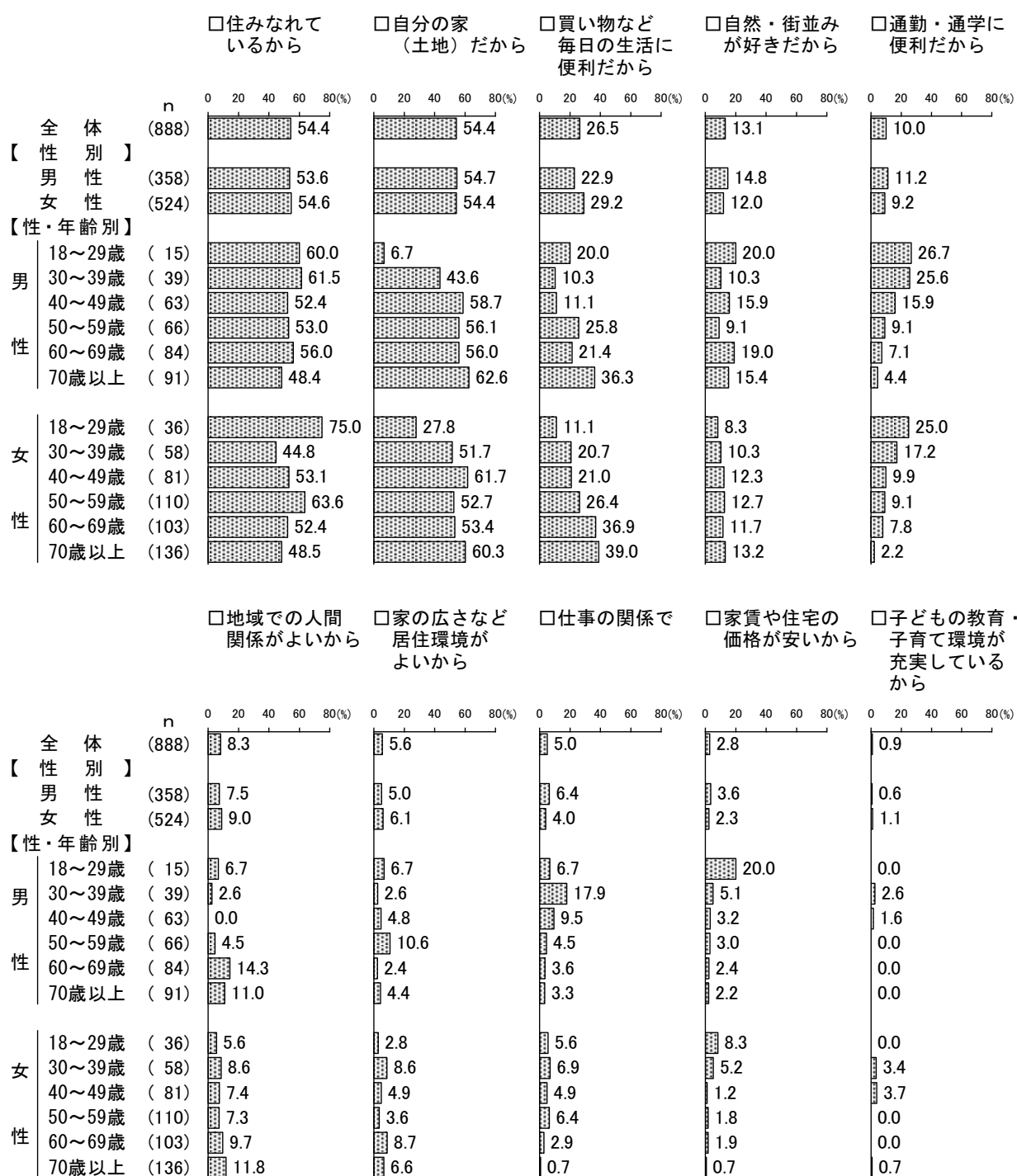


入間市に「これからも住み続けたい」「当分住んでいたい」と答えた人(888人)に、その理由について聞いたところ、「住みなれているから」と「自分の家(土地)だから」(ともに54.4%)がともに5割半ばで高く、次いで「買い物など毎日の生活に便利だから」(26.5%)、「自然・街並みが好きだから」(13.1%)などの順となっている。(図1-9-1)

性別にみると、「買い物など毎日の生活に便利だから」は女性（29.2%）が男性（22.9%）より6.3ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「住みなれているから」は女性18～29歳（75.0%）で7割半ばと高くなっている。「自分の家（土地）だから」は男性70歳以上（62.6%）と女性40～49歳（61.7%）で6割を超えて高くなっている。「買い物など毎日の生活に便利だから」は女性70歳以上（39.0%）でほぼ4割と高くなっている。（図1－9－2）

図1－9－2 住み続ける理由（性・年齢別）－上位10項目



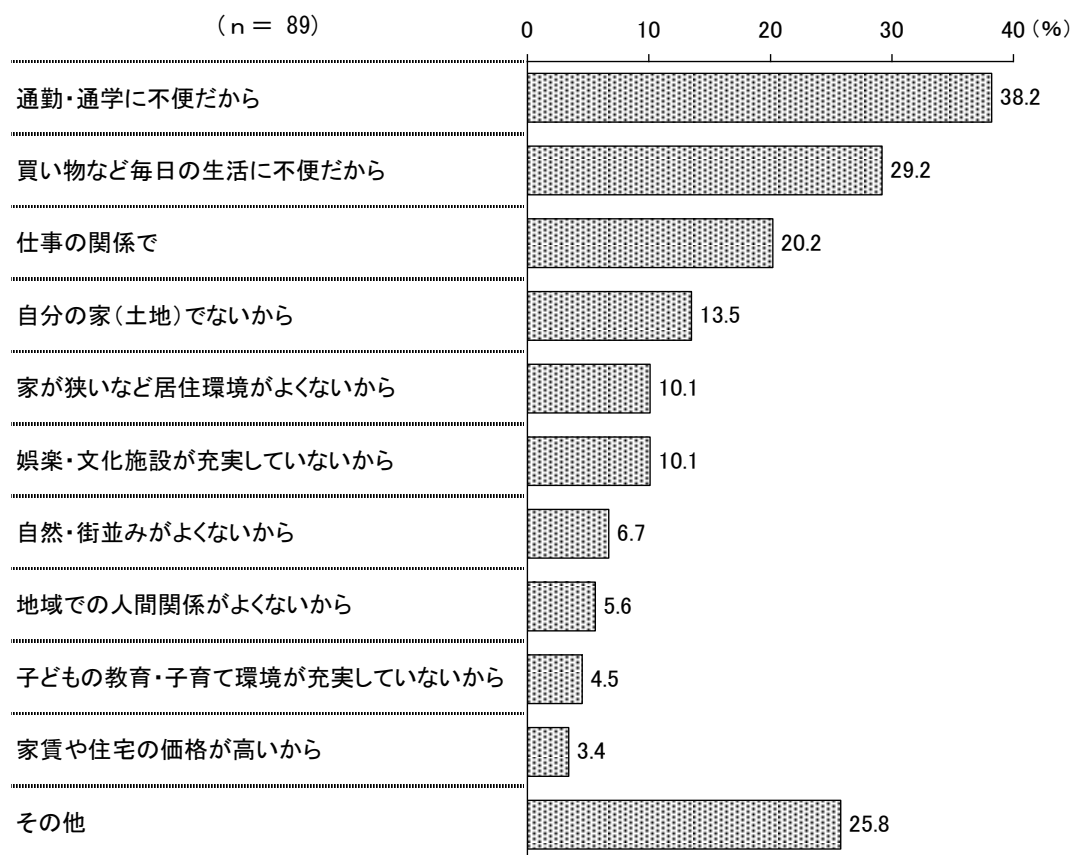
(10) 市外へ移りたい理由

◇「通勤・通学に不便だから」が4割近く

(問5で、「できれば市外へ移りたい」「市外へ移るつもり」と答えた方に)

問5-2 市外へ移りたいと思われる理由を2つまで選んでください。

図1-10-1

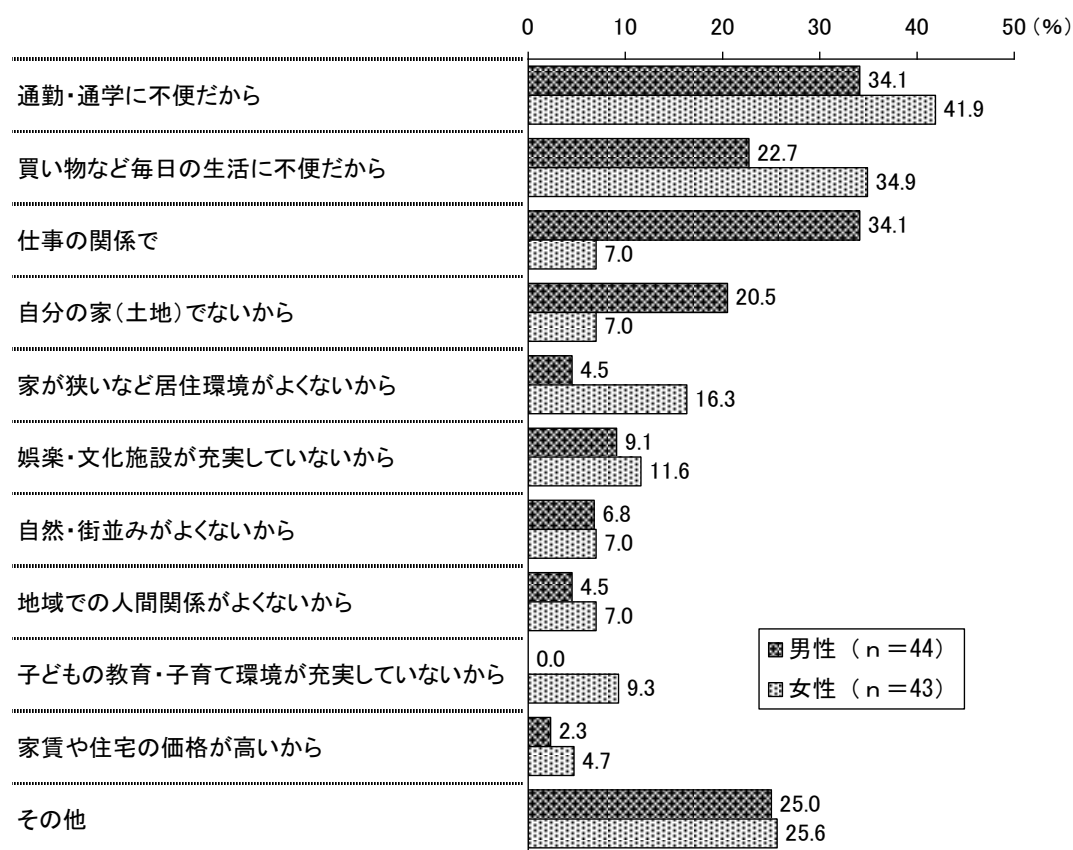


入間市から「できれば市外へ移りたい」「市外へ移るつもり」と答えた人(89人)に、その理由について聞いたところ、「通勤・通学に不便だから」(38.2%)が4割近くで最も高く、次いで「買い物など毎日の生活に不便だから」(29.2%)、「仕事の関係で」(20.2%)、「自分の家(土地)でないから」(13.5%)などの順となっている。

また、「その他」と答えた人(25.8%・23人)の具体的な理由の記述をみると、「医療体制が充実していないから」(2.2%・2人)、「アップダウンが多い地形だから」(2.2%・2人)、「出身地に移り住むつもりだから」(2.2%・2人)などが挙げられている。(図1-10-1)

性別にみると、「仕事の関係で」は男性（34.1%）が女性（7.0%）より27.1ポイント、「自分の家（土地）でないから」は男性（20.5%）が女性（7.0%）より13.5ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「買い物など毎日の生活に不便だから」は女性（34.9%）が男性（22.7%）より12.2ポイント、「家が狭いなど居住環境がよくないから」は女性（16.3%）が男性（4.5%）より11.8ポイント、それぞれ高くなっている。（図1-10-2）

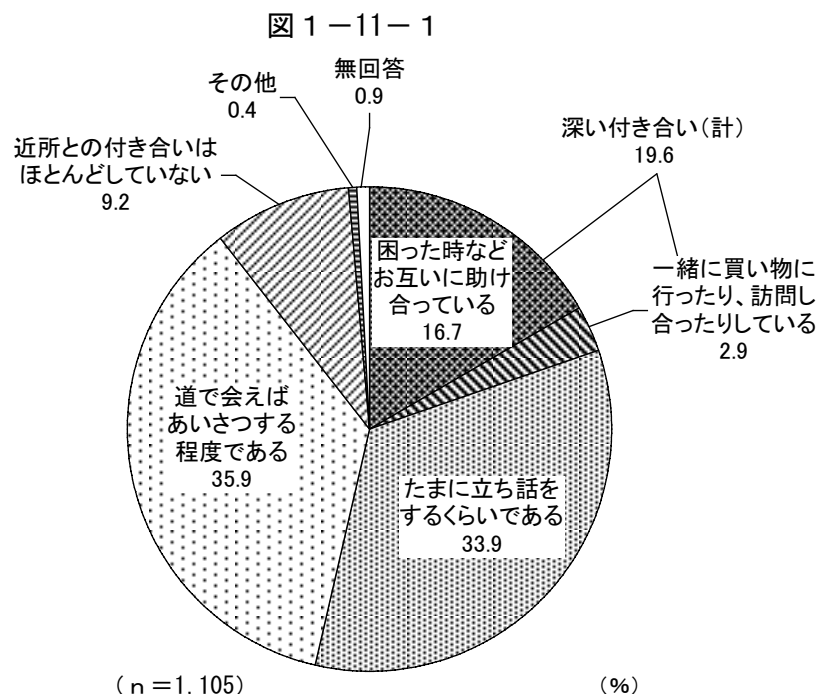
図1-10-2 市外へ移りたい理由（性別）



(11) 近所付き合い

◇『深い付き合い（計）』が2割

問6 あなたは、近所との付き合いをふだんどのようにしていますか。次の中から1つ選んでください。

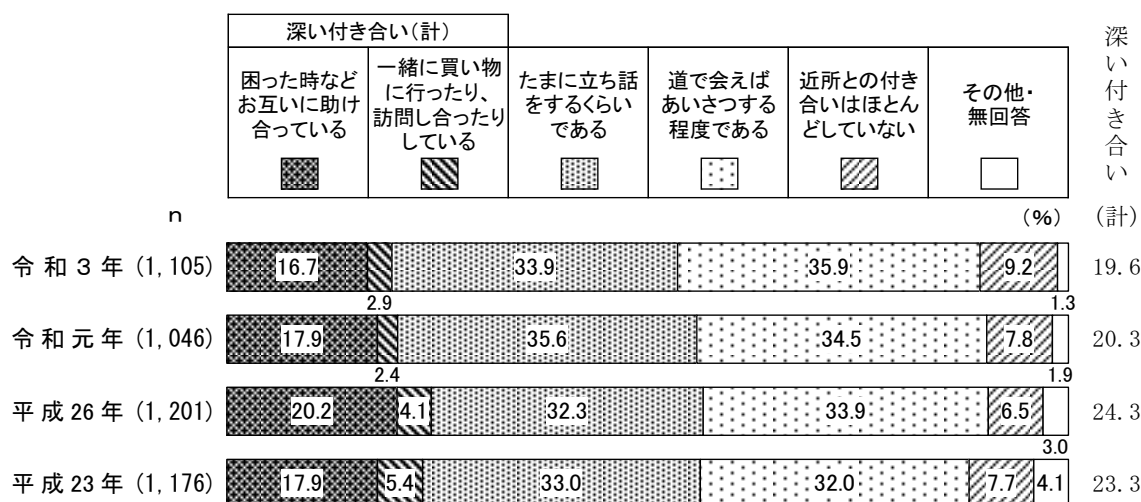


近所付き合いについて聞いたところ、「道で会えばあいさつする程度である」(35.9%)が3割半ば、「たまに立ち話をするくらいである」(33.9%)は3割を超えている。また、「困った時などお互いに助け合っている」(16.7%)と「一緒に買い物に行ったり、訪問し合ったりしている」(2.9%)を合わせた『深い付き合い（計）』(19.6%)は2割となっている。(図1-11-1)

過年度調査と比較すると、令和元年調査と比べて大きな傾向の違いはみられない。

(図1-11-2)

図1-11-2 近所付き合い（経年比較）

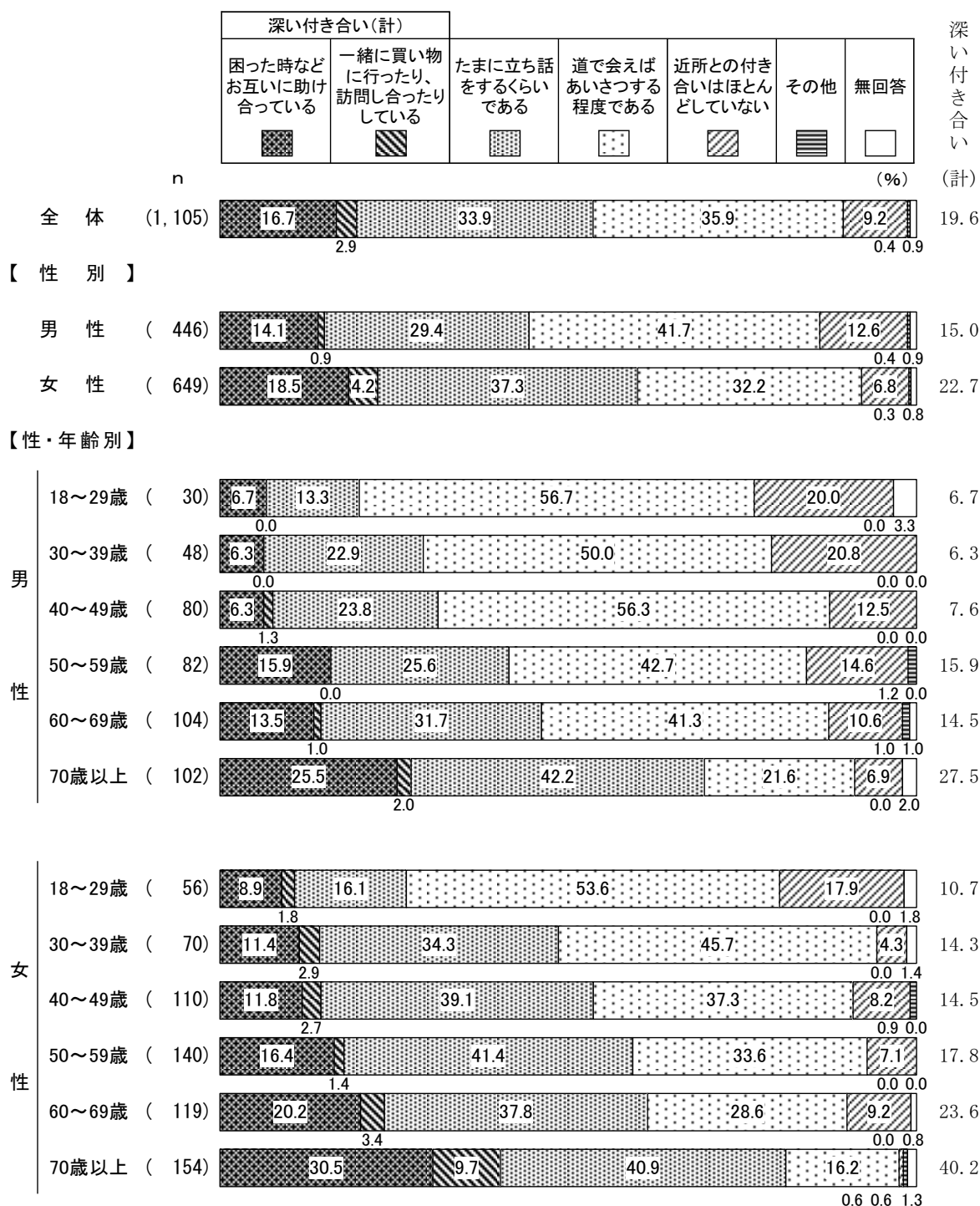


性別にみると、『深い付き合い（計）』は女性（22.7%）が男性（15.0%）より7.7ポイント高くなっている。一方、「道で会えばあいさつする程度である」は男性（41.7%）が女性（32.2%）より9.5ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、『深い付き合い（計）』は女性70歳以上（40.2%）で4割と高くなっている。

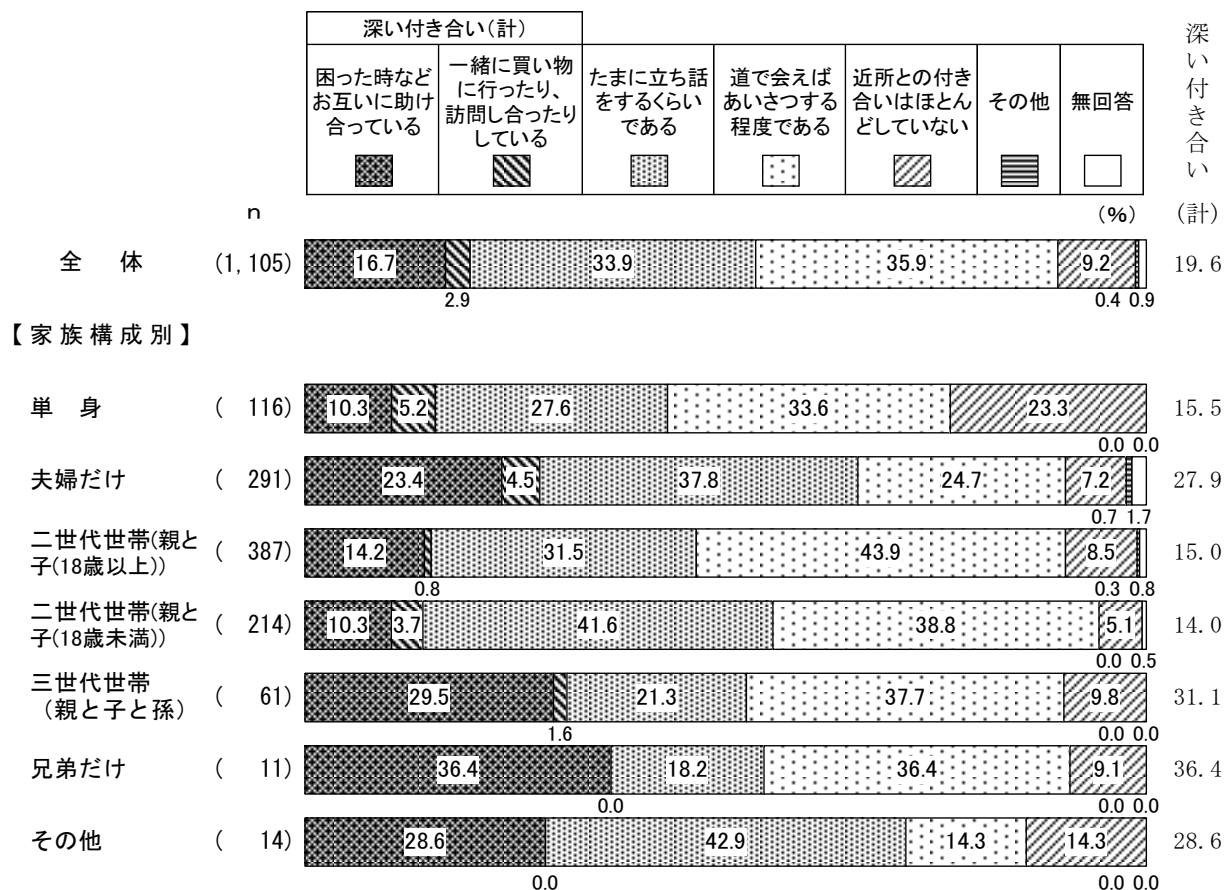
「たまに立ち話をするくらいである」は男性70歳以上（42.2%）と女性50～59歳（41.4%）で4割を超えて高くなっている。「道で会えばあいさつする程度である」は男性18～29歳（56.7%）で6割近くと高くなっている。（図1-11-3）

図1-11-3 近所付き合い（性・年齢別）



家族構成別にみると、『深い付き合い（計）』は“三世代世帯（親と子と孫）”（31.1%）で3割を超えて高くなっている。「たまに立ち話をするくらいである」は“二世世代世帯（親と子（18歳未満））”（41.6%）で4割を超えて高くなっている。「道で会えばあいさつする程度である」は“二世世代世帯（親と子（18歳以上））”（43.9%）で4割を超えて高くなっている。「近所との付き合いはほとんどしていない」は“単身”（23.3%）で2割を超えて高くなっている。（図1-11-4）

図1-11-4 近所付き合い（家族構成別）

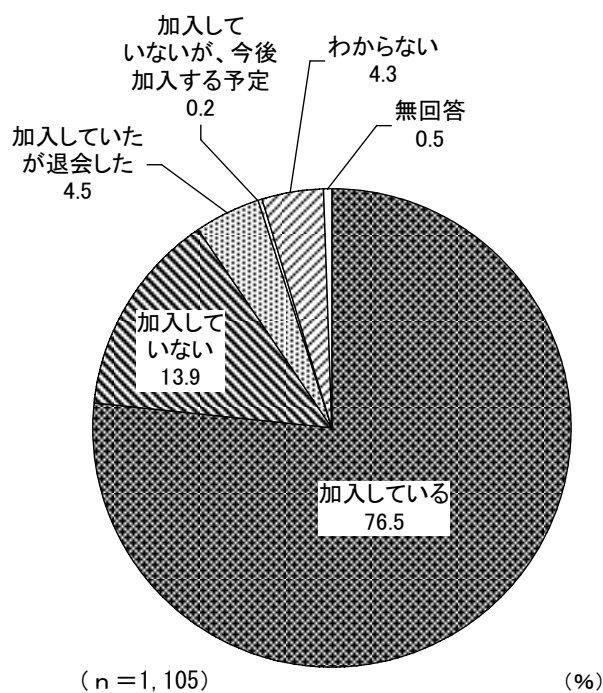


(12) 区・自治会への加入

◇「加入している」が8割近く

問7 あなたの家庭（世帯）では、区・自治会に加入していますか。次の中から1つ選んでください。

図1-12-1



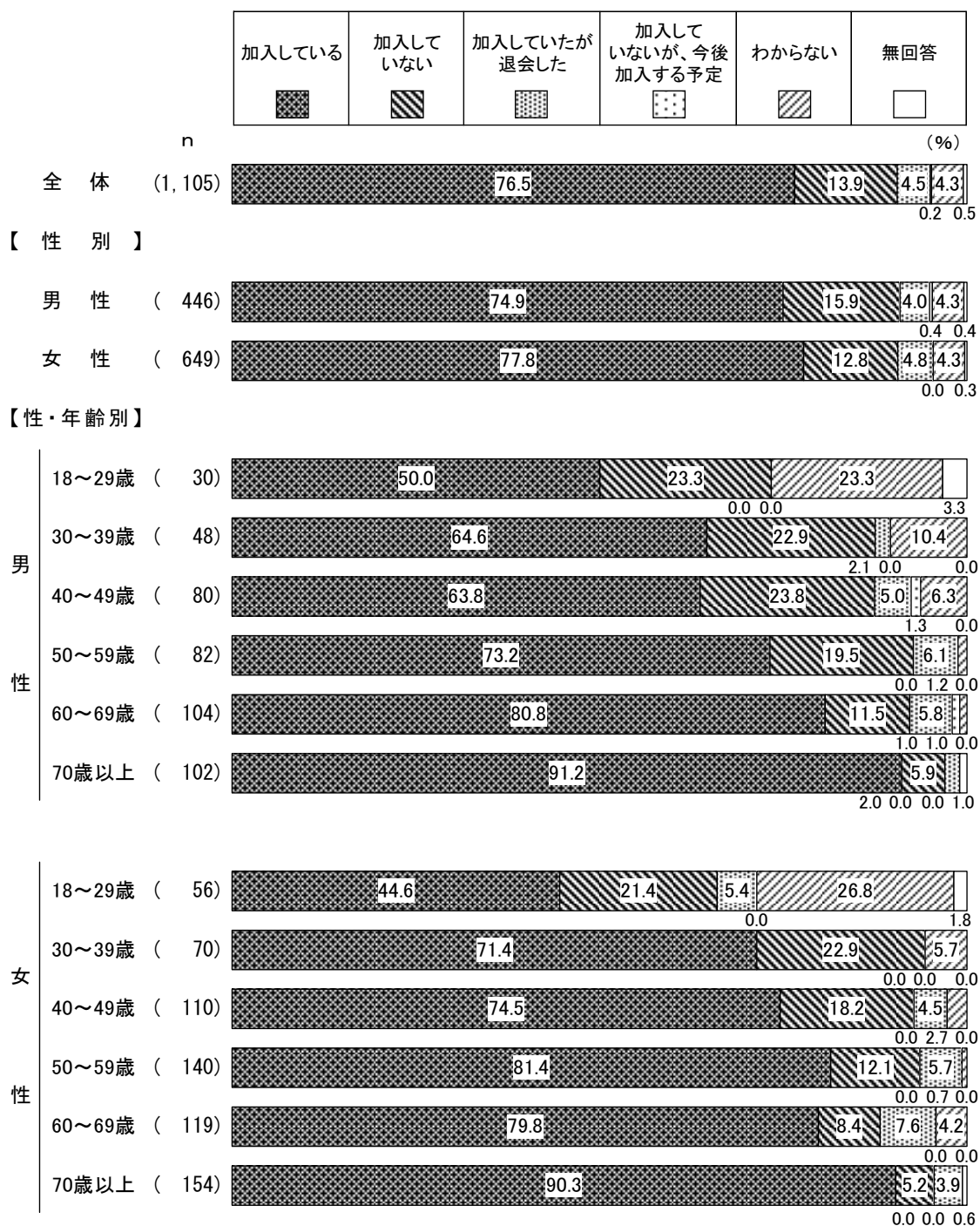
区・自治会への加入について聞いたところ、「加入している」（76.5％）が8割近くで高くなっている。「加入していない」（13.9％）は1割を超えており、「加入していたが退会した」（4.5％）と「加入していないが、今後加入する予定」（0.2％）はともに1割未満となっている。

（図1-12-1）

性別にみると、「加入していない」は男性（15.9%）が女性（12.8%）より3.1ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「加入している」は男女ともにおおむね年代が上がるほど割合が高く、男性70歳以上（91.2%）と女性70歳以上（90.3%）で9割台と高くなっている。（図1-12-2）

図1-12-2 区・自治会への加入（性・年齢別）

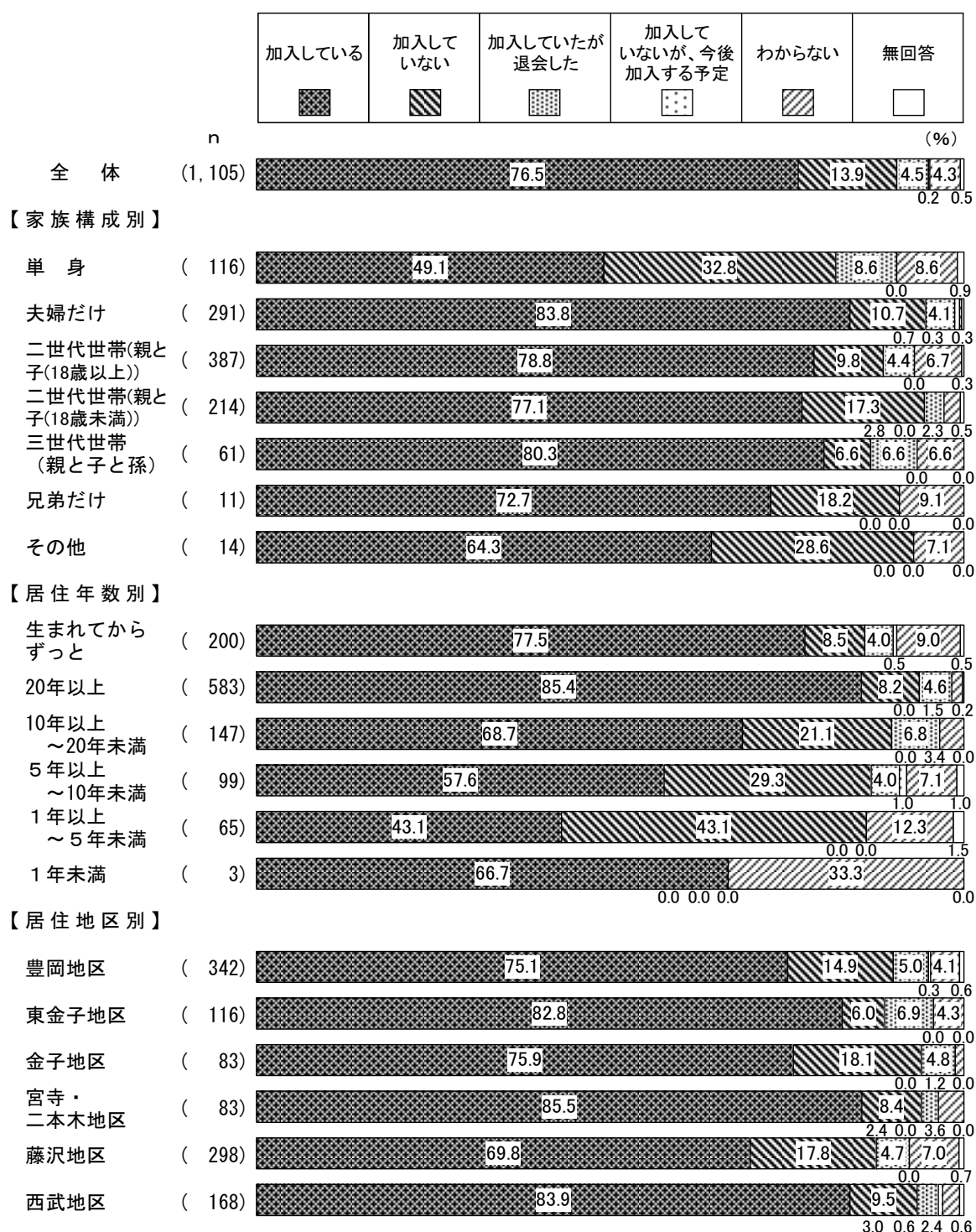


家族構成別にみると、「加入している」は“夫婦だけ”（83.8%）と“三世代世帯（親と子と孫）”（80.3%）で8割台と高くなっている。一方、「加入していない」は“単身”（32.8%）で3割を超えて高くなっている。

居住年数別にみると、「加入している」は“20年以上”（85.4%）で8割半ばと高くなっている。一方、「加入していない」は“1年以上～5年未満”（43.1%）で4割を超えて高くなっている。

居住地区別にみると、「加入している」は宮寺・二本木地区（85.5%）で8割半ばと高くなっている。（図1-12-3）

図1-12-3 区・自治会への加入（家族構成別、居住年数別、居住地区別）



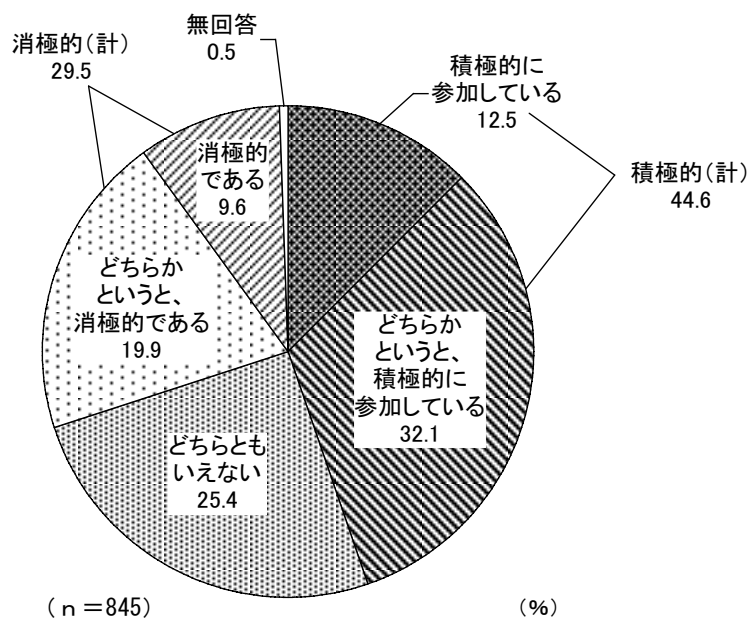
(13) 地域活動への参加

◇『積極的（計）』が4割半ば

（問7で、「加入している」と答えた方に）

問7-1 区・自治会などの地域活動にどの程度参加をしていますか。次の中から1つ選んでください。

図1-13-1

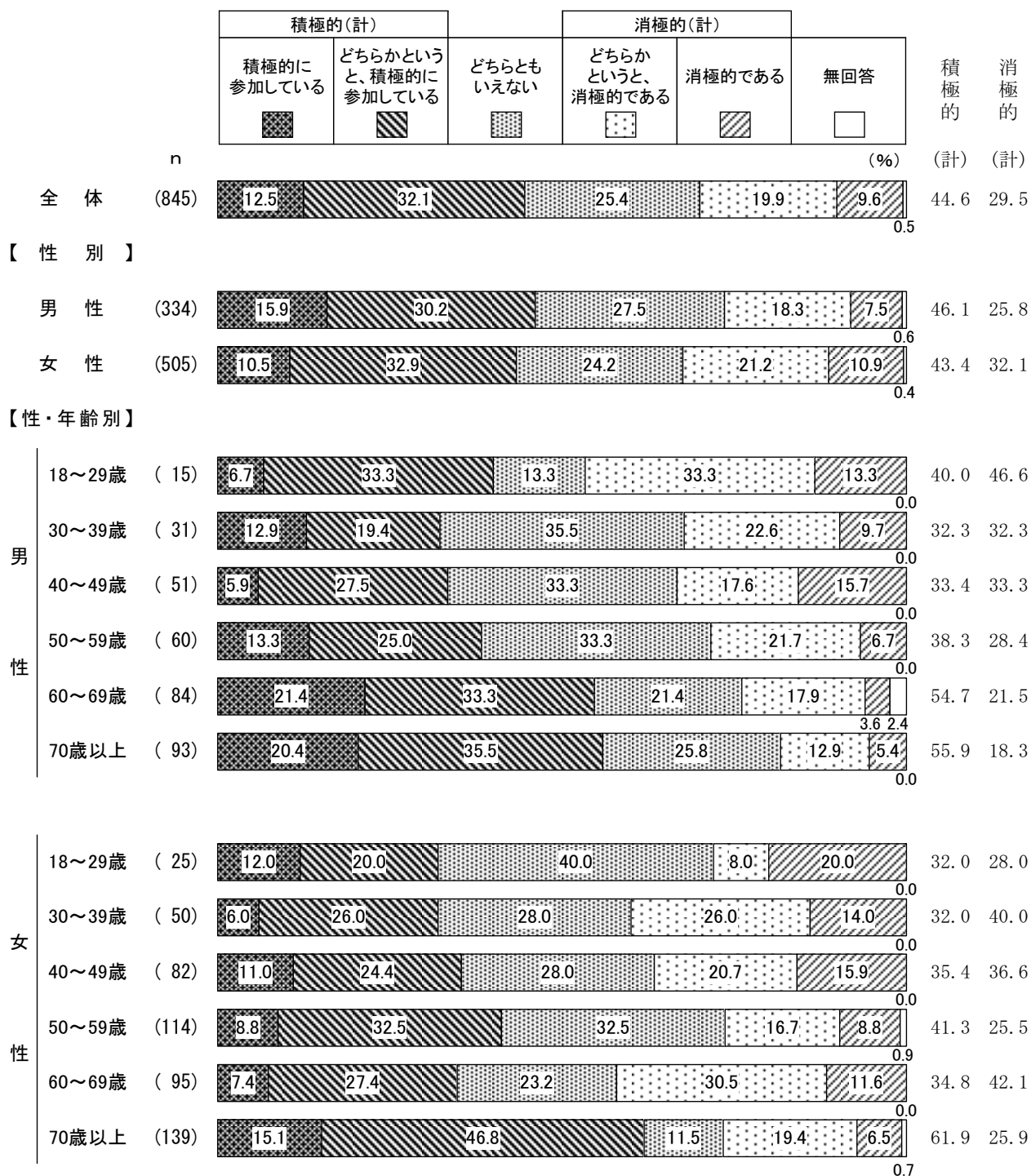


区・自治会に「加入している」と答えた人(845人)に、地域活動への参加について聞いたところ、「積極的に参加している」(12.5%)と「どちらかというと、積極的に参加している」(32.1%)を合わせた『積極的（計）』(44.6%)は4割半ばとなっている。一方、「どちらかというと、消極的である」(19.9%)と「消極的である」(9.6%)を合わせた『消極的（計）』(29.5%)は3割となっている。(図1-13-1)

性別にみると、『消極的（計）』は女性（32.1%）が男性（25.8%）より6.3ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、『積極的（計）』は女性70歳以上（61.9%）で6割を超え、男性60～69歳（54.7%）と男性70歳以上（55.9%）で5割半ばと高くなっている。一方、『消極的（計）』は男性18～29歳（46.6%）で5割近くと高くなっている。（図1-13-2）

図1-13-2 地域活動への参加（性・年齢別）

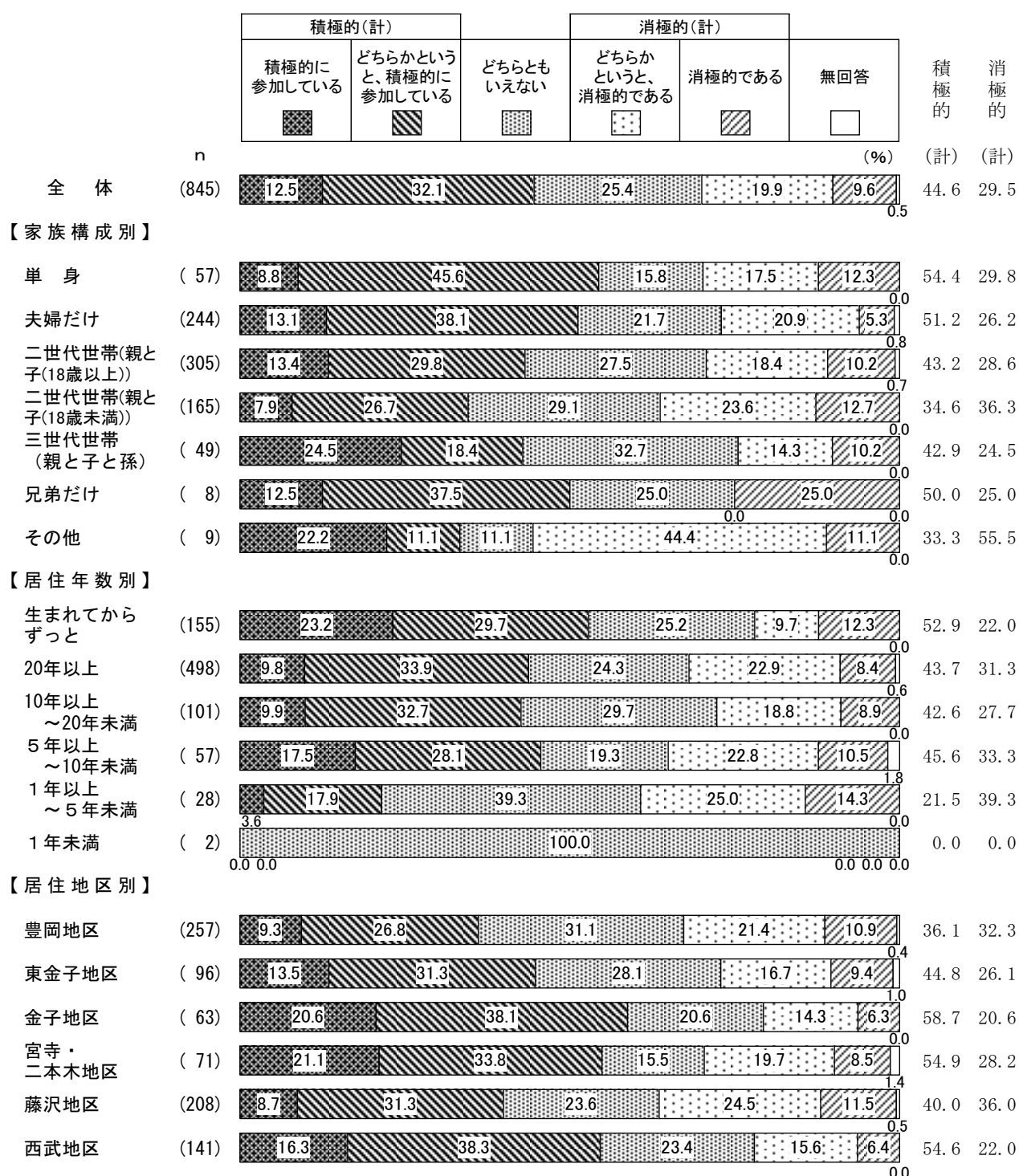


家族構成別にみると、『積極的（計）』は“単身”（54.4%）で5割半ばと高くなっている。一方、『消極的（計）』は“二世世代世帯（親と子（18歳未満））”（36.3%）で3割半ばと高くなっている。

居住年数別にみると、『積極的（計）』は“生まれてからずっと”（52.9%）で5割を超えて高くなっている。一方、『消極的（計）』は“1年以上～5年未満”（39.3%）でほぼ4割と高くなっている。

居住地区別にみると、『積極的（計）』は金子地区（58.7%）で6割近くと高くなっている。一方、『消極的（計）』は藤沢地区（36.0%）で3割半ばと高くなっている。（図1-13-3）

図1-13-3 地域活動への参加（家族構成別、居住年数別、居住地区別）



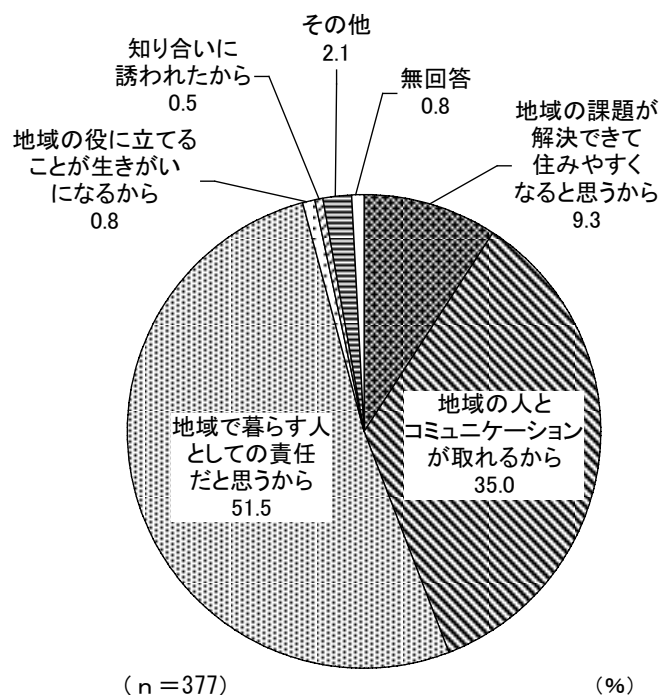
(14) 地域活動に参加する主な理由

◇「地域で暮らす人としての責任だと思うから」が5割を超える

(問7-1で、「積極的に参加している」「どちらかという、積極的に参加している」と答えた方に)

問7-2 参加する主な理由を1つ選んでください。

図1-14-1

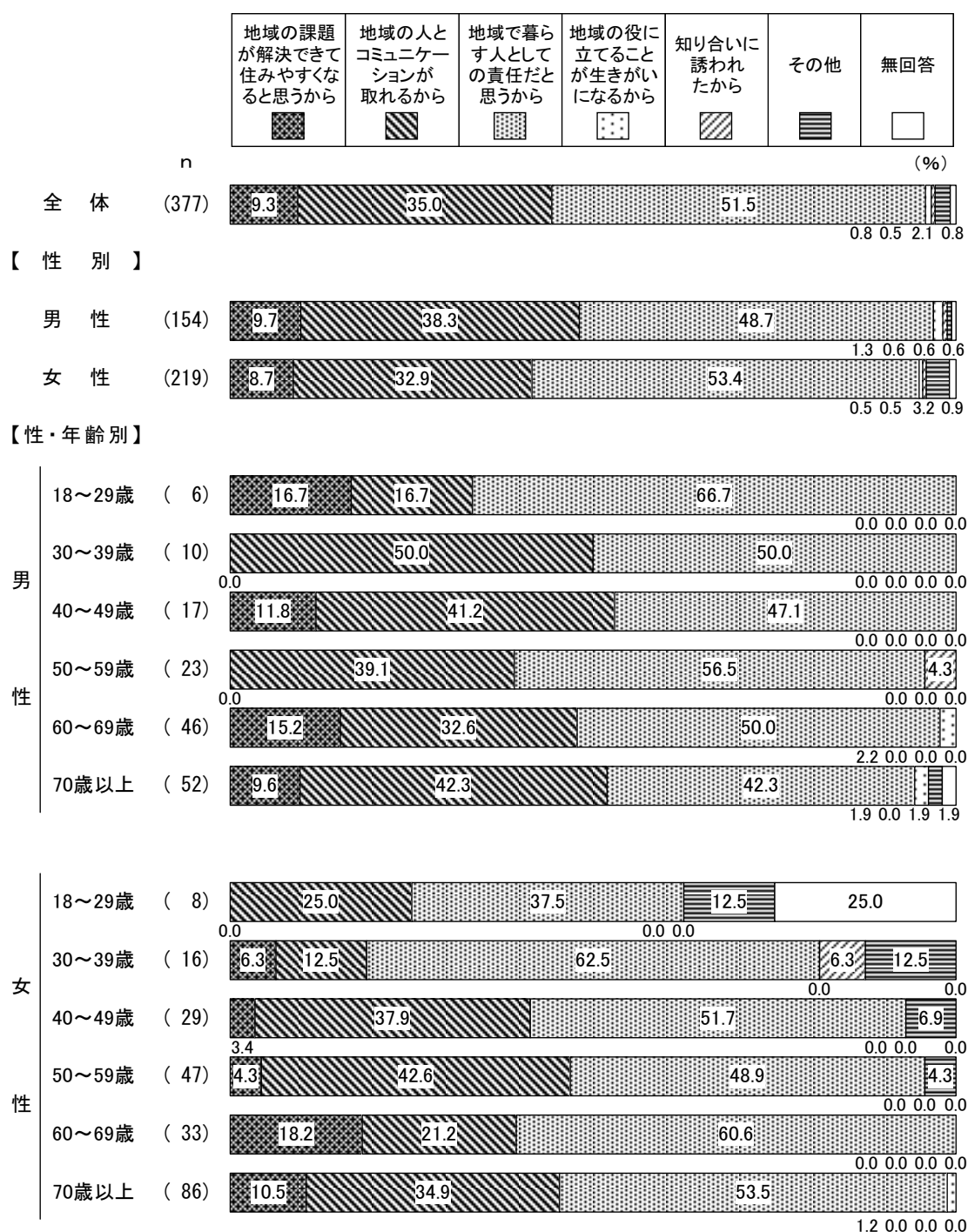


地域活動に「積極的に参加している」「どちらかという、積極的に参加している」と答えた人(377人)に、地域活動に参加する主な理由について聞いたところ、「地域で暮らす人としての責任だと思うから」(51.5%)が5割を超えて最も高く、次いで「地域の人とコミュニケーションが取れるから」(35.0%)、「地域の課題が解決できて住みやすくなると思うから」(9.3%)などの順となっている。(図1-14-1)

性別にみると、「地域の人とコミュニケーションが取れるから」は男性（38.3%）が女性（32.9%）より5.4ポイント高くなっている。一方、「地域で暮らす人としての責任だと思うから」は女性（53.4%）が男性（48.7%）より4.7ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「地域の人とコミュニケーションが取れるから」は女性50～59歳（42.6%）と男性70歳以上（42.3%）で4割を超えて高くなっている。「地域で暮らす人としての責任だと思うから」は女性60～69歳（60.6%）でほぼ6割と高くなっている。（図1-14-2）

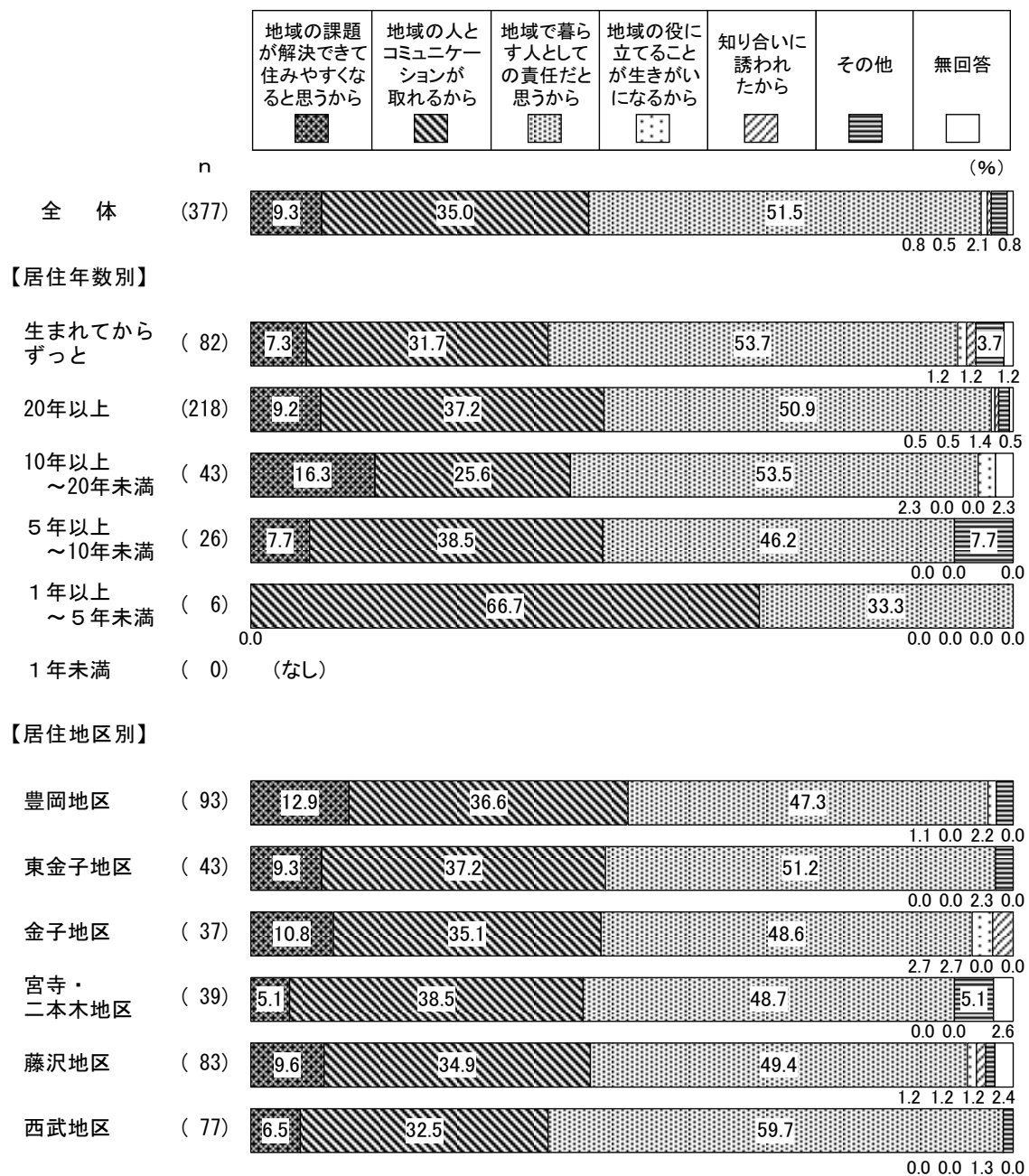
図1-14-2 地域活動に参加する主な理由（性・年齢別）



居住年数別にみると、「地域の人とコミュニケーションが取れるから」は“5年以上～10年未満”（38.5%）と“20年以上”（37.2%）で4割近くと高くなっている。「地域で暮らす人としての責任だと思うから」は“生まれてからずっと”（53.7%）と“10年以上～20年未満”（53.5%）で5割を超えて高くなっている。

居住地区別にみると、「地域で暮らす人としての責任だと思うから」は西武地区（59.7%）で6割と高くなっている。（図1-14-3）

図1-14-3 地域活動に参加する主な理由（居住年数別、居住地区別）

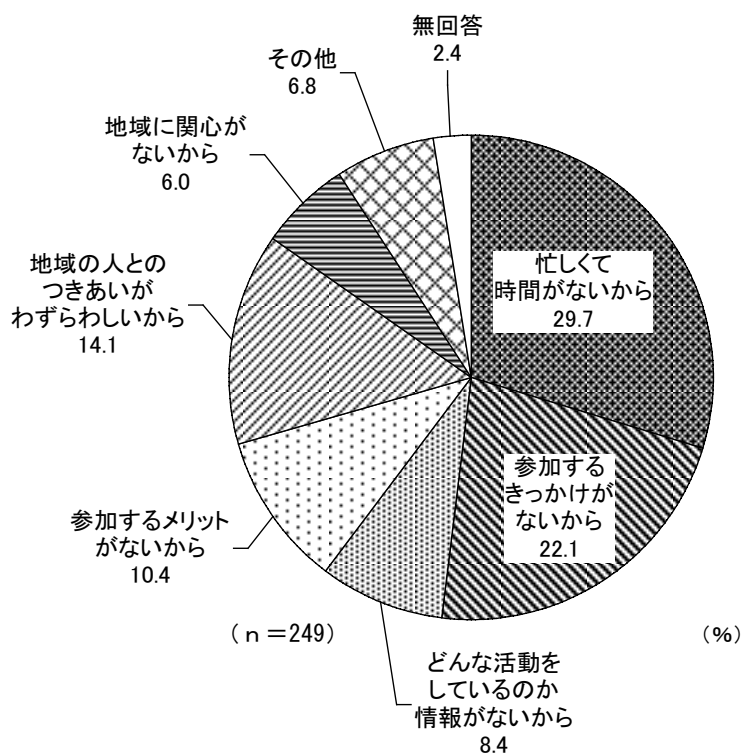


(15) 地域活動に消極的な理由

◇「忙しくて時間がないから」が3割

(問7-1で、「どちらかというと、消極的である」「消極的である」と答えた方に)
問7-3 地域活動の参加に対して消極的な理由を1つ選んでください。

図1-15-1

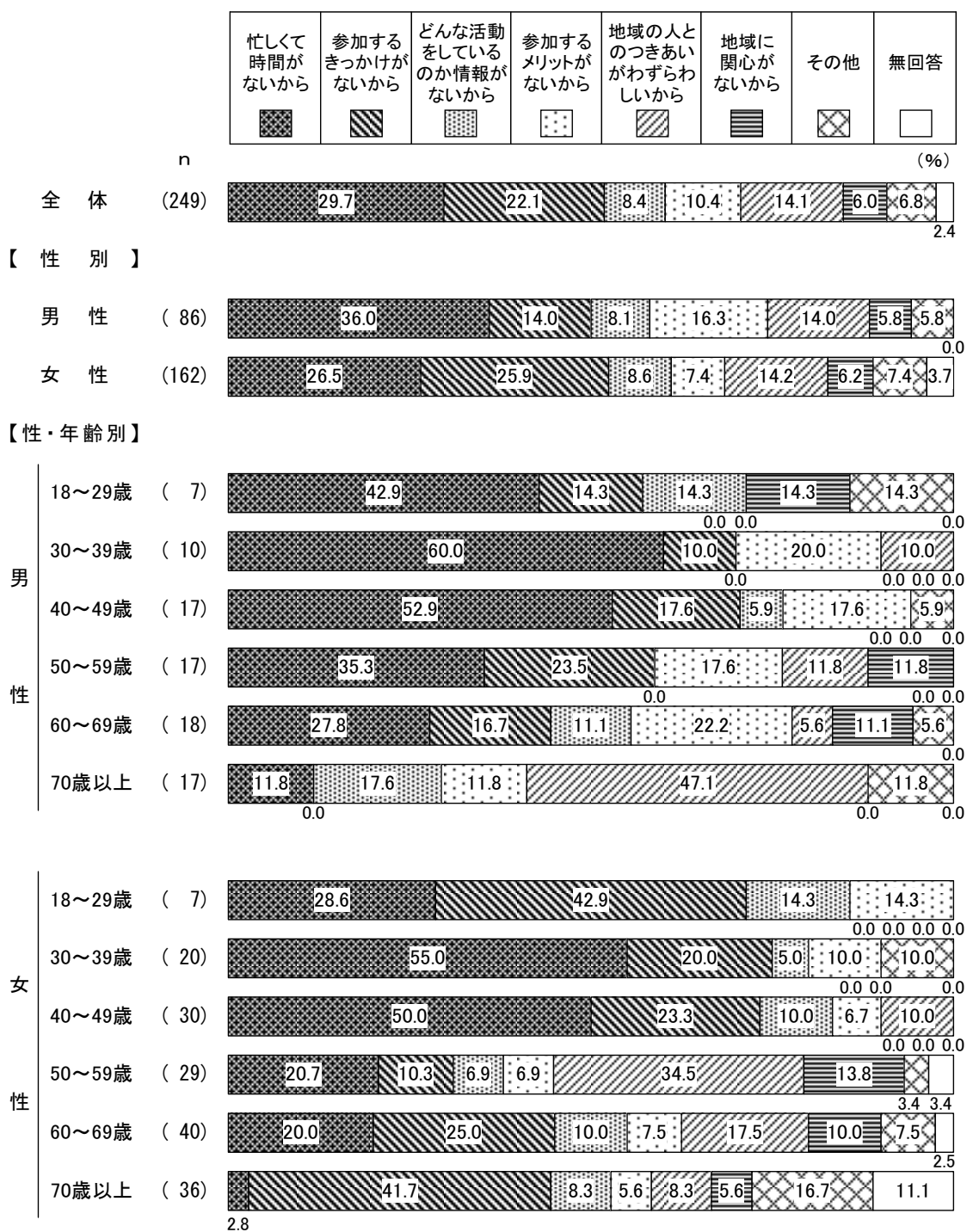


地域活動への参加に「どちらかというと、消極的である」「消極的である」と答えた人(249人)に、その理由について聞いたところ、「忙しくて時間がないから」(29.7%)が3割で最も高く、次いで「参加するきっかけがないから」(22.1%)、「地域の人とのつきあいがわずらわしいから」(14.1%)、「参加するメリットがないから」(10.4%)などの順となっている。(図1-15-1)

性別にみると、「参加するきっかけがないから」は女性（25.9%）が男性（14.0%）より11.9ポイント高くなっている。一方、「忙しくて時間がないから」は男性（36.0%）が女性（26.5%）より9.5ポイント、「参加するメリットがないから」は男性（16.3%）が女性（7.4%）より8.9ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年齢別にみると、「参加するきっかけがないから」は女性70歳以上（41.7%）で4割を超えて高くなっている。（図1-15-2）

図1-15-2 地域活動に消極的な理由（性・年齢別）

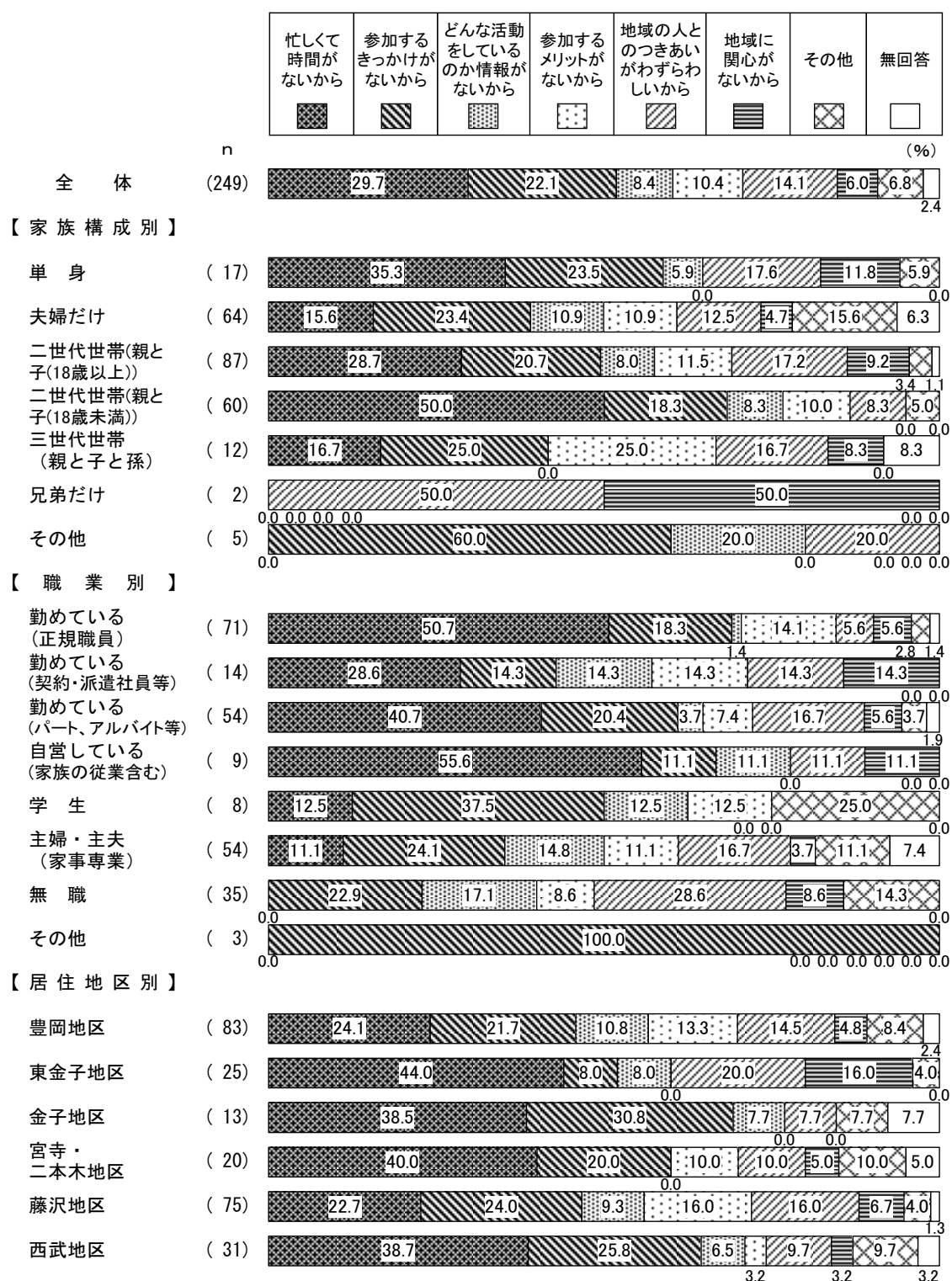


家族構成別にみると、「忙しくて時間がないから」は“二世世代世帯（親と子（18歳未満））”（50.0%）で5割と高くなっている。

職業別にみると、「忙しくて時間がないから」は“勤めている（正規職員）”（50.7%）でほぼ5割と高くなっている。「地域の人とのつきあいがわずらわしいから」は“無職”（28.6%）で3割近くと高くなっている。

居住地区別にみると、「忙しくて時間がないから」は東金子地区（44.0%）で4割半ばと高くなっている。（図1-15-3）

図1-15-3 地域活動に消極的な理由（家族構成別、職業別、居住地区別）



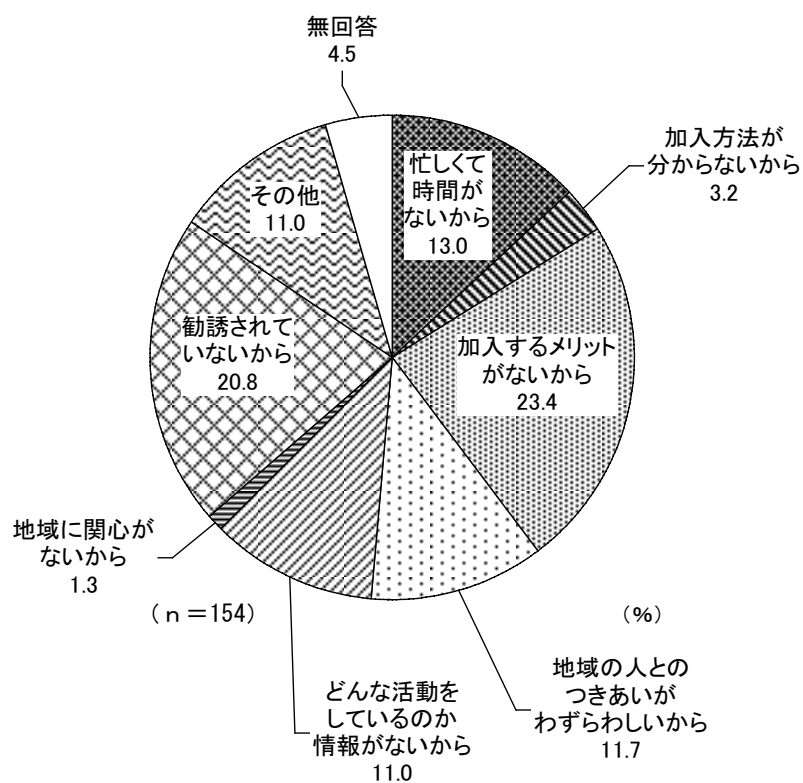
(16) 区・自治会に加入しない主な理由

◇「加入するメリットがないから」が2割を超える

(問7で、「加入していない」と答えた方に)

問7-4 加入しない主な理由を1つ選んでください。

図1-16-1



区・自治会に「加入していない」と答えた人(154人)に、その主な理由について聞いたところ、「加入するメリットがないから」(23.4%)が2割を超えて最も高く、次いで「勧誘されていないから」(20.8%)、「忙しくて時間がないから」(13.0%)、「地域の人とのつきあいがわずらわしいから」(11.7%)などの順となっている。(図1-16-1)

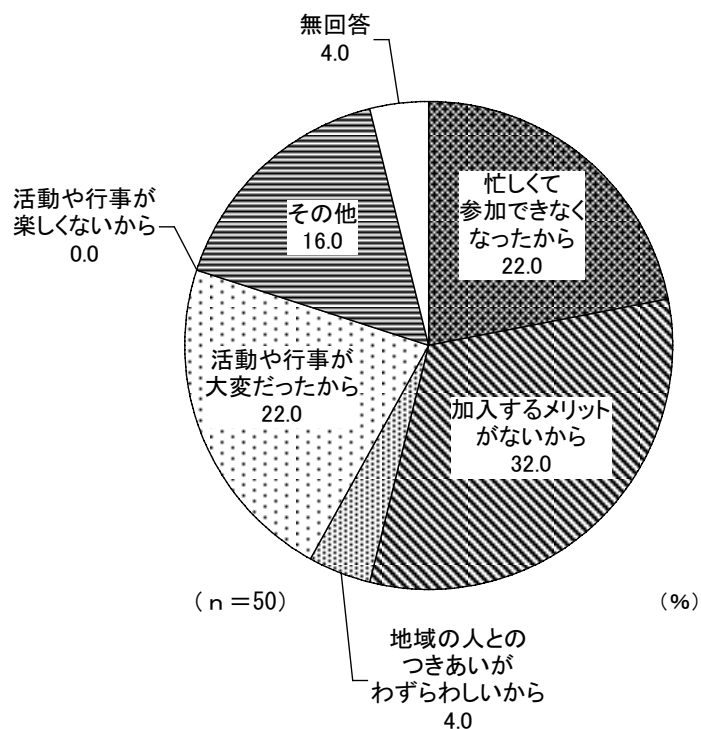
(17) 区・自治会を退会した主な理由

◇「加入するメリットがないから」が3割を超える

(問7で、「加入していたが退会した」と答えた方に)

問7-5 退会された主な理由を1つ選んでください。

図1-17-1



区・自治会に「加入していたが退会した」と答えた人(50人)に、その主な理由について聞いたところ、「加入するメリットがないから」(32.0%)が3割を超えて最も高く、次いで「忙しくて参加できなくなったから」と「活動や行事が大変だったから」(ともに22.0%)などの順となっている。(図1-17-1)

2. 生活環境について

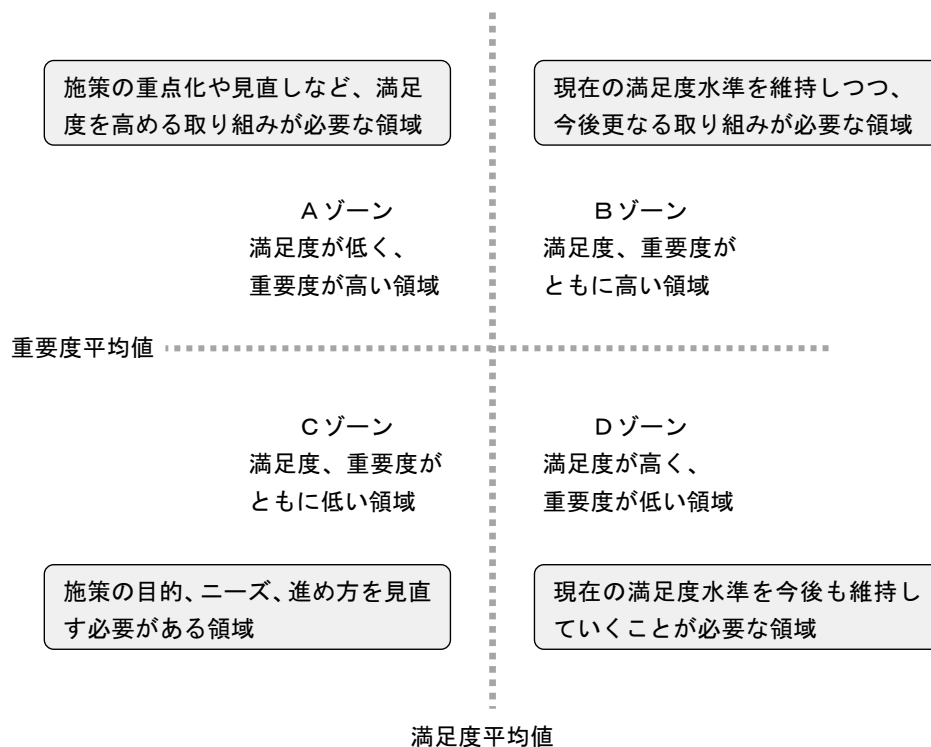
(1) 生活環境の満足度と重要度

◇「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」の重要度、満足度がともに高い

問8 あなたは、次のような生活環境項目について、どの程度満足していますか。
また、市はどの施策に取り組むことが重要だと思いますか。あなたのお気持ちに最も近いものを1つずつ選んでください。

【満足度と重要度について】

入間市の生活環境項目を満足度と重要度の観点から、下図のように4つの領域に区分することができる。



【満足度と重要度を把握する上での留意点】

- ・上記の「高い」や「低い」は満足度、重要度それぞれの平均を基準にしている。
- ・各施策は、加重平均値に基づき上記のA～Dのいずれかの領域に分類されるが、満足度、重要度の平均値（特に満足度、重要度の平均値のクロスする点）に近い施策については、隣接する領域との明確な差があるとは言えないため、単純に各領域に分類することは難しい。
- ・相関図は、満足度、重要度により施策を相対的に分類し、市民の意識を把握することや施策の方向性、進め方等を検討する際の参考として活用するものであり、分析結果が施策の順位付けに直結するものではない。また、たとえ重要度が低いとされた施策であっても、法律に基づいて実施するものや、将来を見据えて実施すべきもの、市の地域特性や課題への対応、緊急性を要するものなどもあり、個別に慎重な検討を行う必要がある。

【満足度と重要度の算出方法】

各施策の満足度と重要度については、以下の方法で回答結果を整理し算出した。

①満足度と重要度の集計結果

施策ごとに満足度と重要度の集計結果を示している。満足度と重要度は以下に示す加重平均値を算出する方法で点数化した。

【満足度】

とても満足：2点、やや満足：1点、どちらともいえない：0点、やや不満：-1点、非常に不満：-2点とし、項目ごとの回答結果を（「とても満足」の件数×2点+「やや満足」の件数×1点+「どちらともいえない」の件数×0点+「やや不満」の件数×-1点+「非常に不満」の件数×-2点）÷（回答者件数 - 無回答件数）として算出。

【重要度】

とても重要：2点、やや重要：1点、どちらともいえない：0点、あまり重要ではない：-1点、重要ではない：-2点とし、項目ごとの回答結果を（「とても重要」の件数×2点+「やや重要」の件数×1点+「どちらともいえない」の件数×0点+「あまり重要ではない」の件数×-1点+「重要ではない」の件数×-2点）÷（回答者件数 - 無回答件数）として算出。

②満足度と重要度の相関図による分析

満足度と重要度それぞれの加重平均値をもとに、横軸に満足度、縦軸に重要度を設定し、42の施策を散布図上に示したものが相関図である。

生活環境の満足度と重要度（全体）

満足度と重要度がともに高い項目は、「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「休日・夜間診療体制」、「防災対策や体制」、「道路・道路網・橋整備」などとなっている。満足度と重要度がともに低い項目は「国際交流・多文化共生推進」、「コミュニティ活動への支援」、「文化施設や文化活動内容」、「博物館施設やサービス」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。

前回調査と比較すると、満足度の平均値は前回調査の0.218から0.268へ上昇している。

42項目の順位では、「市職員の対応」、「市役所の利用しやすさ」、「自然環境保全の推進」、「駐車場・自転車置き場」、「医療機関・医療体制」などの順位が上がる一方、「図書館施設やサービス」、「公民館施設や活動内容」、「博物館施設やサービス」、「文化施設や文化活動内容」、「道路・道路網・橋整備」などの順位が下がっている。（図2-1-1、表2-1-1）

図2-1-1 生活環境の満足度と重要度（全体）

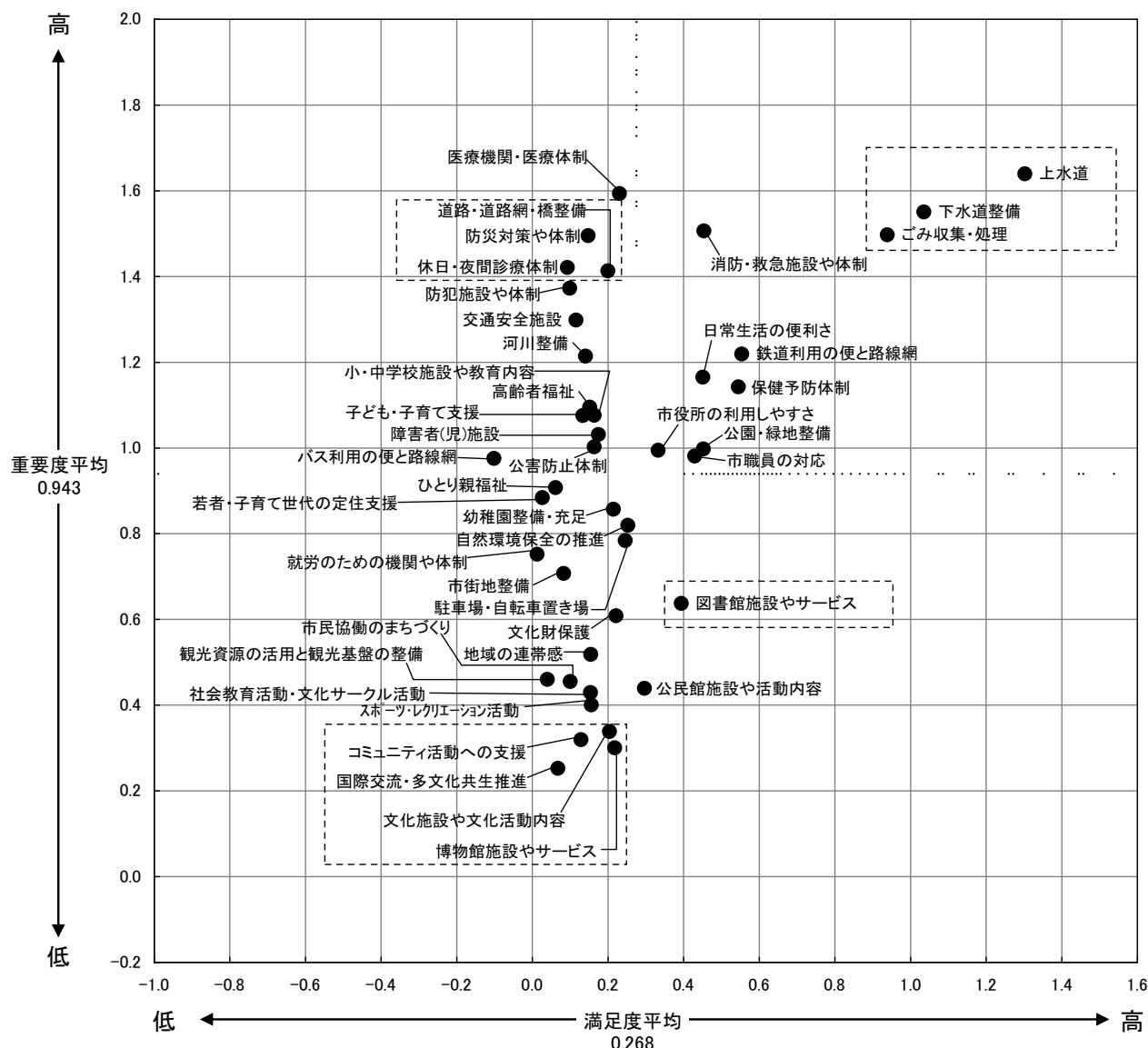


表 2-1-1 生活環境項目の満足度と重要度（全体）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	前回 満足度	満足度 前回順位	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.303	1.289	1	1.639
2	公共下水道の整備	下水道整備	1.036	0.948	2	1.550
3	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	0.939	0.882	3	1.497
4	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.554	0.523	4	1.219
5	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.545	0.513	5	1.142
6	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.454	0.463	6	1.506
7	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.453	0.440	7	0.997
8	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	0.451	0.404	8	1.165
9	市職員の対応	市職員の対応	0.430	0.334	10	0.981
10	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.394	0.376	9	0.637
11	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.333	0.287	12	0.994
12	公民館の施設や活動内容	公民館施設や活動内容	0.297	0.291	11	0.439
13	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.253	0.234	14	0.819
14	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.246	0.125	24	0.784
15	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.231	0.158	19	1.593
16	文化財などの保護	文化財保護	0.222	0.178	17	0.608
17	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.218	0.197	15	0.300
18	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.215	0.144	22	0.857
19	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.204	0.243	13	0.338
20	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.200	0.182	16	1.413
21	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.175	0.123	25	1.031
22	騒音・受動喫煙などの公害防止体制	公害防止体制	0.164	-	-	1.002
23	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.164	0.111	26	1.076
24	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.156	0.096	28	0.400
25	地域の連帯感	地域の連帯感	0.155	0.146	20	0.518
26	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.154	0.135	23	0.429
27	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.152	0.046	34	1.095
28	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.148	0.073	32	1.495
29	河川の整備	河川整備	0.141	0.108	27	1.214
30	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.134	0.046	35	1.075
31	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.129	0.145	21	0.319
32	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.116	0.089	30	1.298
33	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.101	0.081	31	0.455
34	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.099	-0.026	41	1.372
35	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.093	0.090	29	1.421
36	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.083	0.036	36	0.707
37	国際交流・多文化共生の推進	国際交流・多文化共生推進	0.068	0.025	37	0.252
38	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.062	0.015	38	0.907
39	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.040	-0.033	42	0.460
40	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	0.027	-0.002	40	0.884
41	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	0.013	-0.033	43	0.752
42	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.101	-0.158	44	0.975
平 均			0.268	0.218	-	0.943

※「文化施設や文化活動内容」は、前回調査では「市民会館などの文化施設や文化活動内容」としていた。

※「騒音・受動喫煙などの公害防止体制」は、前回調査では「騒音などの公害防止体制（0.169、18位）」と「受動喫煙の防止体制（0.069、33位）」としていた。

※「国際交流・多文化共生の推進」は、前回調査では「国際交流の推進」としていた。

生活環境の満足度と重要度（豊岡地区）

豊岡地区の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「防犯施設や体制」、「休日・夜間診療体制」、「防災対策や体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「国際交流・多文化共生推進」、「コミュニティ活動への支援」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。（図2-1-2、表2-1-2）

図2-1-2 生活環境の満足度と重要度（豊岡地区）

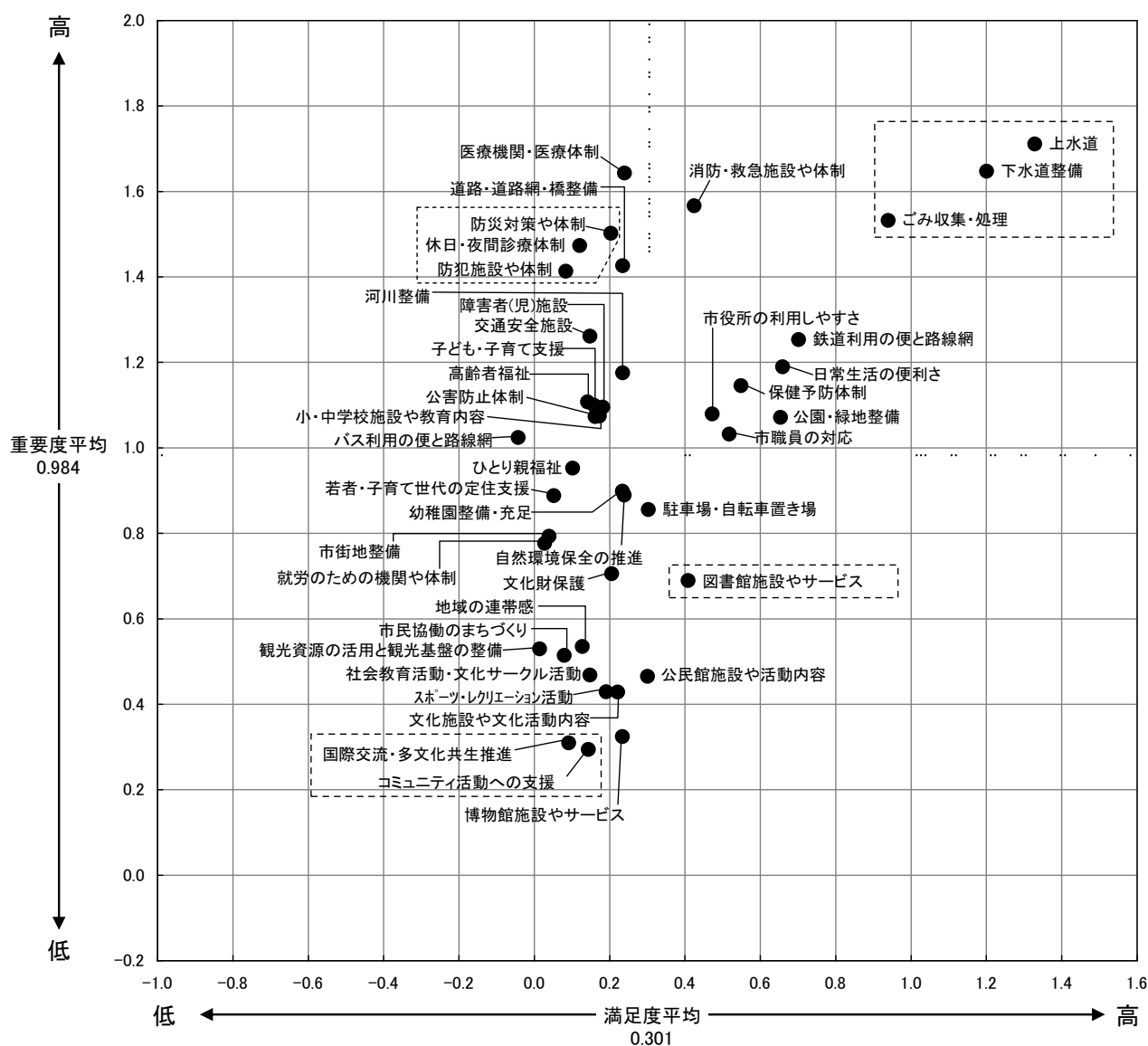


表 2-1-2 生活環境項目の満足度と重要度（豊岡地区）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.329	1.711
2	公共下水道の整備	下水道整備	1.201	1.647
3	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	0.940	1.532
4	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.702	1.253
5	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	0.660	1.189
6	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.654	1.071
7	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.549	1.145
8	市職員の対応	市職員の対応	0.518	1.032
9	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.473	1.079
10	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.425	1.566
11	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.409	0.689
12	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.303	0.855
13	公民館の施設や活動内容	公民館施設や活動内容	0.301	0.465
14	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.240	1.643
15	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.239	0.889
16	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.235	1.426
17	河川の整備	河川整備	0.235	1.175
18	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.234	0.898
19	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.234	0.324
20	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.222	0.428
21	文化財などの保護	文化財保護	0.206	0.705
22	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.204	1.502
23	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.191	0.429
24	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.182	1.095
25	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.173	1.074
26	騒音・受動喫煙などの公害防止体制	公害防止体制	0.162	1.073
27	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.159	1.099
28	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.148	1.261
29	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.148	0.468
30	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.144	0.294
31	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.142	1.107
32	地域の連帯感	地域の連帯感	0.128	0.535
33	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.121	1.473
34	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.102	0.952
35	国際交流・多文化共生の推進	国際交流・多文化共生推進	0.092	0.309
36	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.084	1.413
37	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.080	0.514
38	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	0.052	0.888
39	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.040	0.793
40	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	0.028	0.776
41	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.015	0.529
42	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.042	1.024
平 均			0.301	0.984

生活環境の満足度と重要度（東金子地区）

東金子地区の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「ごみ収集・処理」、「下水道整備」など、満足度が低く重要度が高い項目は「道路・道路網・橋整備」、「交通安全施設」、「休日・夜間診療体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「国際交流・多文化共生推進」、「コミュニティ活動への支援」、「文化施設や文化活動内容」、「スポーツ・レクリエーション活動」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。

（図２－１－３、表２－１－３）

図２－１－３ 生活環境の満足度と重要度（東金子地区）

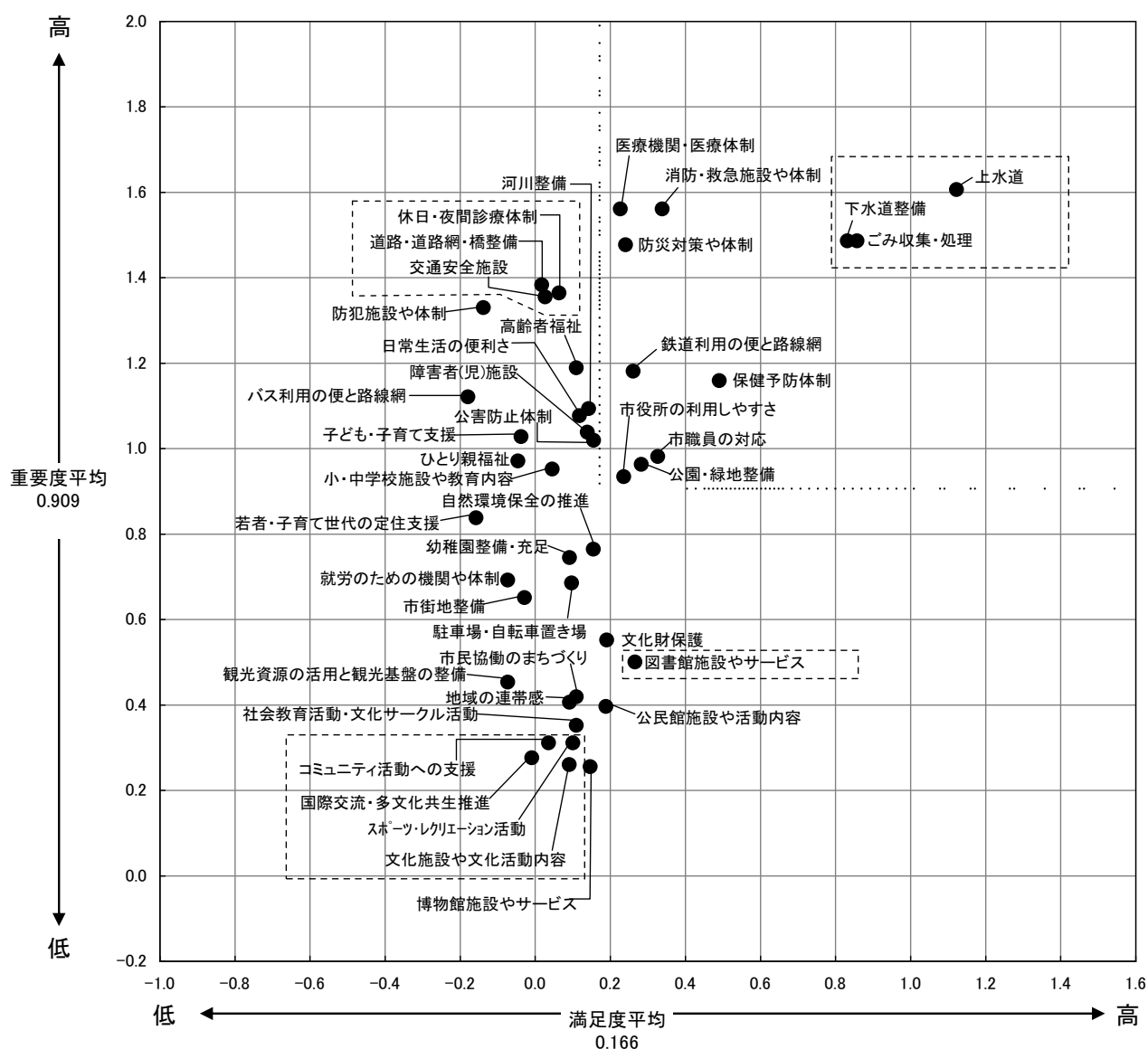


表 2-1-3 生活環境項目の満足度と重要度（東金子地区）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.123	1.606
2	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	0.858	1.486
3	公共下水道の整備	下水道整備	0.832	1.486
4	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.491	1.159
5	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.339	1.561
6	市職員の対応	市職員の対応	0.327	0.981
7	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.283	0.963
8	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.266	0.500
9	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.261	1.181
10	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.241	1.477
11	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.236	0.934
12	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.227	1.561
13	文化財などの保護	文化財保護	0.191	0.552
14	公民館の施設や活動内容	公民館施設や活動内容	0.189	0.396
15	騒音・受動喫煙などの公害防止体制	公害防止体制	0.156	1.019
16	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.155	0.764
17	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.147	0.255
18	河川の整備	河川整備	0.143	1.093
19	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.139	1.038
20	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	0.118	1.077
21	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.110	1.189
22	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.110	0.419
23	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.110	0.352
24	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.101	0.311
25	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.097	0.685
26	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.092	0.745
27	地域の連帯感	地域の連帯感	0.092	0.406
28	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.091	0.260
29	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.064	1.364
30	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.046	0.952
31	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.036	0.311
32	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.027	1.355
33	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.018	1.383
34	国際交流・多文化共生の推進	国際交流・多文化共生推進	-0.009	0.276
35	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	-0.028	0.651
36	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	-0.037	1.028
37	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	-0.046	0.971
38	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	-0.073	0.692
39	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	-0.073	0.453
40	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	-0.138	1.330
41	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	-0.157	0.838
42	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.179	1.121
平 均			0.166	0.909

生活環境の満足度と重要度（金子地区）

金子地区の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「防災対策や体制」、「医療機関・医療体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「国際交流・多文化共生推進」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」、「公民館施設や活動内容」などとなっている。

（図2-1-4、表2-1-4）

図2-1-4 生活環境の満足度と重要度（金子地区）

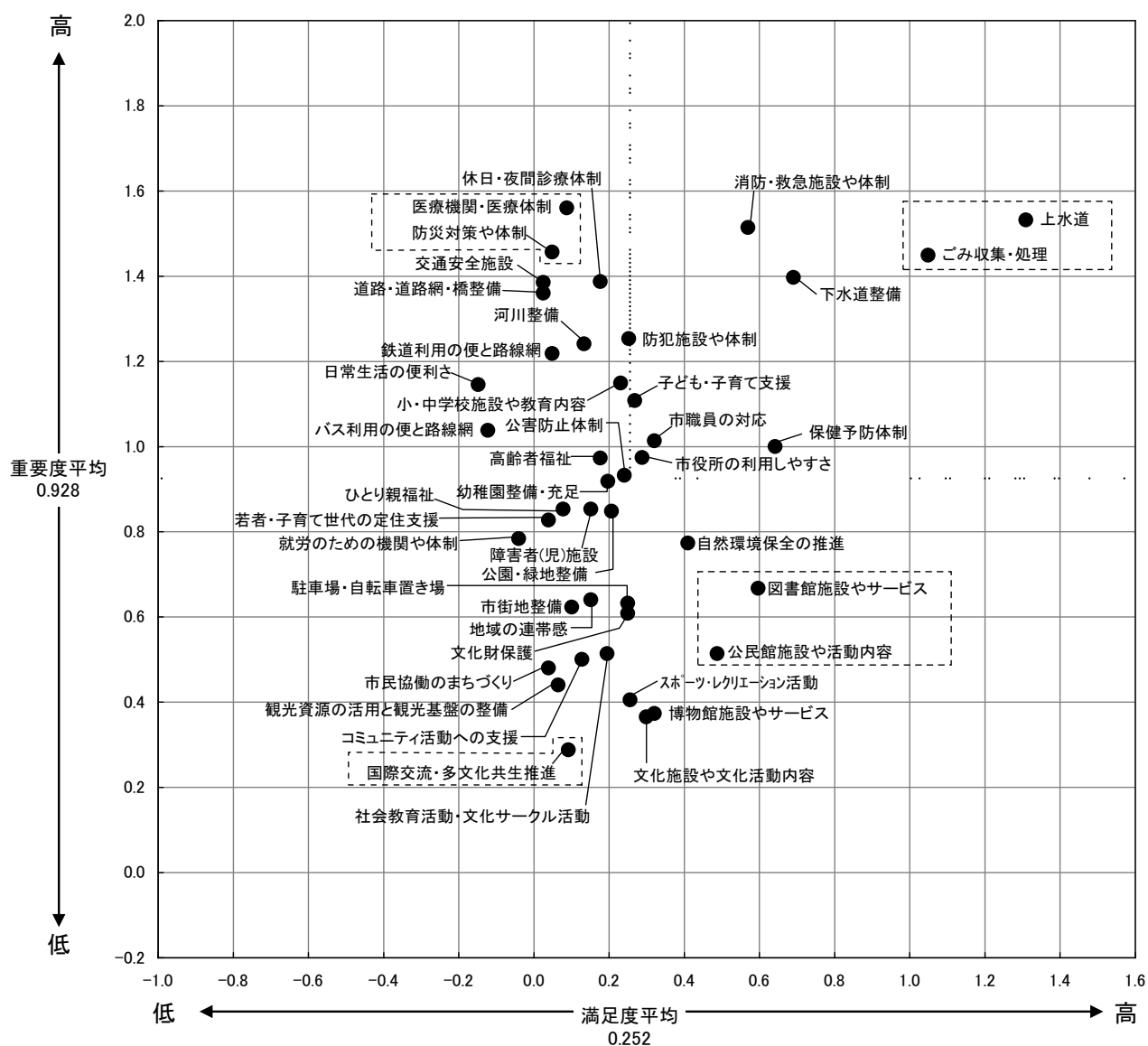


表 2-1-4 生活環境項目の満足度と重要度（金子地区）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.309	1.532
2	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	1.049	1.449
3	公共下水道の整備	下水道整備	0.691	1.397
4	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.642	1.000
5	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.597	0.667
6	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.570	1.514
7	公民館の施設や活動内容	公民館施設や活動内容	0.488	0.514
8	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.410	0.773
9	市職員の対応	市職員の対応	0.321	1.013
10	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.321	0.373
11	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.299	0.365
12	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.288	0.974
13	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.269	1.108
14	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.256	0.405
15	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.253	1.253
16	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.250	0.632
17	文化財などの保護	文化財保護	0.250	0.608
18	騒音・受動喫煙などの公害防止体制	公害防止体制	0.241	0.932
19	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.231	1.149
20	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.207	0.848
21	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.197	0.918
22	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.195	0.514
23	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.177	1.387
24	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.177	0.973
25	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.152	0.853
26	地域の連帯感	地域の連帯感	0.152	0.640
27	河川の整備	河川整備	0.134	1.241
28	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.128	0.500
29	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.101	0.623
30	国際交流・多文化共生の推進	国際交流・多文化共生推進	0.092	0.288
31	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.088	1.560
32	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.078	0.853
33	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.065	0.440
34	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.049	1.456
35	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.049	1.218
36	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	0.039	0.827
37	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.039	0.480
38	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.025	1.385
39	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.025	1.360
40	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	-0.040	0.784
41	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.122	1.038
42	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	-0.148	1.145
平 均			0.252	0.928

生活環境の満足度と重要度（宮寺・二本木地区）

宮寺・二本木地区の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「日常生活の便利さ」、「バス利用の便と路線網」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「国際交流・多文化共生推進」など、満足度が高く重要度が低い項目は「博物館施設やサービス」などとなっている。（図2-1-5、表2-1-5）

図2-1-5 生活環境の満足度と重要度（宮寺・二本木地区）

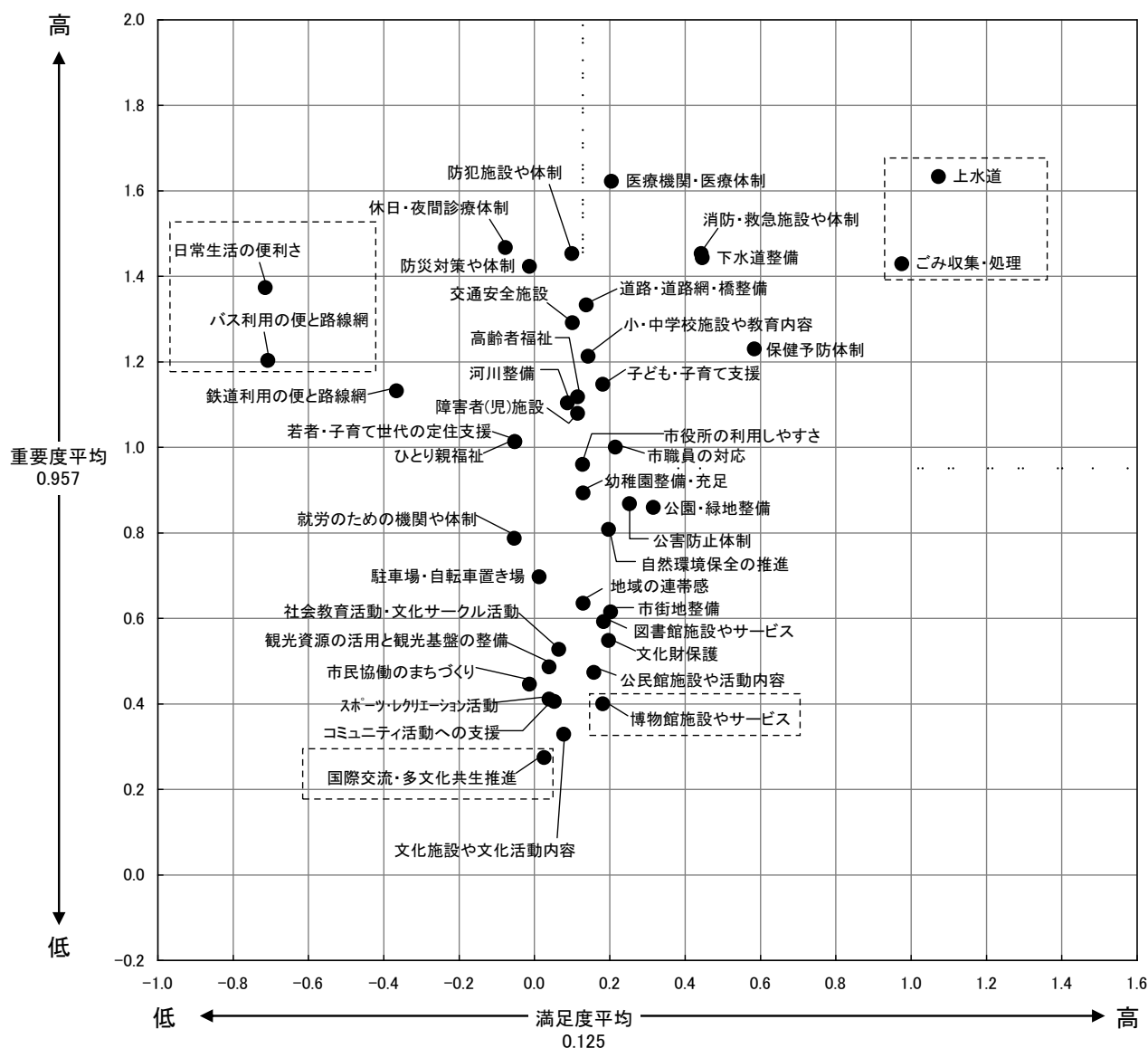


表 2-1-5 生活環境項目の満足度と重要度（宮寺・二本木地区）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.073	1.633
2	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	0.976	1.429
3	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.584	1.230
4	公共下水道の整備	下水道整備	0.446	1.443
5	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.443	1.453
6	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.316	0.859
7	騒音・受動喫煙などの公害防止体制	公害防止体制	0.253	0.868
8	市職員の対応	市職員の対応	0.215	1.000
9	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.205	1.622
10	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.203	0.615
11	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.197	0.808
12	文化財などの保護	文化財保護	0.197	0.548
13	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.184	0.592
14	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.182	1.147
15	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.182	0.400
16	公民館の施設や活動内容	公民館施設や活動内容	0.158	0.473
17	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.143	1.213
18	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.138	1.333
19	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.130	0.893
20	地域の連帯感	地域の連帯感	0.130	0.635
21	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.128	0.960
22	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.115	1.118
23	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.115	1.079
24	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.101	1.291
25	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.100	1.453
26	河川の整備	河川整備	0.088	1.104
27	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.078	0.329
28	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.065	0.527
29	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.053	0.405
30	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.039	0.486
31	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.039	0.411
32	国際交流・多文化共生の推進	国際交流・多文化共生推進	0.026	0.274
33	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.013	0.697
34	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	-0.013	1.423
35	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	-0.013	0.446
36	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	-0.052	1.013
37	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	-0.052	1.013
38	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	-0.053	0.787
39	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	-0.077	1.467
40	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	-0.366	1.132
41	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.707	1.203
42	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	-0.714	1.373
平 均			0.125	0.957

生活環境の満足度と重要度（藤沢地区）

藤沢地区の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「休日・夜間診療体制」、「防災対策や体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「国際交流・多文化共生推進」、「コミュニティ活動への支援」、「文化施設や文化活動内容」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。（図２－１－６、表２－１－６）

図２－１－６ 生活環境の満足度と重要度（藤沢地区）

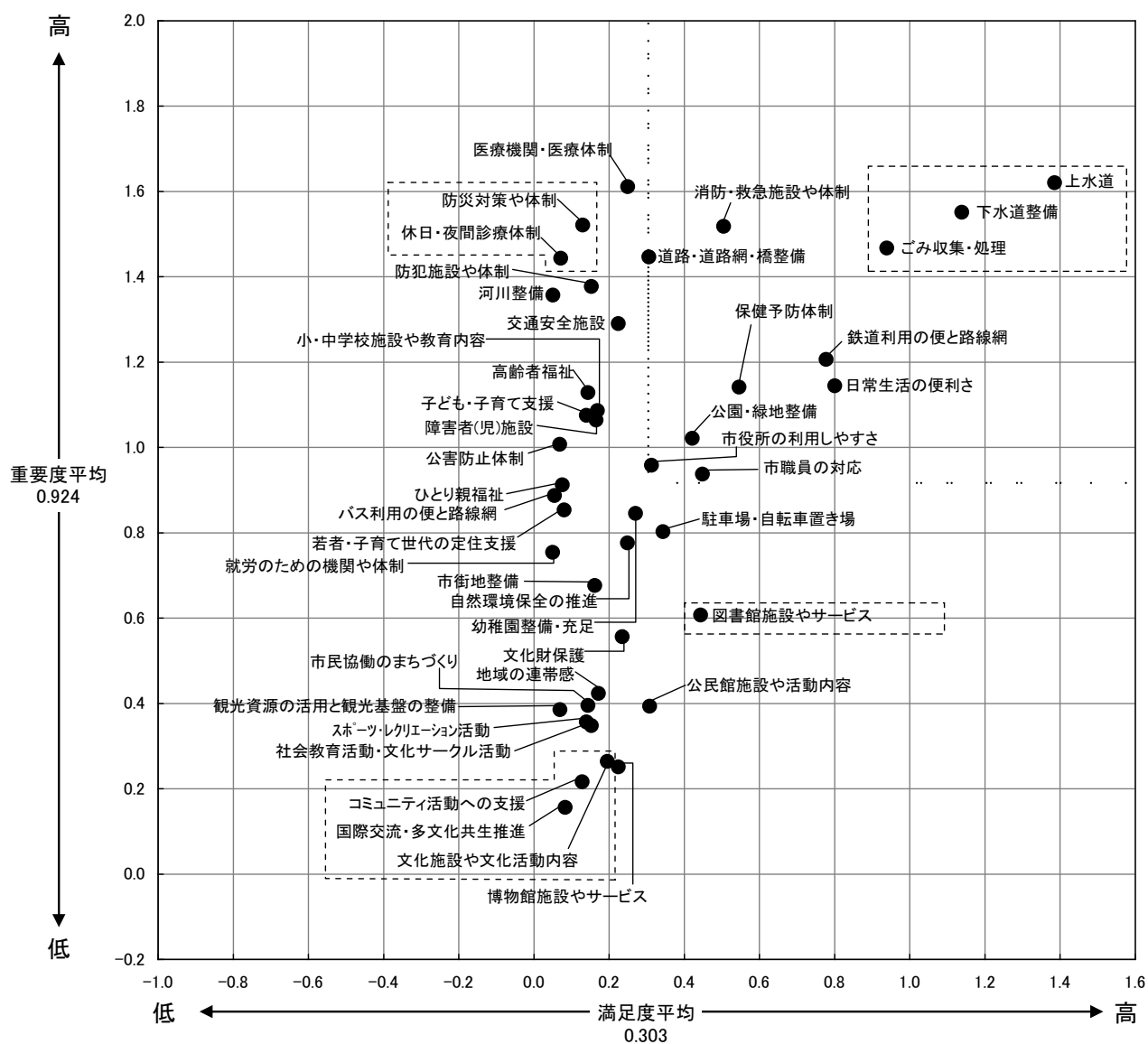


表 2-1-6 生活環境項目の満足度と重要度（藤沢地区）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.386	1.620
2	公共下水道の整備	下水道整備	1.139	1.551
3	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	0.939	1.467
4	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	0.801	1.144
5	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.778	1.206
6	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.546	1.141
7	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.505	1.518
8	市職員の対応	市職員の対応	0.449	0.937
9	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.444	0.607
10	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.422	1.021
11	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.344	0.802
12	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.313	0.958
13	公民館の施設や活動内容	公民館施設や活動内容	0.308	0.393
14	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.306	1.446
15	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.271	0.845
16	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.250	1.611
17	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.249	0.776
18	文化財などの保護	文化財保護	0.235	0.556
19	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.225	1.290
20	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.225	0.251
21	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.196	0.264
22	地域の連帯感	地域の連帯感	0.172	0.423
23	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.169	1.086
24	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.166	1.064
25	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.162	0.676
26	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.153	1.377
27	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.153	0.348
28	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.144	1.128
29	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.144	0.395
30	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.140	1.075
31	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.140	0.356
32	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.130	1.521
33	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.129	0.216
34	国際交流・多文化共生の推進	国際交流・多文化共生推進	0.084	0.156
35	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	0.081	0.853
36	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.076	0.912
37	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.072	1.443
38	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.070	0.385
39	騒音・受動喫煙などの公害防止体制	公害防止体制	0.069	1.007
40	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	0.055	0.887
41	河川の整備	河川整備	0.051	1.357
42	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	0.050	0.754
平 均			0.303	0.924

生活環境の満足度と重要度（西武地区）

西武地区の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「防災対策や体制」、「道路・道路網・橋整備」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「国際交流・多文化共生推進」、「博物館施設やサービス」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。

（図２－１－７、表２－１－７）

図２－１－７ 生活環境の満足度と重要度（西武地区）

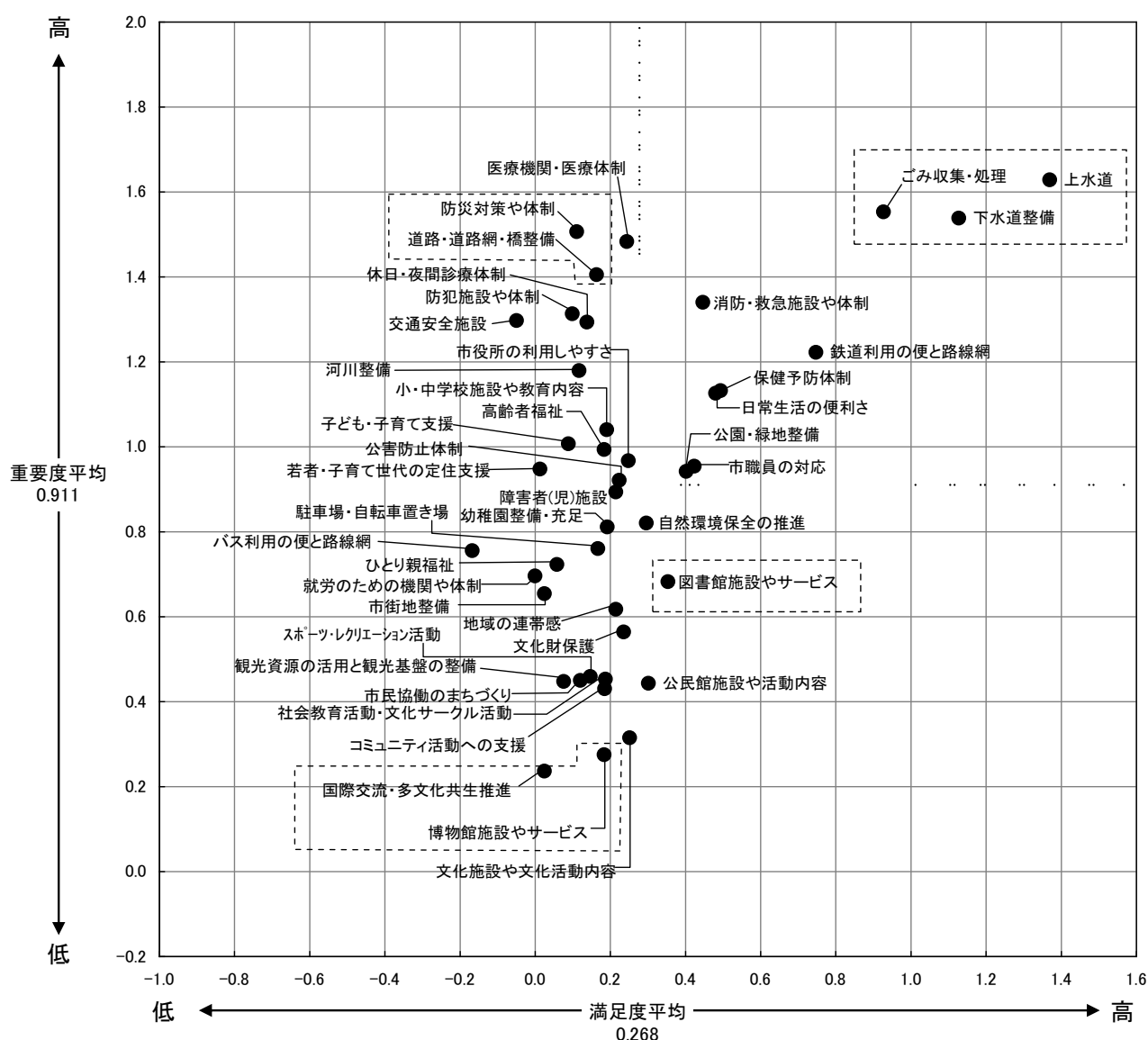


表 2-1-7 生活環境項目の満足度と重要度（西武地区）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.370	1.628
2	公共下水道の整備	下水道整備	1.128	1.538
3	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	0.927	1.553
4	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.748	1.222
5	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.494	1.132
6	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	0.481	1.126
7	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.447	1.340
8	市職員の対応	市職員の対応	0.424	0.954
9	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.402	0.942
10	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.354	0.682
11	公民館の施設や活動内容	公民館施設や活動内容	0.302	0.443
12	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.296	0.820
13	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.252	0.315
14	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.248	0.967
15	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.244	1.483
16	文化財などの保護	文化財保護	0.236	0.564
17	騒音・受動喫煙などの公害防止体制	公害防止体制	0.224	0.921
18	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.215	0.893
19	地域の連帯感	地域の連帯感	0.215	0.617
20	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.192	0.811
21	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.191	1.040
22	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.187	0.453
23	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.185	0.430
24	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.184	0.993
25	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.184	0.275
26	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.167	0.760
27	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.164	1.405
28	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.147	0.459
29	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.138	1.293
30	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.121	0.450
31	河川の整備	河川整備	0.117	1.179
32	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.111	1.506
33	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.099	1.313
34	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.089	1.007
35	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.076	0.447
36	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.058	0.723
37	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.025	0.654
38	国際交流・多文化共生の推進	国際交流・多文化共生推進	0.025	0.236
39	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	0.013	0.947
40	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	0.000	0.696
41	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	-0.049	1.297
42	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.167	0.755
平 均			0.268	0.911

生活環境の満足度と重要度（18～29歳）

18～29歳の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」など、満足度が低く重要度が高い項目は「休日・夜間診療体制」、「防犯施設や体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「国際交流・多文化共生推進」、「コミュニティ活動への支援」、「スポーツ・レクリエーション活動」、「社会教育活動・文化サークル活動」など、満足度が高く重要度が低い項目は「博物館施設やサービス」などとなっている。（図2-1-8、表2-1-8）

図2-1-8 生活環境の満足度と重要度（18～29歳）

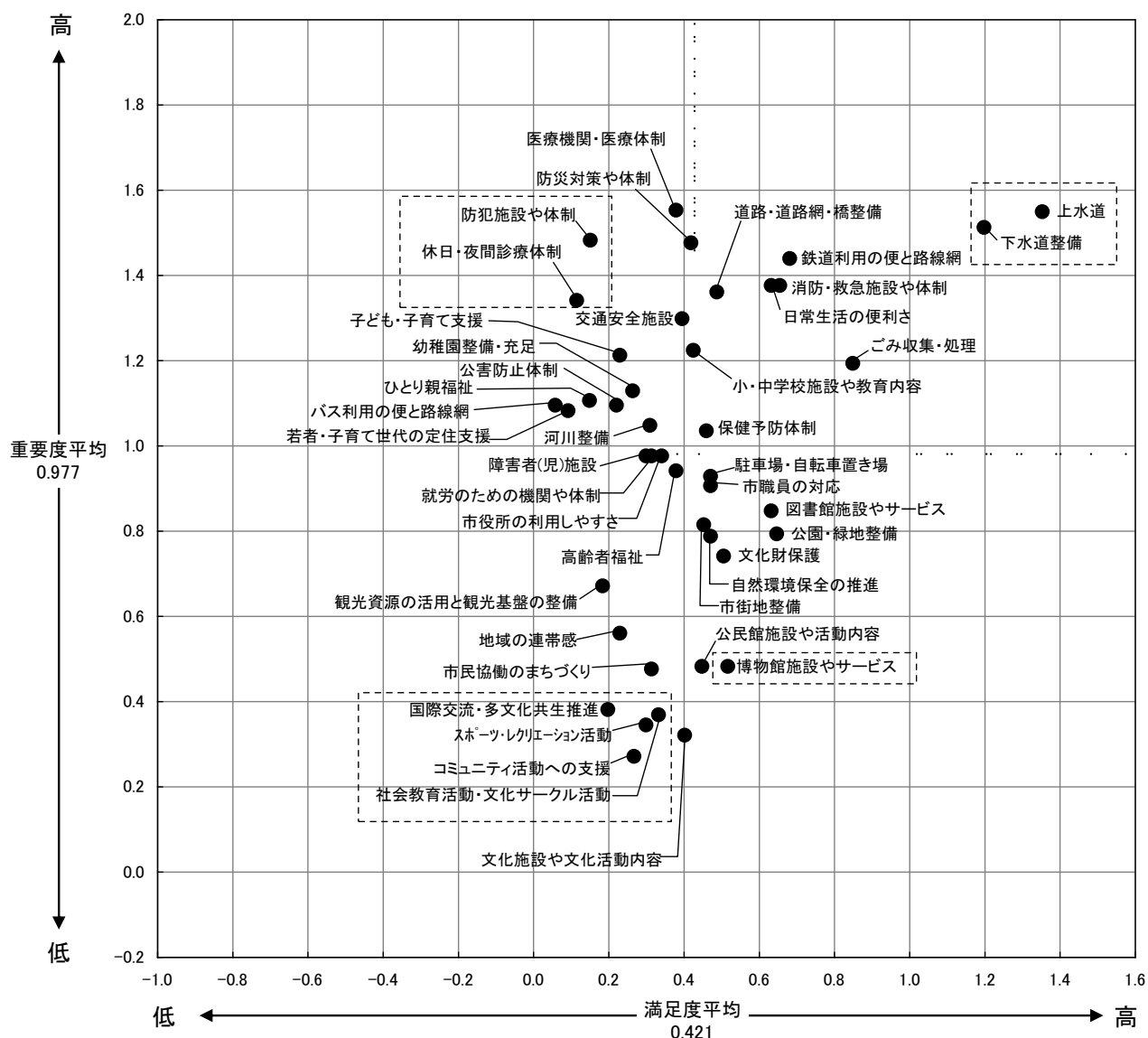


表 2-1-8 生活環境項目の満足度と重要度（18～29歳）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.353	1.549
2	公共下水道の整備	下水道整備	1.198	1.512
3	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	0.849	1.193
4	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.682	1.439
5	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.655	1.376
6	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.647	0.793
7	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	0.632	1.376
8	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.632	0.847
9	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.517	0.482
10	文化財などの保護	文化財保護	0.506	0.741
11	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.488	1.361
12	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.471	0.928
13	市職員の対応	市職員の対応	0.471	0.906
14	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.471	0.788
15	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.460	1.035
16	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.453	0.815
17	公民館の施設や活動内容	公民館施設や活動内容	0.448	0.482
18	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.425	1.224
19	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.419	1.476
20	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.402	0.321
21	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.395	1.298
22	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.379	1.553
23	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.379	0.941
24	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.341	0.976
25	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.333	0.369
26	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	0.314	0.976
27	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.314	0.476
28	河川の整備	河川整備	0.310	1.048
29	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.299	0.976
30	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.299	0.345
31	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.267	0.271
32	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.264	1.129
33	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.230	1.212
34	地域の連帯感	地域の連帯感	0.230	0.560
35	騒音・受動喫煙などの公害防止体制	公害防止体制	0.221	1.095
36	国際交流・多文化共生の推進	国際交流・多文化共生推進	0.198	0.381
37	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.184	0.671
38	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.151	1.482
39	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.149	1.106
40	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.115	1.341
41	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	0.092	1.082
42	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	0.058	1.095
平 均			0.421	0.977

生活環境の満足度と重要度（30～39歳）

30～39歳の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」など、満足度が低く重要度が高い項目は「道路・道路網・橋整備」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「国際交流・多文化共生推進」、「コミュニティ活動への支援」、「文化施設や文化活動内容」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。（図2-1-9、表2-1-9）

図2-1-9 生活環境の満足度と重要度（30～39歳）

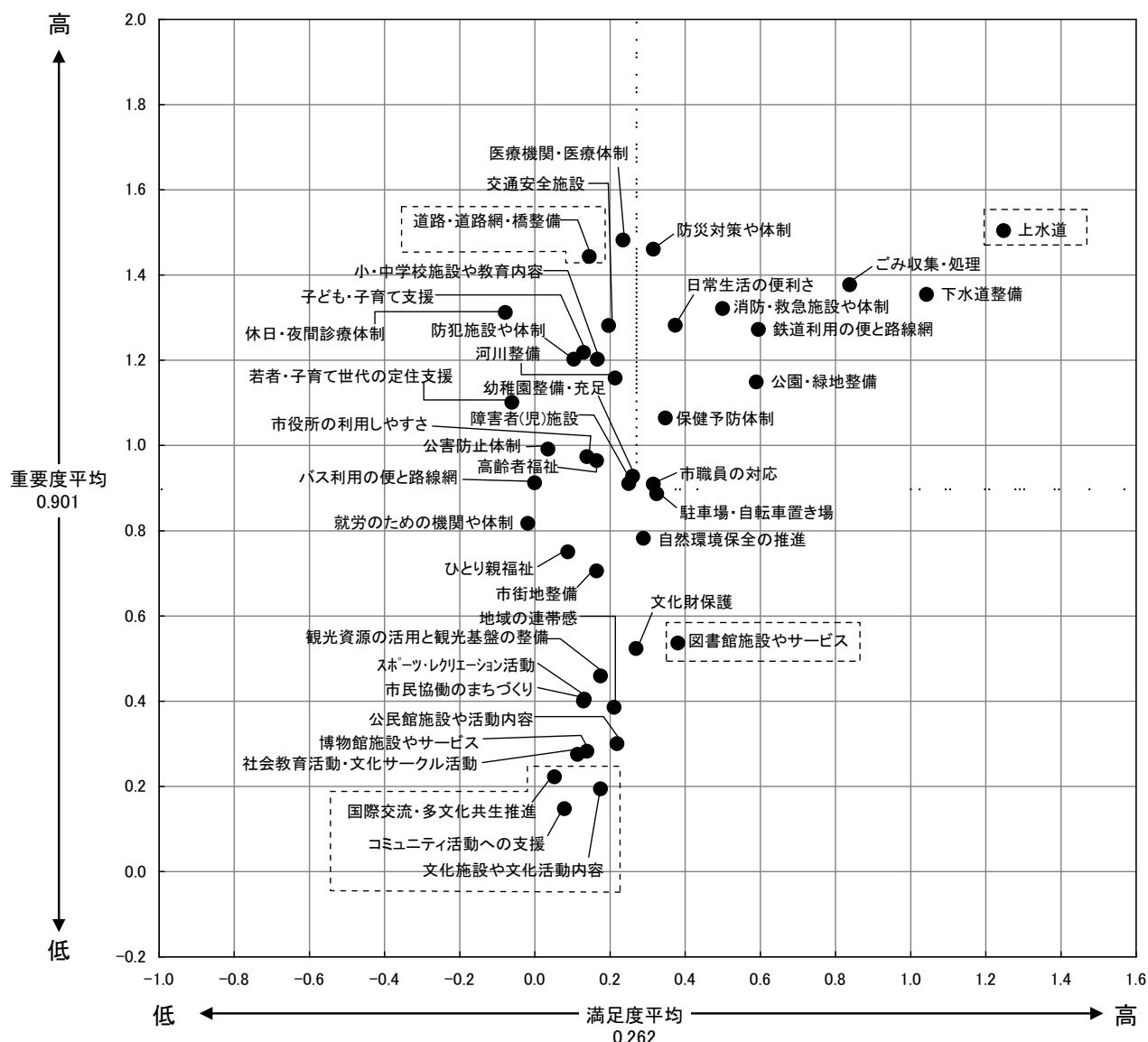


表 2 - 1 - 9 生活環境項目の満足度と重要度 (30～39歳)

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.248	1.504
2	公共下水道の整備	下水道整備	1.043	1.354
3	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	0.838	1.377
4	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.595	1.272
5	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.590	1.149
6	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.500	1.321
7	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.381	0.536
8	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	0.374	1.282
9	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.348	1.064
10	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.325	0.886
11	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.316	1.460
12	市職員の対応	市職員の対応	0.316	0.909
13	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.289	0.782
14	文化財などの保護	文化財保護	0.270	0.523
15	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.261	0.927
16	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.250	0.910
17	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.235	1.482
18	公民館の施設や活動内容	公民館施設や活動内容	0.219	0.300
19	河川の整備	河川整備	0.214	1.158
20	地域の連帯感	地域の連帯感	0.211	0.385
21	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.197	1.281
22	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.175	0.459
23	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.175	0.194
24	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.167	1.202
25	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.165	0.964
26	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.165	0.705
27	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.145	1.443
28	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.139	0.973
29	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.139	0.282
30	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.132	0.404
31	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.130	1.218
32	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.130	0.400
33	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.114	0.275
34	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.104	1.202
35	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.088	0.750
36	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.079	0.147
37	国際交流・多文化共生の推進	国際交流・多文化共生推進	0.053	0.222
38	騒音・受動喫煙などの公害防止体制	公害防止体制	0.035	0.991
39	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	0.000	0.912
40	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	-0.018	0.817
41	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	-0.061	1.101
42	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	-0.078	1.312
平 均			0.262	0.901

生活環境の満足度と重要度（40～49歳）

40～49歳の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「防犯施設や体制」、「道路・道路網・橋整備」、「休日・夜間診療体制」、「防災対策や体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「国際交流・多文化共生推進」、「コミュニティ活動への支援」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。（図2-1-10、表2-1-10）

図2-1-10 生活環境の満足度と重要度（40～49歳）

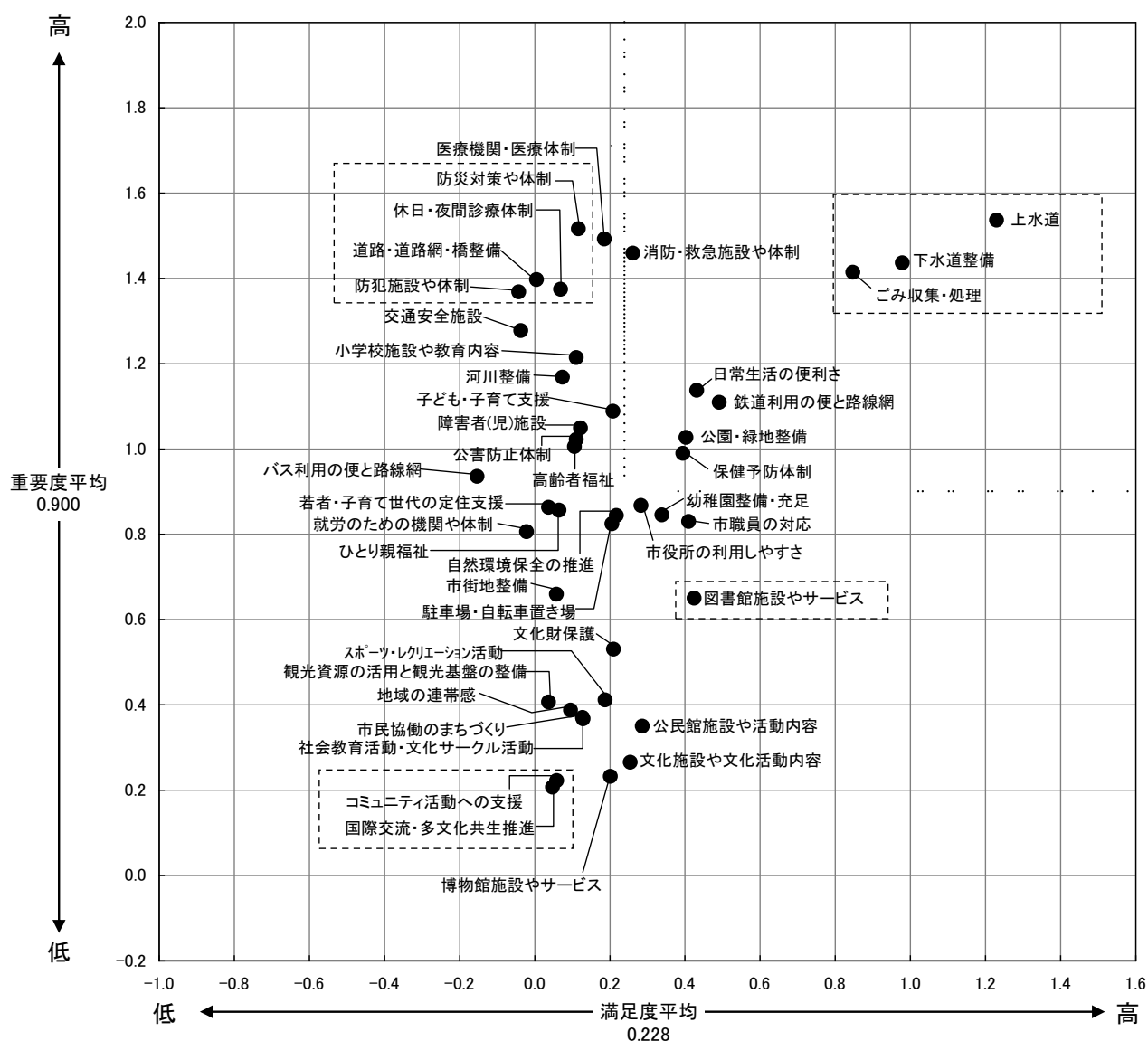


表 2-1-10 生活環境項目の満足度と重要度（40～49歳）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.230	1.536
2	公共下水道の整備	下水道整備	0.979	1.436
3	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	0.847	1.414
4	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.492	1.109
5	買い物・金融機関など日常生活の利便さ	日常生活の利便さ	0.432	1.137
6	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.425	0.650
7	市職員の対応	市職員の対応	0.410	0.830
8	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.403	1.027
9	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.395	0.989
10	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.339	0.845
11	公民館の施設や活動内容	公民館施設や活動内容	0.287	0.350
12	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.283	0.867
13	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.262	1.459
14	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.255	0.265
15	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.218	0.844
16	文化財などの保護	文化財保護	0.210	0.530
17	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.209	1.088
18	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.206	0.824
19	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.202	0.232
20	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.188	0.411
21	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.186	1.492
22	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.129	0.367
23	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.128	0.370
24	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.122	1.049
25	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.117	1.516
26	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.111	1.214
27	騒音・受動喫煙などの公害防止体制	公害防止体制	0.111	1.022
28	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.106	1.005
29	地域の連帯感	地域の連帯感	0.096	0.387
30	河川の整備	河川整備	0.074	1.168
31	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.069	1.374
32	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.065	0.856
33	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.059	0.222
34	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.058	0.659
35	国際交流・多文化共生の推進	国際交流・多文化共生推進	0.048	0.207
36	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	0.037	0.863
37	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.037	0.406
38	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.005	1.397
39	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	-0.021	0.806
40	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	-0.037	1.277
41	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	-0.042	1.368
42	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.153	0.935
平 均			0.228	0.900

生活環境の満足度と重要度（50～59歳）

50～59歳の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「防災対策や体制」、「医療機関・医療体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「国際交流・多文化共生推進」、「コミュニティ活動への支援」、「文化施設や文化活動内容」、「社会教育活動・文化サークル活動」、「スポーツ・レクリエーション活動」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。

（図2-1-11、表2-1-11）

図2-1-11 生活環境の満足度と重要度（50～59歳）

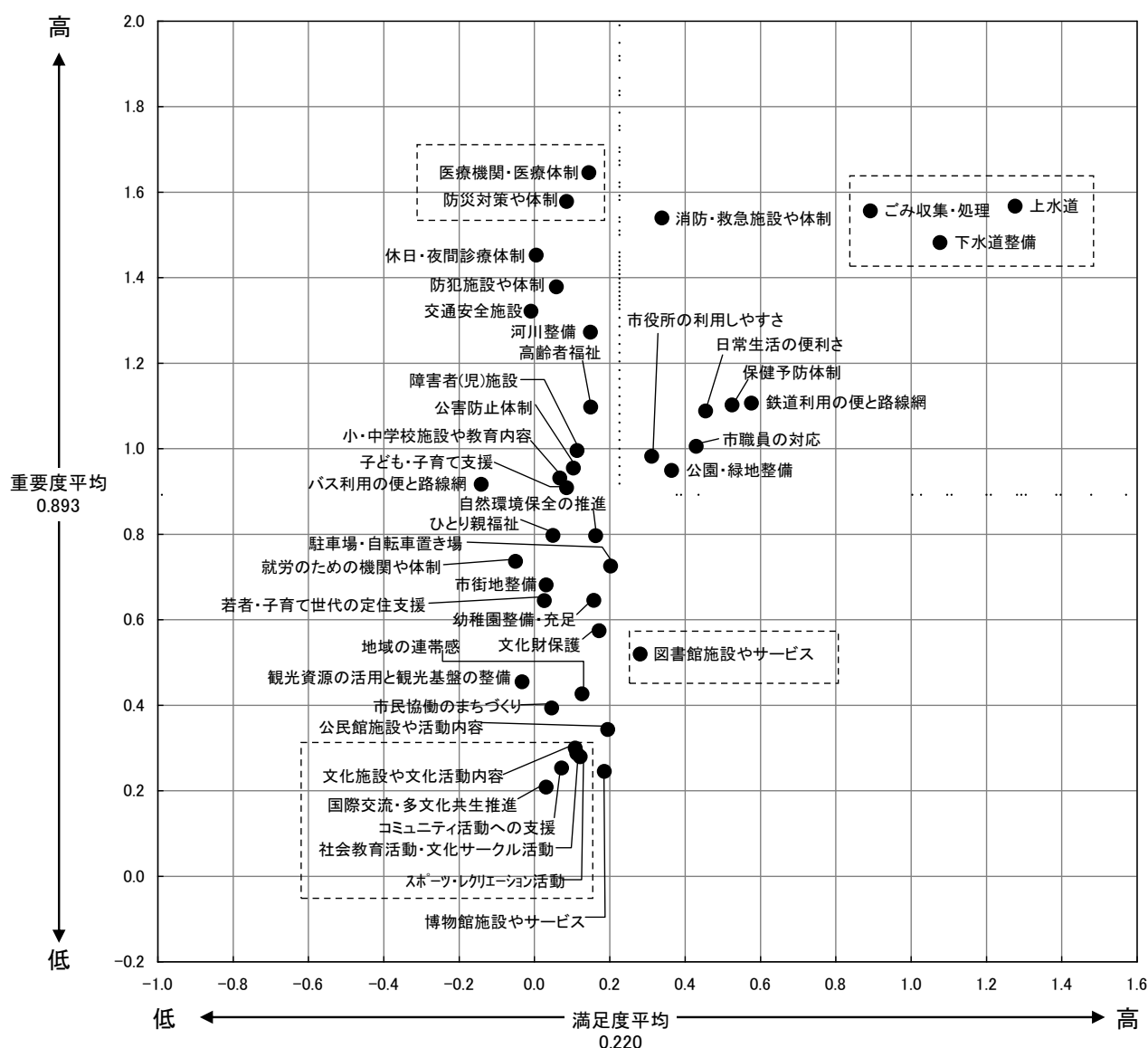


表 2-1-11 生活環境項目の満足度と重要度（50～59歳）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.277	1.567
2	公共下水道の整備	下水道整備	1.077	1.482
3	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	0.892	1.556
4	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.577	1.106
5	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.525	1.102
6	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	0.455	1.088
7	市職員の対応	市職員の対応	0.430	1.005
8	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.365	0.949
9	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.339	1.539
10	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.312	0.982
11	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.281	0.519
12	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.203	0.725
13	公民館の施設や活動内容	公民館施設や活動内容	0.195	0.343
14	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.186	0.245
15	文化財などの保護	文化財保護	0.172	0.574
16	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.167	1.390
17	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.163	0.796
18	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.158	0.645
19	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.150	1.097
20	河川の整備	河川整備	0.149	1.272
21	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.145	1.645
22	地域の連帯感	地域の連帯感	0.127	0.426
23	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.122	0.279
24	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.114	0.995
25	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.113	0.287
26	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.109	0.299
27	騒音・受動喫煙などの公害防止体制	公害防止体制	0.104	0.954
28	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.086	1.578
29	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.086	0.908
30	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.073	0.253
31	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.068	0.931
32	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.059	1.378
33	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.050	0.797
34	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.046	0.393
35	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.032	0.681
36	国際交流・多文化共生の推進	国際交流・多文化共生推進	0.032	0.208
37	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	0.027	0.644
38	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.005	1.452
39	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	-0.009	1.321
40	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	-0.032	0.454
41	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	-0.050	0.736
42	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.141	0.916
平 均			0.220	0.893

生活環境の満足度と重要度（60～69歳）

60～69歳の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「休日・夜間診療体制」、「防災対策や体制」、「医療機関・医療体制」、「道路・道路網・橋整備」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「観光資源の活用と観光基盤の整備」、「国際交流・多文化共生推進」、「博物館施設やサービス」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。

（図2-1-12、表2-1-12）

図2-1-12 生活環境の満足度と重要度（60～69歳）

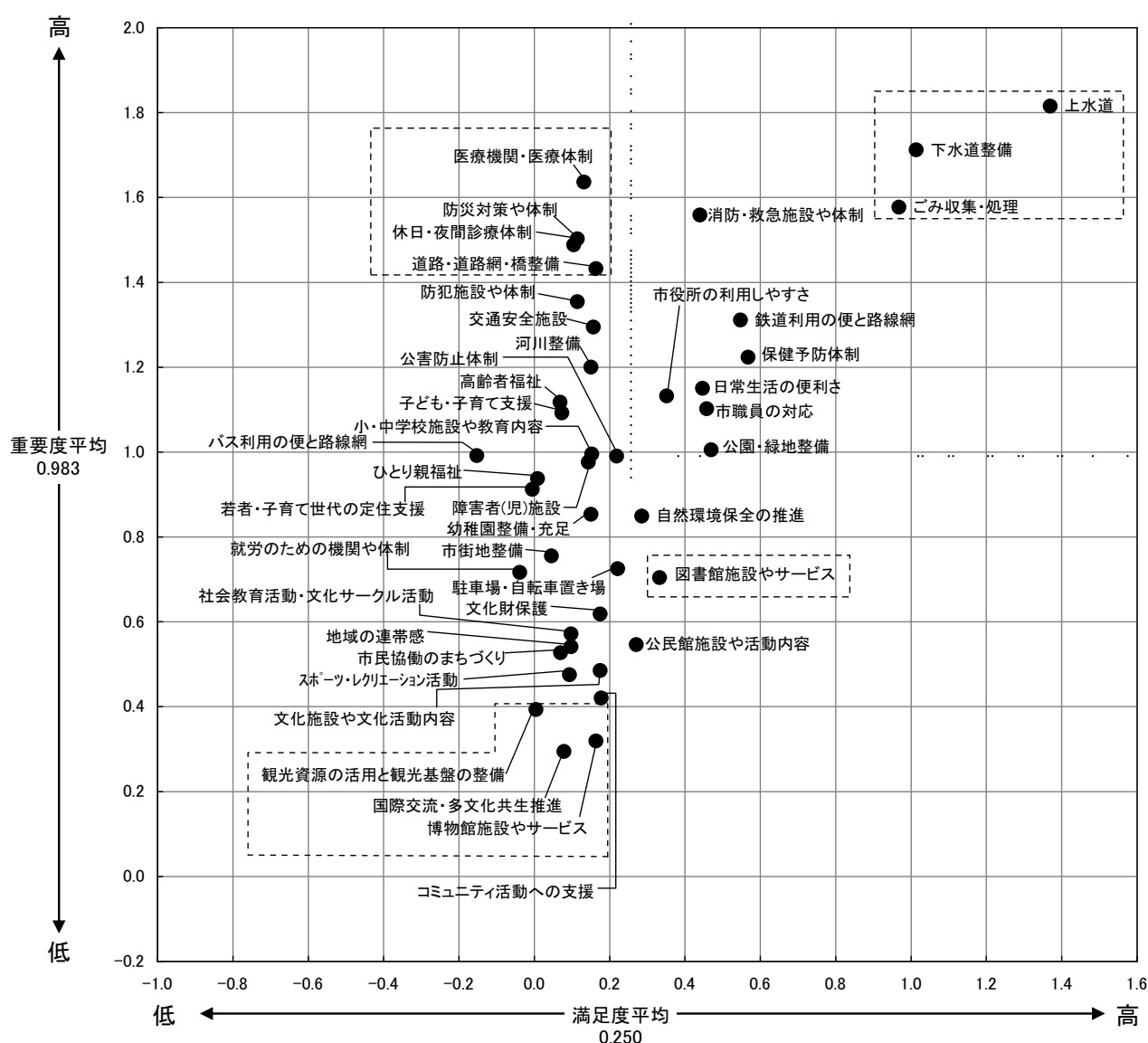


表 2-1-12 生活環境項目の満足度と重要度（60～69歳）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.370	1.815
2	公共下水道の整備	下水道整備	1.014	1.712
3	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	0.968	1.577
4	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.568	1.223
5	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.548	1.311
6	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.470	1.005
7	市職員の対応	市職員の対応	0.458	1.102
8	買い物・金融機関など日常生活の利便さ	日常生活の利便さ	0.447	1.150
9	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.440	1.558
10	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.352	1.132
11	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.333	0.704
12	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.286	0.849
13	公民館の施設や活動内容	公民館施設や活動内容	0.271	0.546
14	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.222	0.725
15	騒音・受動喫煙などの公害防止体制	公害防止体制	0.219	0.990
16	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.178	0.420
17	文化財などの保護	文化財保護	0.175	0.618
18	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.175	0.485
19	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.164	1.432
20	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.164	0.319
21	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.157	1.294
22	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.153	0.995
23	河川の整備	河川整備	0.151	1.200
24	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.151	0.853
25	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.144	0.976
26	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.132	1.636
27	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.115	1.502
28	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.115	1.354
29	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.105	1.488
30	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.098	0.571
31	地域の連帯感	地域の連帯感	0.098	0.541
32	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.094	0.475
33	国際交流・多文化共生の推進	国際交流・多文化共生推進	0.079	0.294
34	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.074	1.092
35	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.070	0.527
36	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.069	1.117
37	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.046	0.755
38	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.009	0.937
39	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.005	0.393
40	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	-0.005	0.912
41	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	-0.038	0.716
42	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.152	0.991
平 均			0.250	0.983

生活環境の満足度と重要度（70歳以上）

70歳以上の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「ごみ収集・処理」、「下水道整備」など、満足度が低く重要度が高い項目は「防災対策や体制」、「防犯施設や体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「国際交流・多文化共生推進」、「文化施設や文化活動内容」、「博物館施設やサービス」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。（図2-1-13、表2-1-13）

図2-1-13 生活環境の満足度と重要度（70歳以上）

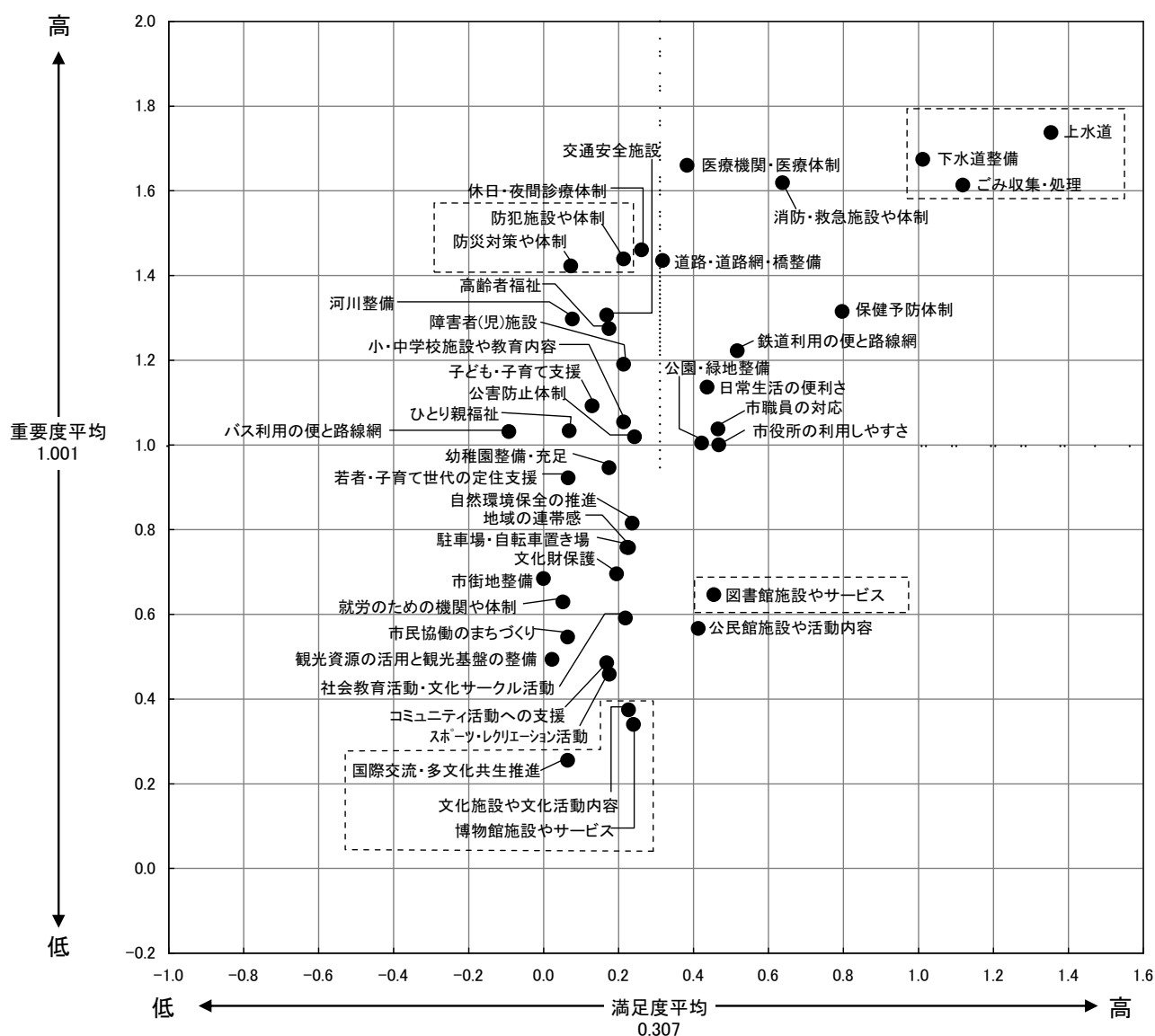


表 2-1-13 生活環境項目の満足度と重要度（70歳以上）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.354	1.737
2	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	1.119	1.613
3	公共下水道の整備	下水道整備	1.012	1.674
4	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.797	1.315
5	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.638	1.619
6	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.517	1.222
7	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.468	1.000
8	市職員の対応	市職員の対応	0.466	1.037
9	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.455	0.646
10	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	0.437	1.136
11	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.422	1.004
12	公民館の施設や活動内容	公民館施設や活動内容	0.413	0.566
13	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.383	1.660
14	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.318	1.435
15	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.262	1.460
16	騒音・受動喫煙などの公害防止体制	公害防止体制	0.243	1.019
17	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.240	0.340
18	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.237	0.815
19	地域の連帯感	地域の連帯感	0.227	0.757
20	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.227	0.374
21	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.223	0.758
22	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.219	0.591
23	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.214	1.439
24	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.214	1.190
25	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.214	1.054
26	文化財などの保護	文化財保護	0.195	0.695
27	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.176	0.458
28	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.175	1.274
29	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.175	0.946
30	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.169	1.306
31	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.169	0.485
32	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.130	1.092
33	河川の整備	河川整備	0.077	1.297
34	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.073	1.422
35	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.069	1.033
36	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	0.066	0.922
37	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.065	0.546
38	国際交流・多文化共生の推進	国際交流・多文化共生推進	0.065	0.255
39	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	0.052	0.629
40	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.023	0.493
41	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.000	0.684
42	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.092	1.031
平 均			0.307	1.001

生活環境の満足度と重要度（男性）

男性の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「防災対策や体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「国際交流・多文化共生推進」、「コミュニティ活動への支援」、「文化施設や文化活動内容」、「博物館施設やサービス」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」などとなっている。（図２－１－14、表２－１－14）

図２－１－14 生活環境の満足度と重要度（男性）

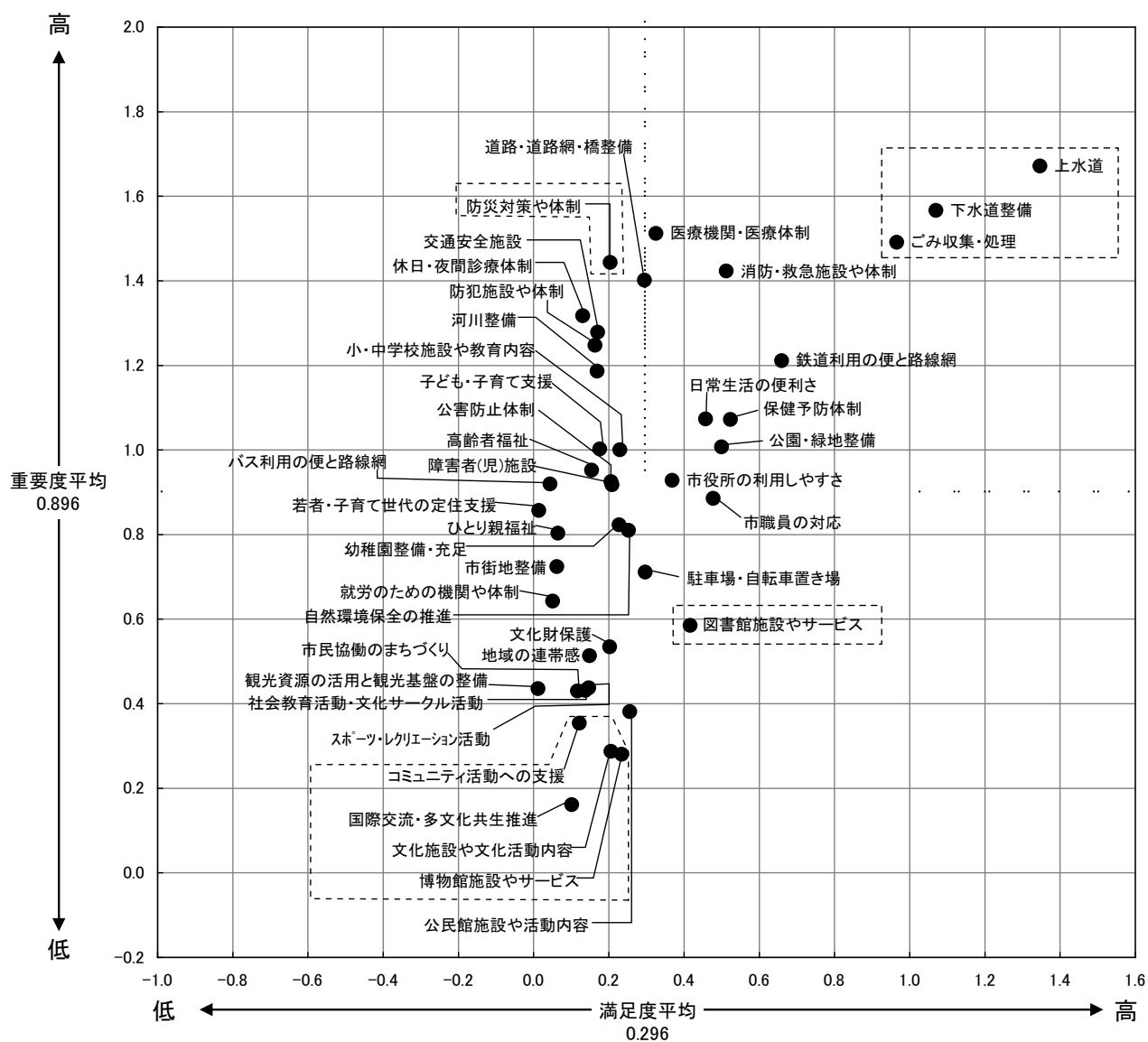


表 2-1-14 生活環境項目の満足度と重要度（男性）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.347	1.671
2	公共下水道の整備	下水道整備	1.070	1.566
3	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	0.966	1.491
4	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.660	1.211
5	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.524	1.072
6	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.513	1.423
7	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.500	1.007
8	市職員の対応	市職員の対応	0.478	0.885
9	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	0.458	1.073
10	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.417	0.585
11	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.369	0.928
12	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.326	1.512
13	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.297	0.711
14	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.295	1.401
15	公民館の施設や活動内容	公民館施設や活動内容	0.256	0.381
16	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.253	0.810
17	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.235	0.280
18	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.230	1.000
19	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.228	0.823
20	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.209	0.917
21	騒音・受動喫煙などの公害防止体制	公害防止体制	0.206	0.925
22	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.206	0.287
23	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.204	1.443
24	文化財などの保護	文化財保護	0.203	0.534
25	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.176	1.002
26	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.171	1.278
27	河川の整備	河川整備	0.169	1.186
28	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.164	1.247
29	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.155	0.952
30	地域の連帯感	地域の連帯感	0.149	0.513
31	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.147	0.437
32	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.138	0.431
33	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.131	1.317
34	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.122	0.354
35	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.117	0.430
36	国際交流・多文化共生の推進	国際交流・多文化共生推進	0.102	0.161
37	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.065	0.803
38	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.062	0.724
39	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	0.051	0.642
40	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	0.044	0.919
41	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	0.014	0.857
42	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.012	0.435
平 均			0.296	0.896

生活環境の満足度と重要度（女性）

女性の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「防犯施設や体制」、「休日・夜間診療体制」、「防災対策や体制」、「医療機関・医療体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「国際交流・多文化共生推進」、「コミュニティ活動への支援」、「スポーツ・レクリエーション活動」など、満足度が高く重要度が低い項目は「図書館施設やサービス」、「公民館施設や活動内容」などとなっている。

（図 2－1－15、表 2－1－15）

図 2－1－15 生活環境の満足度と重要度（女性）

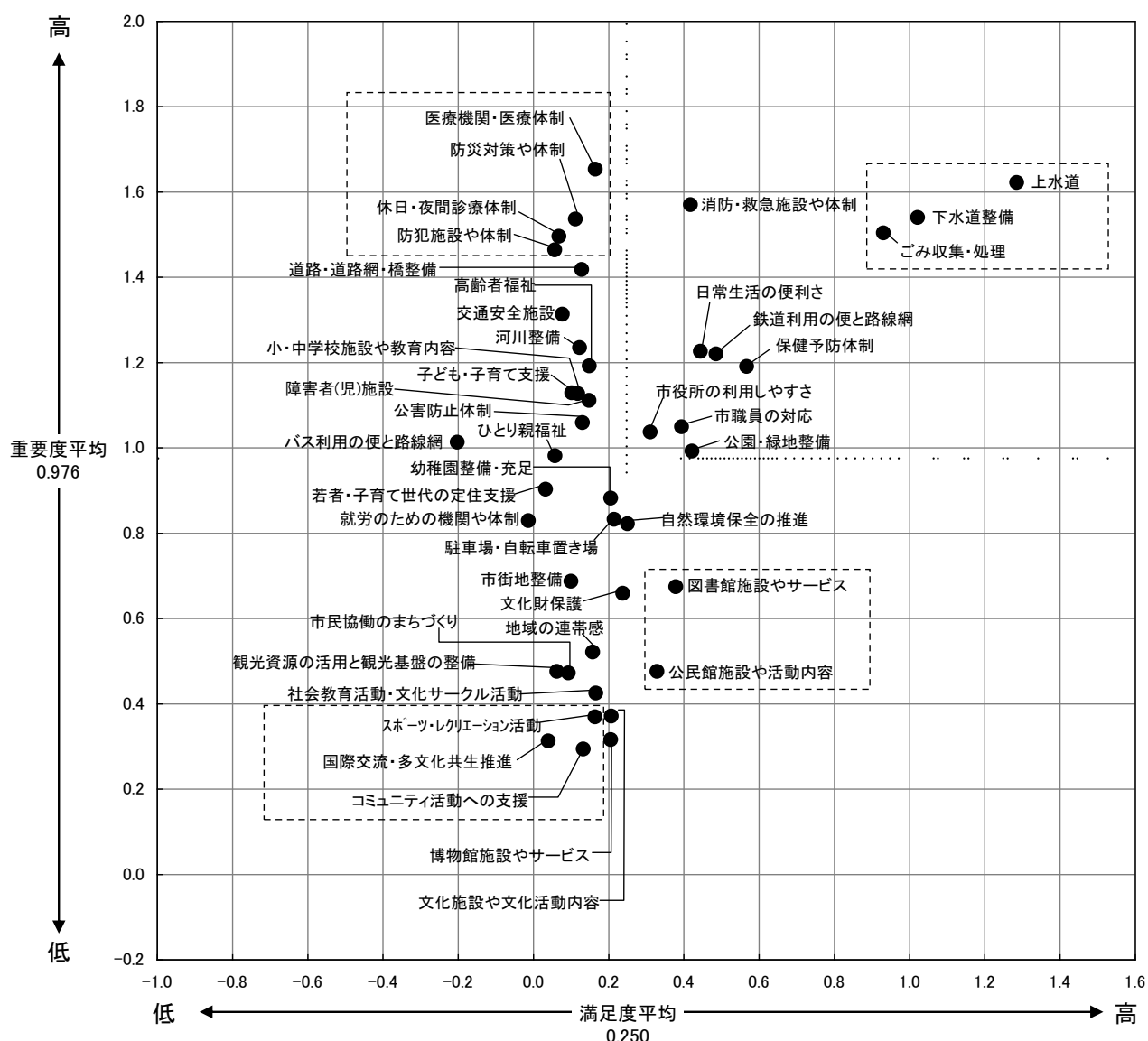


表 2 - 1 - 15 生活環境項目の満足度と重要度（女性）

満足度 順位	項目	項目(簡略)	満足度	重要度
1	上水道による水の安定供給	上水道	1.285	1.622
2	公共下水道の整備	下水道整備	1.022	1.540
3	ごみ収集・処理	ごみ収集・処理	0.931	1.504
4	健康診断・健康増進などの保健予防体制	保健予防体制	0.567	1.191
5	鉄道利用の便と路線網	鉄道利用の便と路線網	0.486	1.220
6	買い物・金融機関など日常生活の便利さ	日常生活の便利さ	0.444	1.226
7	公園・緑地の整備	公園・緑地整備	0.422	0.992
8	消防・救急施設や体制	消防・救急施設や体制	0.418	1.570
9	市職員の対応	市職員の対応	0.394	1.049
10	図書館の施設やサービス	図書館施設やサービス	0.379	0.674
11	公民館の施設や活動内容	公民館施設や活動内容	0.329	0.476
12	市役所の利用のしやすさ	市役所の利用しやすさ	0.311	1.037
13	自然環境保全の推進	自然環境保全の推進	0.250	0.822
14	文化財などの保護	文化財保護	0.238	0.659
15	駐車場・自転車置き場	駐車場・自転車置き場	0.215	0.832
16	文化施設や文化活動内容	文化施設や文化活動内容	0.207	0.371
17	幼稚園の整備・充足	幼稚園整備・充足	0.206	0.882
18	博物館の施設やサービス	博物館施設やサービス	0.206	0.316
19	社会教育活動・文化サークル活動	社会教育活動・文化サークル活動	0.166	0.425
20	医療機関・医療体制	医療機関・医療体制	0.165	1.653
21	スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	スポーツ・レクリエーション活動	0.164	0.369
22	地域の連帯感	地域の連帯感	0.158	0.521
23	高齢者福祉のための施設や体制	高齢者福祉	0.149	1.192
24	障害者(児)福祉のための施設や体制	障害者(児)施設	0.148	1.111
25	自治会等のコミュニティ活動への支援	コミュニティ活動への支援	0.133	0.294
26	騒音・受動喫煙などの公害防止体制	公害防止体制	0.131	1.059
27	道路・道路網・橋の整備	道路・道路網・橋整備	0.129	1.418
28	河川の整備	河川整備	0.123	1.235
29	小・中学校の施設や教育内容	小・中学校施設や教育内容	0.118	1.127
30	地震や風水害などの防災対策や体制	防災対策や体制	0.112	1.536
31	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	子ども・子育て支援	0.102	1.129
32	区画整理などによる市街地整備	市街地整備	0.100	0.687
33	市民との協働のまちづくり	市民協働のまちづくり	0.093	0.472
34	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	交通安全施設	0.077	1.313
35	休日・夜間診療体制	休日・夜間診療体制	0.068	1.496
36	観光資源の活用と観光基盤の整備	観光資源の活用と観光基盤の整備	0.063	0.476
37	ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	ひとり親福祉	0.058	0.981
38	防犯灯などの防犯施設や体制	防犯施設や体制	0.057	1.464
39	国際交流・多文化共生の推進	国際交流・多文化共生推進	0.040	0.313
40	若者や子育て世代のための定住支援	若者・子育て世代の定住支援	0.033	0.903
41	就労のための機関や体制	就労のための機関や体制	-0.013	0.829
42	バス利用の便と路線網	バス利用の便と路線網	-0.202	1.013
平 均			0.250	0.976

(2) 優先的に取り組むべき施策

◇「医療機関・医療体制」がほぼ5割

問8-1 問8の1～42の項目のうち、あなたが市の施策として優先的に取り組むべきであると思うものを7つまで選んで、該当する番号を【記入欄】に記入してください。

図2-2-1



優先的に取り組むべき施策について聞いたところ、「医療機関・医療体制」(50.7%)がほぼ5割で最も高く、次いで「地震や風水害などの防災対策や体制」(37.1%)、「防犯灯などの防犯施設や体制」(31.8%)、「道路・道路網・橋の整備」(26.9%)などの順となっている。(図2-2-1)

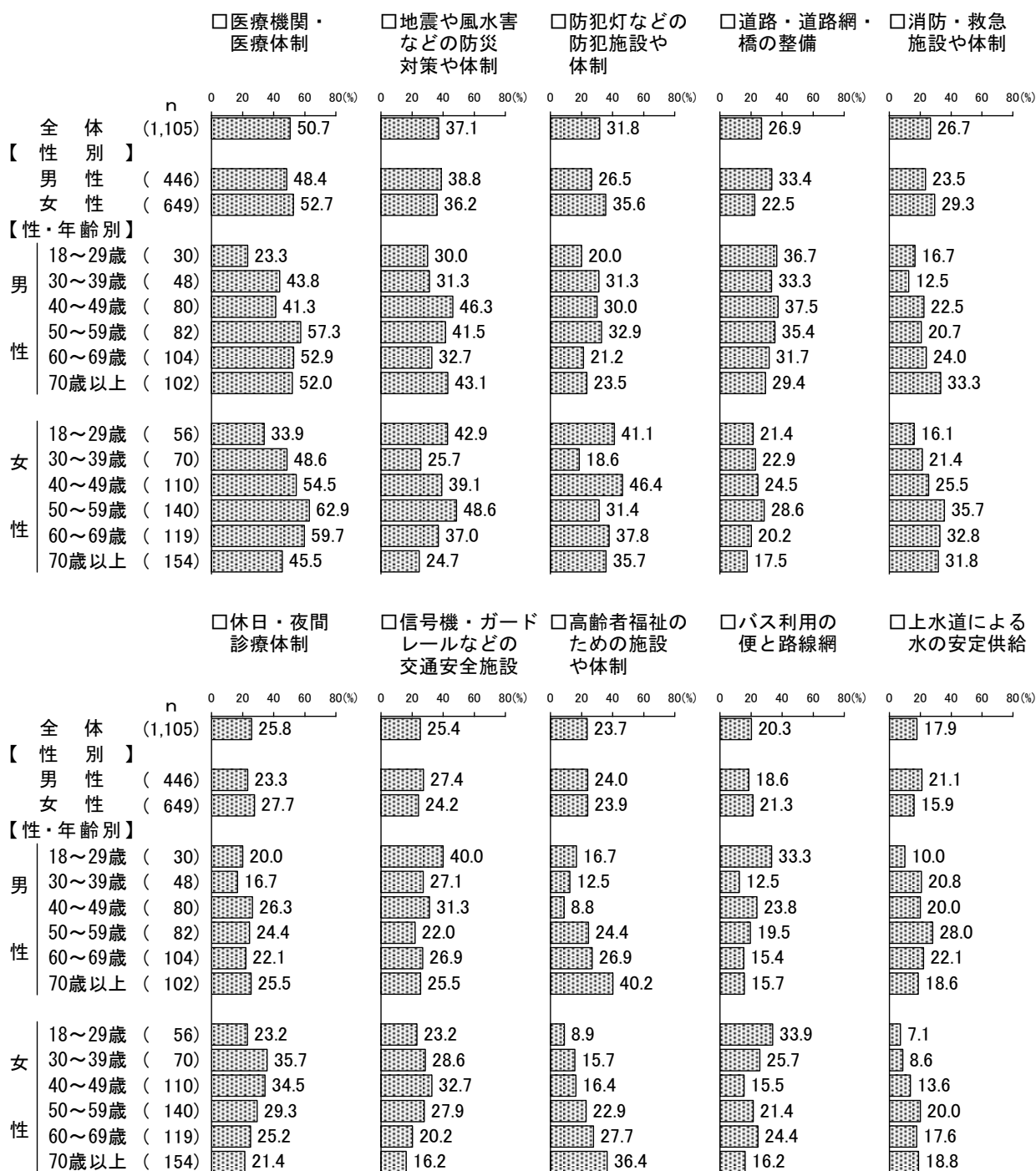
性別にみると、「道路・道路網・橋の整備」は男性（33.4%）が女性（22.5%）より10.9ポイント高くなっている。一方、「防犯灯などの防犯施設や体制」は女性（35.6%）が男性（26.5%）より9.1ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「医療機関・医療体制」は女性50～59歳（62.9%）で6割を超えて高くなっている。「地震や風水害などの防災対策や体制」は女性50～59歳（48.6%）で5割近くと高くなっている。「防犯灯などの防犯施設や体制」は女性40～49歳（46.4%）で4割半ばと高くなっている。

「高齢者福祉のための施設や体制」は男性70歳以上（40.2%）で4割と高くなっている。

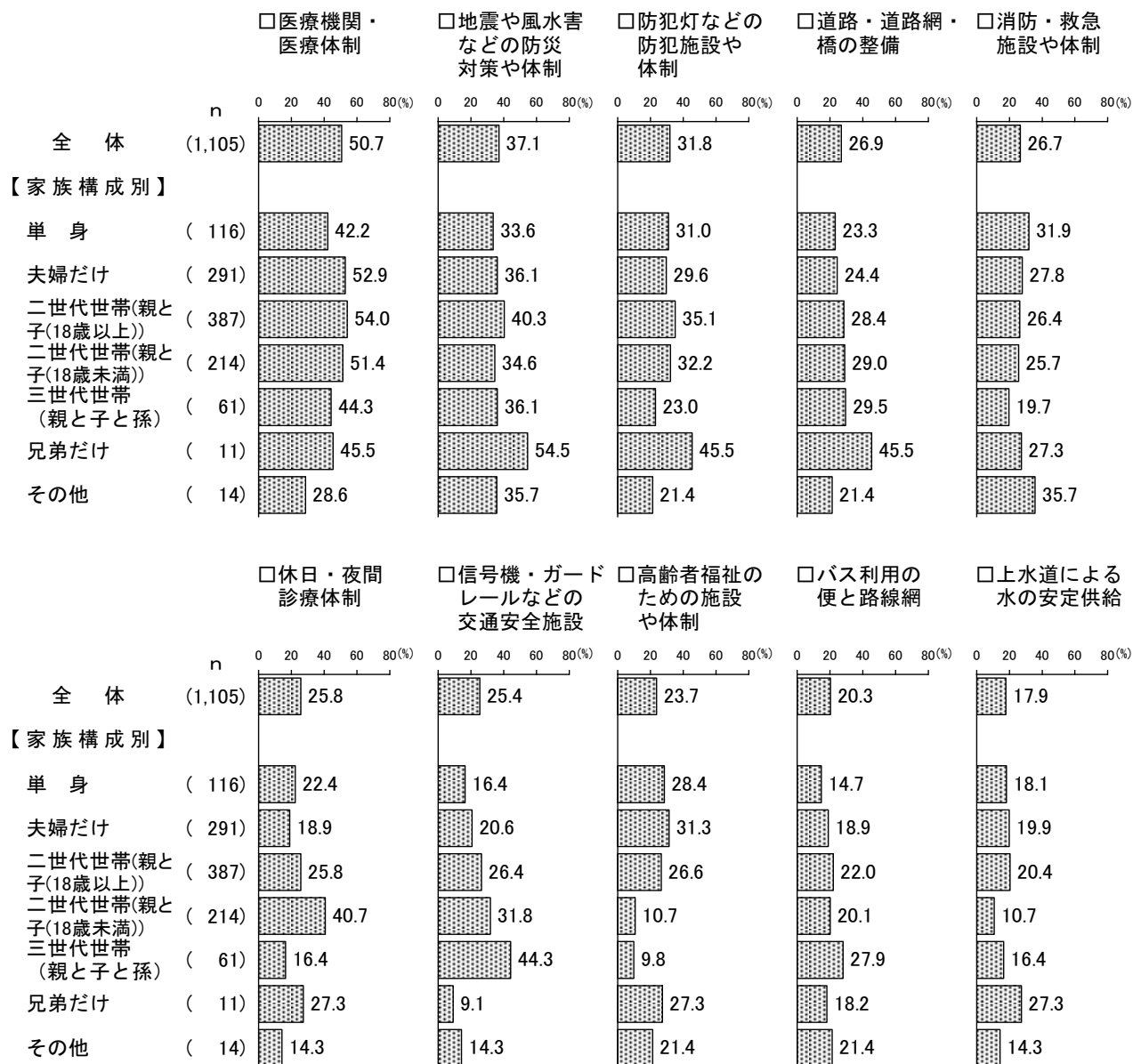
（図2-2-2）

図2-2-2 優先的に取り組むべき施策（性・年齢別）－上位10項目



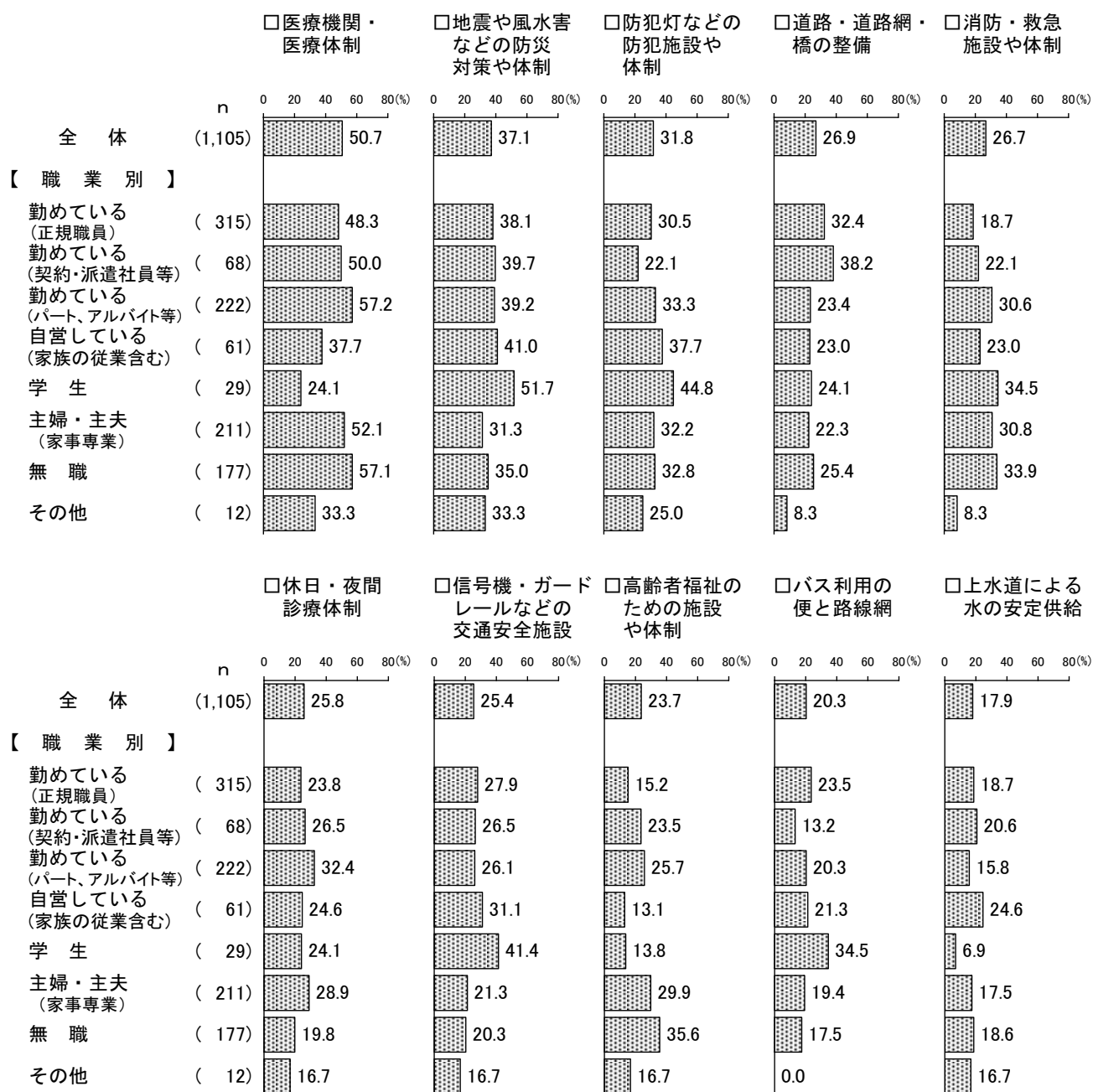
家族構成別にみると、「医療機関・医療体制」は“二世世代世帯（親と子（18歳以上））”（54.0%）で5割半ばと高くなっている。「地震や風水害などの防災対策や体制」は“二世世代世帯（親と子（18歳以上））”（40.3%）で4割と高くなっている。「休日・夜間診療体制」は“二世世代世帯（親と子（18歳未満））”（40.7%）でほぼ4割と高くなっている。「信号機・ガードレールなどの交通安全施設」は“三世世代世帯（親と子と孫）”（44.3%）で4割半ばと高くなっている。（図2-2-3）

図2-2-3 優先的に取り組むべき施策（家族構成別）－上位10項目



職業別にみると、「医療機関・医療体制」は“勤めている（パート、アルバイト等）”（57.2%）と“無職”（57.1%）で6割近くと高くなっている。「地震や風水害などの防災対策や体制」は“学生”（51.7%）で5割を超えて高くなっている。「防犯灯などの防犯施設や体制」は“学生”（44.8%）で4割半ばと高くなっている。（図2-2-4）

図2-2-4 優先的に取り組むべき施策（職業別）－上位10項目



居住地区別の順位をみると、「医療機関・医療体制」はすべての地区で第1位となっている。「地震や風水害などの防災対策や体制」は宮寺・二本木地区で同率の第7位となっているほかはすべての地区で第2位となっている。「買い物・金融機関など日常生活の便利さ」は宮寺・二本木地区で第2位となっている。「防犯灯などの防犯施設や体制」は宮寺・二本木地区で同率の第4位となっているほかはすべての地区で同率を含め第3位となっている。「バス利用の便と路線網」は宮寺・二本木地区で第3位となっている。(表2-2-1)

表2-2-1 優先的に取り組むべき施策（居住地区別・第1位～第10位）

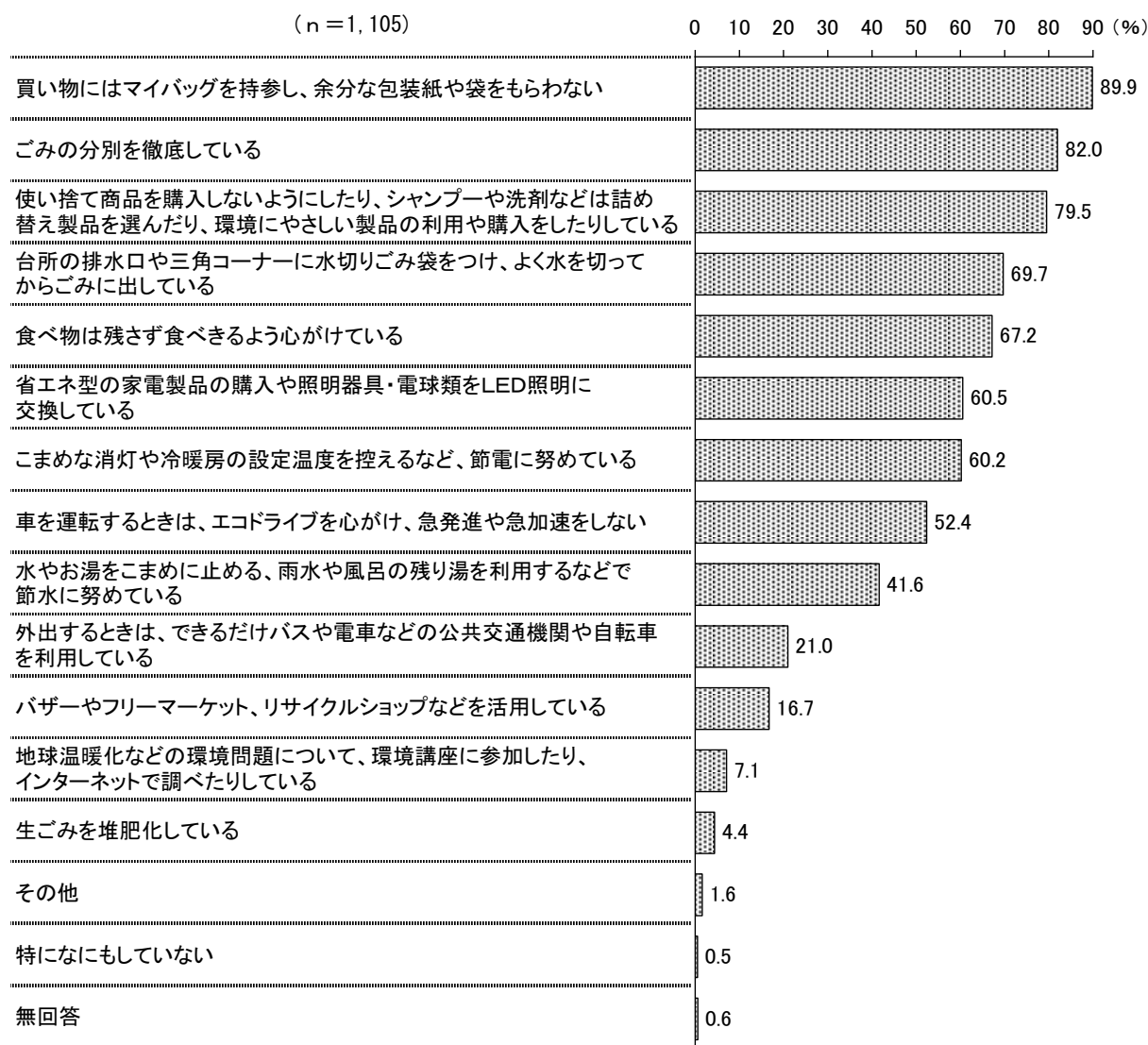
	全 体 (n=1,105)	豊岡地区 (n=342)	東金子地区 (n=116)	金子地区 (n=83)	宮寺・二本木地区 (n=83)	藤沢地区 (n=298)	西武地区 (n=168)
第1位	医療機関・ 医療体制 50.7	医療機関・ 医療体制 55.8	医療機関・ 医療体制 48.3	医療機関・ 医療体制 49.4	医療機関・ 医療体制 50.6	医療機関・ 医療体制 50.7	医療機関・ 医療体制 45.2
第2位	地震や風水害 などの防災 対策や体制 37.1	地震や風水害 などの防災 対策や体制 37.7	地震や風水害 などの防災 対策や体制 36.2	地震や風水害 などの防災 対策や体制 34.9	買い物・金融 機関など日常 生活の便利さ 38.6	地震や風水害 などの防災 対策や体制 43.0	地震や風水害 などの防災 対策や体制 36.9
第3位	防犯灯などの 防犯施設や 体制 31.8	防犯灯などの 防犯施設や 体制 31.9	防犯灯などの 防犯施設や 体制 30.2	信号機・ガード レールなどの 交通安全施設 ／ 防犯灯などの 防犯施設や 体制 28.9	バス利用の便 と路線網 33.7	防犯灯などの 防犯施設や 体制 32.6	防犯灯などの 防犯施設や 体制 34.5
第4位	道路・道路網・ 橋の整備 26.9	消防・救急 施設や体制 30.4	高齢者福祉の ための施設や 体制 29.3	消防・救急 施設や体制 25.3	防犯灯などの 防犯施設や 体制／ 休日・夜間 診療体制 27.7	道路・道路網・ 橋の整備 29.9	道路・道路網・ 橋の整備 29.2
第5位	消防・救急 施設や体制 26.7	道路・道路網・ 橋の整備 27.5	信号機・ガード レールなどの 交通安全施設 26.7	道路・道路網・ 橋の整備／ 休日・夜間 診療体制 22.9	信号機・ガード レールなどの 交通安全施設 27.5	信号機・ガード レールなどの 交通安全施設 ／ 消防・救急 施設や体制 26.2	信号機・ガード レールなどの 交通安全施設 ／ 消防・救急 施設や体制 26.2
第6位	休日・夜間 診療体制 25.8	休日・夜間 診療体制 27.2	消防・救急 施設や体制 25.9	道路・道路網・ 橋の整備／ 休日・夜間 診療体制 22.9	信号機・ガード レールなどの 交通安全施設 24.1	休日・夜間 診療体制 26.8	消防・救急 施設や体制 25.8
第7位	信号機・ガード レールなどの 交通安全施設 25.4	高齢者福祉の ための施設や 体制 26.3	道路・道路網・ 橋の整備 24.1	バス利用の便 と路線網 21.7	地震や風水害 などの防災 対策や体制／ 高齢者福祉の ための施設や 体制 21.7	消防・救急 施設や体制 25.8	休日・夜間 診療体制／ 高齢者福祉の ための施設や 体制 25.0
第8位	高齢者福祉の ための施設や 体制 23.7	信号機・ガード レールなどの 交通安全施設 22.8	バス利用の便 と路線網／ 買い物・金融 機関など日常 生活の便利さ 23.3	バス利用の便 と路線網 21.7	バス利用の便 と路線網 21.7	河川の整備 24.2	バス利用の便 と路線網／ 河川の整備 19.0
第9位	バス利用の便 と路線網 20.3	バス利用の便 と路線網 22.5	バス利用の便 と路線網 22.5	高齢者福祉の ための施設や 体制 20.5	消防・救急 施設や体制／ 小・中学校の 施設や教育 内容 20.5	高齢者福祉の ための施設や 体制 20.1	バス利用の便 と路線網／ 河川の整備 19.0
第10位	上水道による 水の安定供給 17.9	上水道による 水の安定供給 20.8	休日・夜間 診療体制 21.6	公共下水道の 整備／ 小・中学校の 施設や教育 内容 19.3	消防・救急 施設や体制／ 小・中学校の 施設や教育 内容 20.5	小・中学校の 施設や教育 内容 18.1	バス利用の便 と路線網／ 河川の整備 19.0

(3) 環境にやさしい取り組み

◇「買い物にはマイバッグを持参し、余分な包装紙や袋をもらわない」が9割

問9 日常生活の中で、ちょっとした工夫をすることによって環境をよくしたり、ごみを減らしたりすることができます。あなたやご家族が日ごろ行っていることを、次の中から該当するものを全て選んでください。

図2-3-1



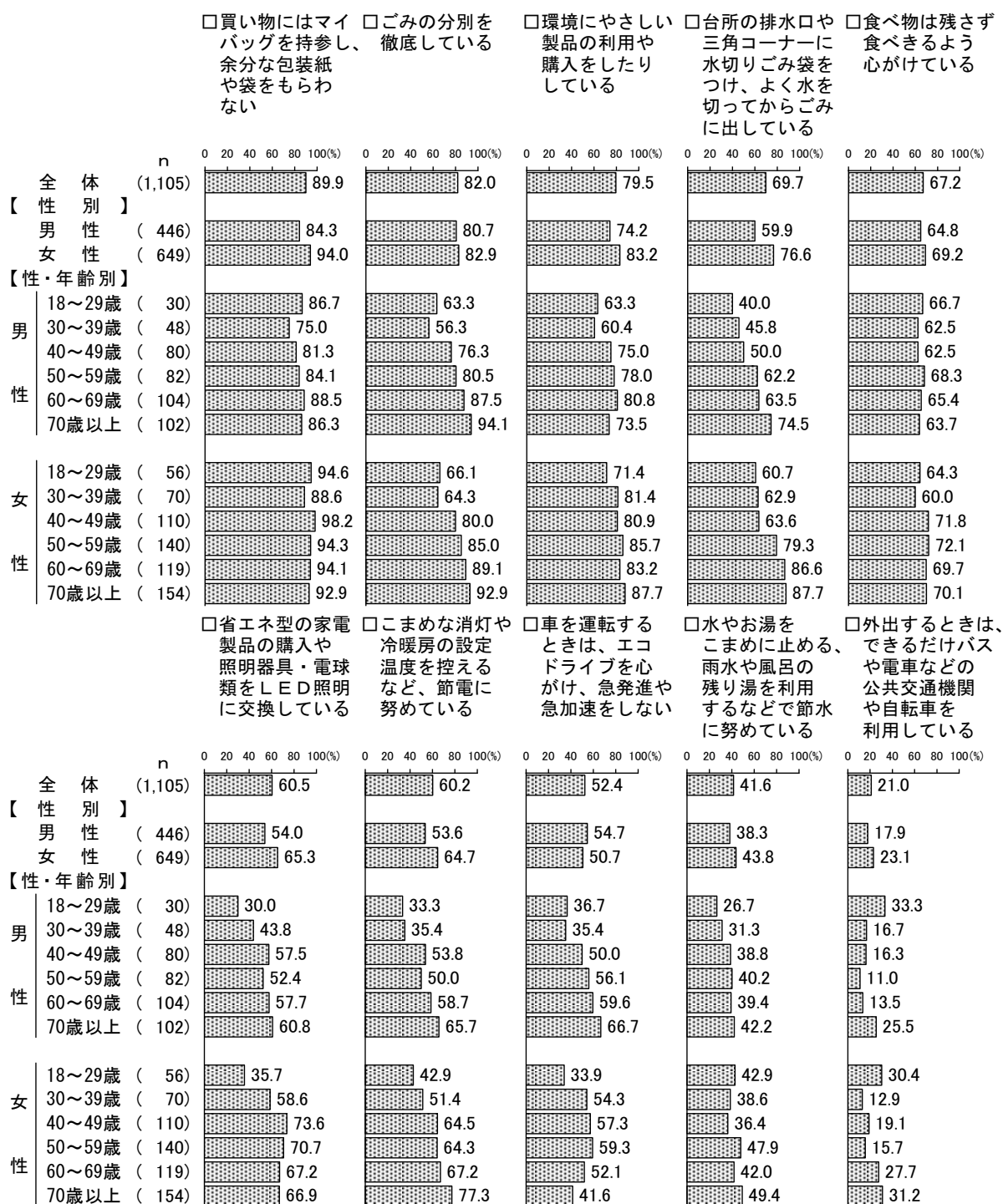
環境にやさしい取り組みについて聞いたところ、「買い物にはマイバッグを持参し、余分な包装紙や袋をもらわない」(89.9%)が9割で最も高く、次いで「ごみの分別を徹底している」(82.0%)、「使い捨て商品を購入しないようにしたり、シャンプーや洗剤などは詰め替え製品を選んだり、環境にやさしい製品の利用や購入をしたりしている」(79.5%)、「台所の排水口や三角コーナーに水切りゴミ袋をつけ、よく水を切ってからゴミに出している」(69.7%)などの順となっている。

(図2-3-1)

性別にみると、「台所の排水口や三角コーナーに水切りごみ袋をつけ、よく水を切ってからごみに出している」は女性（76.6%）が男性（59.9%）より16.7ポイント、「省エネ型の家電製品の購入や照明器具・電球類をLED照明に交換している」は女性（65.3%）が男性（54.0%）より11.3ポイント、「こまめな消灯や冷暖房の設定温度を控えるなど、節電に努めている」は女性（64.7%）が男性（53.6%）より11.1ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年齢別にみると、「買い物にはマイバッグを持参し、余分な包装紙や袋をもらわない」は女性40～49歳（98.2%）で10割近くと高くなっている。「ごみの分別を徹底している」は男性70歳以上（94.1%）と女性70歳以上（92.9%）で9割台と高くなっている。（図2-3-2）

図2-3-2 環境にやさしい取り組み（性・年齢別）－上位10項目



※「使い捨て商品を購入しないようにしたり、シャンプーや洗剤などは詰め替え製品を選んだり、環境にやさしい製品の利用や購入をしたりしている」は、作図の便宜上「環境にやさしい製品の利用や購入をしたりしている」と省略して表記している。

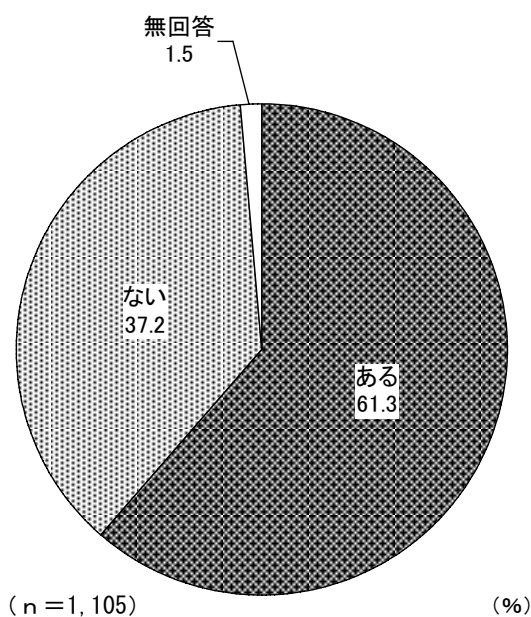
3. 防災について

(1) 防災への準備や対策

◇「ある」が6割を超える

問10 災害に備えて、準備や対策をとっていますか。(災害時の対応について、家族などで相談して決めてあることや準備していることがありますか。)

図3-1-1

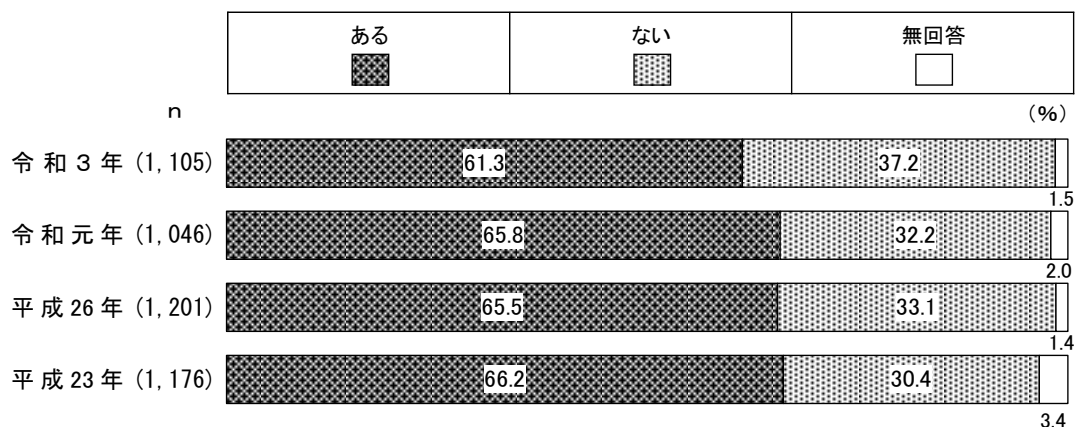


防災への準備や対策について聞いたところ、「ある」(61.3%)が6割を超えて高くなっている。一方、「ない」(37.2%)は4割近くとなっている。(図3-1-1)

過年度調査と比較すると、「ない」は令和元年調査と比べて5.0ポイント増加している。

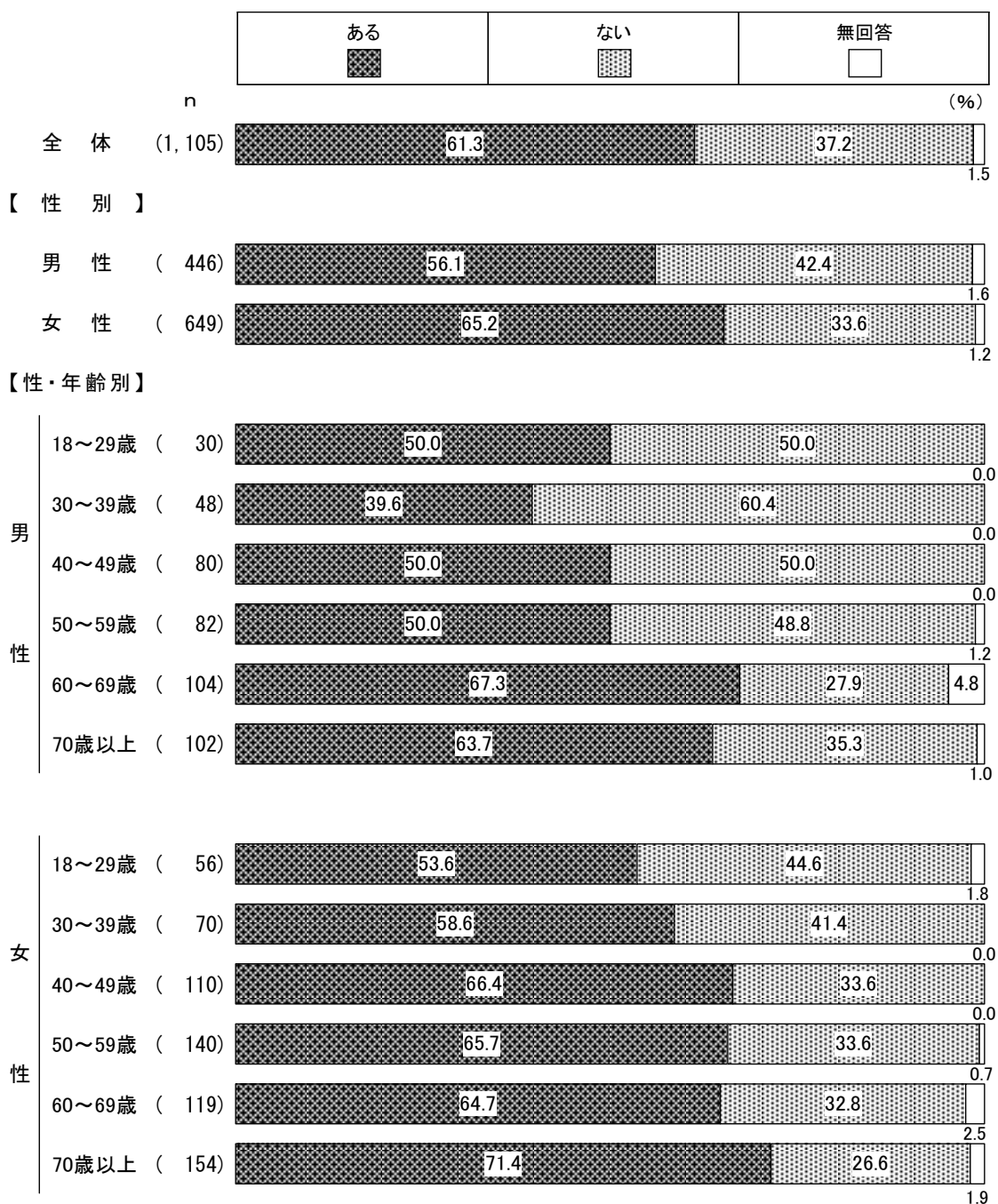
(図3-1-2)

図3-1-2 防災への準備や対策(経年比較)



性別にみると、「ある」は女性（65.2%）が男性（56.1%）より9.1ポイント高くなっている。
性・年齢別にみると、「ある」は女性70歳以上（71.4%）で7割を超えて高くなっている。一方、「ない」は男性30～39歳（60.4%）で6割と高くなっている。（図3－1－3）

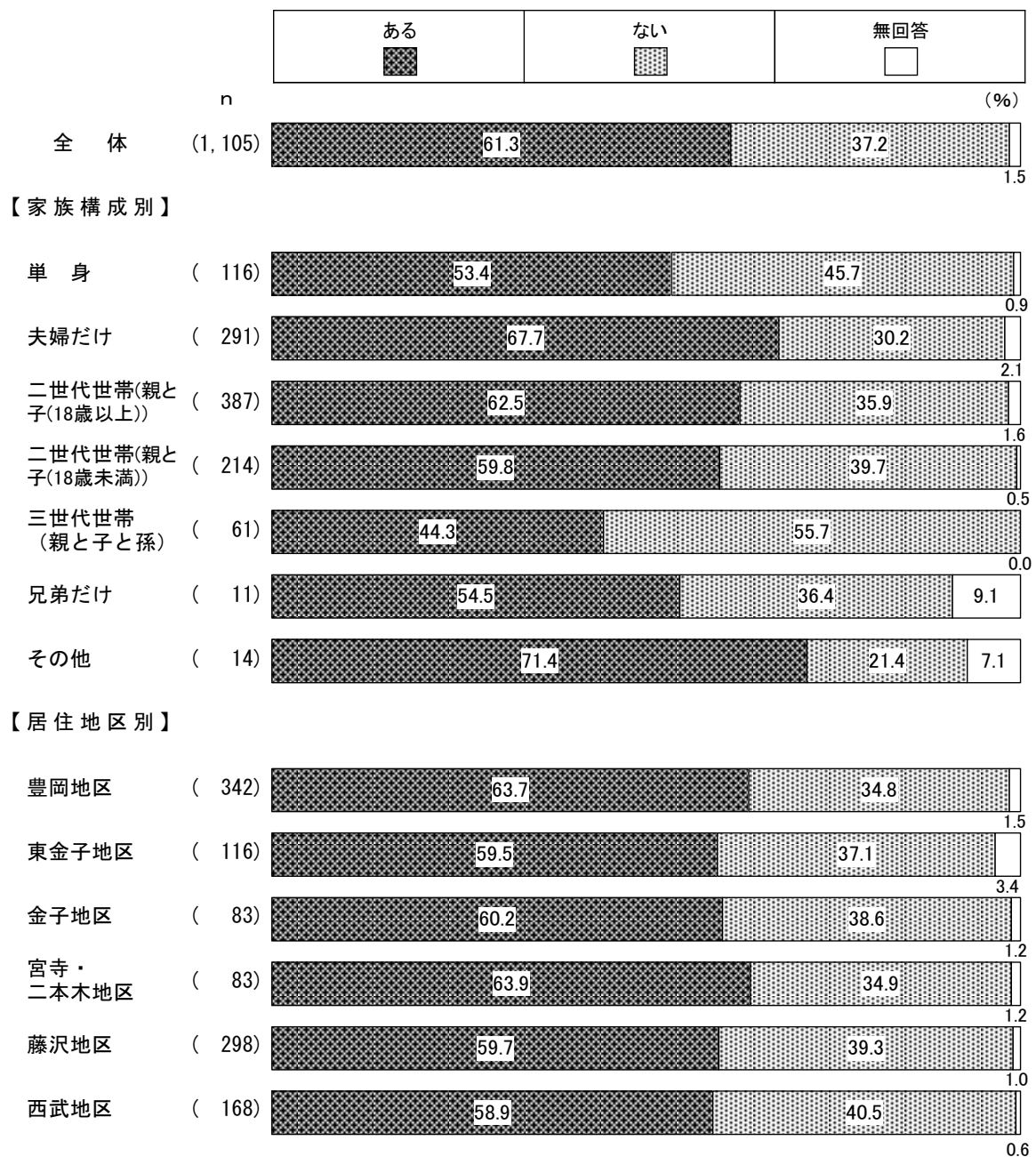
図3－1－3 防災への準備や対策（性・年齢別）



家族構成別にみると、「ある」は“夫婦だけ”（67.7%）で7割近くと高くなっている。一方、「ない」は“三世代世帯（親と子と孫）”（55.7%）で5割半ばと高くなっている。

居住地区別にみると、「ある」は宮寺・二本木地区（63.9%）と豊岡地区（63.7%）で6割を超えて高くなっている。（図3－1－4）

図3－1－4 防災への準備や対策（家族構成別、居住地区別）



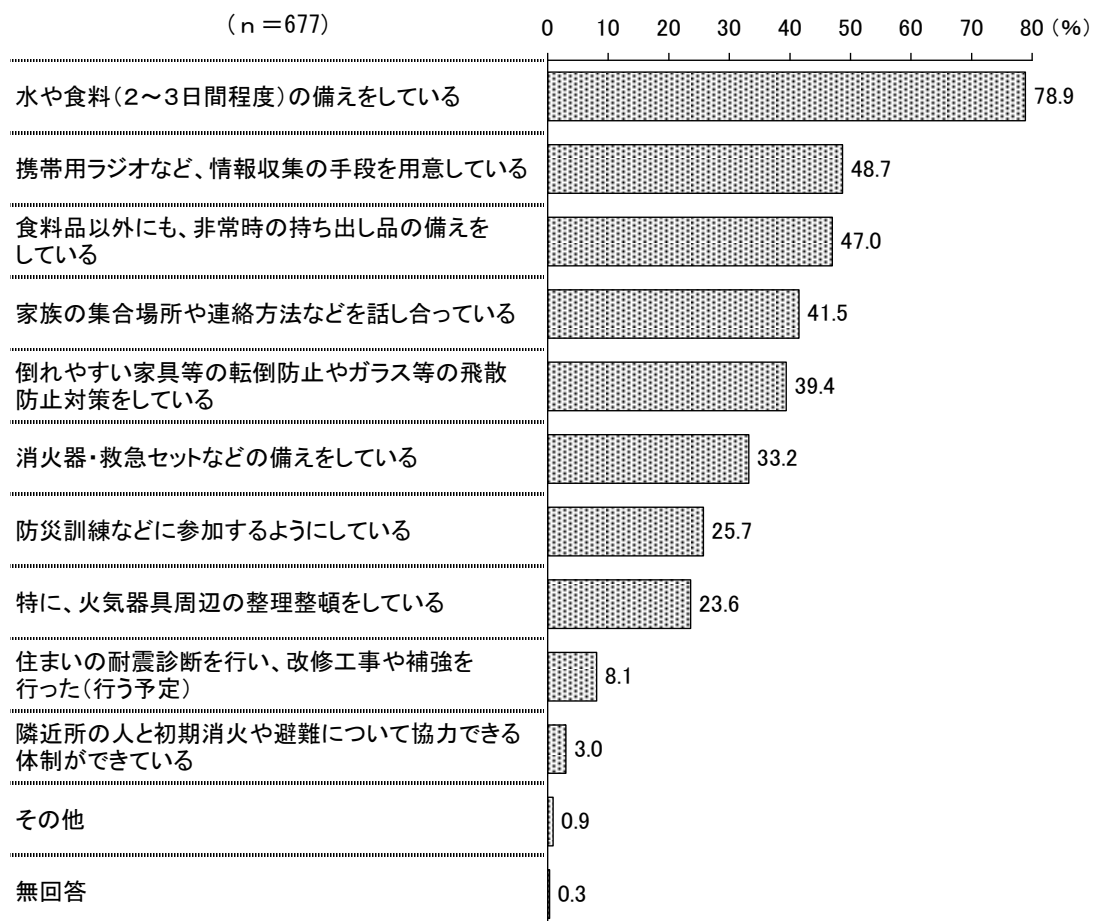
(2) 防災に対する具体的な内容

◇「水や食料（2～3日間程度）の備えをしている」が8割近く

（問10で、「ある」と答えた方に）

問10－1 それは具体的にどのようなことですか。次の中からいくつでも選んでください。

図 3－2－1



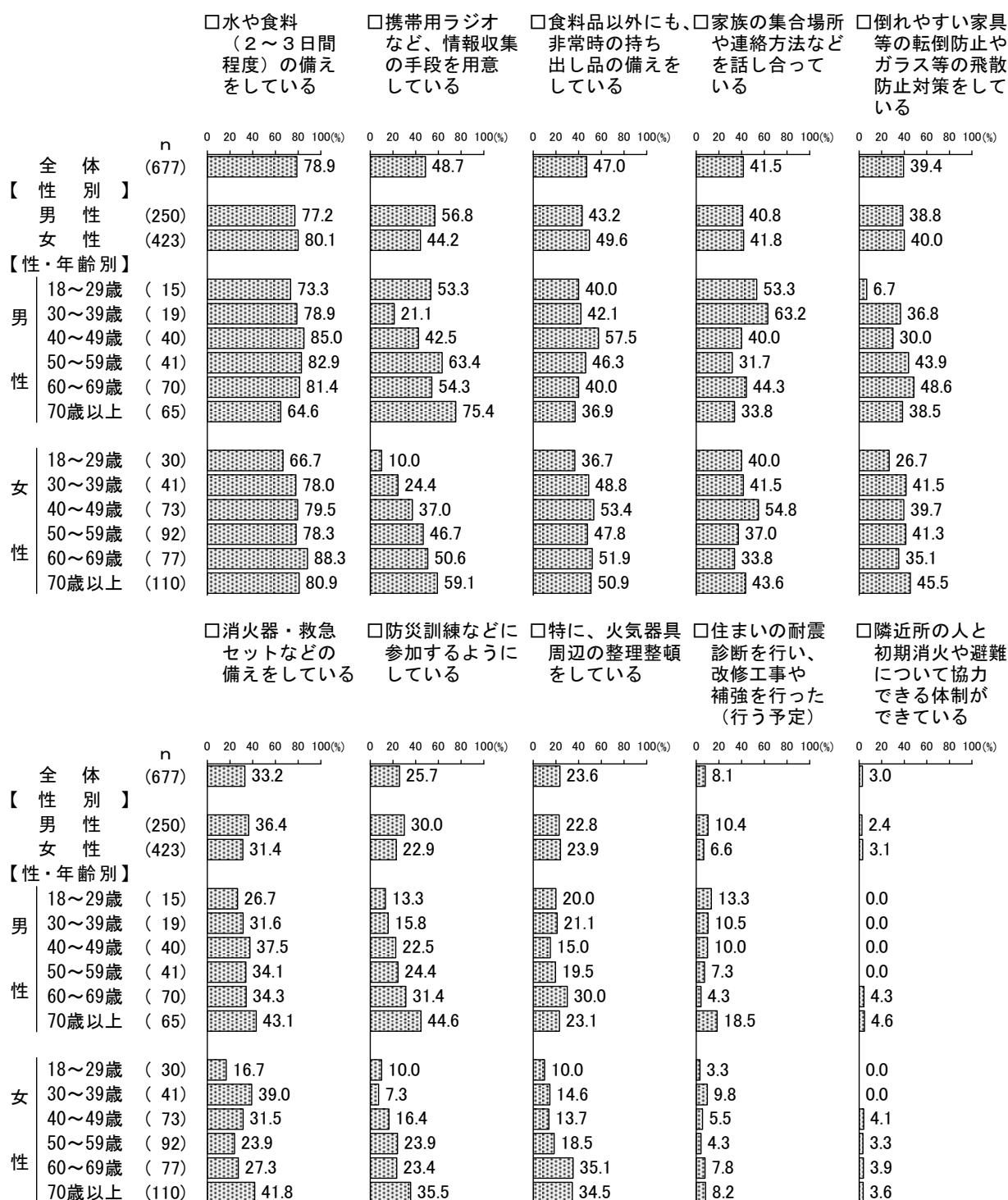
防災への準備や対策が「ある」と答えた人（677人）に、その具体的な内容について聞いたところ、「水や食料（2～3日間程度）の備えをしている」（78.9%）が8割近くで最も高く、次いで「携帯用ラジオなど、情報収集の手段を用意している」（48.7%）、「食料品以外にも、非常時の持ち出し品の備えをしている」（47.0%）、「家族の集合場所や連絡方法などを話し合っている」（41.5%）などの順となっている。（図 3－2－1）

性別にみると、「携帯用ラジオなど、情報収集の手段を用意している」は男性（56.8%）が女性（44.2%）より12.6ポイント高くなっている。一方、「食料品以外にも、非常時の持ち出し品の備えをしている」は女性（49.6%）が男性（43.2%）より6.4ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「水や食料（2～3日間程度）の備えをしている」は女性60～69歳（88.3%）で9割近くと高くなっている。「携帯用ラジオなど、情報収集の手段を用意している」は男性70歳以上（75.4%）で7割半ば、男性50～59歳（63.4%）で6割を超えて高くなっている。「家族の集合場所や連絡方法などを話し合っている」は男性30～39歳（63.2%）で6割を超えて高くなっている。

（図3-2-2）

図3-2-2 防災に対する具体的な内容（性・年齢別）



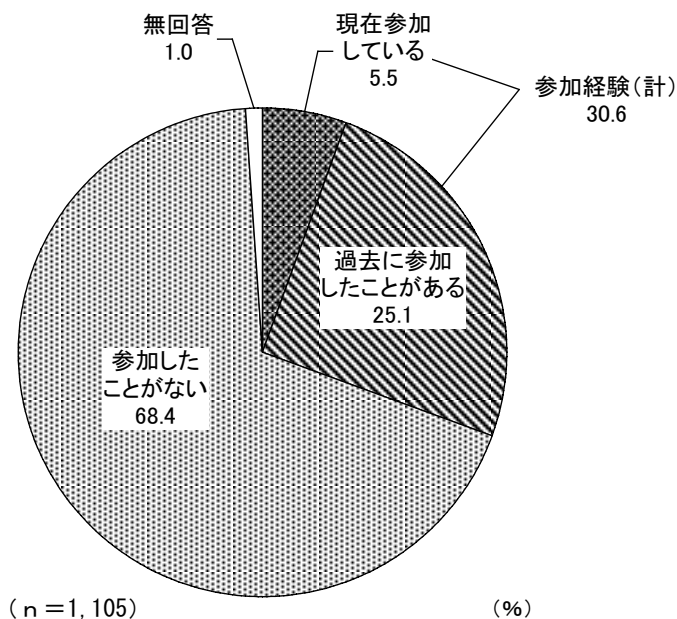
4. ボランティア活動について

(1) ボランティア活動への参加

◇『参加経験（計）』がほぼ3割

問11 あなたは、ボランティア活動に参加したことがありますか。次の中から1つ選んでください。

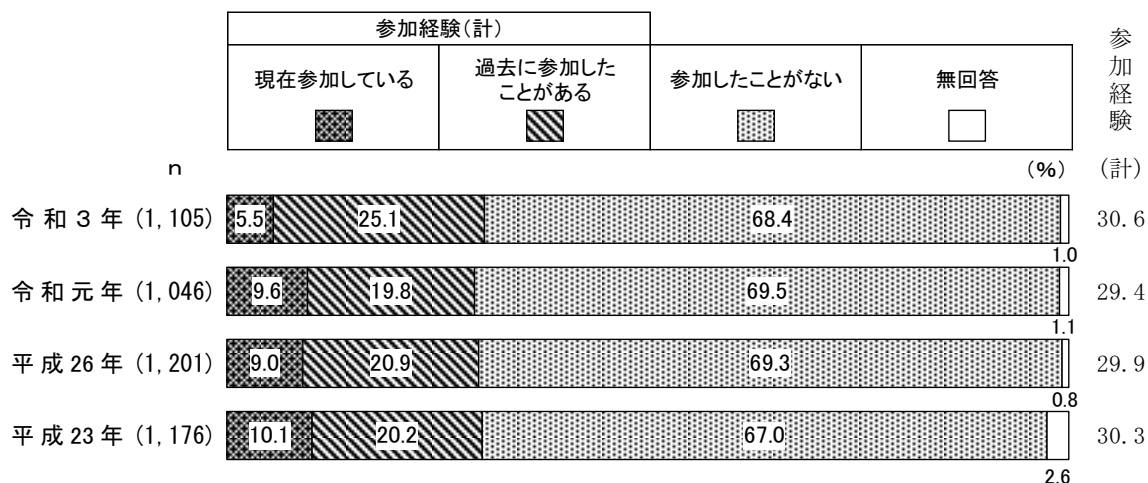
図4-1-1



ボランティア活動への参加について聞いたところ、「現在参加している」(5.5%)と「過去に参加したことがある」(25.1%)を合わせた『参加経験（計）』(30.6%)はほぼ3割となっている。一方、「参加したことがない」(68.4%)は7割近くとなっている。(図4-1-1)

過年度調査と比較すると、「過去に参加したことがある」は令和元年調査と比べて5.3ポイント増加している。(図4-1-2)

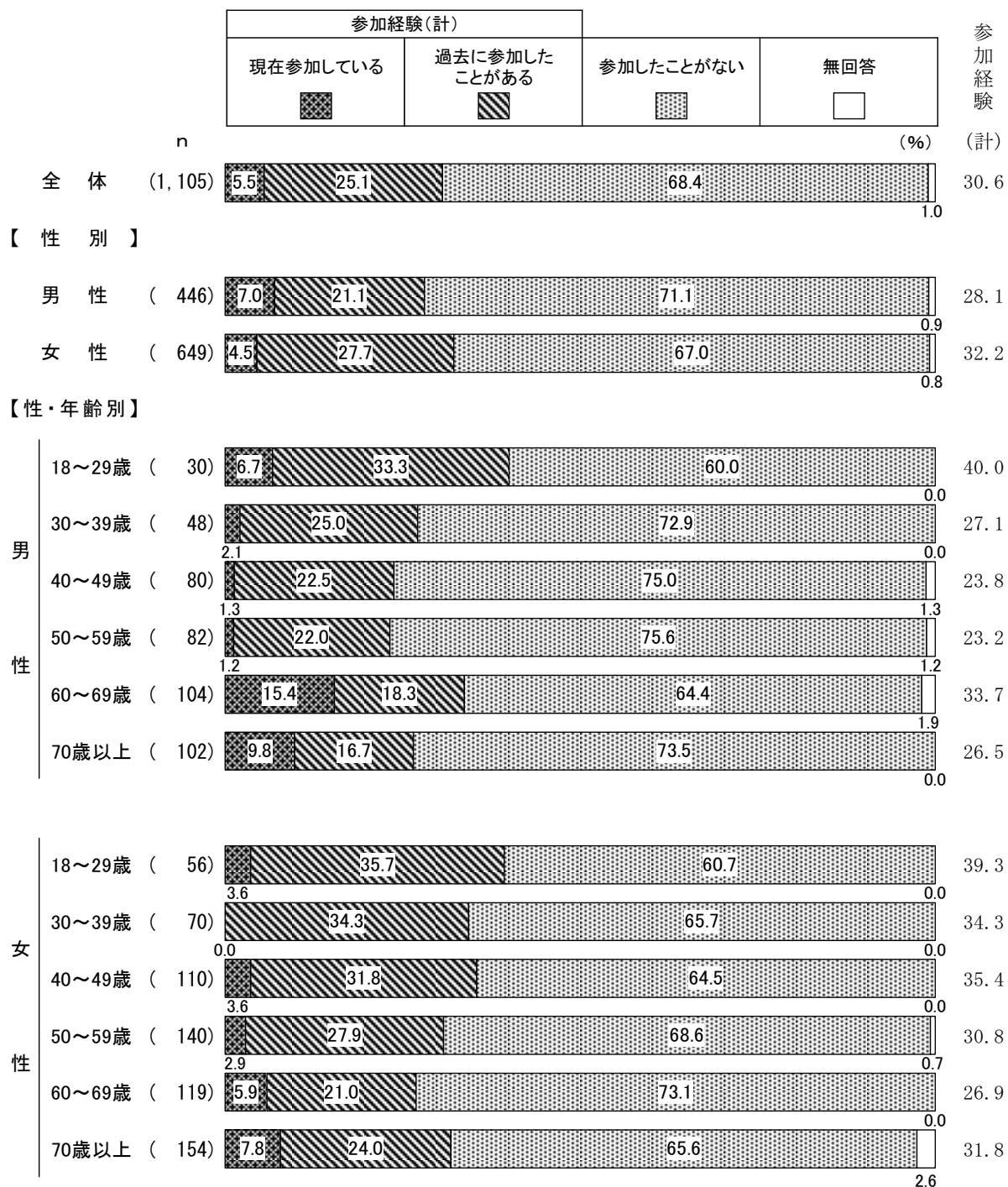
図4-1-2 ボランティア活動への参加（経年比較）



性別にみると、『参加経験（計）』は女性（32.2%）が男性（28.1%）より4.1ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、『参加経験（計）』は男性18～29歳（40.0%）と女性18～29歳（39.3%）でほぼ4割と高くなっている。一方、「参加したことがない」は男性40～49歳（75.0%）と男性50～59歳（75.6%）で7割半ばと高くなっている。（図4－1－3）

図4－1－3 ボランティア活動への参加（性・年齢別）



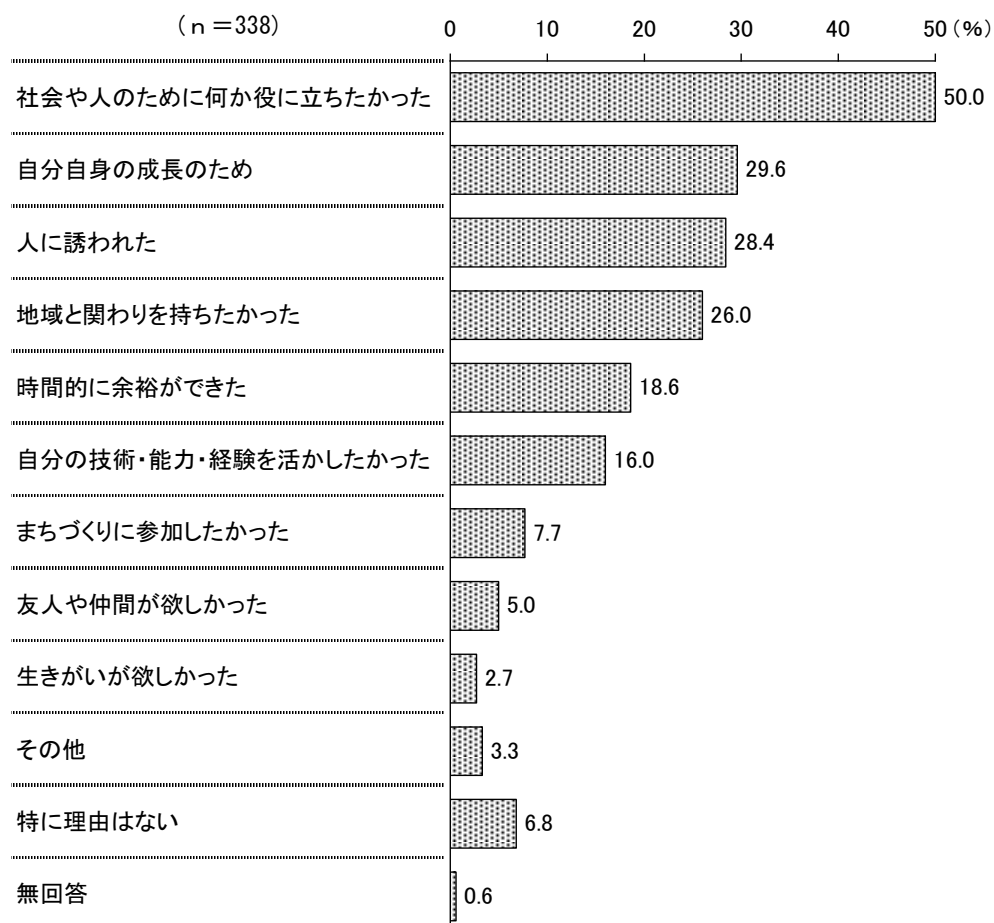
(2) ボランティア活動の参加の動機

◇「社会や人のために何か役に立ちたかった」が5割

(問11で、「現在参加している」「過去に参加したことがある」と答えた方に)

問11-1 参加の動機は何ですか。主なものを3つまで選んでください。

図4-2-1

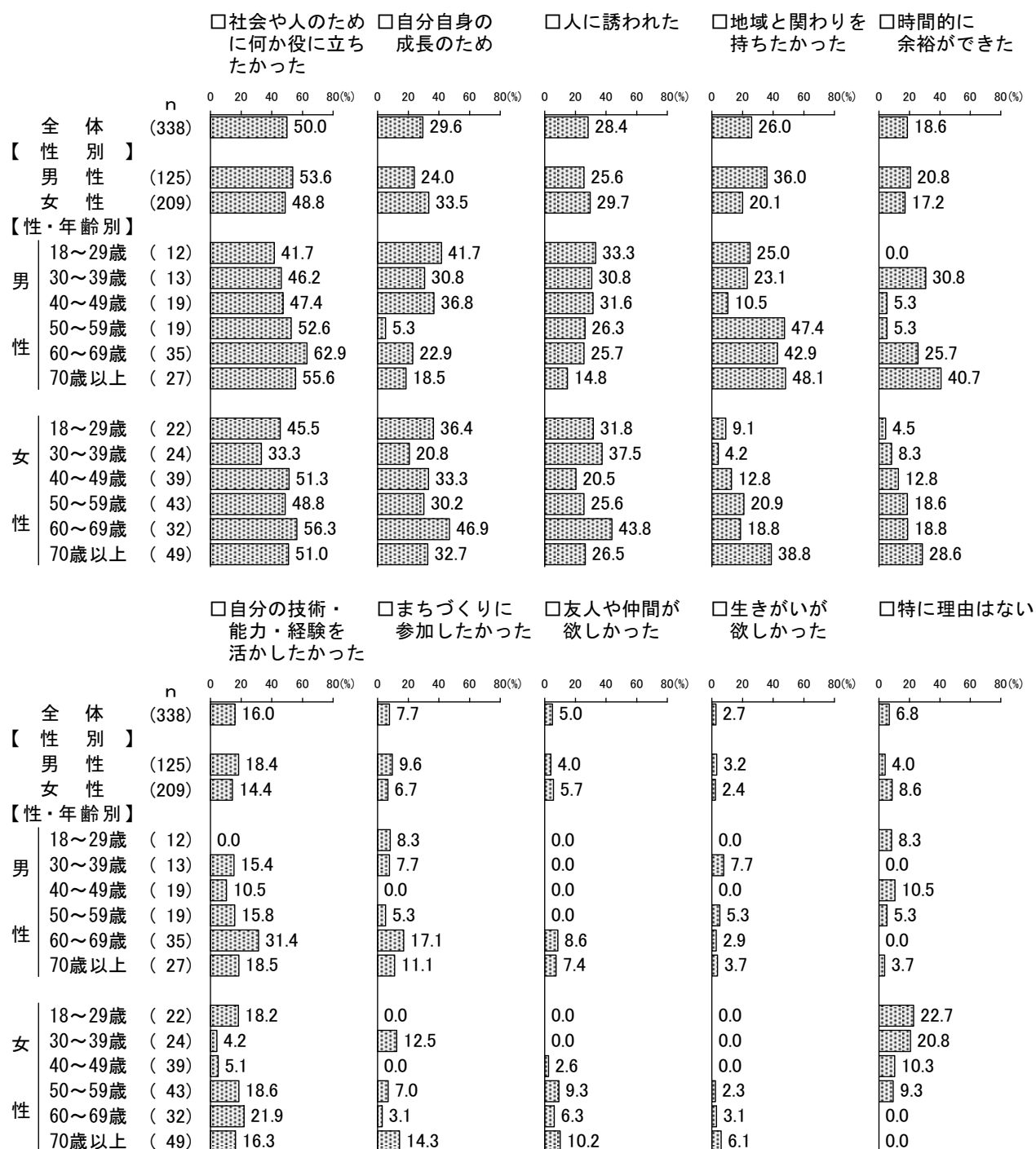


ボランティア活動に「現在参加している」「過去に参加したことがある」と答えた人(338人)に、ボランティア活動の参加の動機について聞いたところ、「社会や人のために何か役に立ちたかった」(50.0%)が5割で最も高く、次いで「自分自身の成長のため」(29.6%)、「人に誘われた」(28.4%)、「地域と関わりを持ちたかった」(26.0%)などの順となっている。(図4-2-1)

性別にみると、「地域と関わりを持ちたかった」は男性（36.0%）が女性（20.1%）より15.9ポイント高くなっている。一方、「自分自身の成長のため」は女性（33.5%）が男性（24.0%）より9.5ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「社会や人のために何か役に立ちたかった」は男性60～69歳（62.9%）で6割を超えて高くなっている。「自分自身の成長のため」は女性60～69歳（46.9%）で5割近くと高くなっている。「地域と関わりを持ちたかった」は男性70歳以上（48.1%）で5割近くと高くなっている。（図4-2-2）

図4-2-2 ボランティア活動の参加の動機（性・年齢別）



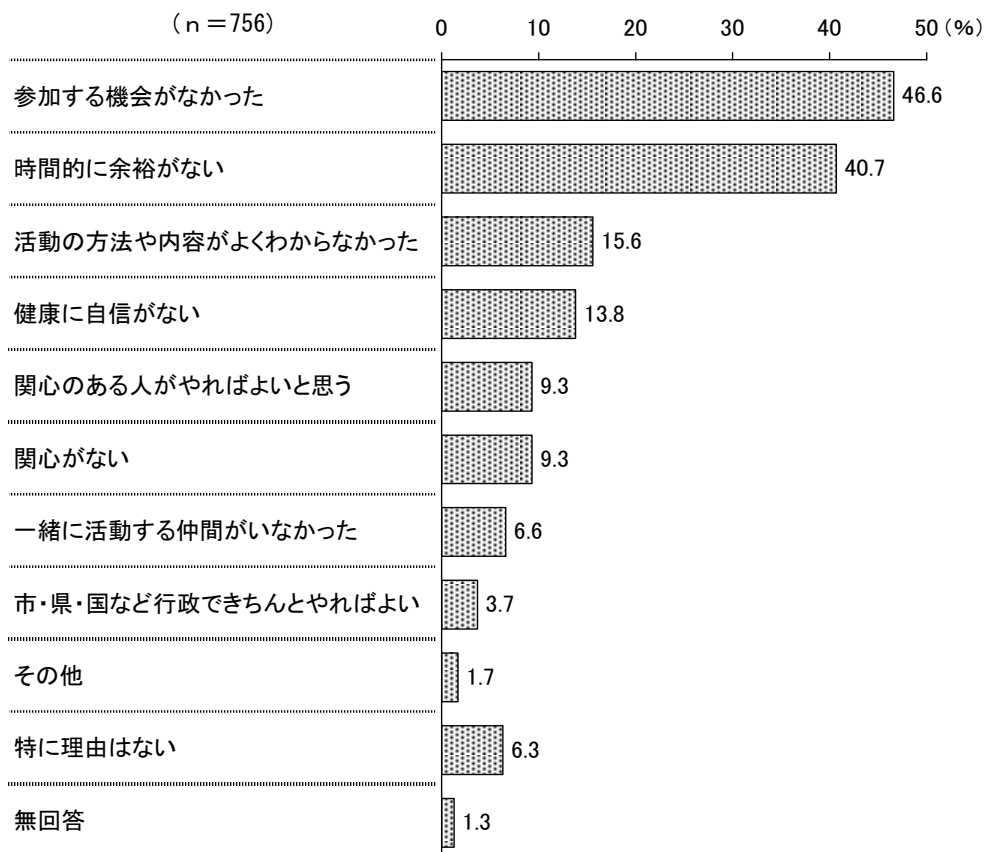
(3) ボランティア活動に参加しない理由

◇「参加する機会がなかった」が5割近く

(問11で、「参加したことがない」と答えた方に)

問11-2 参加しない理由は何ですか。主なものを2つまで選んでください。

図4-3-1



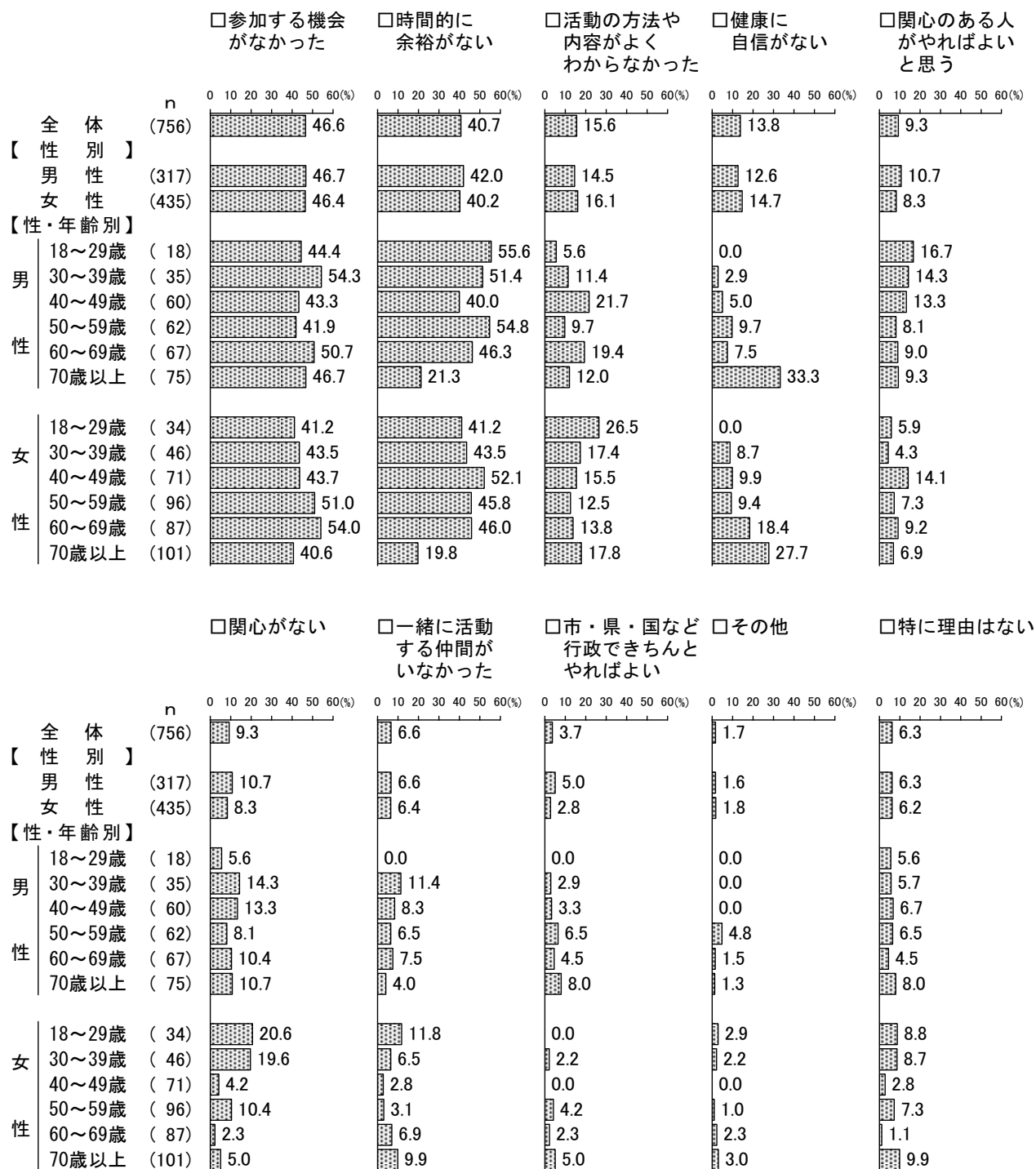
ボランティア活動に「参加したことがない」と答えた人(756人)に、その理由について聞いたところ、「参加する機会がなかった」(46.6%)が5割近くで最も高く、次いで「時間的に余裕がない」(40.7%)、「活動の方法や内容がよくわからなかった」(15.6%)、「健康に自信がない」(13.8%)などの順となっている。(図4-3-1)

性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年齢別にみると、「参加する機会がなかった」は男性30～39歳(54.3%)と女性60～69歳(54.0%)で5割半ばと高くなっている。「時間的に余裕がない」は男性50～59歳(54.8%)で5割半ばと高くなっている。「健康に自信がない」は男性70歳以上(33.3%)で3割を超えて高くなっている。

(図4-3-2)

図4-3-2 ボランティア活動に参加しない理由(性・年齢別)

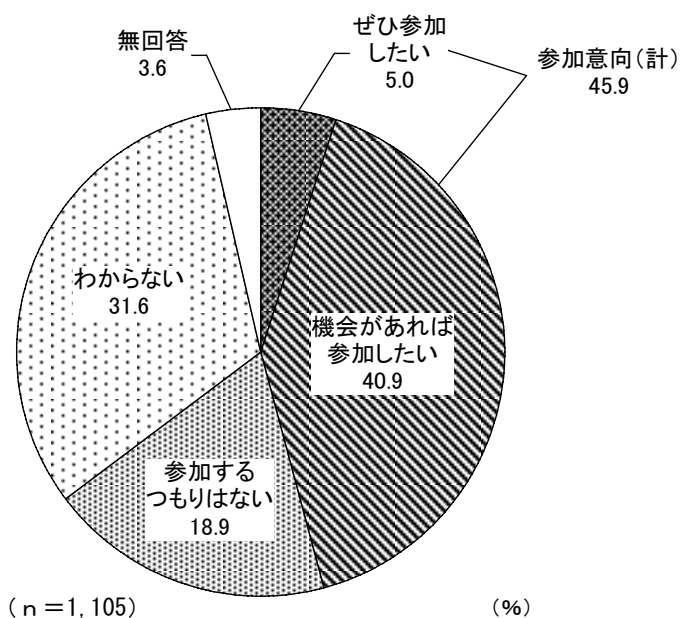


(4) 今後のボランティア活動の参加意向

◇『参加意向（計）』が4割半ば

問12 今後、ボランティア活動に参加してみたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

図 4－4－1



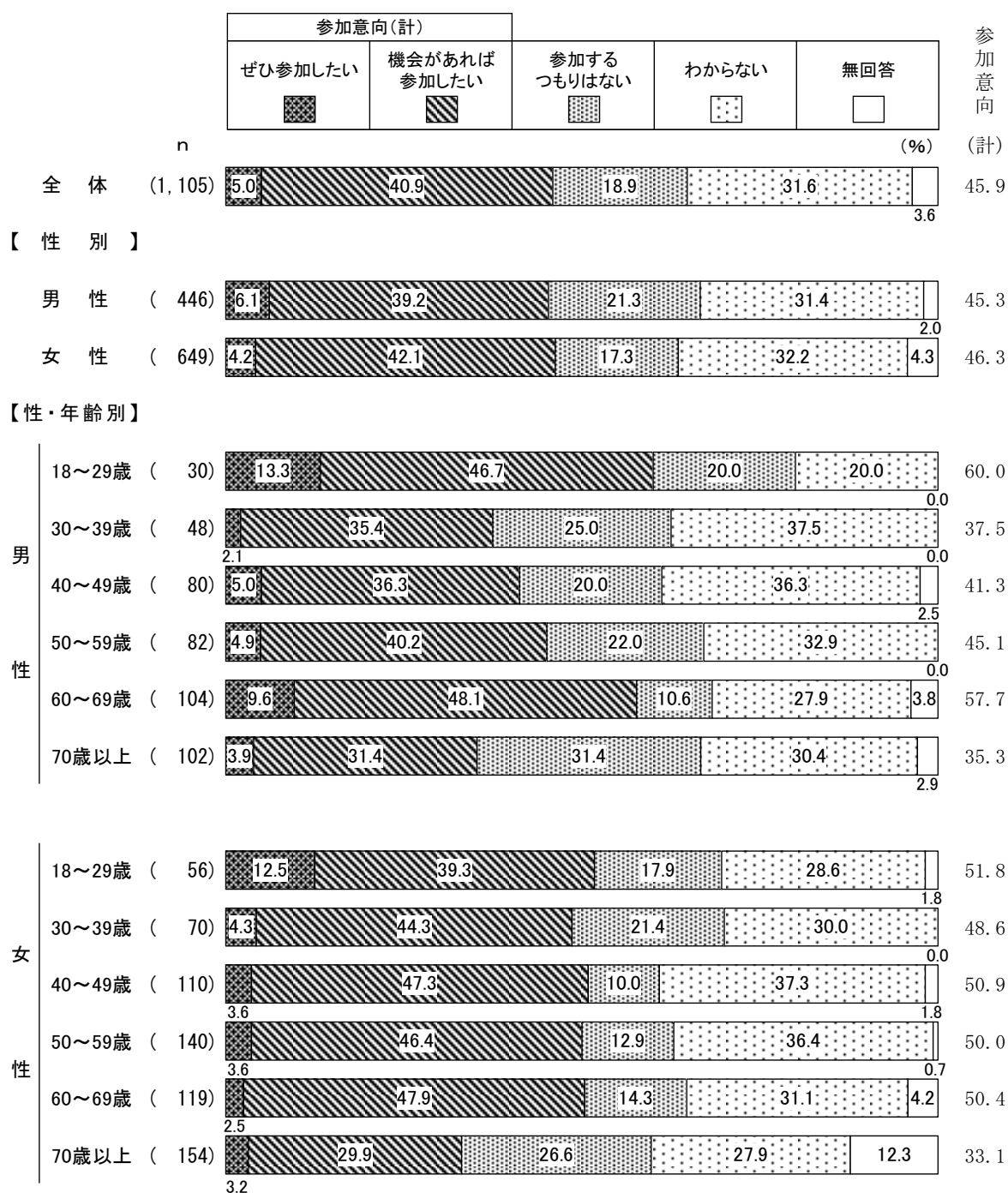
今後のボランティア活動の参加意向について聞いたところ、「ぜひ参加したい」(5.0%)と「機会があれば参加したい」(40.9%)を合わせた『参加意向(計)』(45.9%)は4割半ばとなっている。一方、「参加するつもりはない」(18.9%)は2割近くとなっている。(図4－4－1)

性別にみると、「参加するつもりはない」は男性（21.3%）が女性（17.3%）より4.0ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、『参加意向（計）』は男性18～29歳（60.0%）で6割と高くなっている。一方、「参加するつもりはない」は男性70歳以上（31.4%）で3割を超えて高くなっている。

（図4-4-2）

図4-4-2 今後のボランティア活動の参加意向（性・年齢別）



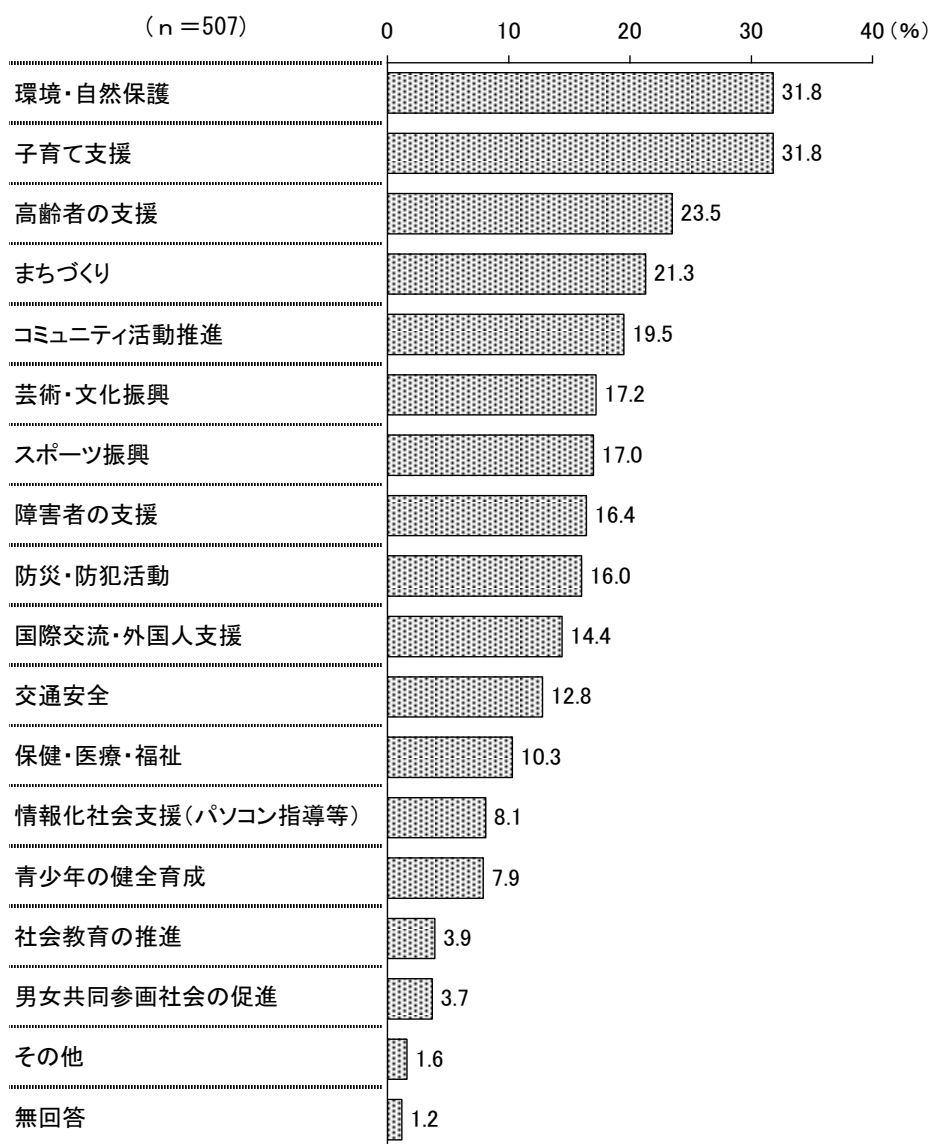
(5) 参加したいボランティア活動の内容

◇「環境・自然保護」と「子育て支援」がともに3割を超える

(問12で、「ぜひ参加したい」「機会があれば参加したい」と答えた方に)

問12-1 あなたは、どんなボランティア活動に参加したいですか。次の中からいくつでも選んでください。

図4-5-1

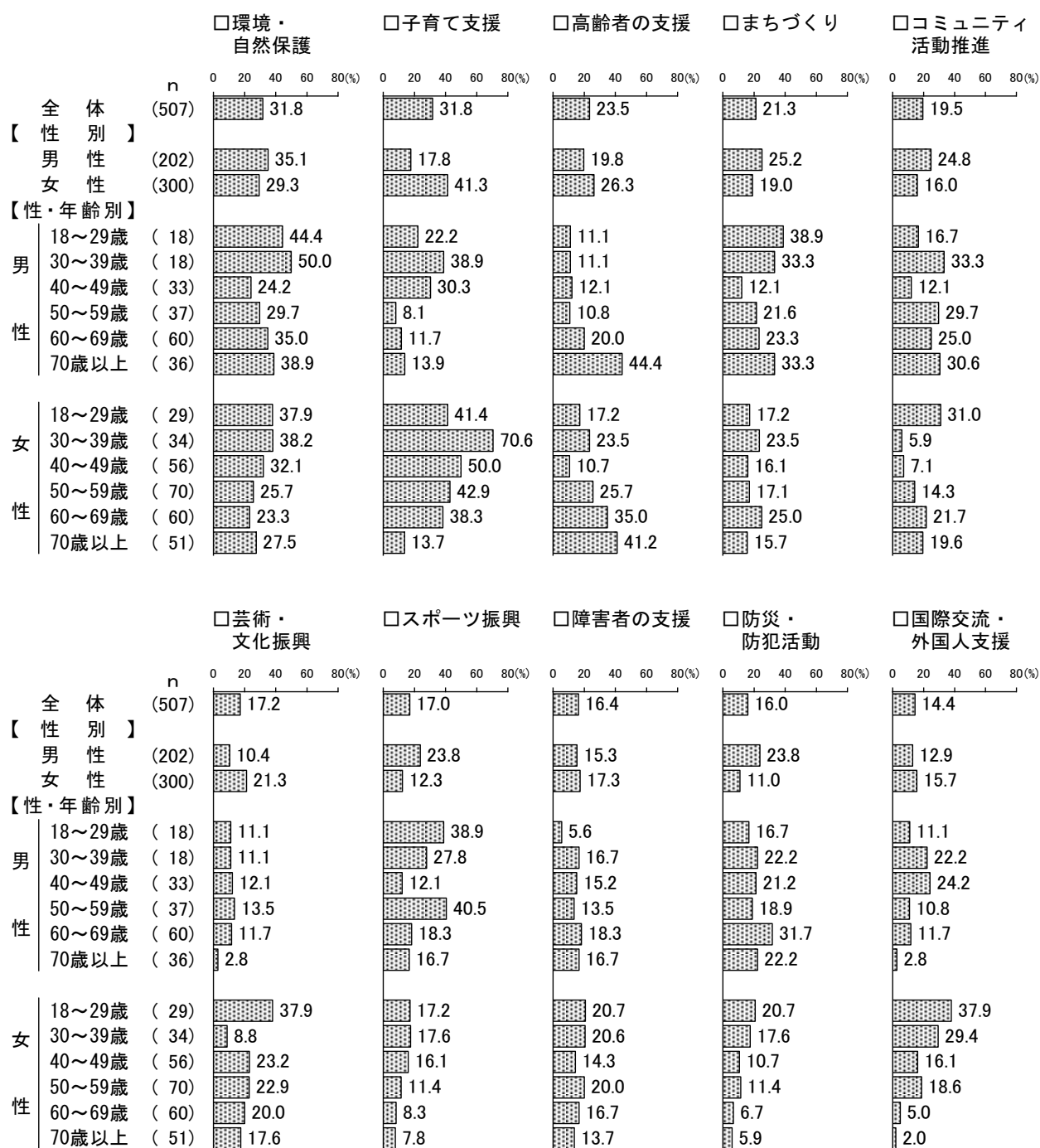


今後、ボランティア活動に「ぜひ参加したい」「機会があれば参加したい」と答えた人(507人)に、参加したいボランティア活動の内容について聞いたところ、「環境・自然保護」と「子育て支援」(ともに31.8%)がともに3割を超えて高く、次いで「高齢者の支援」(23.5%)、「まちづくり」(21.3%)、「コミュニティ活動推進」(19.5%)などの順となっている。(図4-5-1)

性別にみると、「子育て支援」は女性（41.3%）が男性（17.8%）より23.5ポイント、「芸術・文化振興」は女性（21.3%）が男性（10.4%）より10.9ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「防災・防犯活動」は男性（23.8%）が女性（11.0%）より12.8ポイント、「スポーツ振興」は男性（23.8%）が女性（12.3%）より11.5ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年齢別にみると、「子育て支援」は女性30～39歳（70.6%）でほぼ7割、女性40～49歳（50.0%）で5割と高くなっている。「高齢者の支援」は男性70歳以上（44.4%）と女性70歳以上（41.2%）で4割台と高くなっている。「スポーツ振興」は男性50～59歳（40.5%）でほぼ4割と高くなっている。（図4-5-2）

図4-5-2 参加したいボランティア活動の内容（性・年齢別）ー上位10項目



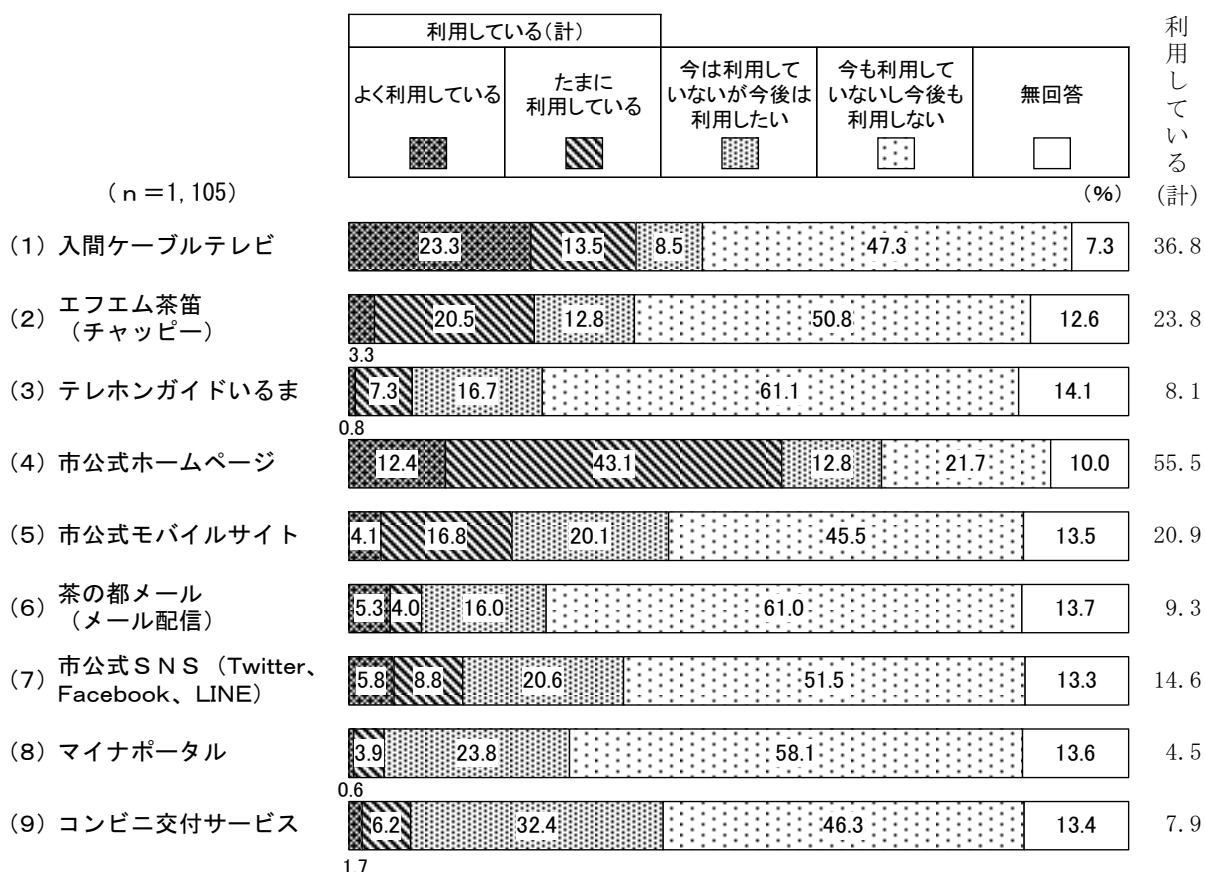
5. 情報化について

(1) メディアの利用状況

◇『利用している（計）』は「市公式ホームページ」が5割半ば

問13 あなたは、次にあげるメディアなどを利用していますか。それぞれの項目について1つずつ選んでください。

図5-1-1



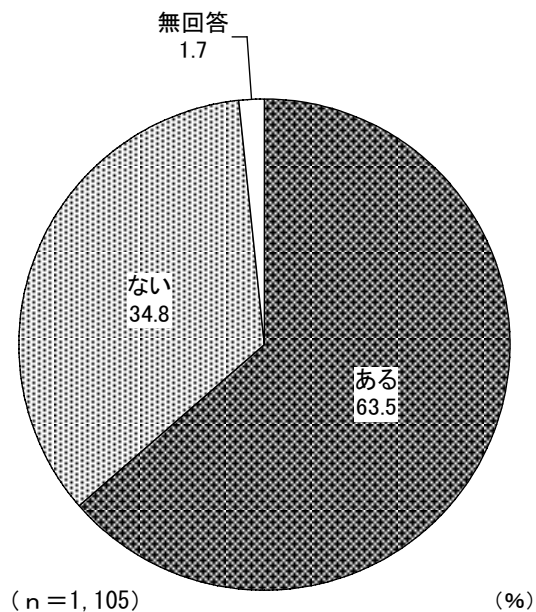
メディアの利用状況について聞いたところ、「よく利用している」と「たまに利用している」を合わせた『利用している（計）』は「市公式ホームページ」(55.5%)が5割半ばで最も高く、次いで「入間ケーブルテレビ」(36.8%)、「エフエム茶笛（チャッピー）」(23.8%)、「市公式モバイルサイト」(20.9%)などの順となっている。(図5-1-1)

(2) 市公式ホームページの閲覧状況

◇「ある」が6割を超える

問14 あなたは今年、入間市公式ホームページをご覧になったことがありますか。

図5-2-1

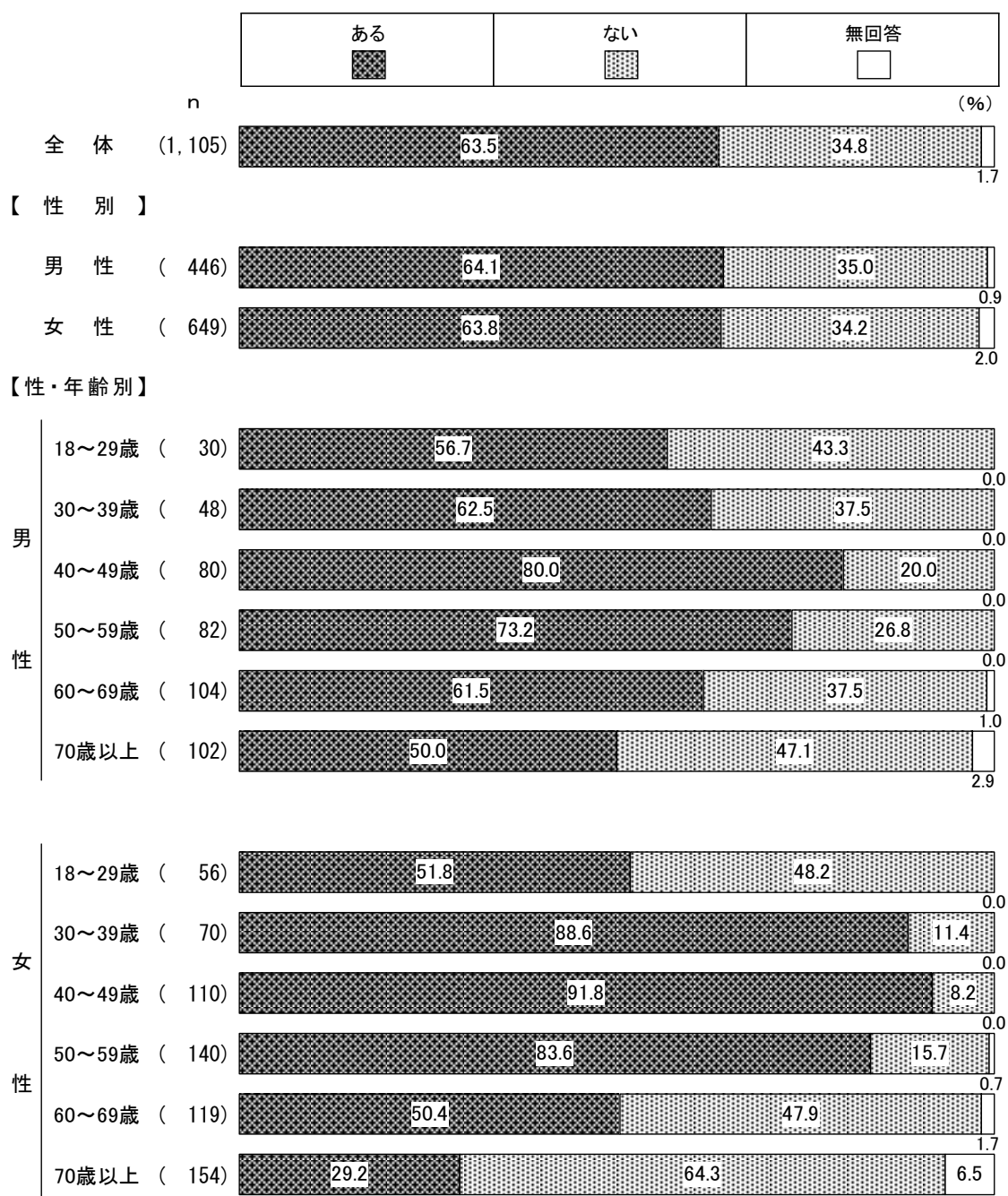


市公式ホームページの閲覧状況について聞いたところ、「ある」(63.5%)が6割を超えて高くなっている。一方、「ない」(34.8%)は3割半ばとなっている。(図5-2-1)

性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年齢別にみると、「ある」は女性40～49歳（91.8%）で9割を超えて高くなっている。一方、「ない」は女性70歳以上（64.3%）で6割半ばと高くなっている。（図5－2－2）

図5－2－2 市公式ホームページの閲覧状況（性・年齢別）



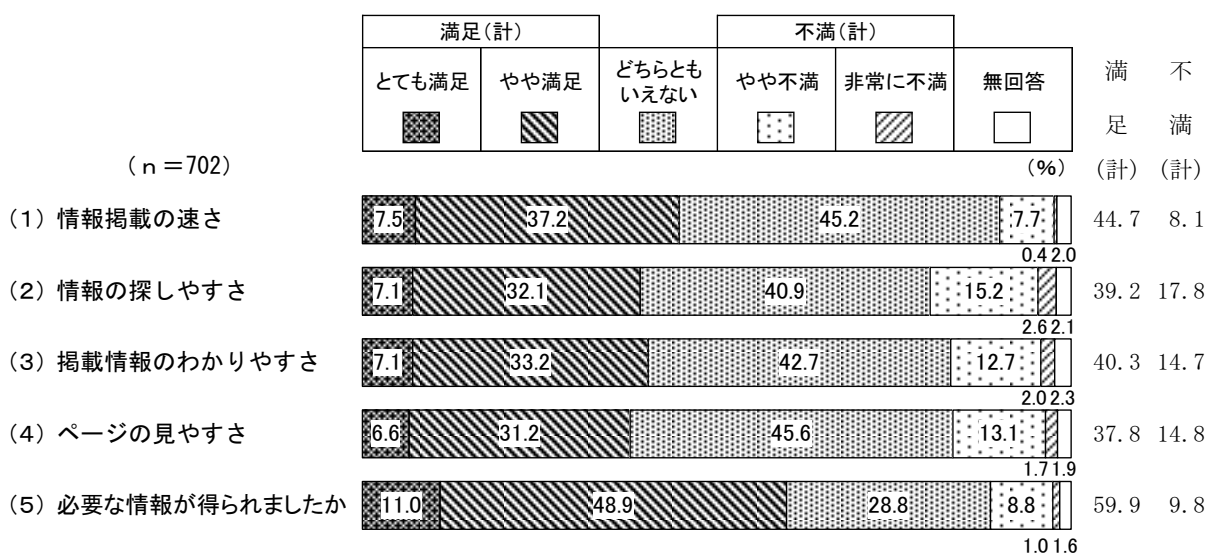
(3) 市公式ホームページの満足度

◇『満足（計）』は「必要な情報が得られましたか」が6割

(問14で、「ある」と答えた方に)

問14-1 ホームページの満足度をうかがいます。それぞれの項目について1つずつ選んでください。

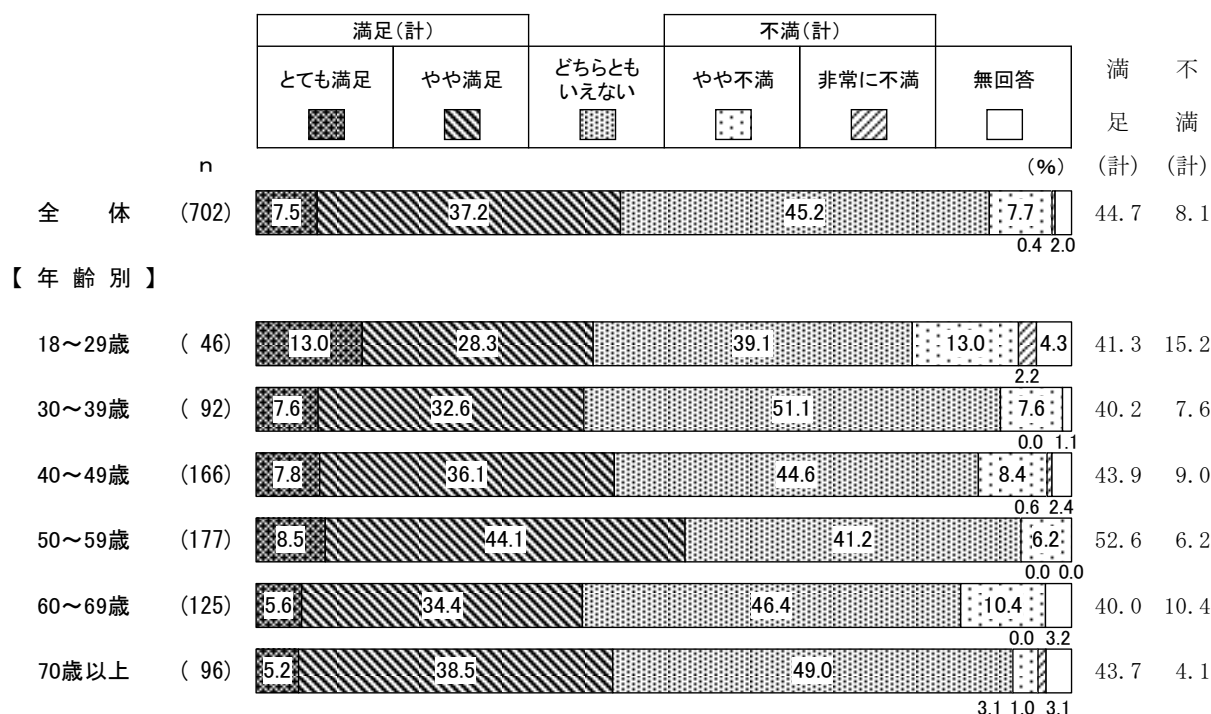
図5-3-1



市公式ホームページを閲覧したことが「ある」と答えた人(702人)に、市公式ホームページの満足度について聞いたところ、「とても満足」と「やや満足」を合わせた『満足（計）』は「必要な情報が得られましたか」(59.9%)が6割で最も高く、次いで「情報掲載の速さ」(44.7%)、「掲載情報のわかりやすさ」(40.3%)などの順となっている。一方、「やや不満」と「非常に不満」を合わせた『不満（計）』は「情報の探しやすさ」(17.8%)が2割近くで最も高く、次いで「ページの見やすさ」(14.8%)、「掲載情報のわかりやすさ」(14.7%)などの順となっている。(図5-3-1)

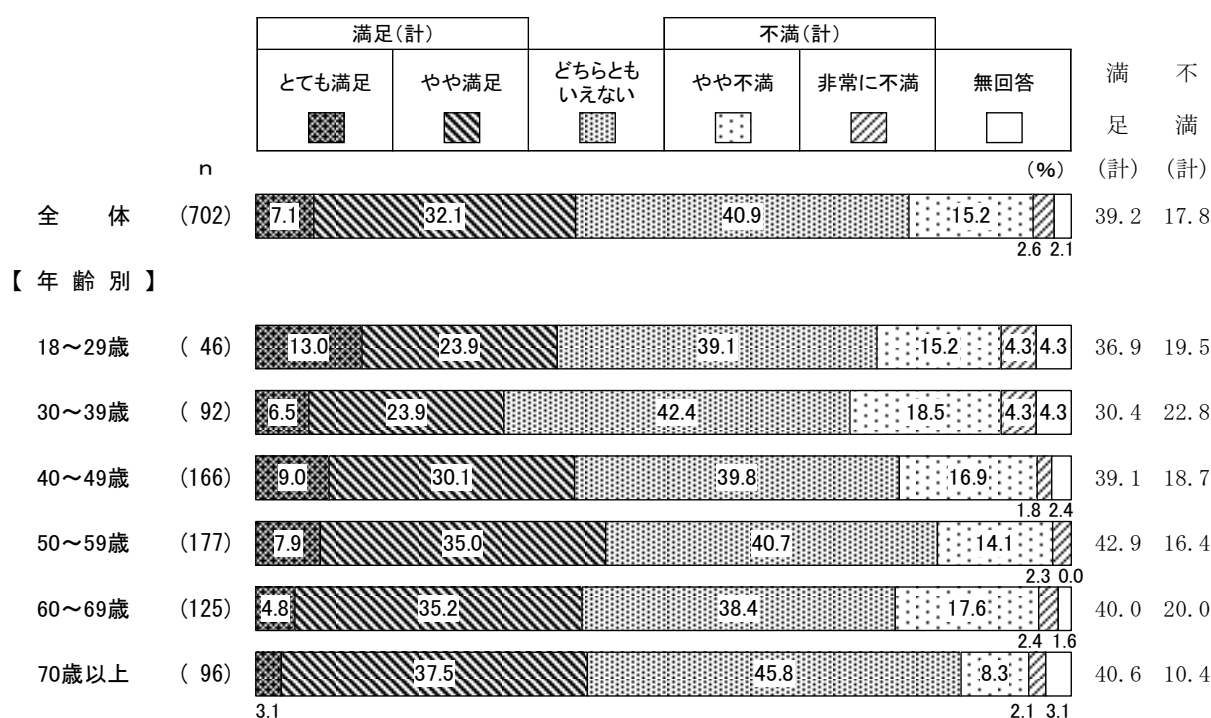
「情報掲載の速さ」について年齢別にみると、『満足（計）』は50～59歳（52.6%）で5割を超えて高くなっている。（図5－3－2）

図5－3－2 市公式ホームページの満足度 （1）情報掲載の速さ（年齢別）



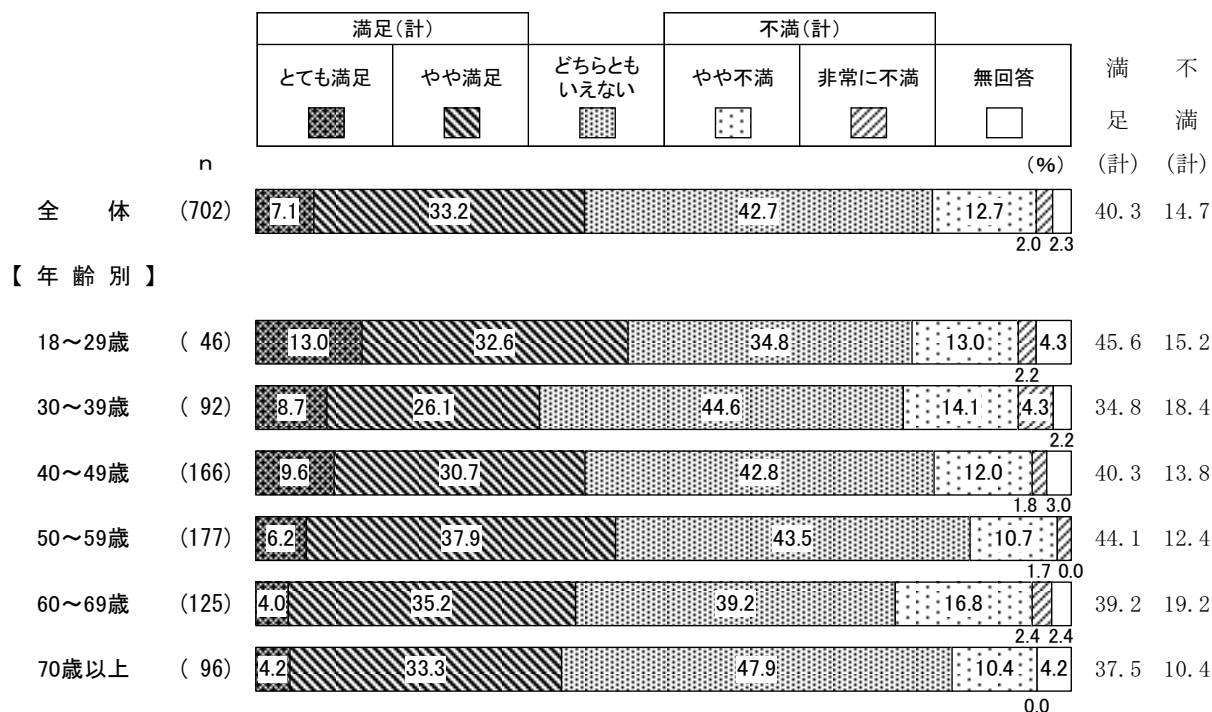
「情報の探しやすさ」について年齢別にみると、『満足（計）』は50～59歳（42.9%）で4割を超えて高くなっている。（図5－3－3）

図5－3－3 市公式ホームページの満足度 （2）情報の探しやすさ（年齢別）



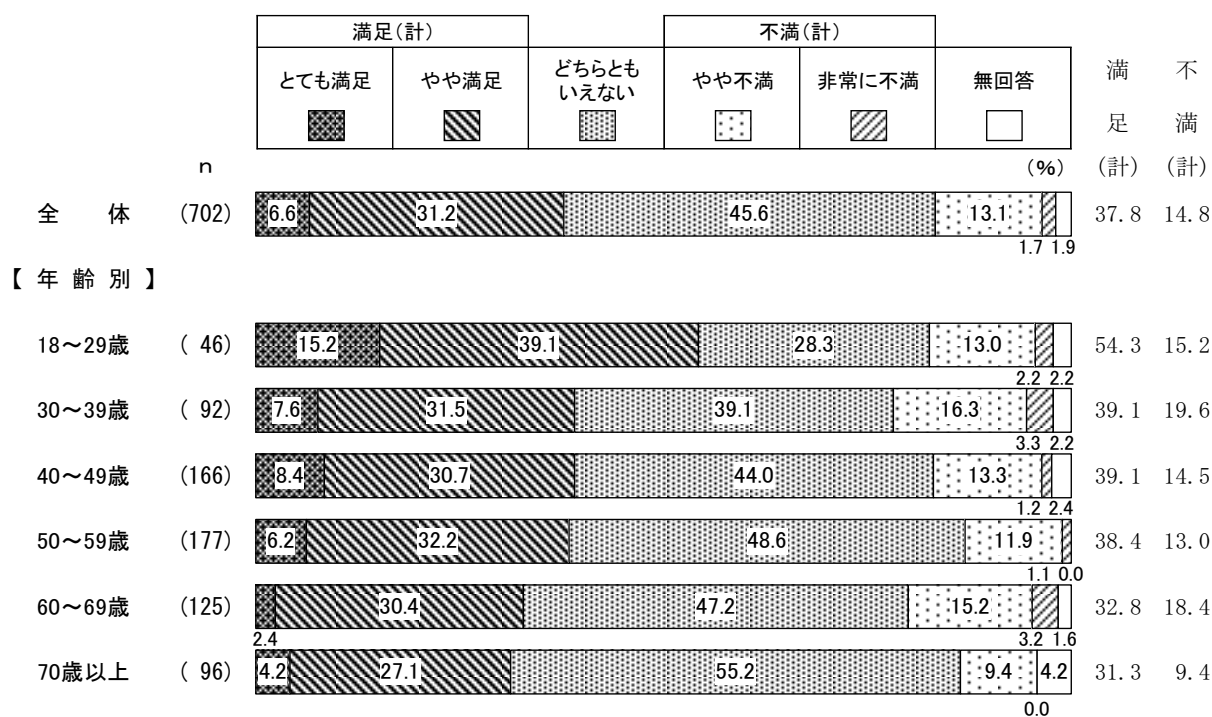
「掲載情報のわかりやすさ」について年齢別にみると、『満足（計）』は18～29歳（45.6%）と50～59歳（44.1%）で4割半ばと高くなっている。（図5－3－4）

図5－3－4 市公式ホームページの満足度 （3）掲載情報のわかりやすさ（年齢別）



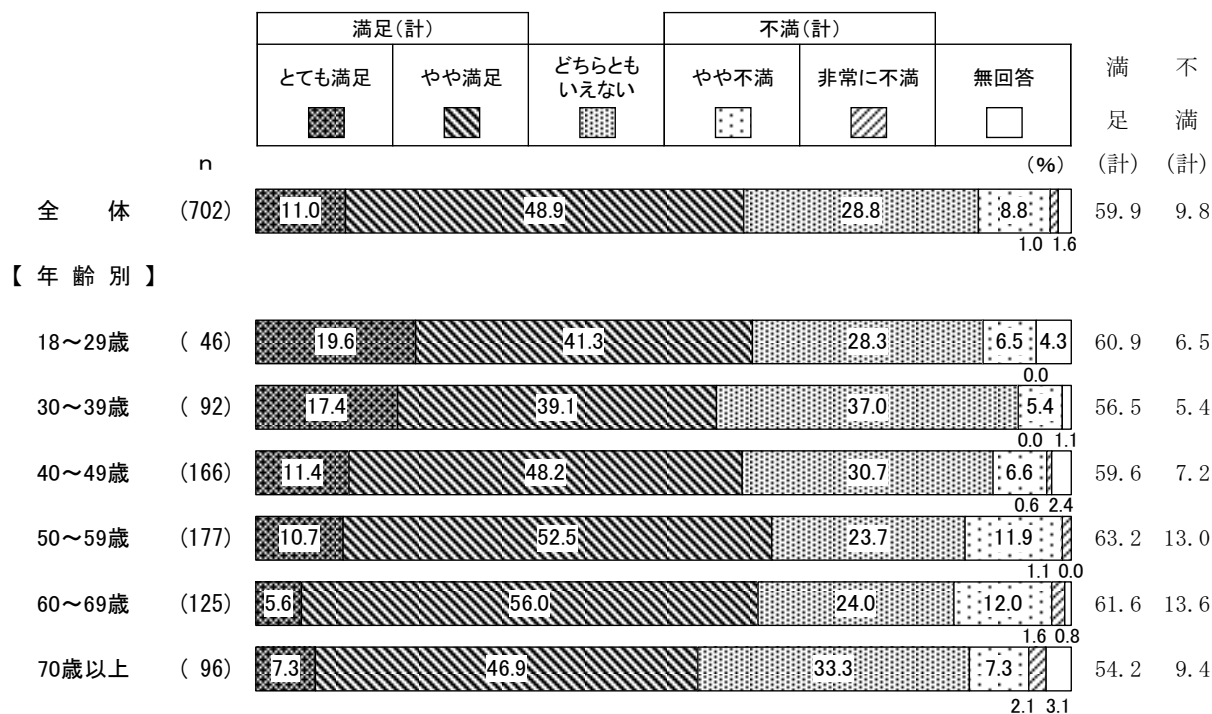
「ページの見やすさ」について年齢別にみると、『満足（計）』は18～29歳（54.3%）で5割半ばと高くなっている。（図5－3－5）

図5－3－5 市公式ホームページの満足度 （4）ページの見やすさ（年齢別）



「必要な情報が得られましたか」について年齢別にみると、『満足（計）』は50～59歳（63.2%）と60～69歳（61.6%）で6割を超えて高くなっている。（図5－3－6）

図5－3－6 市公式ホームページの満足度 （5）必要な情報が得られましたか（年齢別）

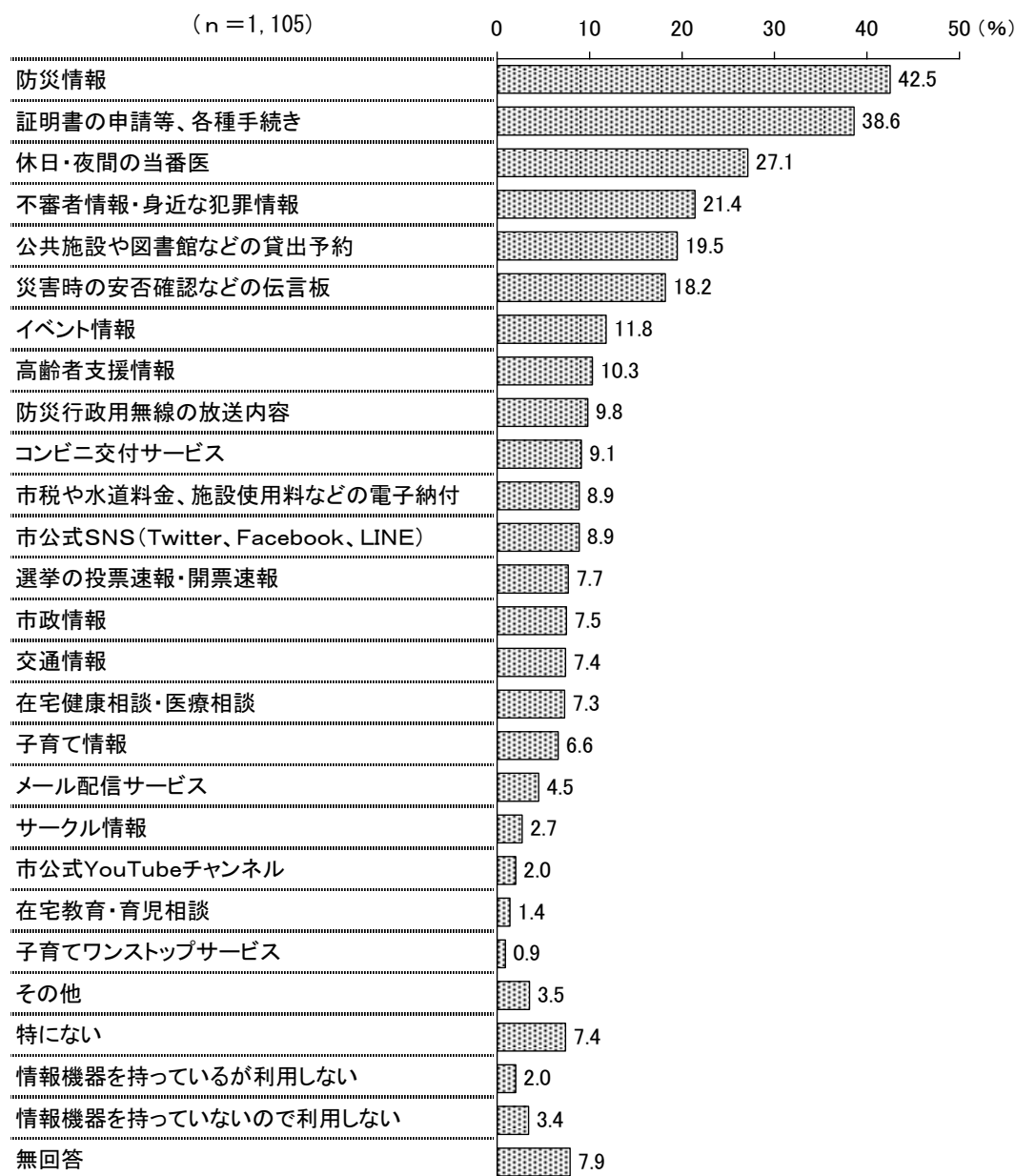


(4) 市のインターネットサービスで利用している（利用したい）情報

◇「防災情報」が4割を超える

問15 市がインターネットで行うサービスのうち、どのようなものを利用していますか（利用したいと思いますか）。次の項目から5つまで選んでください。

図5-4-1



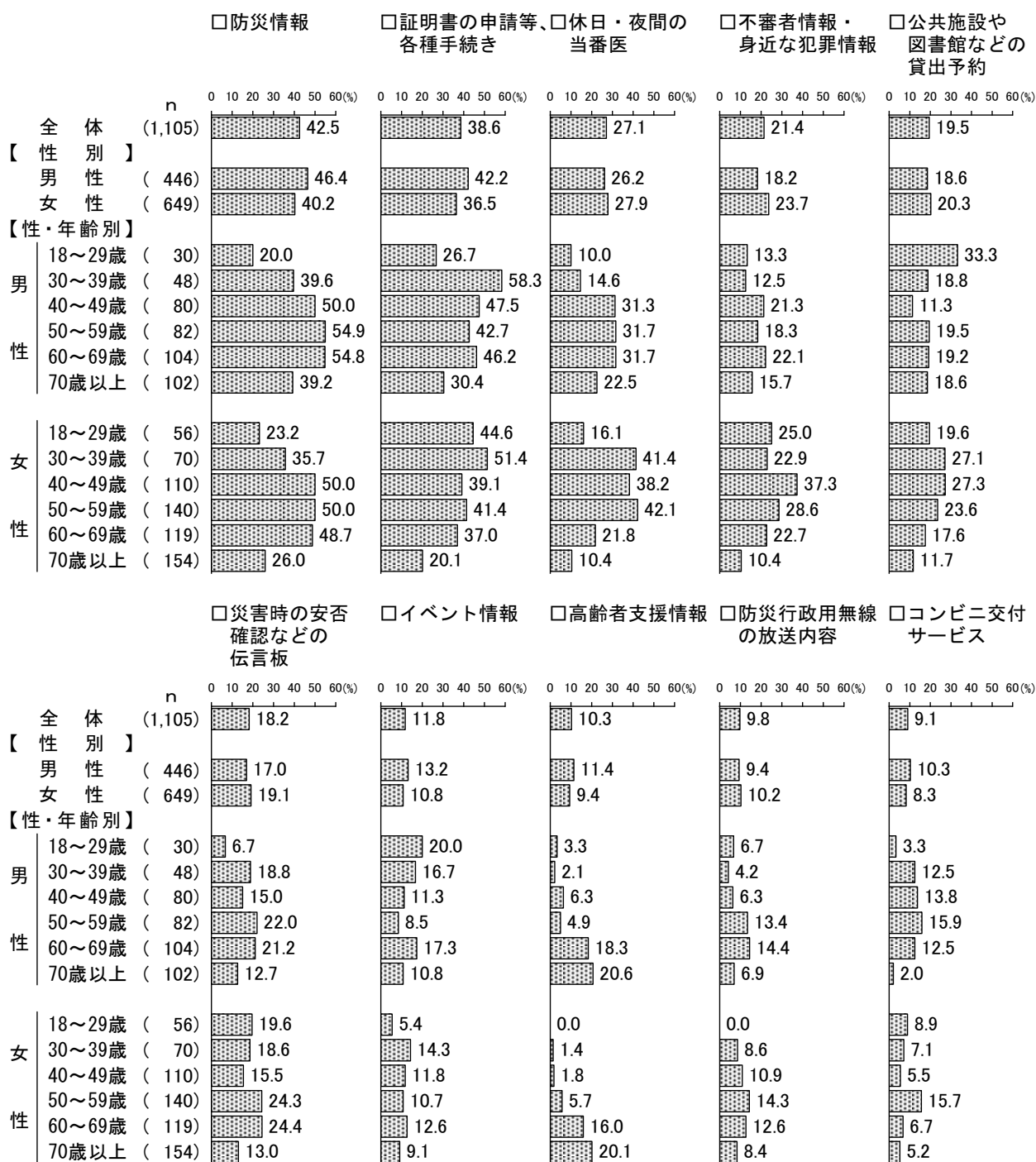
市のインターネットサービスで利用している（利用したい）情報について聞いたところ、「防災情報」（42.5%）が4割を超えて最も高く、次いで「証明書の申請等、各種手続き」（38.6%）、「休日・夜間の当番医」（27.1%）、「不審者情報・身近な犯罪情報」（21.4%）などの順となっている。

(図5-4-1)

性別にみると、「防災情報」は男性（46.4%）が女性（40.2%）より6.2ポイント、「証明書の申請等、各種手続き」は男性（42.2%）が女性（36.5%）より5.7ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「不審者情報・身近な犯罪情報」は女性（23.7%）が男性（18.2%）より5.5ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「防災情報」は男性50～59歳（54.9%）と男性60～69歳（54.8%）で5割半ばと高くなっている。「証明書の申請等、各種手続き」は男性30～39歳（58.3%）で6割近く、女性30～39歳（51.4%）で5割を超えて高くなっている。「休日・夜間の当番医」は女性30～39歳（41.4%）と女性50～59歳（42.1%）で4割を超えて高くなっている。（図5-4-2）

図5-4-2 市のインターネットサービスで利用している(利用したい)情報(性・年齢別)ー上位10項目

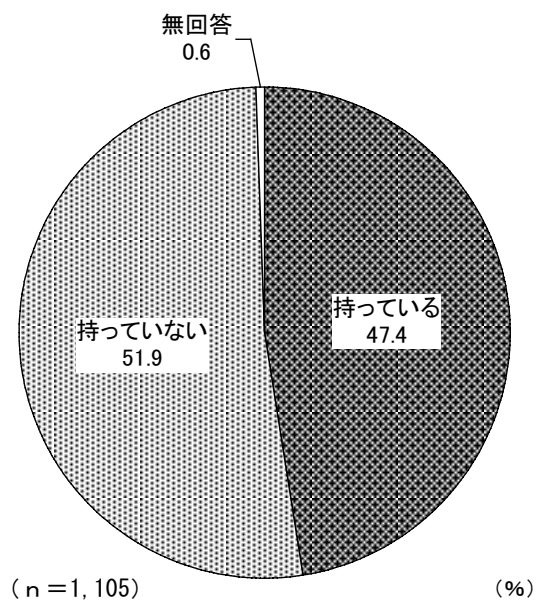


(5) マイナンバーカードの保有状況

◇「持っている」が5割近く

問16 あなたは、マイナンバーカードを持っていますか。次の中から1つ選んでください。

図5-5-1

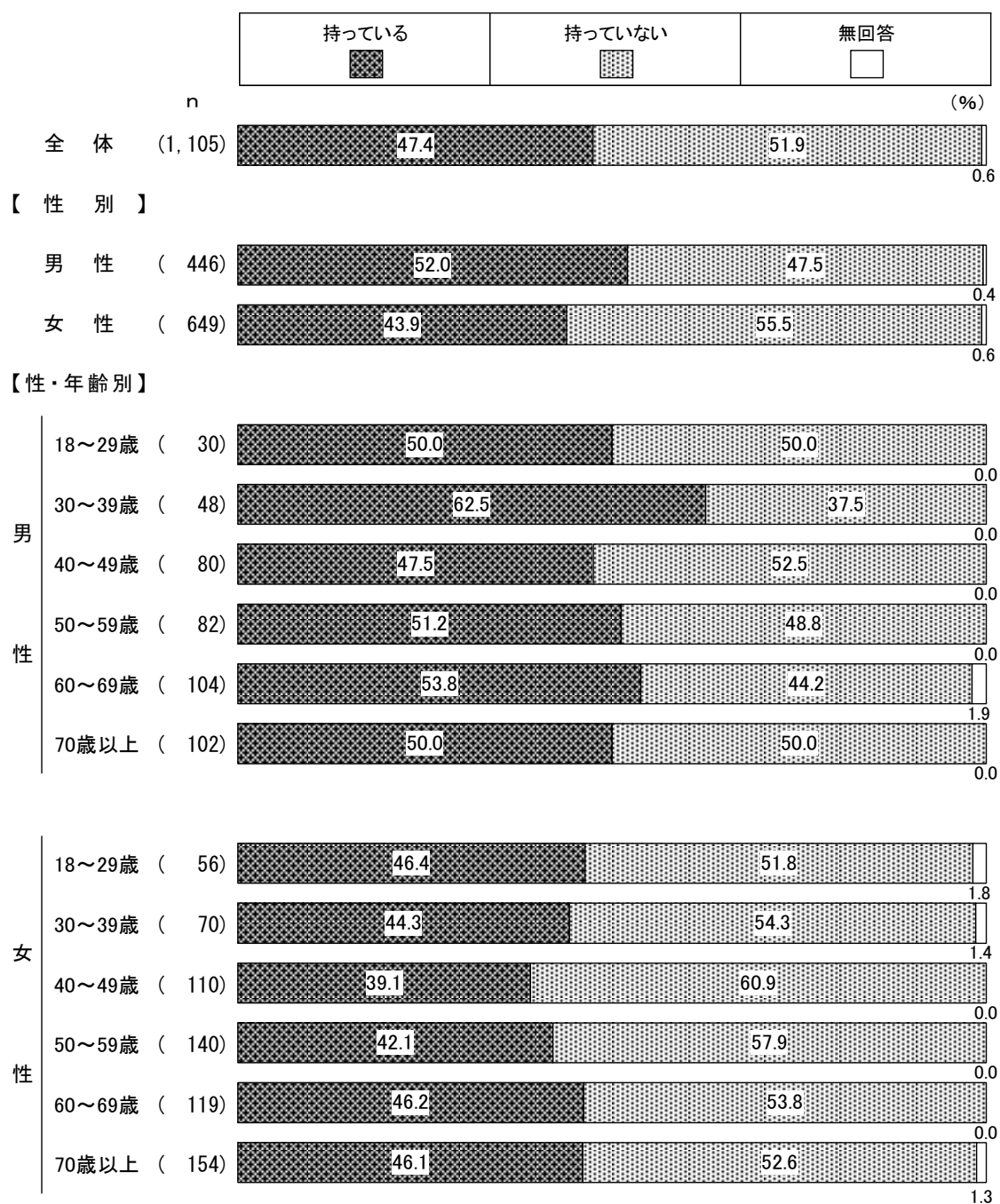


マイナンバーカードの保有状況について聞いたところ、「持っている」(47.4%)が5割近く、「持っていない」(51.9%)は5割を超えている。(図5-5-1)

性別にみると、「持っている」は男性（52.0%）が女性（43.9%）より8.1ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「持っている」は男性30～39歳（62.5%）で6割を超えて高くなっている。一方、「持っていない」は女性40～49歳（60.9%）でほぼ6割と高くなっている。（図5－5－2）

図5－5－2 マイナンバーカードの保有状況（性・年齢別）



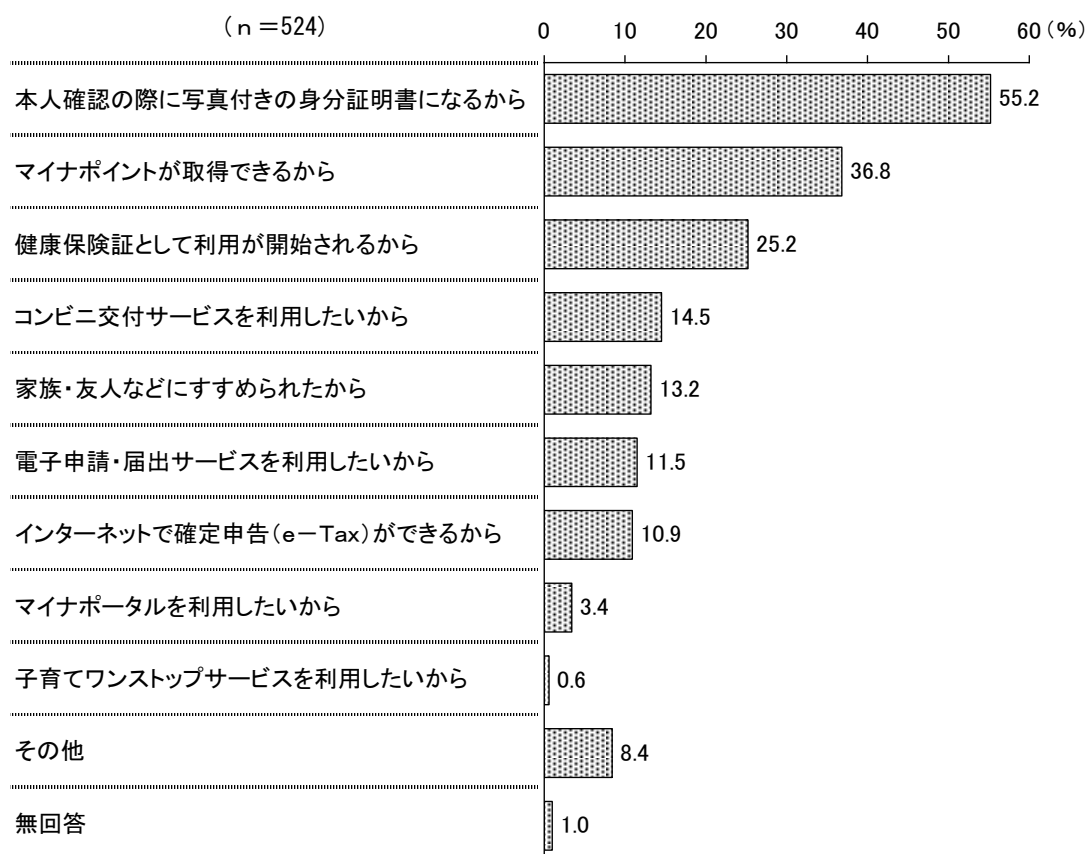
(6) マイナンバーカードを取得したきっかけ

◇「本人確認の際に写真付きの身分証明書になるから」が5割半ば

(問16で、「持っている」と答えた方に)

問16-1 マイナンバーカードを取得したきっかけは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

図5-6-1

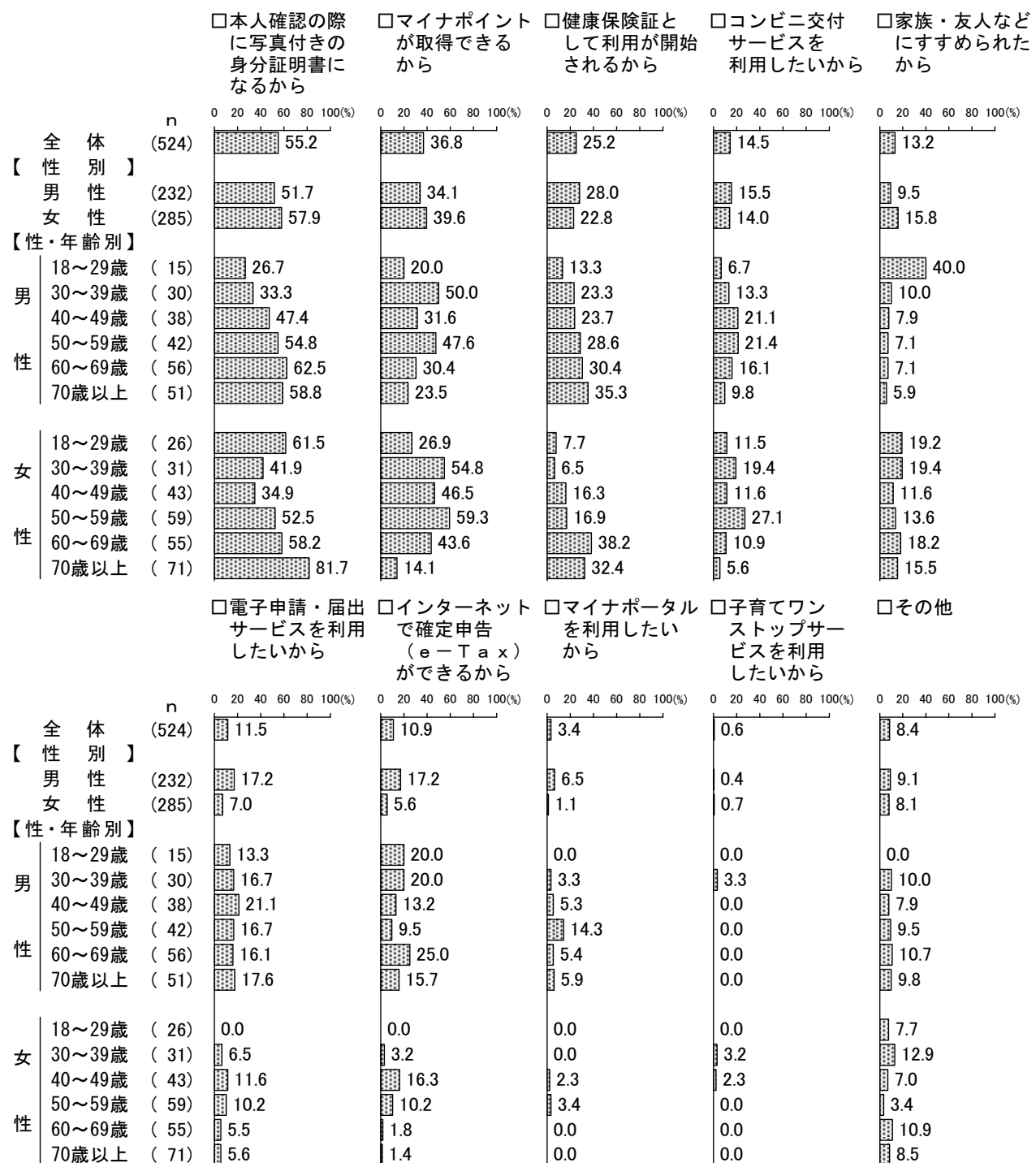


マイナンバーカードを「持っている」と答えた人(524人)に、マイナンバーカードを取得したきっかけについて聞いたところ、「本人確認の際に写真付きの身分証明書になるから」(55.2%)が5割半ばで最も高く、次いで「マイナポイントが取得できるから」(36.8%)、「健康保険証として利用が開始されるから」(25.2%)、「コンビニ交付サービスを利用したいから」(14.5%)などの順となっている。(図5-6-1)

性別にみると、「インターネットで確定申告（e-Tax）ができるから」は男性（17.2%）が女性（5.6%）より11.6ポイント、「電子申請・届出サービスを利用したいから」は男性（17.2%）が女性（7.0%）より10.2ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「家族・友人などにすすめられたから」は女性（15.8%）が男性（9.5%）より6.3ポイント、「本人確認の際に写真付きの身分証明書になるから」は女性（57.9%）が男性（51.7%）より6.2ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年齢別にみると、「本人確認の際に写真付きの身分証明書になるから」は女性70歳以上（81.7%）で8割を超えて高くなっている。「マイナポイントが取得できるから」は女性50～59歳（59.3%）でほぼ6割と高くなっている。「健康保険証として利用が開始されるから」は女性60～69歳（38.2%）で4割近くと高くなっている。（図5-6-2）

図5-6-2 マイナンバーカードを取得したきっかけ（性・年齢別）



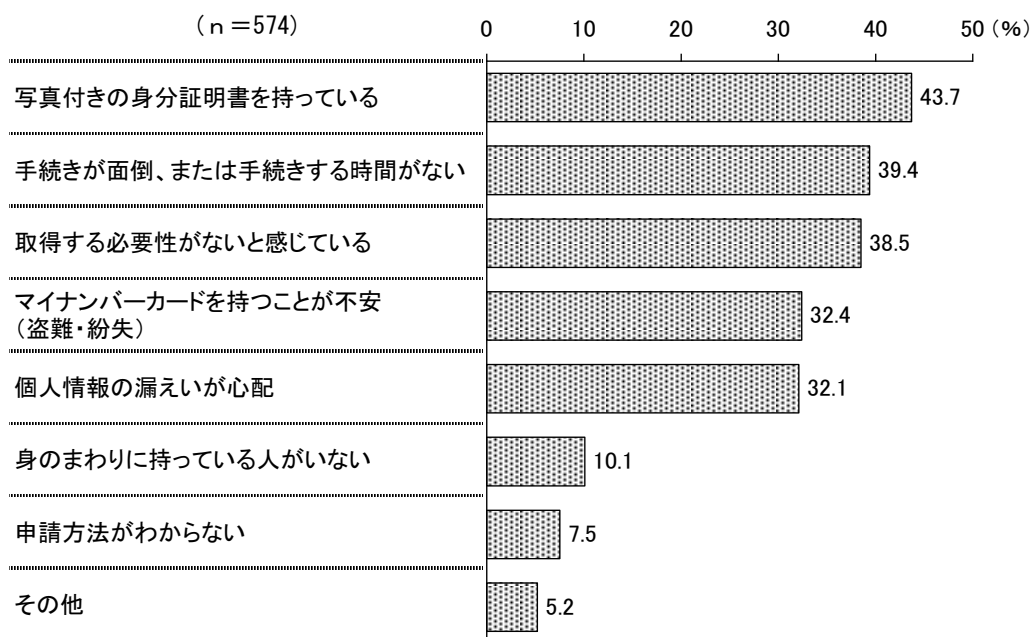
(7) マイナンバーカードを持っていない理由

◇「写真付きの身分証明書を持っている」が4割を超える

(問16で、「持っていない」と答えた方に)

問16-2 マイナンバーカードを持っていない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

図5-7-1



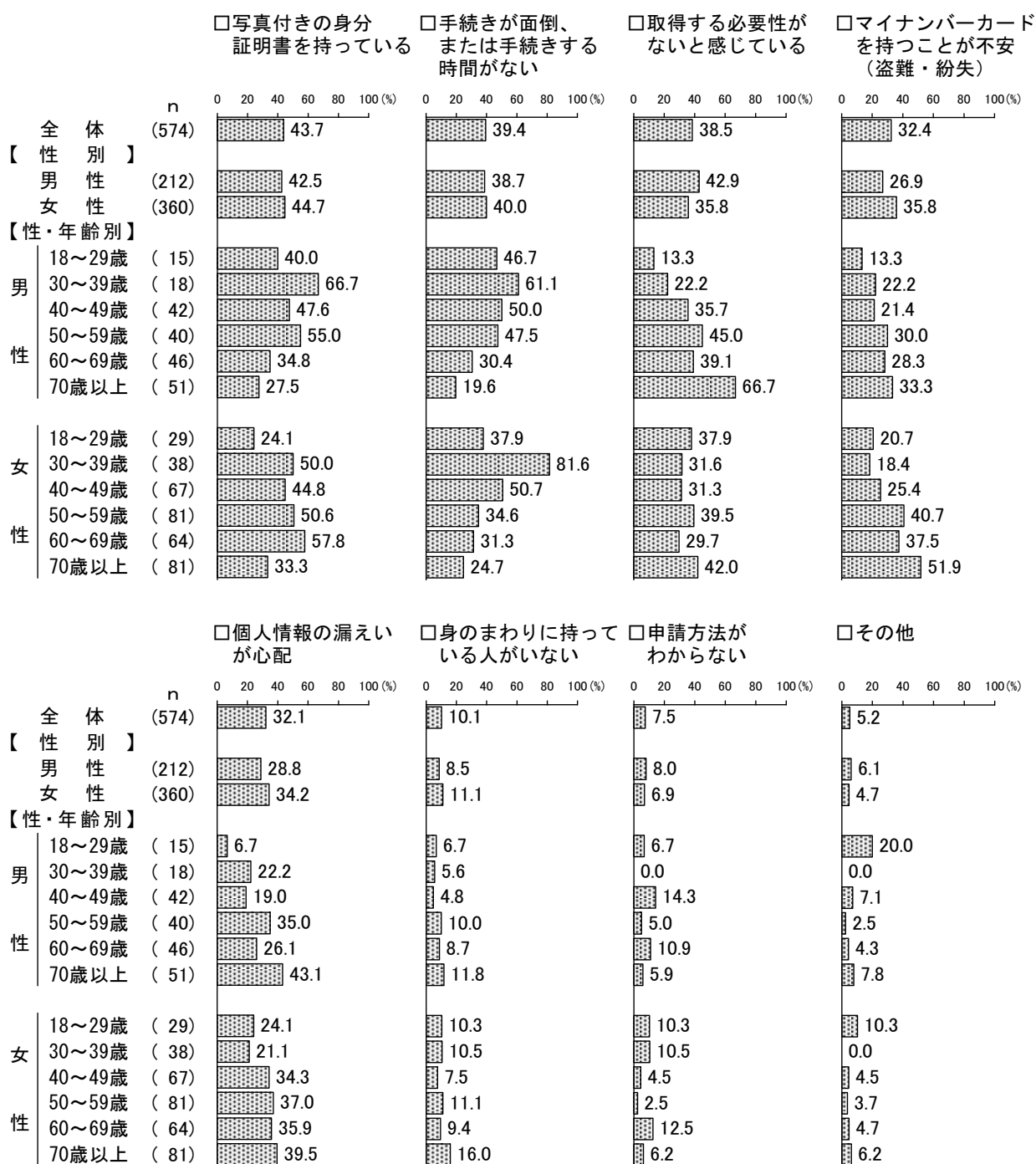
マイナンバーカードを「持っていない」と答えた人(574人)に、その理由について聞いたところ、「写真付きの身分証明書を持っている」(43.7%)が4割を超えて最も高く、次いで「手続きが面倒、または手続きする時間がない」(39.4%)、「取得する必要性がないと感じている」(38.5%)、「マイナンバーカードを持つことが不安(盗難・紛失)」(32.4%)などの順となっている。

(図5-7-1)

性別にみると、「マイナンバーカードを持つことが不安（盗難・紛失）」は女性（35.8%）が男性（26.9%）より8.9ポイント、「個人情報の漏えいが心配」は女性（34.2%）が男性（28.8%）より5.4ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「取得する必要性がないと感じている」は男性（42.9%）が女性（35.8%）より7.1ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「写真付きの身分証明書を持っている」は女性60～69歳（57.8%）で6割近くと高くなっている。「手続きが面倒、または手続きする時間がない」は女性30～39歳（81.6%）で8割を超えて高くなっている。「取得する必要性がないと感じている」は男性70歳以上（66.7%）で7割近くと高くなっている。（図5－7－2）

図5－7－2 マイナンバーカードを持っていない理由（性・年齢別）



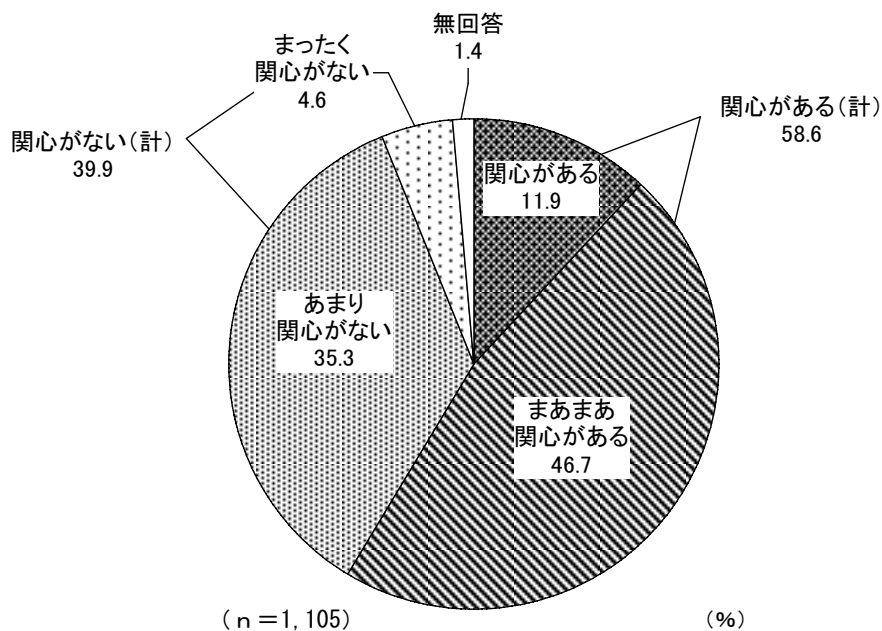
6. 市政への関心度や市政情報について

(1) 市政への関心度

◇『関心がある(計)』が6割近く

問17 あなたは入間市政にどの程度関心をお持ちになっていますか。次の中から1つ選んでください。

図6-1-1

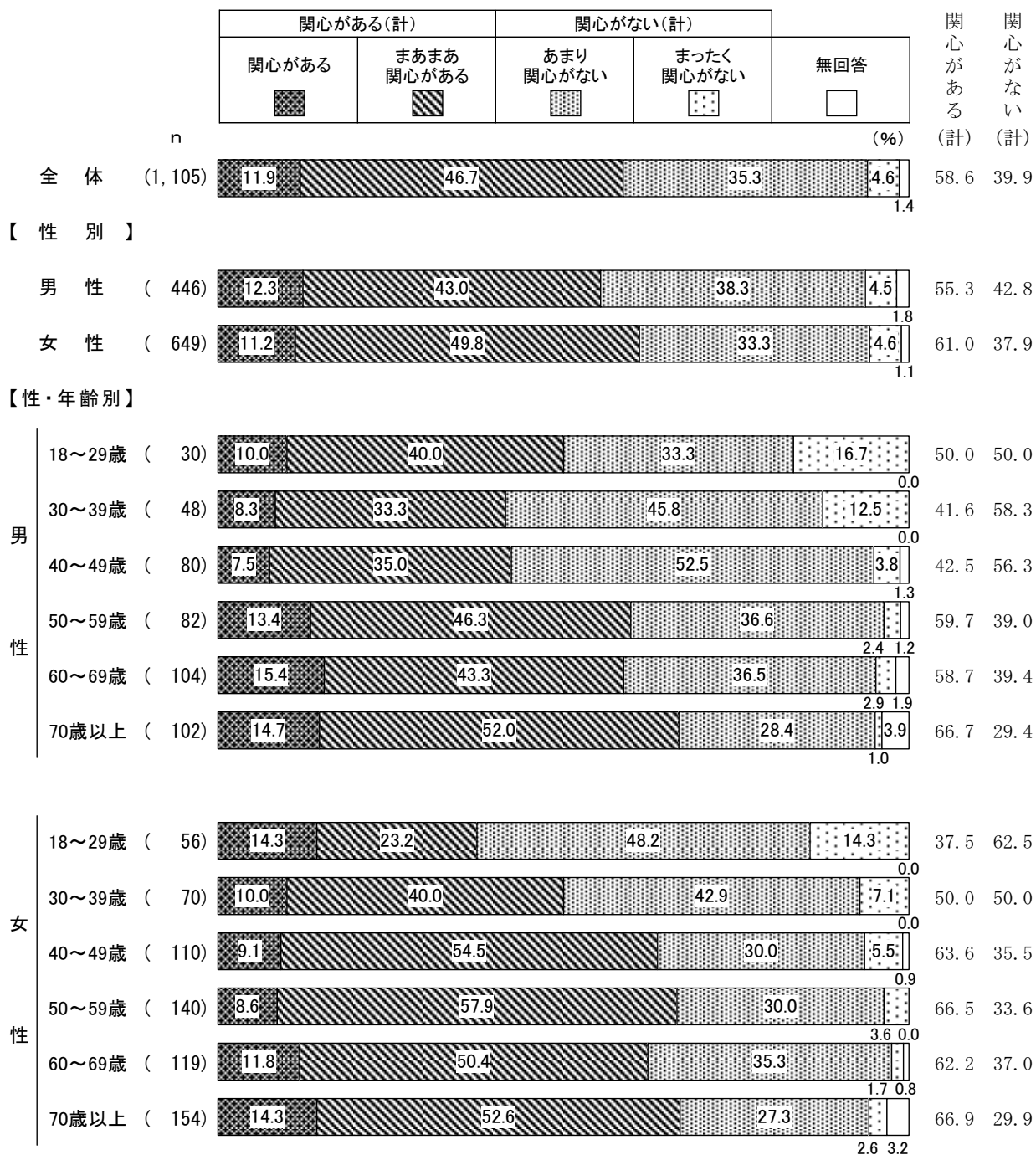


市政への関心度について聞いたところ、「関心がある」(11.9%)と「まあまあ関心がある」(46.7%)を合わせた『関心がある(計)』(58.6%)が6割近くとなっている。一方、「あまり関心がない」(35.3%)と「まったく関心がない」(4.6%)を合わせた『関心がない(計)』(39.9%)は4割となっている。(図6-1-1)

性別にみると、『関心がある（計）』は女性（61.0％）が男性（55.3％）より5.7ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、『関心がある（計）』は男性70歳以上（66.7％）、女性50～59歳（66.5％）、女性70歳以上（66.9％）で7割近くと高くなっている。一方、『関心がない（計）』は女性18～29歳（62.5％）で6割を超えて高くなっている。（図6－1－2）

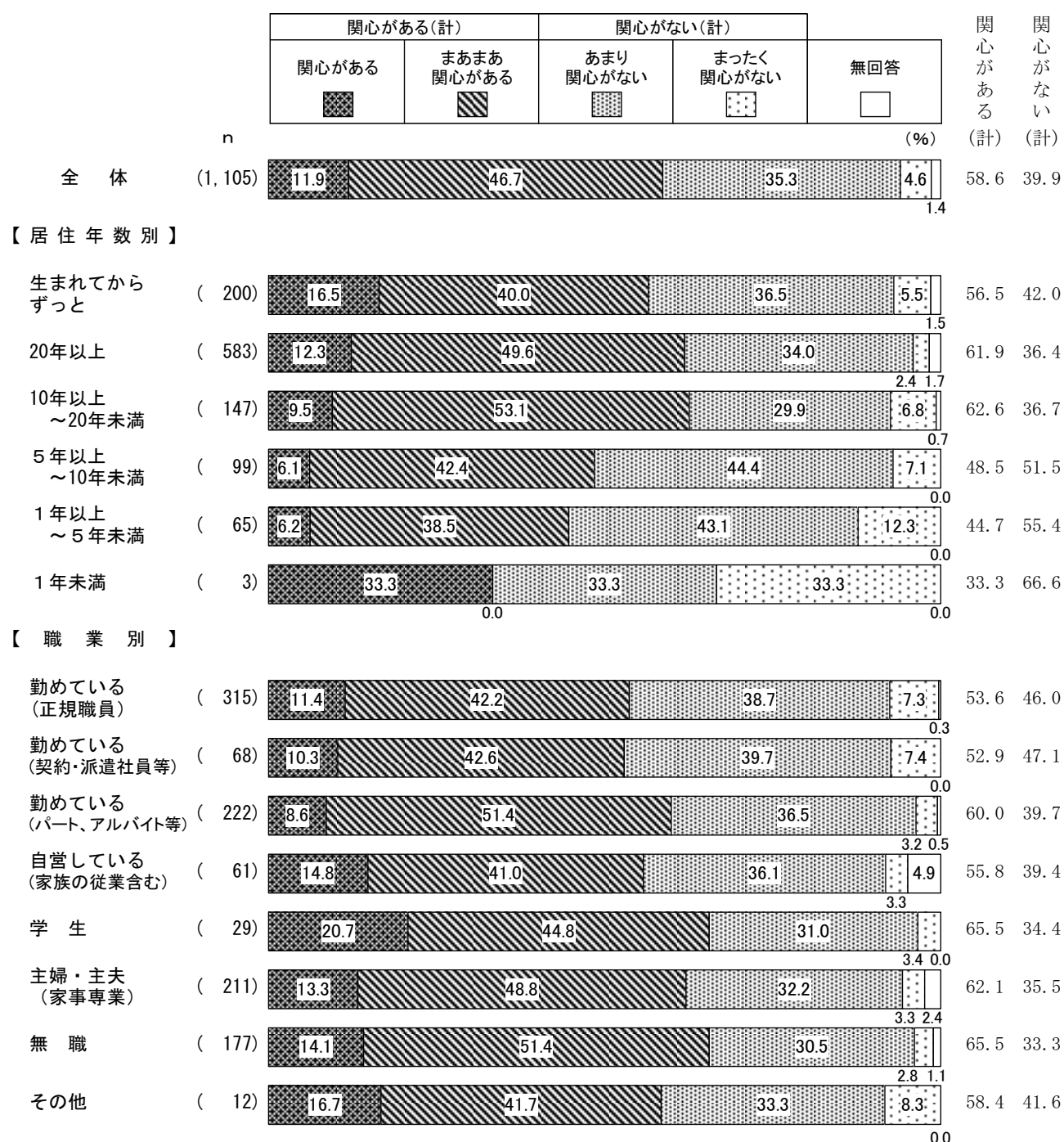
図6－1－2 市政への関心度（性・年齢別）



居住年数別にみると、『関心がある（計）』は“10年以上～20年未満”（62.6％）と“20年以上”（61.9％）で6割を超えて高くなっている。一方、『関心がない（計）』は“1年以上～5年未満”（55.4％）で5割半ばと高くなっている。

職業別にみると、『関心がある（計）』は“学生”と“無職”（ともに65.5％）で6割半ばと高くなっている。一方、『関心がない（計）』は“勤めている（契約・派遣社員等）”（47.1％）と“勤めている（正規職員）”（46.0％）で4割台と高くなっている。（図6－1－3）

図6－1－3 市政への関心度（居住年数別、職業別）



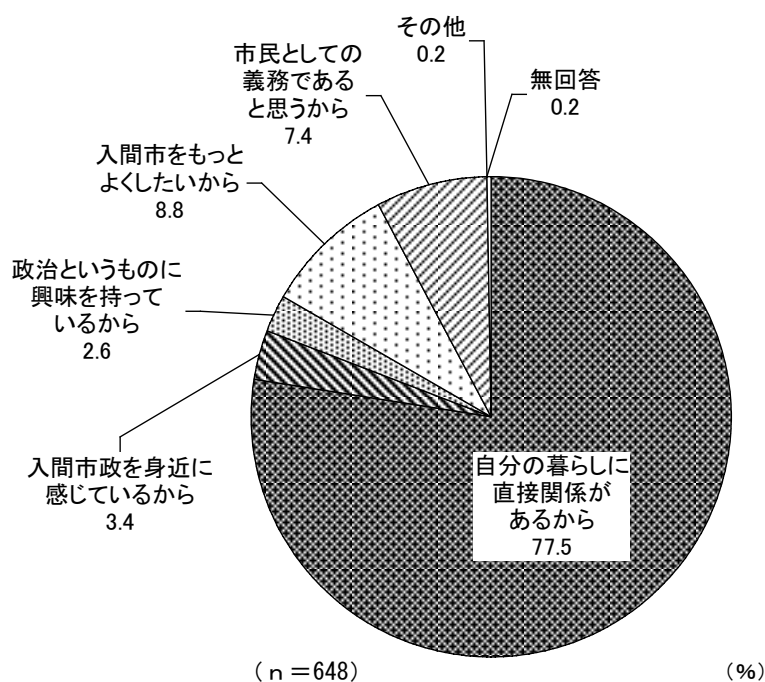
(2) 市政に関心のある理由

◇「自分の暮らしに直接関係があるから」が8割近く

(問17で、「関心がある」「まあまあ関心がある」と答えた方に)

問17-1 市政に関心を持たれるのはどのようなお気持ちからですか。次の中から1つ選んでください。

図6-2-1

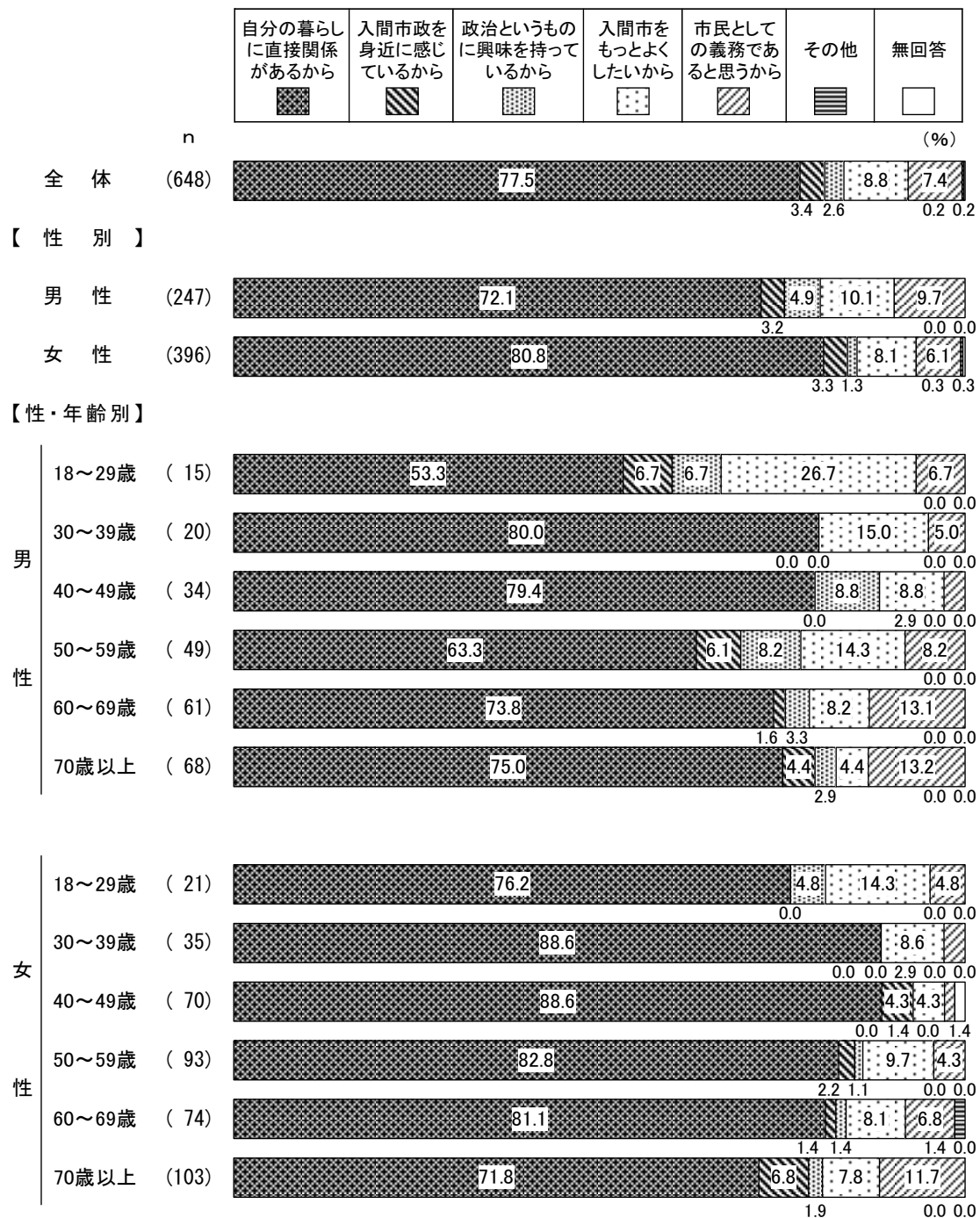


入間市政に「関心がある」「まあまあ関心がある」と答えた人(648人)に、その理由について聞いたところ、「自分の暮らしに直接関係があるから」(77.5%)が8割近くで最も高く、次いで「入間市をもっとよくしたいから」(8.8%)、「市民としての義務であると思うから」(7.4%)などの順となっている。(図6-2-1)

性別にみると、「自分の暮らしに直接関係があるから」は女性（80.8%）が男性（72.1%）より8.7ポイント高くなっている。一方、「政治というものに興味を持っているから」は男性（4.9%）が女性（1.3%）より3.6ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「自分の暮らしに直接関係があるから」は女性30～39歳と女性40～49歳（ともに88.6%）で9割近くと高くなっている。（図6－2－2）

図6－2－2 市政に関心のある理由（性・年齢別）



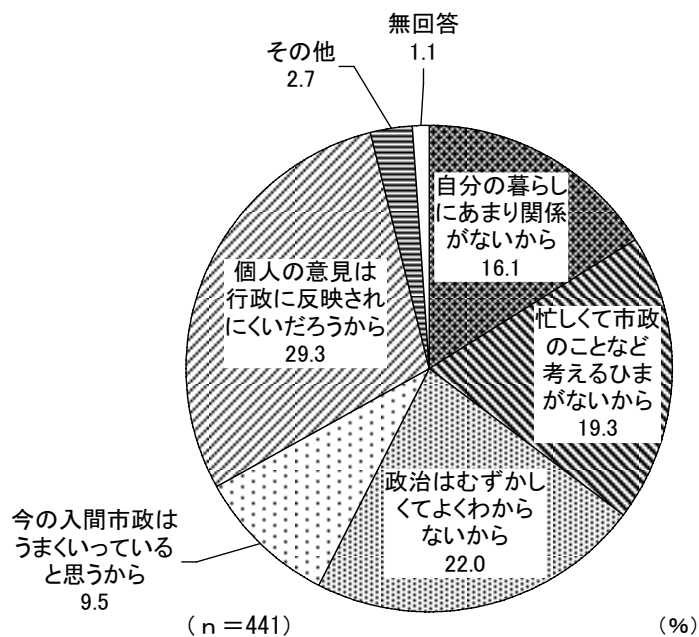
(3) 市政に関心のない理由

◇「個人の意見は行政に反映されにくいだろうから」がほぼ3割

(問17で、「あまり関心がない」「まったく関心がない」と答えた方に)

問17-2 市政に関心のない理由は、どのようなお気持ちからですか。次の中から1つ選んでください。

図6-3-1

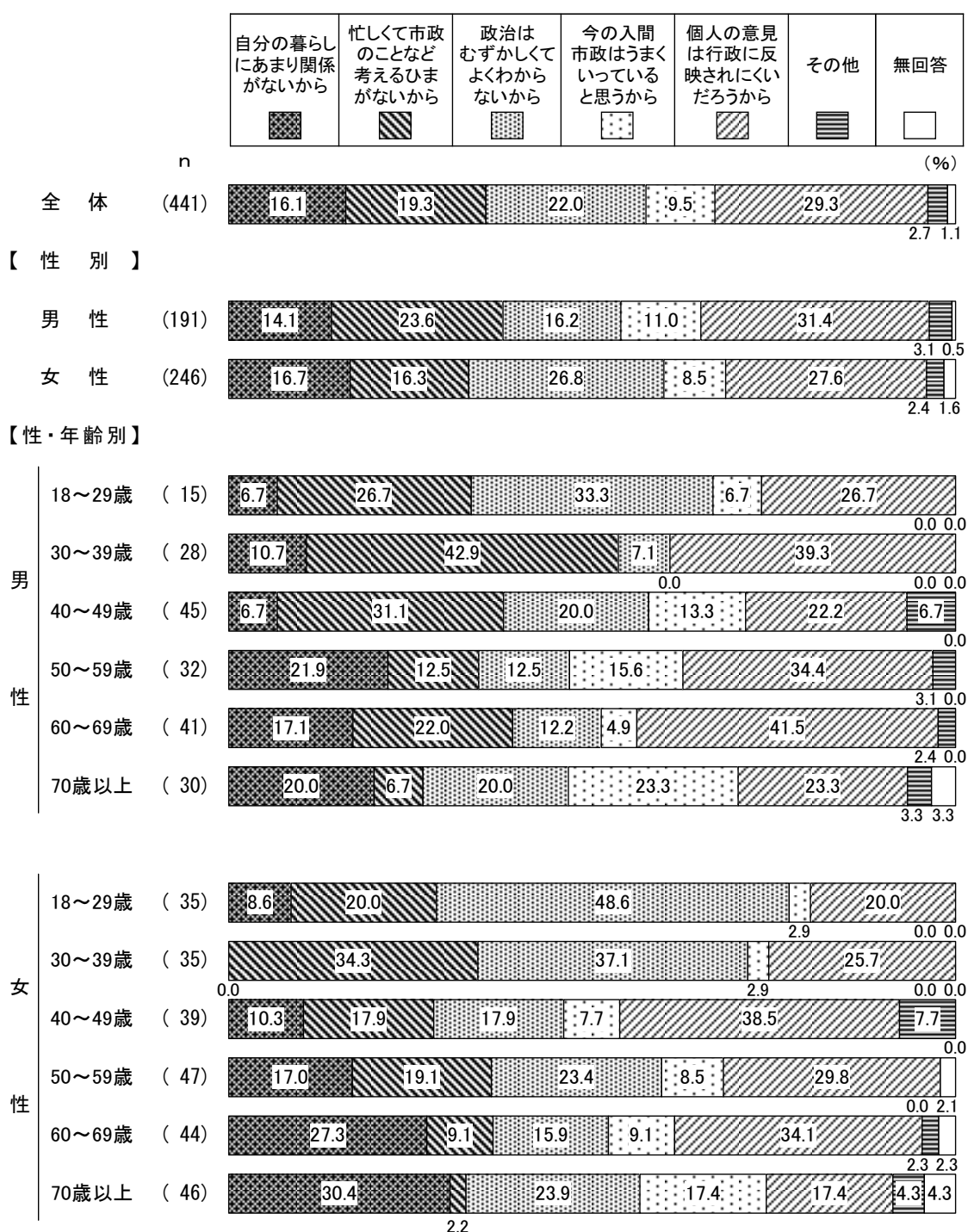


入間市政に「あまり関心がない」「まったく関心がない」と答えた人(441人)に、その理由について聞いたところ、「個人の意見は行政に反映されにくいだろうから」(29.3%)がほぼ3割で最も高く、次いで「政治はむずかしくてよくわからないから」(22.0%)、「忙しくて市政のことなど考えるひまがないから」(19.3%)、「自分の暮らしにあまり関係がないから」(16.1%)などの順となっている。(図6-3-1)

性別にみると、「政治はむずかしくてよくわからないから」は女性（26.8％）が男性（16.2％）より10.6ポイント高くなっている。一方、「忙しくて市政のことなど考えるひまがないから」は男性（23.6％）が女性（16.3％）より7.3ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「忙しくて市政のことなど考えるひまがないから」は男性30～39歳（42.9％）で4割を超えて高くなっている。「政治はむずかしくてよくわからないから」は女性18～29歳（48.6％）で5割近くと高くなっている。「個人の意見は行政に反映されにくいだろうから」は男性60～69歳（41.5％）で4割を超えて高くなっている。（図6－3－2）

図6－3－2 市政に関心のない理由（性・年齢別）

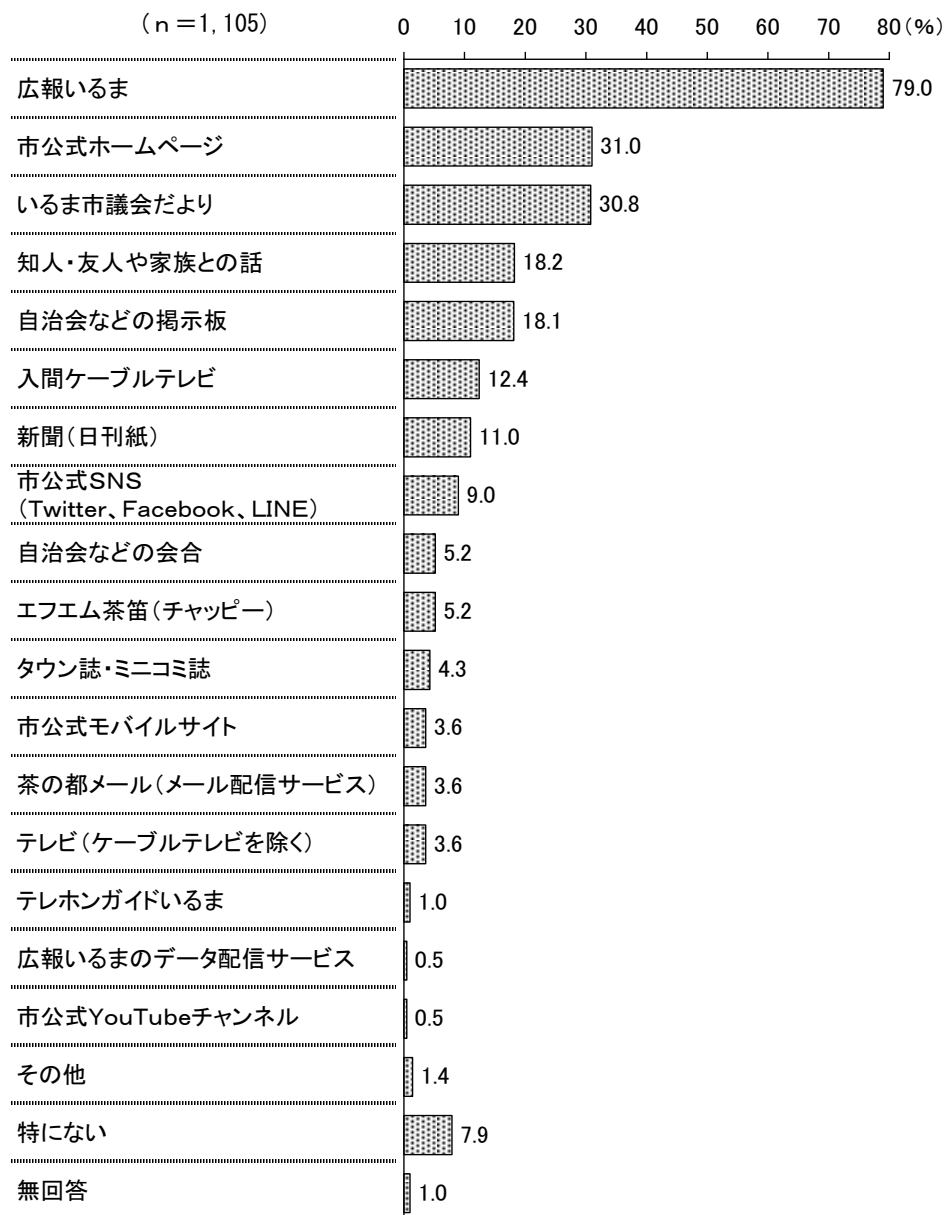


(4) 入間市の情報入手先

◇「広報いるま」がほぼ8割

問18 あなたは、市政の動きや市の仕事・行事などについて、主に何から情報を得ていますか。次の中から4つまで選んでください。

図6-4-1



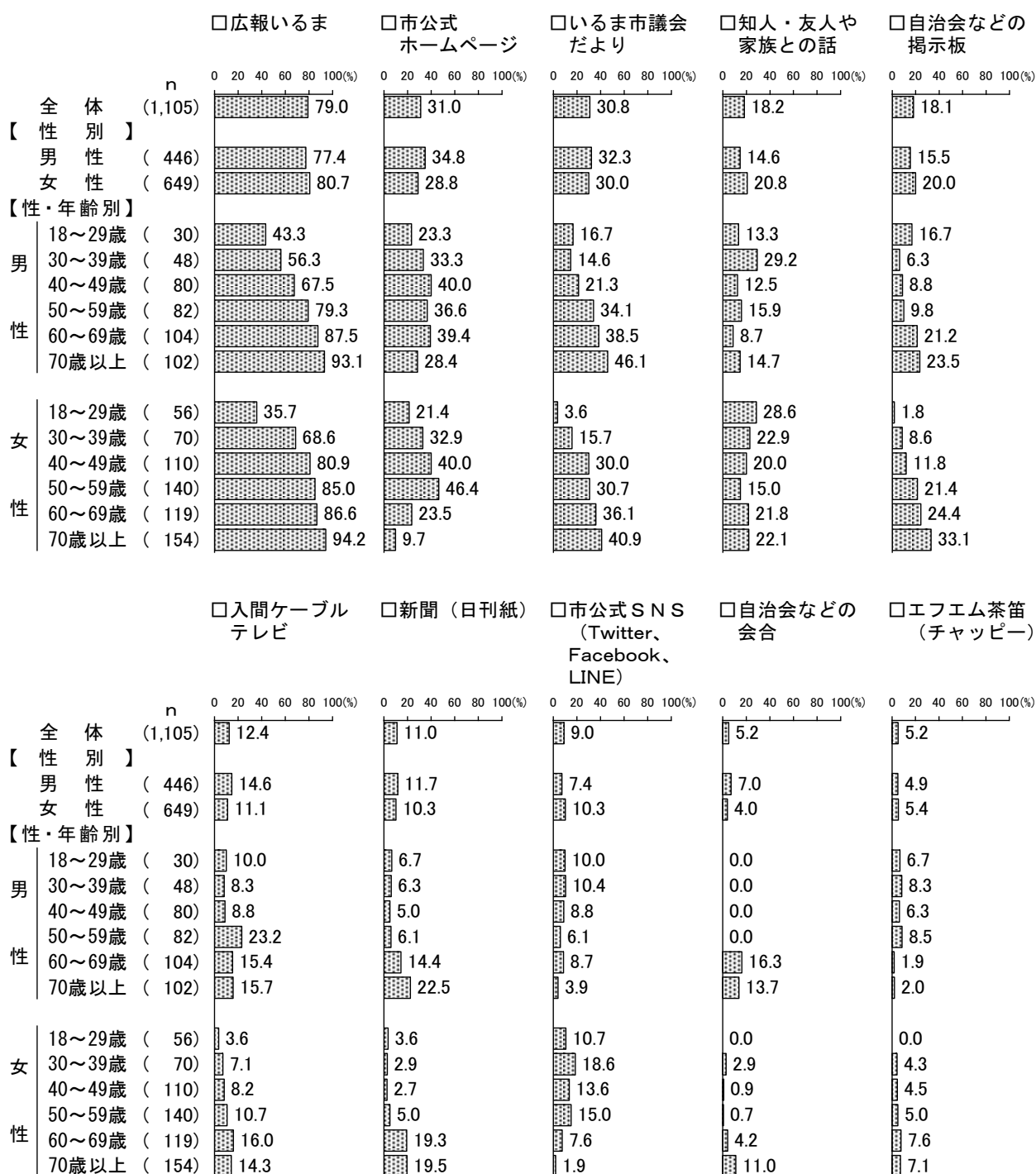
入間市の情報入手先について聞いたところ、「広報いるま」(79.0%)がほぼ8割で最も高く、次いで「市公式ホームページ」(31.0%)、「いるま市議会だより」(30.8%)、「知人・友人や家族との話」(18.2%)などの順となっている。(図6-4-1)

性別にみると、「知人・友人や家族との話」は女性（20.8%）が男性（14.6%）より6.2ポイント高くなっている。一方、「市公式ホームページ」は男性（34.8%）が女性（28.8%）より6.0ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「広報いるま」は女性70歳以上（94.2%）と男性70歳以上（93.1%）で9割台と高くなっている。「市公式ホームページ」は女性50～59歳（46.4%）で4割半ばと高くなっている。「いるま市議会だより」は男性70歳以上（46.1%）で4割半ばと高くなっている。

（図6－4－2）

図6－4－2 入間市の情報入手先（性・年齢別）－上位10項目

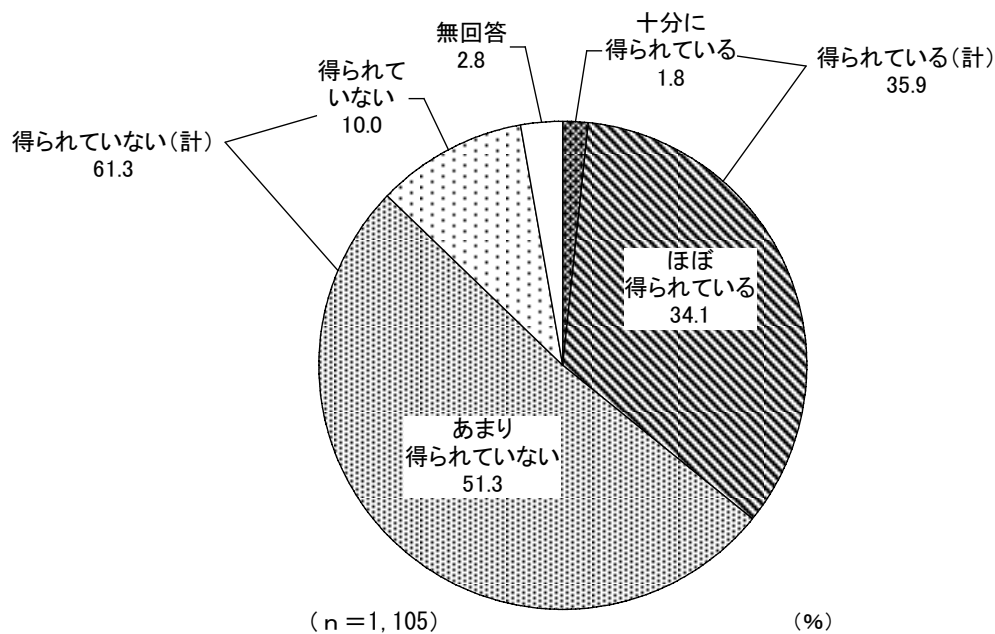


(5) 市政に関する情報について

◇『得られている(計)』が3割半ば

問19 あなたは、市政に関する情報を十分得られていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

図6-5-1



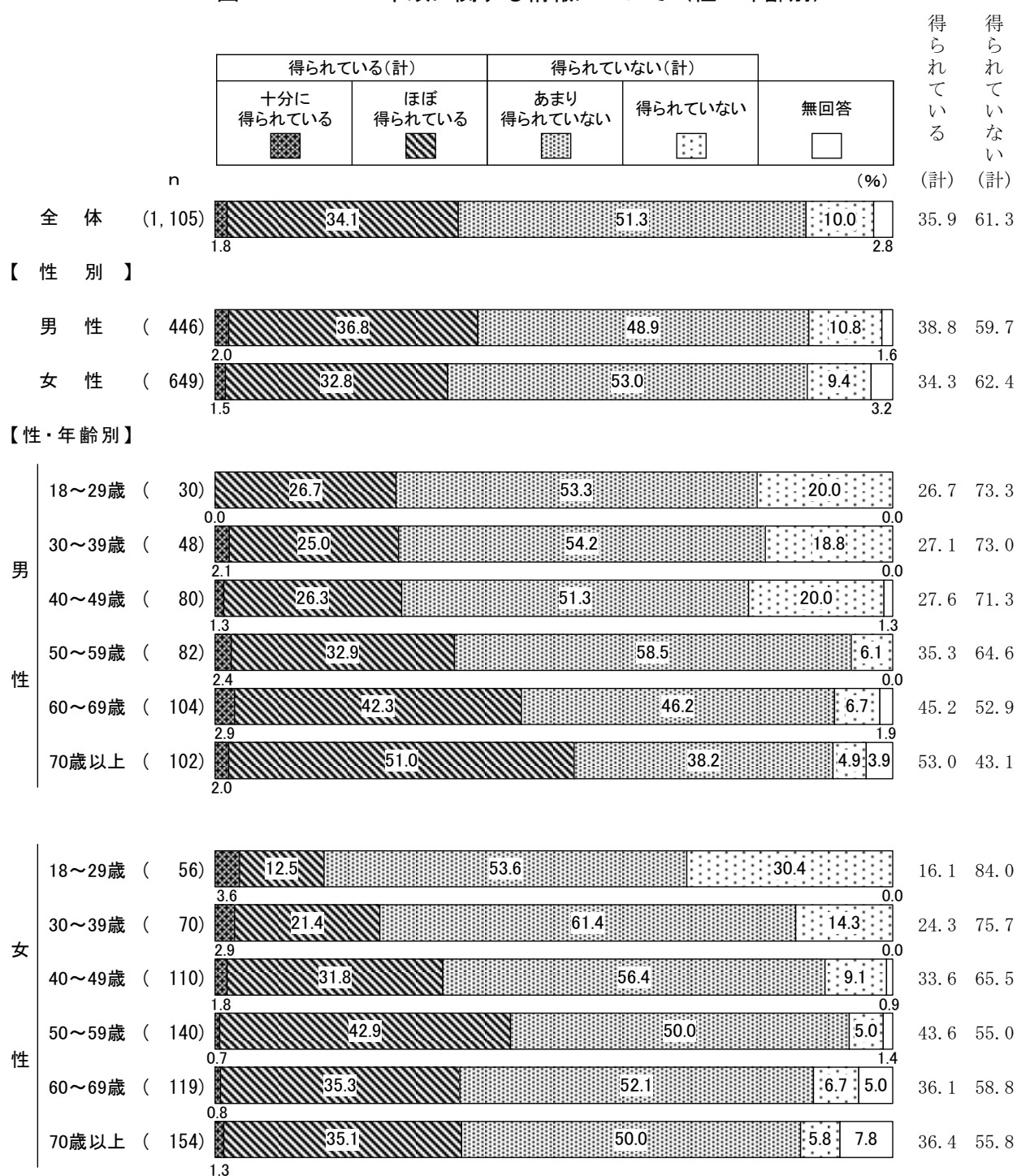
市政に関する情報について聞いたところ、「十分に得られている」(1.8%)と「ほぼ得られている」(34.1%)を合わせた『得られている(計)』(35.9%)が3割半ばとなっている。一方、「あまり得られていない」(51.3%)と「得られていない」(10.0%)を合わせた『得られていない(計)』(61.3%)は6割を超えている。(図6-5-1)

性別にみると、『得られている（計）』は男性（38.8%）が女性（34.3%）より4.5ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、『得られている（計）』は男性70歳以上（53.0%）で5割を超えて高くなっている。一方、『得られていない（計）』は女性18～29歳（84.0%）で8割半ばと高くなっている。

（図6-5-2）

図6-5-2 市政に関する情報について（性・年齢別）

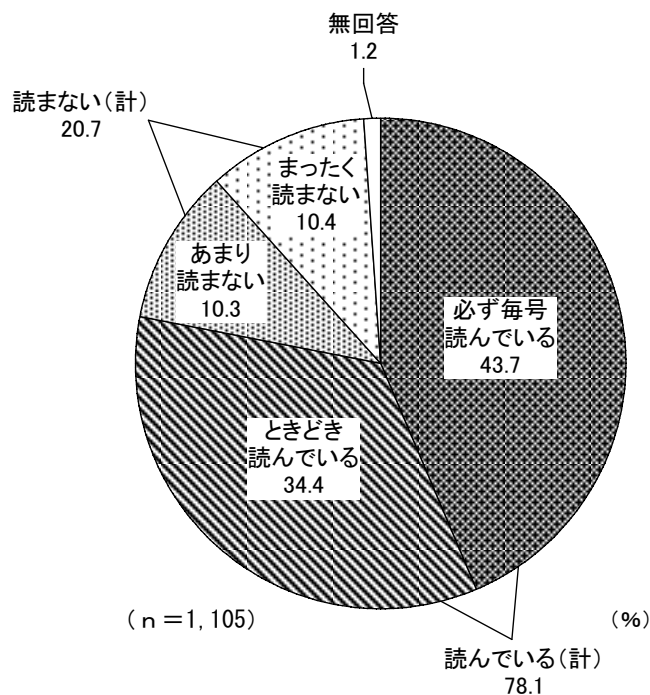


(6)「広報いるま」について

◇『読んでいる(計)』が8割近く

問20 あなたは「広報いるま」をどの程度読んでいますか。次の中から1つ選んでください。

図6-6-1

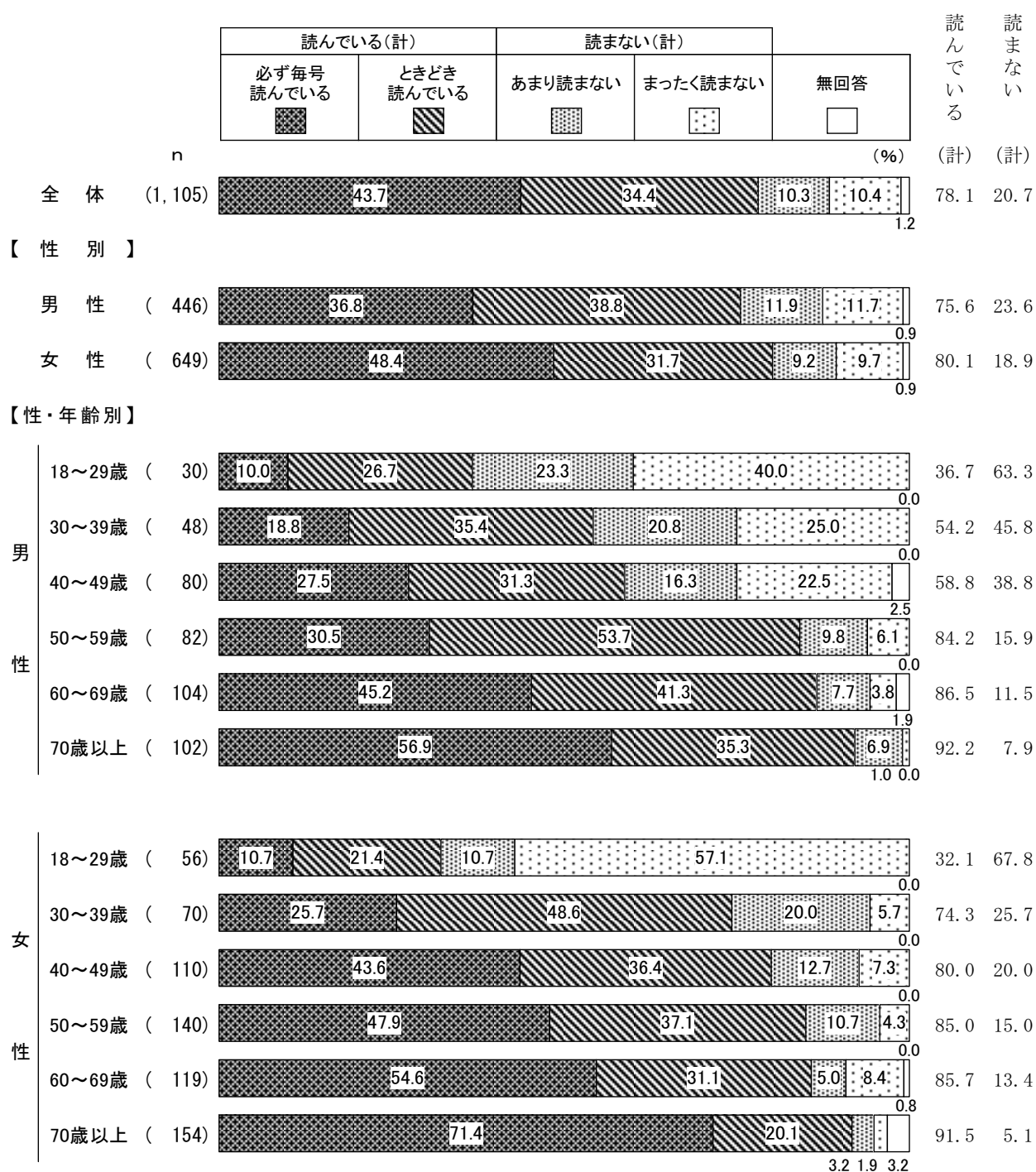


「広報いるま」について聞いたところ、「必ず毎号読んでいる」(43.7%)と「ときどき読んでいる」(34.4%)を合わせた『読んでいる(計)』(78.1%)が8割近くと高くなっている。一方、「あまり読まない」(10.3%)と「まったく読まない」(10.4%)を合わせた『読まない(計)』(20.7%)はほぼ2割となっている。(図6-6-1)

性別にみると、『読んでいる（計）』は女性（80.1％）が男性（75.6％）より4.5ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、『読んでいる（計）』は男女ともに年代が上がるほど割合が高く、男性70歳以上（92.2％）と女性70歳以上（91.5％）で9割を超えて高くなっている。一方、『読まない（計）』は女性18～29歳（67.8％）と男性18～29歳（63.3％）で6割台と高くなっている。（図6－6－2）

図6－6－2 「広報いるま」について（性・年齢別）



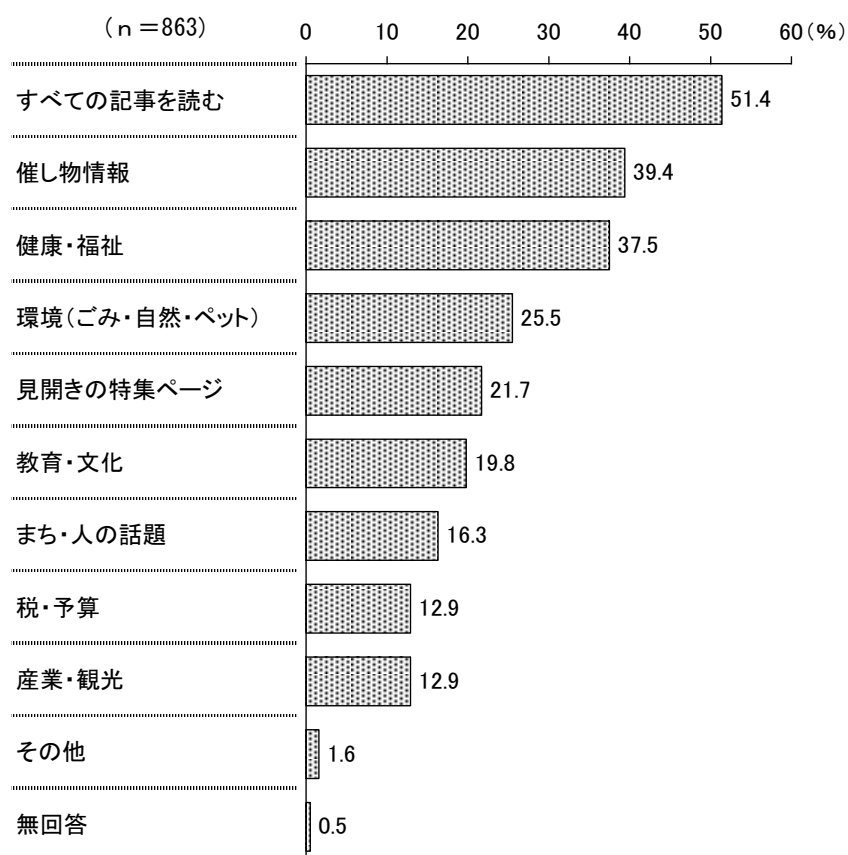
(7) 関心を持って読んでいる内容

◇「すべての記事を読む」が5割を超える

(問20で、「必ず毎号読んでいる」「ときどき読んでいる」と答えた方に)

問20-1 それでは、どのような内容に関心を持って読めますか。次の中からいくつでも選んでください。

図6-7-1



「広報いるま」を「必ず毎号読んでいる」「ときどき読んでいる」と答えた人(863人)に、関心を持って読んでいる内容について聞いたところ、「すべての記事を読む」(51.4%)が5割を超えて最も高く、次いで「催し物情報」(39.4%)、「健康・福祉」(37.5%)、「環境(ごみ・自然・ペット)」(25.5%)などの順となっている。(図6-7-1)

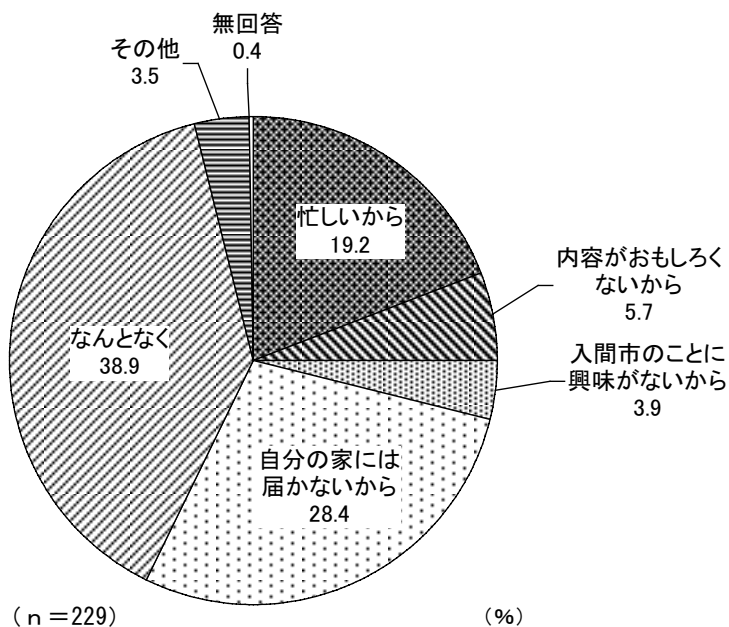
(8)「広報いるま」を読まない理由

◇「なんとなく」が4割近く

(問20で、「あまり読まない」「まったく読まない」と答えた方に)

問20-2 読まないのはなぜですか。次の中から1つ選んでください。

図6-8-1



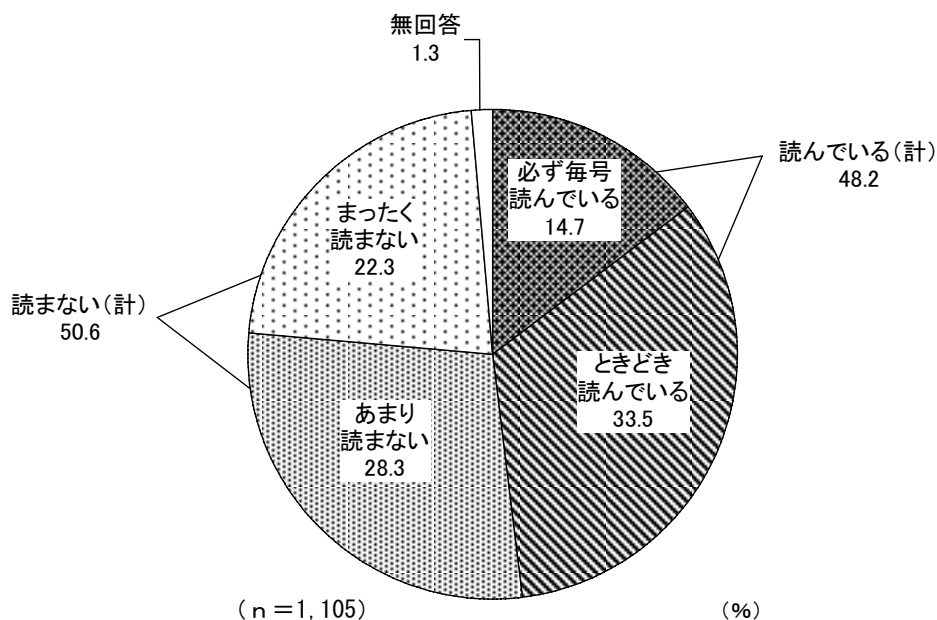
「広報いるま」を「あまり読まない」「まったく読まない」と答えた人(229人)に、その理由について聞いたところ、「なんとなく」(38.9%)が4割近くで最も高く、次いで「自分の家には届かないから」(28.4%)、「忙しいから」(19.2%)などの順となっている。(図6-8-1)

(9)「市議会だより」について

◇『読んでいる(計)』が5割近く

問21 市の議会では年4回「市議会だより」を発行していますが、あなたはどの程度読んでいますか。次の中から1つ選んでください。

図6-9-1



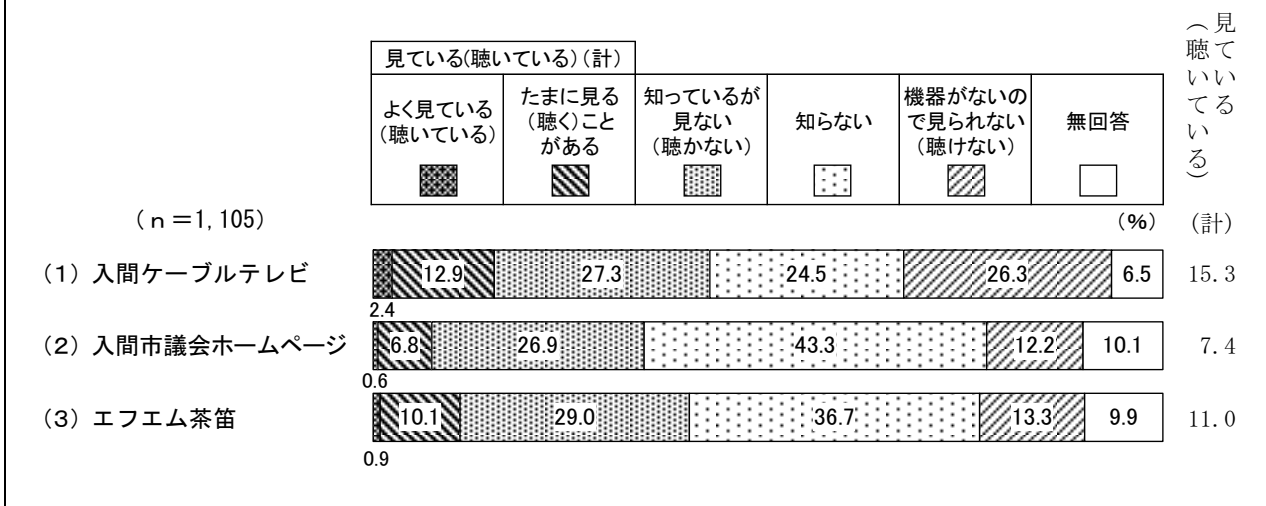
「市議会だより」について聞いたところ、「必ず毎号読んでいる」(14.7%)と「ときどき読んでいる」(33.5%)を合わせた『読んでいる(計)』(48.2%)は5割近くとなっている。一方、「あまり読まない」(28.3%)と「まったく読まない」(22.3%)を合わせた『読まない(計)』(50.6%)はほぼ5割となっている。(図6-9-1)

(10) メディアによる市議会の放送について

◇『見ている（聴いている）（計）』は「入間ケーブルテレビ」が1割半ば

問22 以下のメディアによる市議会の放送をご覧もしくはお聴きになったことがありますか。それぞれの項目について1つずつ選んでください。

図6-10-1



メディアによる市議会の放送について聞いたところ、「よく見ている（聴いている）」と「たまに見る（聴く）ことがある」を合わせた『見ている（聴いている）（計）』は「入間ケーブルテレビ」（15.3%）が1割半ばで最も高く、次いで「エフエム茶笛」（11.0%）、「入間市議会ホームページ」（7.4%）の順となっている。（図6-10-1）

7. 施設利用について

(1) 施設の利用状況

◇『利用している(計)』は「彩の森入間公園」が5割半ば

問23 市内にはさまざまな公共施設がありますが、あなたは次の施設を利用していますか。
また、利用していない場合、その理由は何ですか。それぞれの項目について1つずつ選んでください。
(ア) 利用の程度で「あまり利用していない」「まったく利用していない」と回答された方は、(イ) 利用していない理由をお答えください。

施設の利用状況について聞いたところ、「よく利用している」と「たまに利用している」を合わせた『利用している(計)』は「彩の森入間公園」(56.3%)が5割半ばで最も高く、次いで「総合クリーンセンター・リサイクルプラザ」(50.6%)、「図書館(分館含む)」(37.9%)、「公民館」(33.8%)、「健康福祉センター」(26.4%)などの順となっている。

一方、「あまり利用していない」と「まったく利用していない」を合わせた『利用していない(計)』は「男女共同参画推進センター(イルミン内)」(94.1%)が9割半ばで最も高く、次いで「老人福祉センターやまゆり荘」(93.1%)、「武道館」(92.7%)、「青少年活動センター」と「市民活動センター(イルミン内)」(ともに92.2%)などの順となっている。(図7-1-1)

施設を「あまり利用していない」「まったく利用していない」と答えた人に、その理由について聞いたところ、すべての項目で「利用する必要がある」が最も高くなっている。

「場所を知らない」は「さいたま緑の森博物館(狭山丘陵)」(21.9%)が2割を超えている。

「施設まで遠い」は「彩の森入間公園」(20.7%)がほぼ2割となっている。(図7-1-2)

図 7-1-1 施設の利用状況 (ア) 利用の程度

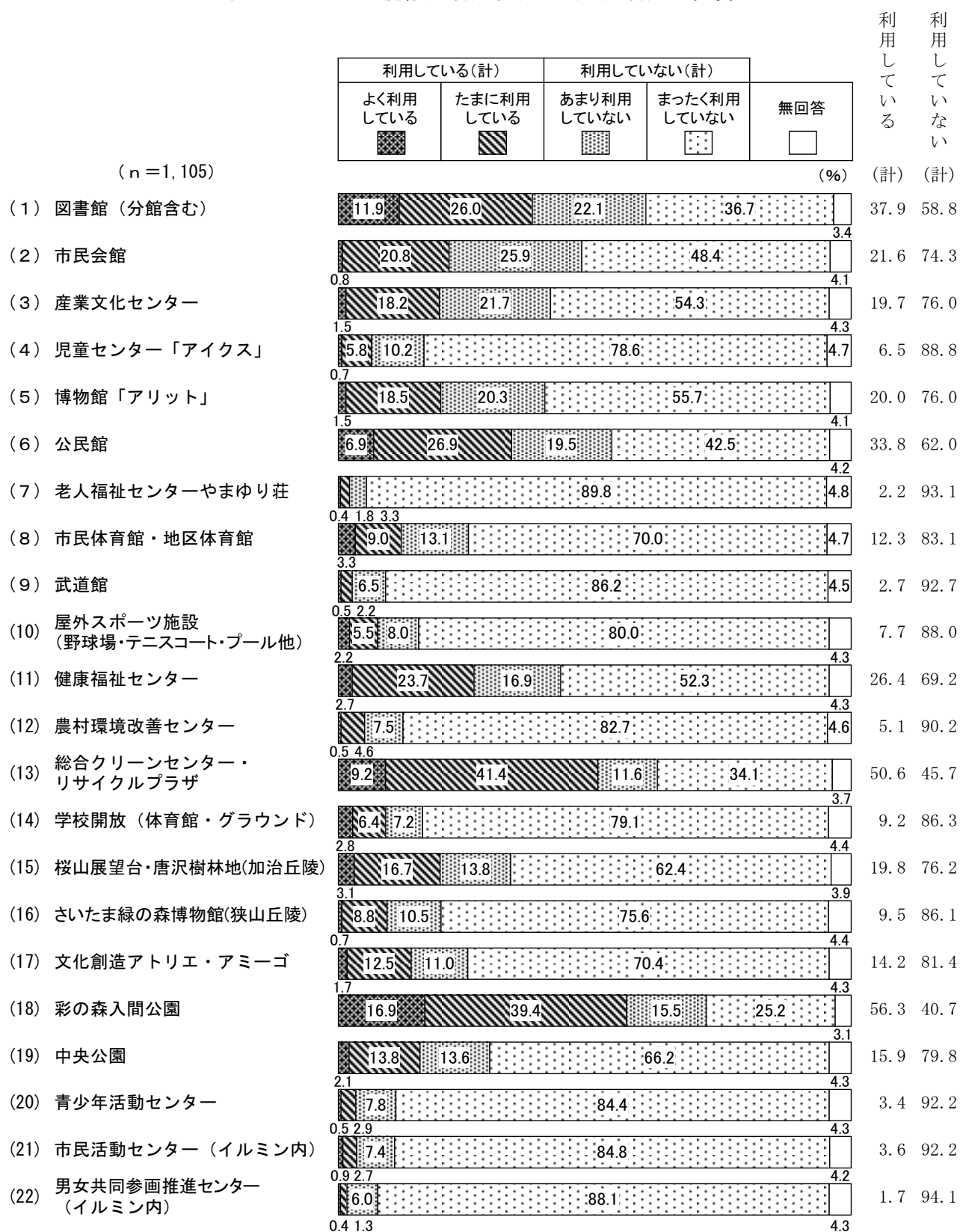
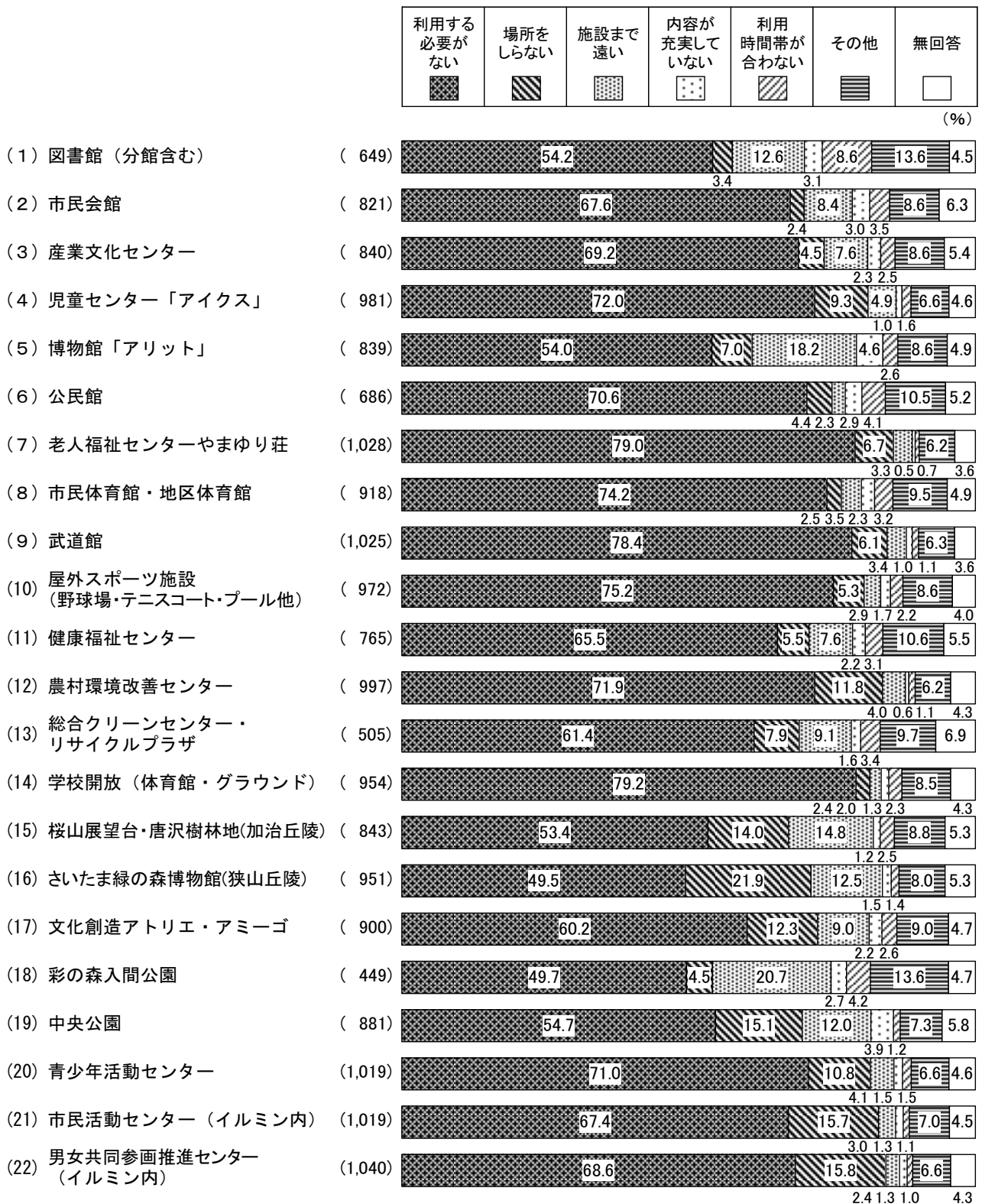


図 7-1-2 施設の利用状況 (イ) 利用していない理由



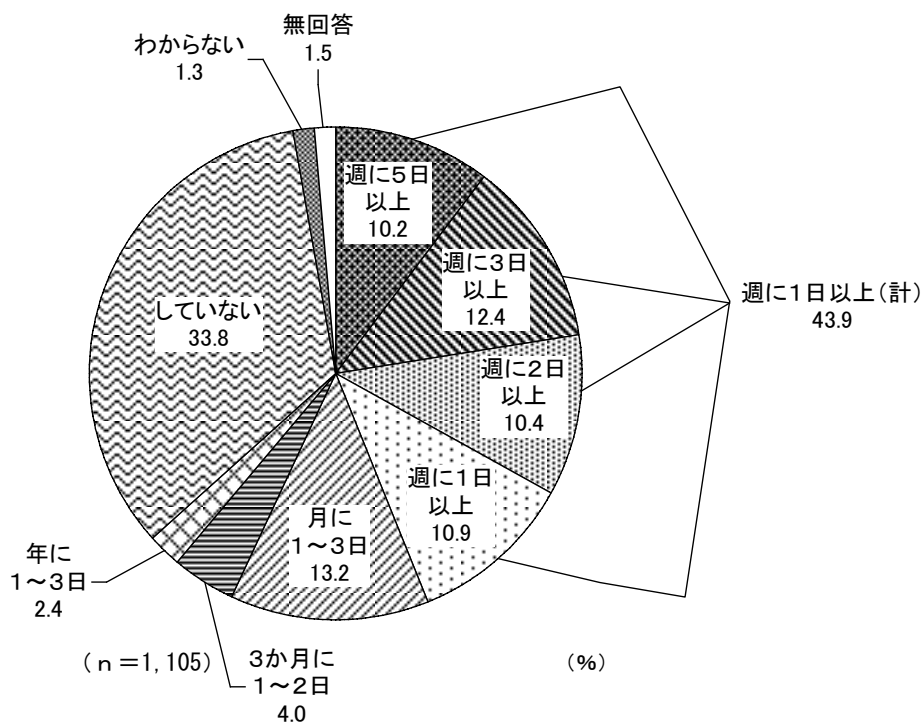
8. 健康・スポーツ、芸術文化活動について

(1) 運動やスポーツの状況

◇『週に1日以上(計)』が4割を超える

問24 あなたは、この1年間に運動やスポーツをどの程度行いましたか。次の中から1つ選んでください。

図8-1-1

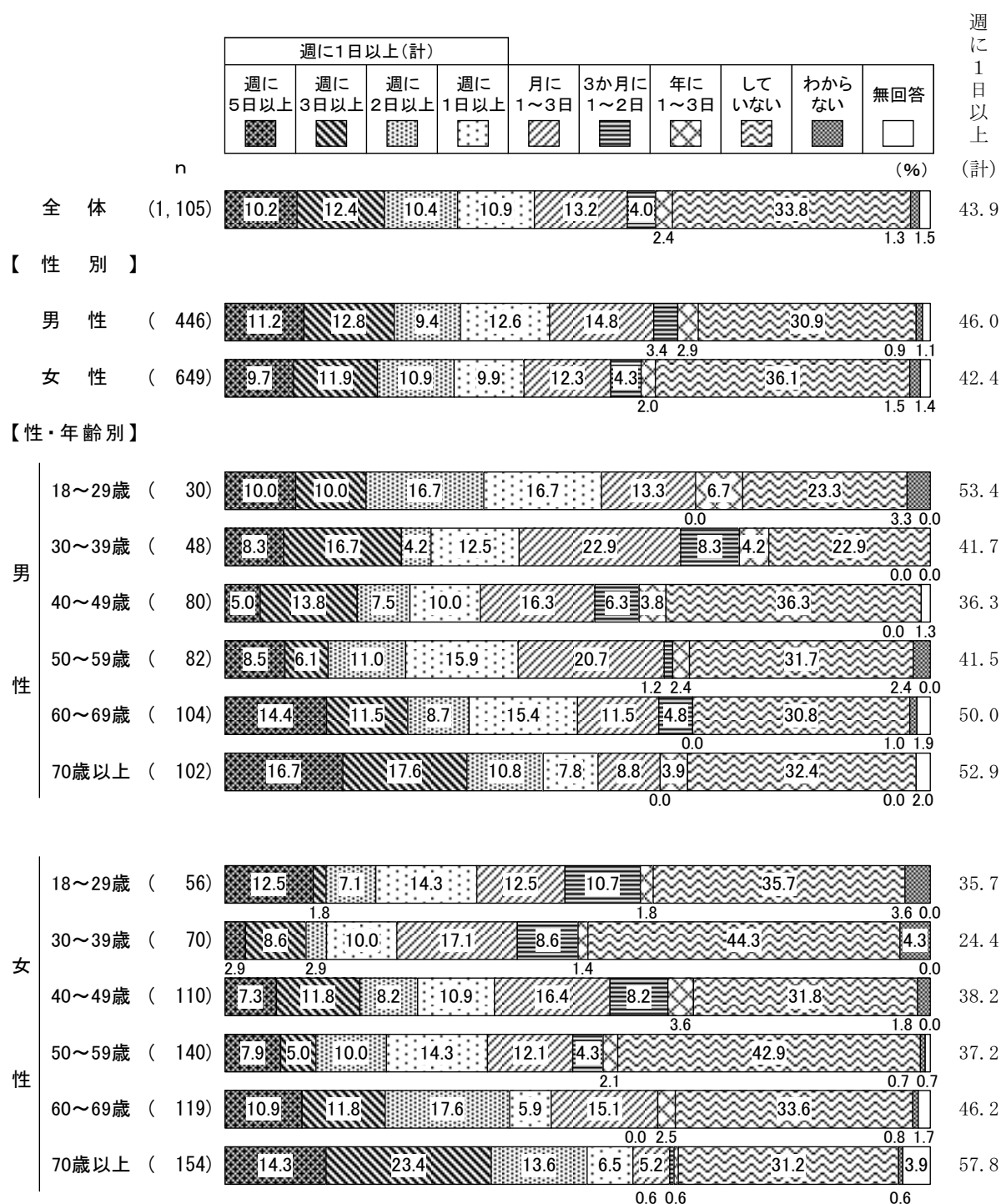


運動やスポーツの状況について聞いたところ、「週に5日以上」(10.2%)、「週に3日以上」(12.4%)、「週に2日以上」(10.4%)、「週に1日以上」(10.9%)を合わせた『週に1日以上(計)』(43.9%)が4割を超えている。「月に1～3日」(13.2%)は1割を超え、「3か月に1～2日」(4.0%)と「年に1～3日」(2.4%)は1割未満となっている。また、「していない」(33.8%)は3割を超えている。(図8-1-1)

性別にみると、『週に1日以上（計）』は男性（46.0%）が女性（42.4%）より3.6ポイント高くなっている。一方、「していない」は女性（36.1%）が男性（30.9%）より5.2ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、『週に1日以上（計）』は女性70歳以上（57.8%）で8割近くと高くなっている。一方、「していない」は女性30～39歳（44.3%）と女性50～59歳（42.9%）で4割台と高くなっている。（図8-1-2）

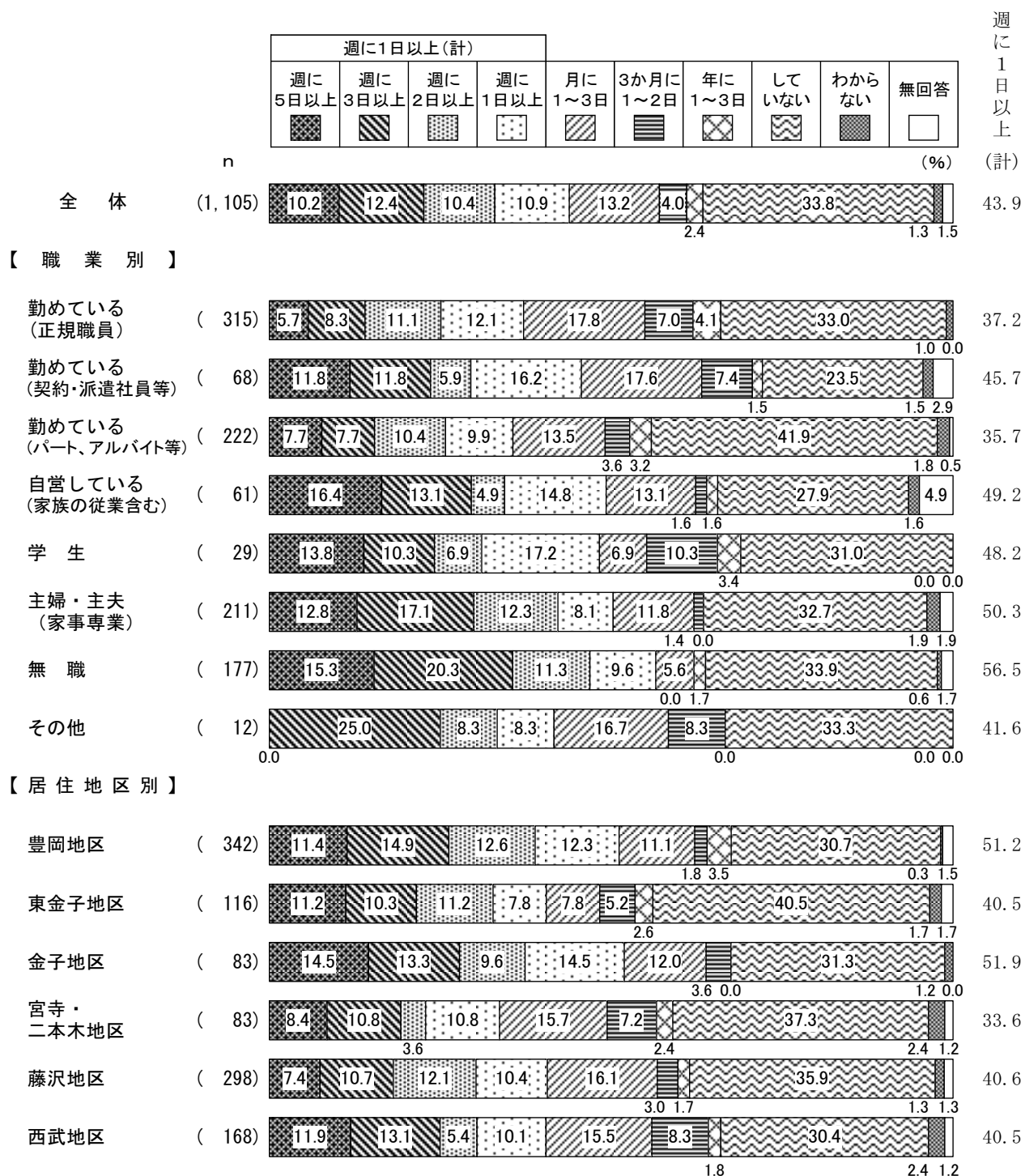
図8-1-2 運動やスポーツの状況（性・年齢別）



職業別にみると、『週に1日以上（計）』は“無職”（56.5%）で6割近くと高くなっている。一方、「していない」は“勤めている（パート、アルバイト等）”（41.9%）で4割を超えて高くなっている。

居住地区別にみると、『週に1日以上（計）』は金子地区（51.9%）と豊岡地区（51.2%）で5割を超えて高くなっている。一方、「していない」は東金子地区（40.5%）でほぼ4割と高くなっている。（図8-1-3）

図8-1-3 運動やスポーツの状況（職業別、居住地区別）



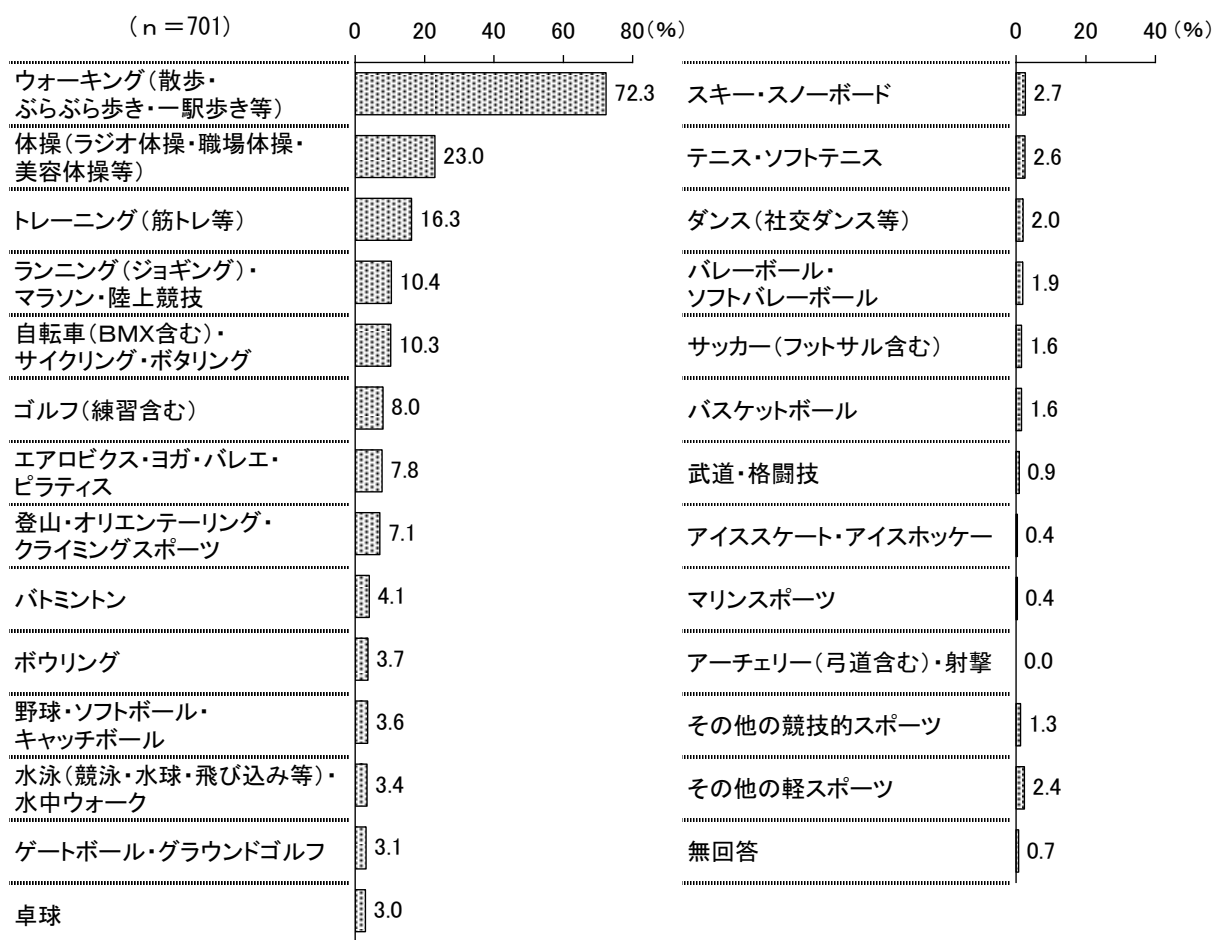
(2) 運動やスポーツの内容

◇「ウォーキング（散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩き等）」が7割を超える

（問24で、「週に5日以上」「週に3日以上」「週に2日以上」「週に1日以上」「月に1～3日」「3か月に1～2日」「年に1～3日」と答えた方に）

問24－1 それはどんな運動やスポーツですか。次の中からいくつでも選んでください。

図 8－2－1

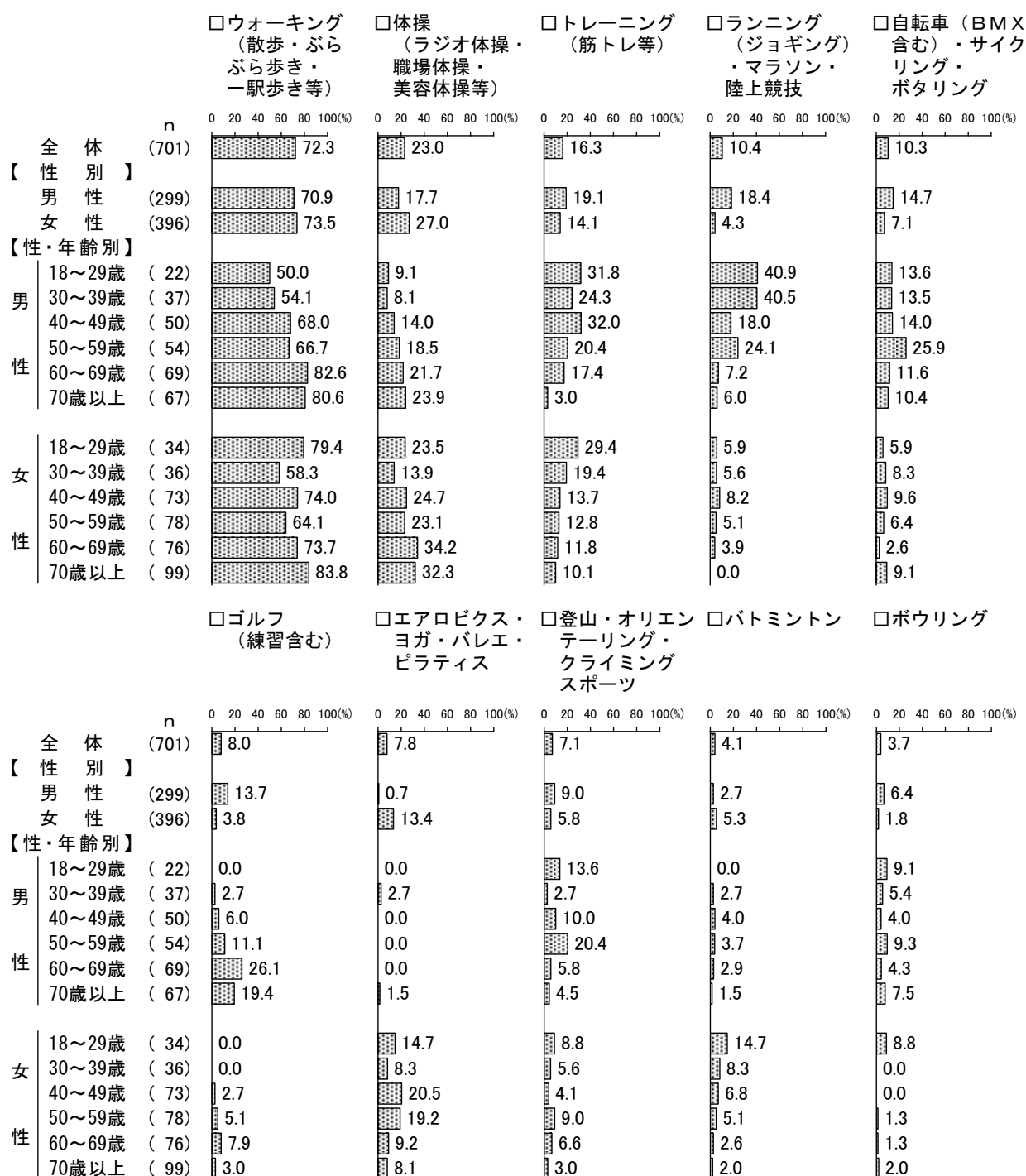


運動やスポーツを「週に5日以上」「週に3日以上」「週に2日以上」「週に1日以上」「月に1～3日」「3か月に1～2日」「年に1～3日」行ったと答えた人(701人)に、運動やスポーツの内容について聞いたところ、「ウォーキング（散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩き等）」(72.3%)が7割を超えて最も高く、次いで「体操（ラジオ体操・職場体操・美容体操等）」(23.0%)、「トレーニング（筋トレ等）」(16.3%)、「ランニング（ジョギング）・マラソン・陸上競技」（10.4%）などの順となっている。（図8－2－1）

性別にみると、「ランニング（ジョギング）・マラソン・陸上競技」は男性（18.4%）が女性（4.3%）より14.1ポイント、「ゴルフ（練習含む）」は男性（13.7%）が女性（3.8%）より9.9ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス」は女性（13.4%）が男性（0.7%）より12.7ポイント、「体操（ラジオ体操・職場体操・美容体操等）」は女性（27.0%）が男性（17.7%）より9.3ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年齢別にみると、「ウォーキング（散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩き等）」は女性70歳以上（83.8%）、男性60～69歳（82.6%）、男性70歳以上（80.6%）で8割台と高くなっている。「ランニング（ジョギング）・マラソン・陸上競技」は男性18～29歳（40.9%）と男性30～39歳（40.5%）でほぼ4割と高くなっている。（図8-2-2）

図8-2-2 運動やスポーツの内容（性・年齢別）－上位10項目



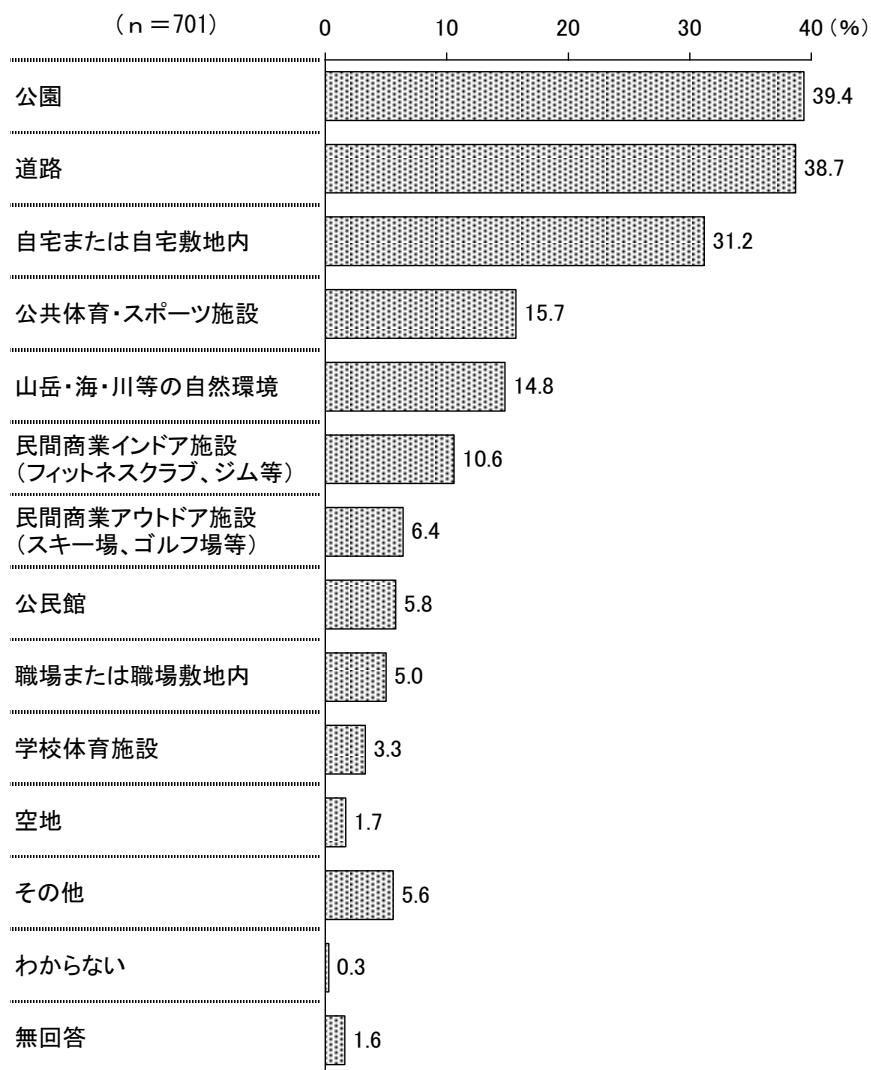
(3) 運動やスポーツを行う場所

◇「公園」がほぼ4割

(問24で、「週に5日以上」「週に3日以上」「週に2日以上」「週に1日以上」「月に1～3日」「3か月に1～2日」「年に1～3日」と答えた方に)

問24-2 どんな場所で行いましたか。次の中から該当するものを全て選んでください。

図8-3-1



運動やスポーツを「週に5日以上」「週に3日以上」「週に2日以上」「週に1日以上」「月に1～3日」「3か月に1～2日」「年に1～3日」行ったと答えた人(701人)に、運動やスポーツを行う場所について聞いたところ、「公園」(39.4%)がほぼ4割で最も高く、次いで「道路」(38.7%)、「自宅または自宅敷地内」(31.2%)、「公共体育・スポーツ施設」(15.7%)などの順となっている。

(図8-3-1)

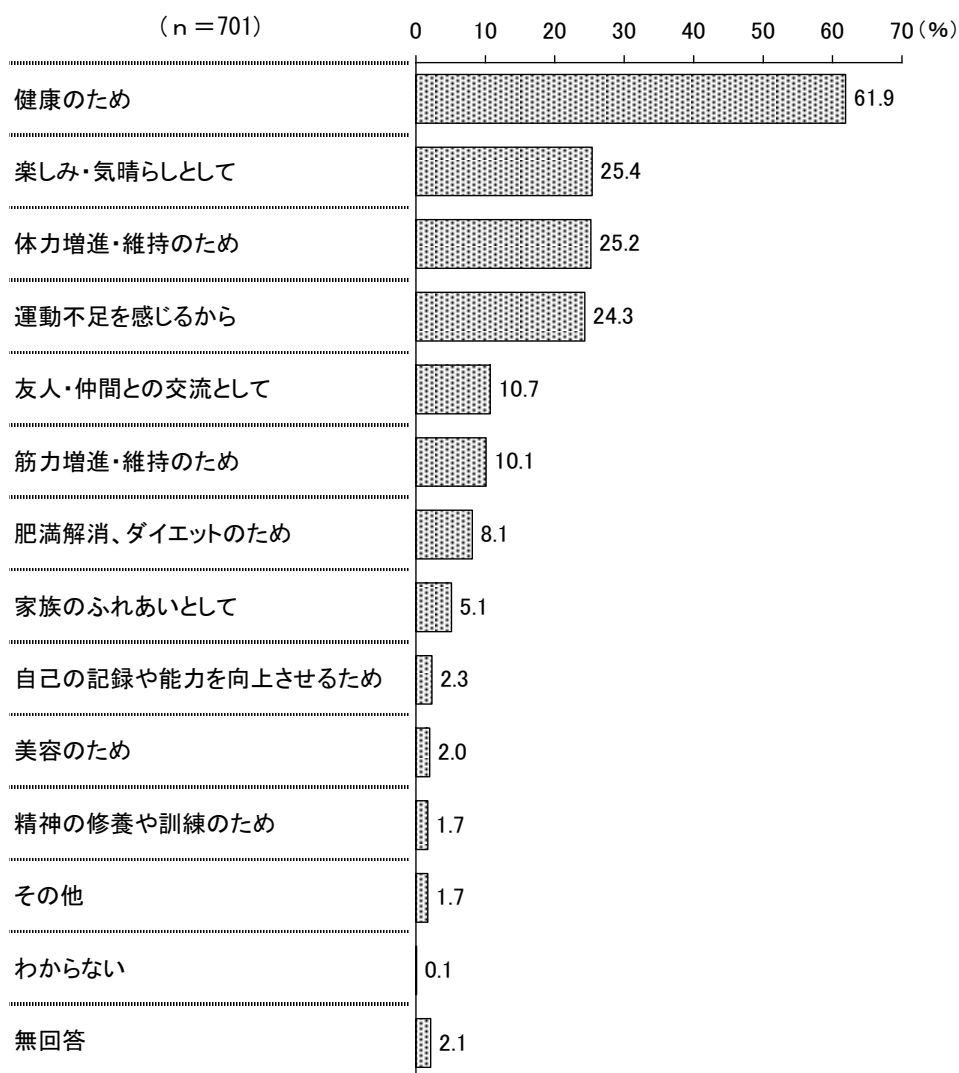
(4) 運動やスポーツを行った目的

◇「健康のため」が6割を超える

(問24で、「週に5日以上」「週に3日以上」「週に2日以上」「週に1日以上」「月に1～3日」「3か月に1～2日」「年に1～3日」と答えた方に)

問24-3 行った目的は何ですか。主なものを2つまで選んでください。

図8-4-1



運動やスポーツを「週に5日以上」「週に3日以上」「週に2日以上」「週に1日以上」「月に1～3日」「3か月に1～2日」「年に1～3日」行ったと答えた人(701人)に、運動やスポーツを行った目的について聞いたところ、「健康のため」(61.9%)が6割を超えて最も高く、次いで「楽しみ・気晴らしとして」(25.4%)、「体力増進・維持のため」(25.2%)、「運動不足を感じるから」(24.3%)などの順となっている。(図8-4-1)

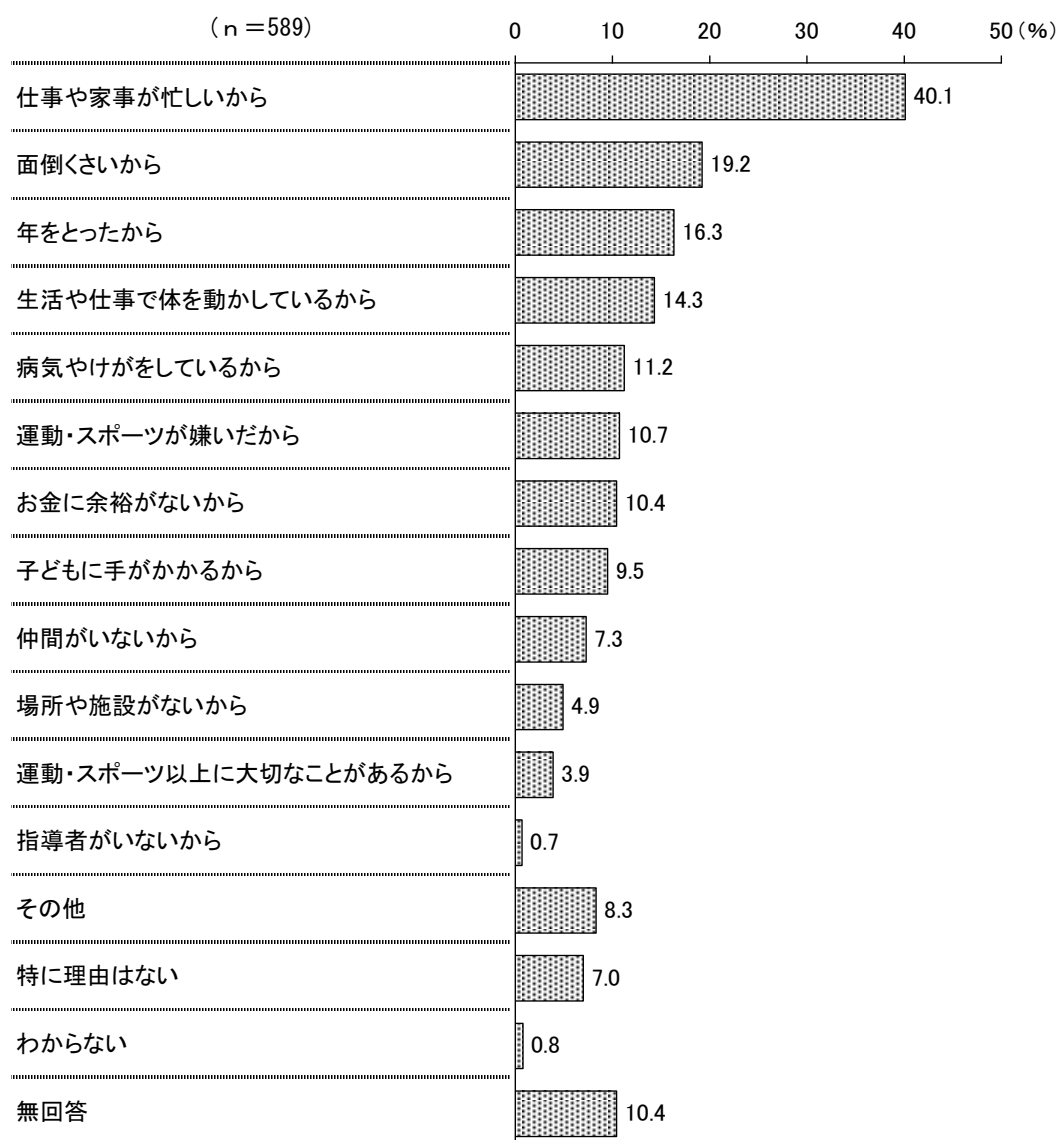
(5) 運動やスポーツを行わなかった（少なかった）理由

◇「仕事や家事が忙しいから」が4割

（問24で、「月に1～3日」「3か月に1～2日」「年に1～3日」「していない」と答えた方に）

問24－4 運動・スポーツを行わなかった（少なかった）理由は何ですか。主なものを3つまで選んでください。

図 8－5－1

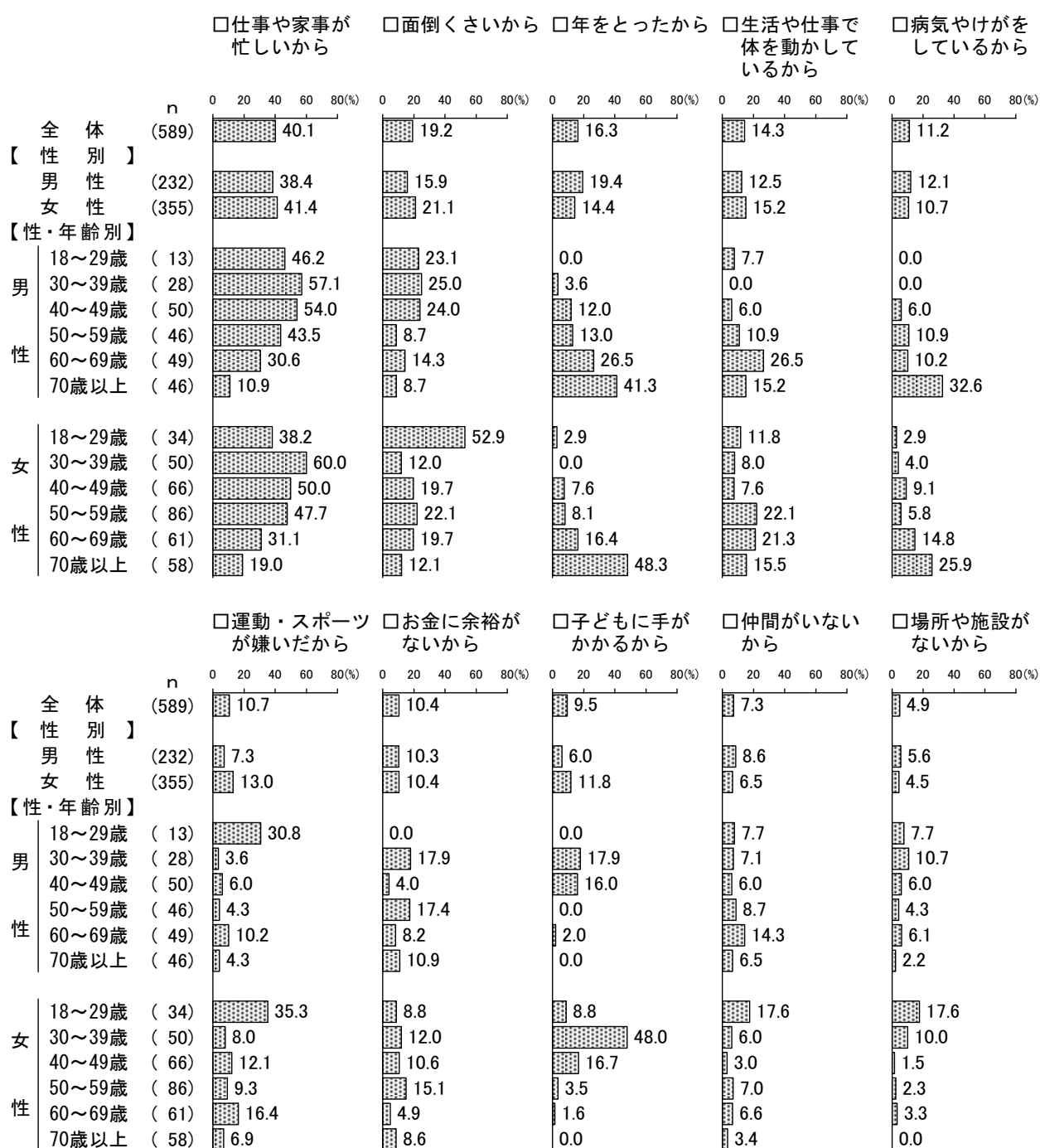


運動やスポーツを「月に1～3日」「3か月に1～2日」「年に1～3日」行った、または「していない」と答えた人(589人)に、その理由について聞いたところ、「仕事や家事が忙しいから」(40.1%)が4割で最も高く、次いで「面倒くさいから」(19.2%)、「年をとったから」(16.3%)、「生活や仕事で体を動かしているから」(14.3%)などの順となっている。(図8－5－1)

性別にみると、「子どもに手がかかるから」は女性（11.8%）が男性（6.0%）より5.8ポイント、「運動・スポーツが嫌いだから」は女性（13.0%）が男性（7.3%）より5.7ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「年をとったから」は男性（19.4%）が女性（14.4%）より5.0ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「仕事や家事が忙しいから」は女性30～39歳（60.0%）で6割と高くなっている。「面倒くさいから」は女性18～29歳（52.9%）で5割を超えて高くなっている。「年をとったから」は女性70歳以上（48.3%）と男性70歳以上（41.3%）で4割台と高くなっている。「子どもに手がかかるから」は女性30～39歳（48.0%）で5割近くと高くなっている。（図8－5－2）

図8－5－2 運動やスポーツを行わなかった（少なかった）理由（性・年齢別）－上位10項目

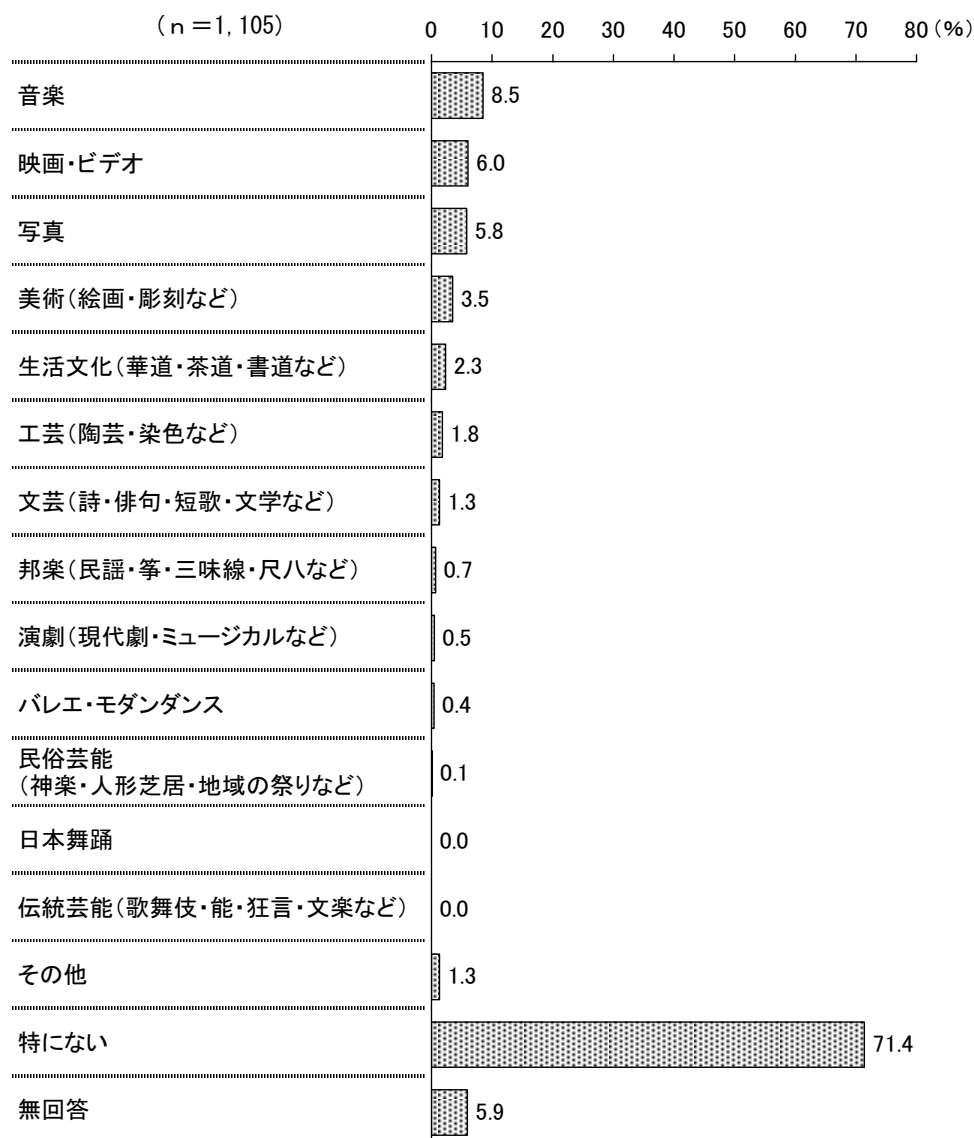


(6) 芸術文化活動について

◇「音楽」が1割近く

問25 あなたは、この1年に、自ら芸術文化的な活動を行ったことがありますか。該当するものを全て選んでください。

図 8 - 6 - 1



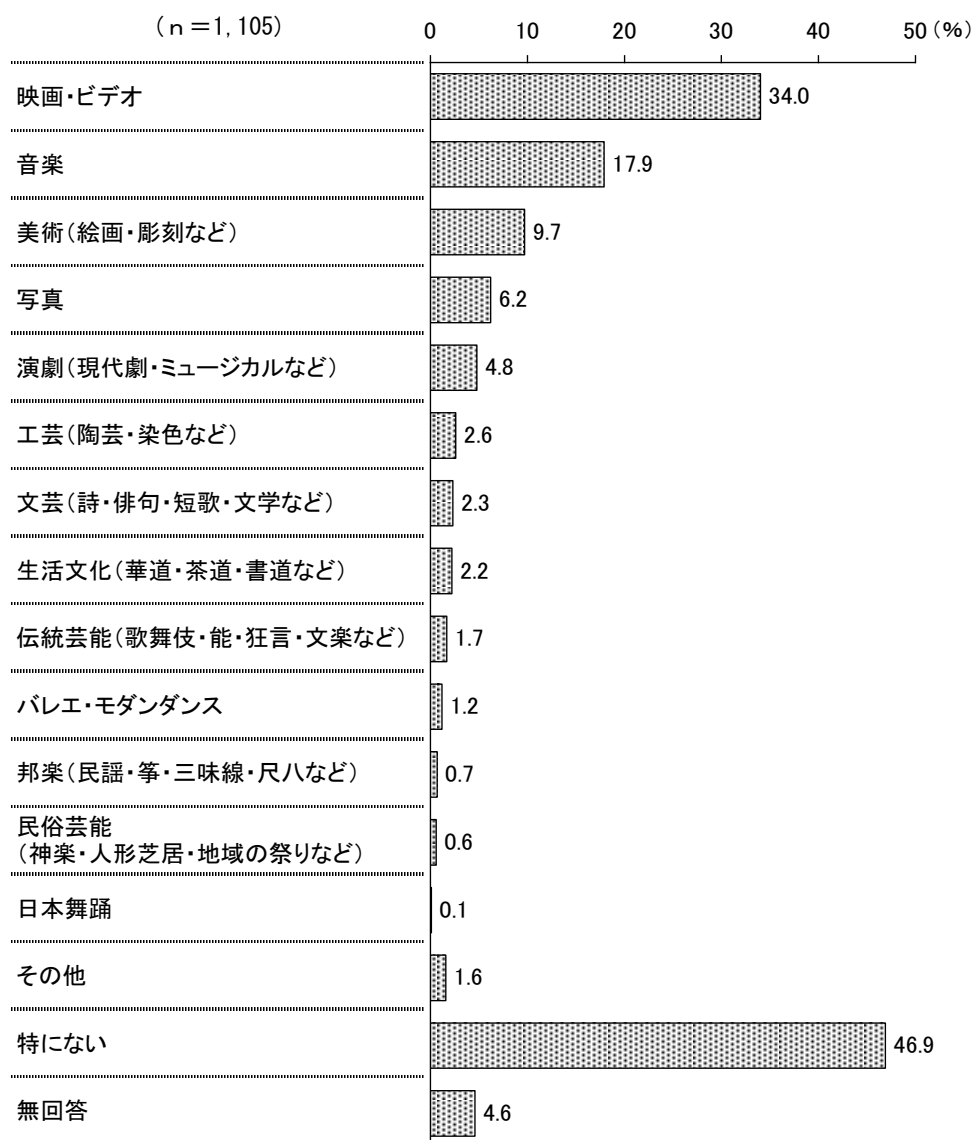
芸術文化活動について聞いたところ、「音楽」(8.5%)が1割近くとなっており、次いで「映画・ビデオ」(6.0%)、「写真」(5.8%)などの順となっている。一方、「特にない」(71.4%)は7割を超えている。(図8-6-1)

(7) 芸術文化鑑賞について

◇「映画・ビデオ」が3割半ば

問26 あなたは、この1年間に、芸術文化を鑑賞したことがありますか。該当するものを全て選んでください。

図8-7-1



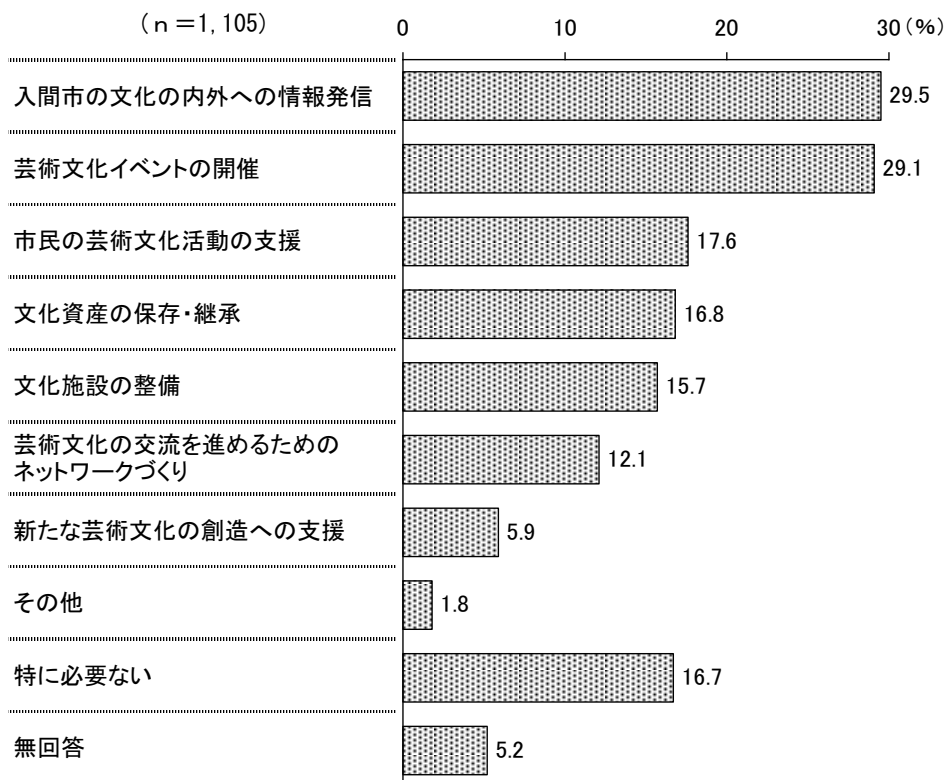
芸術文化鑑賞について聞いたところ、「映画・ビデオ」(34.0%)が3割半ばで最も高く、次いで「音楽」(17.9%)、「美術(絵画・彫刻など)」(9.7%)などの順となっている。一方、「特にない」(46.9%)は5割近くとなっている。(図8-7-1)

（８）芸術文化の振興のための市の取組について

◇「入間市の文化の内外への情報発信」が３割

問27 入間市の芸術文化の振興のために、市はどのようなことをすればよいと思いますか。
次の中から２つまで選んでください。

図 8－8－1



芸術文化の振興のための市の取組について聞いたところ、「入間市の文化の内外への情報発信」（29.5%）が３割で最も高く、次いで「芸術文化イベントの開催」（29.1%）、「市民の芸術文化活動の支援」（17.6%）、「文化資産の保存・継承」（16.8%）、「文化施設の整備」（15.7%）などの順となっている。一方、「特に必要ない」（16.7%）は２割近くとなっている。（図 8－8－1）

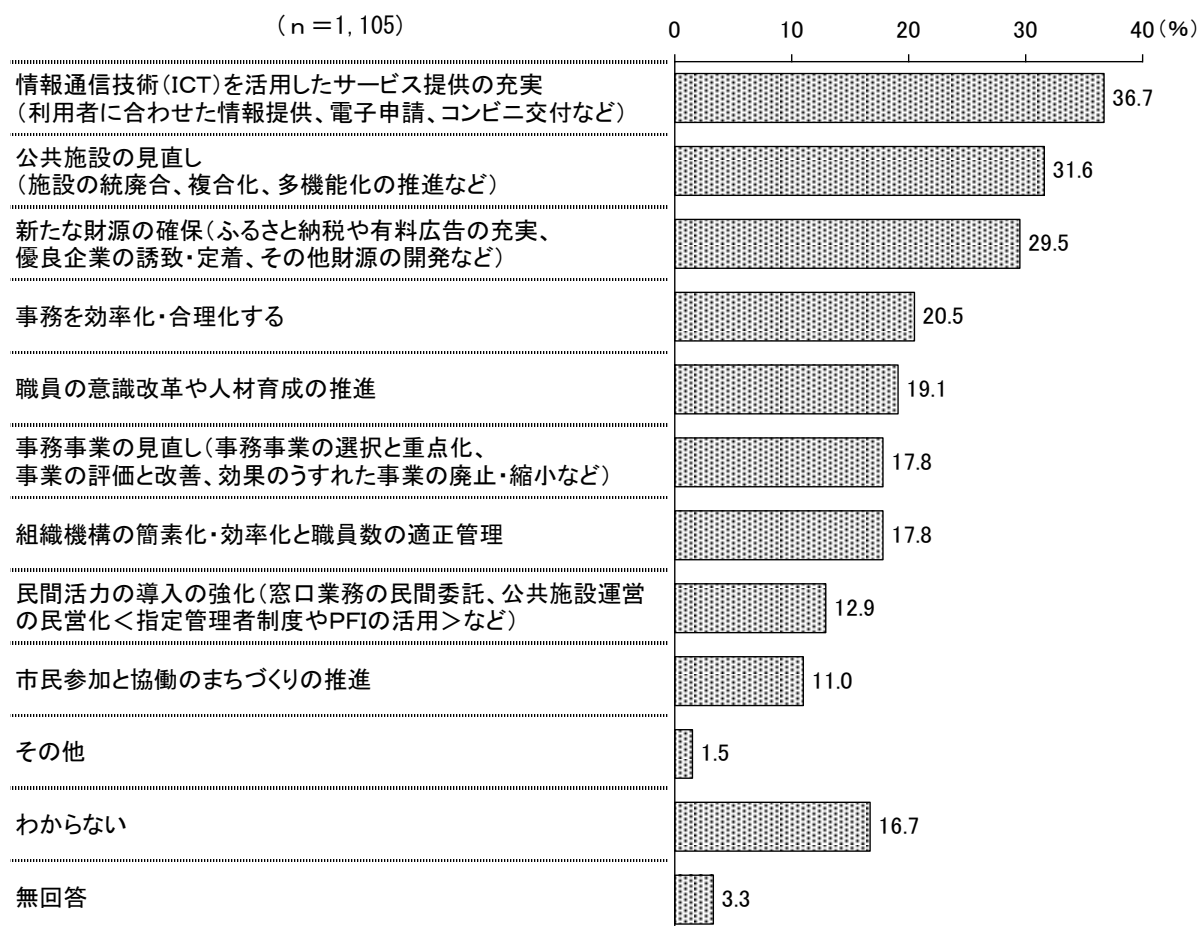
9. 市で行っている行政改革の取組について

(1) 重点的に取り組むべき行財政改革

◇「情報通信技術（ＩＣＴ）を活用したサービス提供の充実」が４割近く

問28 行政改革を進めるにあたって、市が重点的に取り組むべきと思うものは何ですか。次の中から３つまで選んでください。

図 9 - 1 - 1



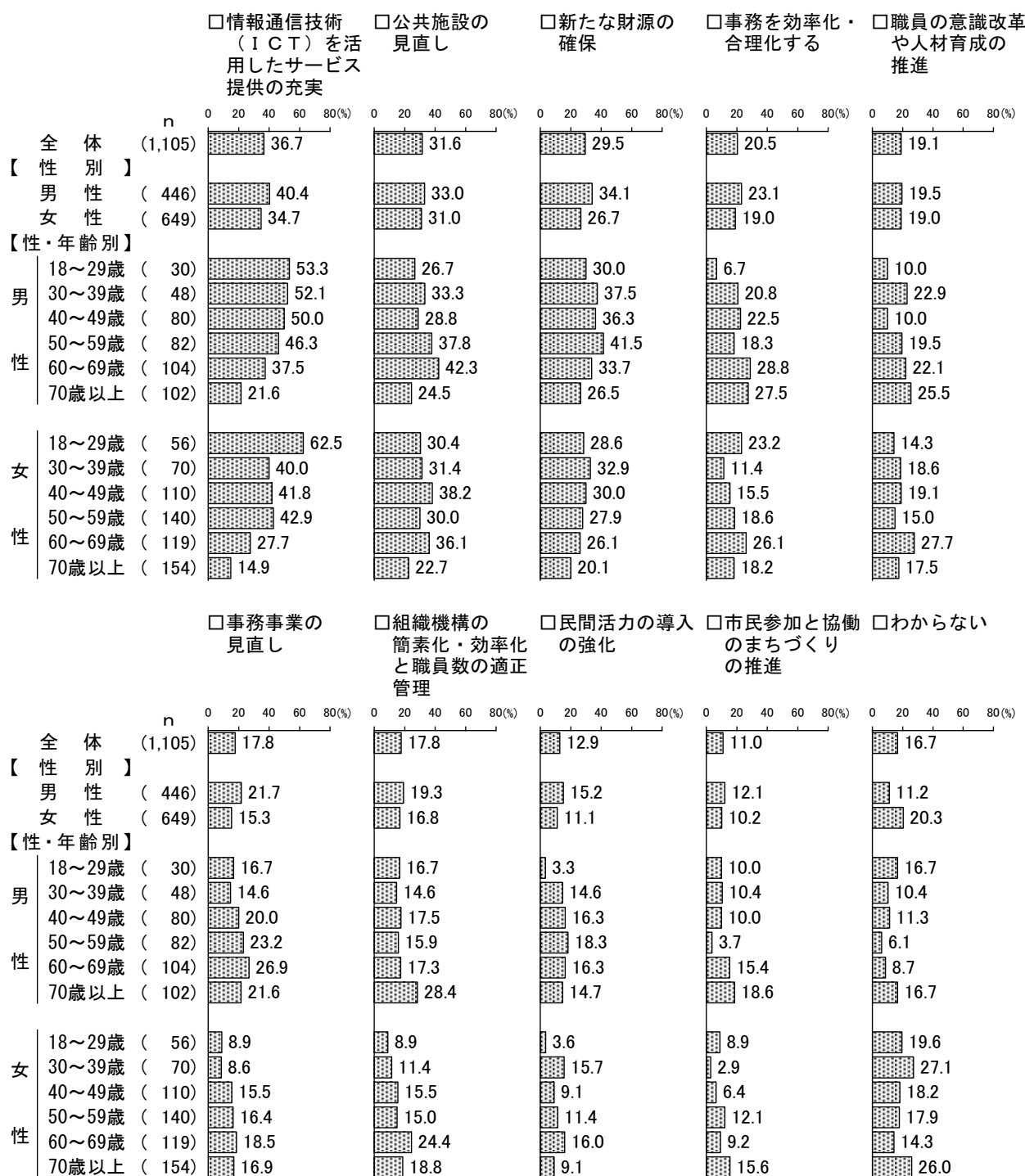
重点的に取り組むべき行財政改革について聞いたところ、「情報通信技術（ＩＣＴ）を活用したサービス提供の充実（利用者に合わせた情報提供、電子申請、コンビニ交付など）」（36.7%）が４割近くで最も高く、次いで「公共施設の見直し（施設の統廃合、複合化、多機能化の推進など）」（31.6%）、「新たな財源の確保（ふるさと納税や有料広告の充実、優良企業の誘致・定着、その他財源の開発など）」（29.5%）、「事務を効率化・合理化する」（20.5%）などの順となっている。

（図 9 - 1 - 1）

性別にみると、「新たな財源の確保」は男性（34.1%）が女性（26.7%）より7.4ポイント、「事務事業の見直し」は男性（21.7%）が女性（15.3%）より6.4ポイント、「情報通信技術（I C T）を活用したサービス提供の充実」は男性（40.4%）が女性（34.7%）より5.7ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年齢別にみると、「情報通信技術（I C T）を活用したサービス提供の充実」は女性18～29歳（62.5%）で6割を超えて高くなっている。「公共施設の見直し」は男性60～69歳（42.3%）で4割を超えて高くなっている。「新たな財源の確保」は男性50～59歳（41.5%）で4割を超えて高くなっている。（図9－1－2）

図9－1－2 重点的に取り組むべき行財政改革（性・年齢別）

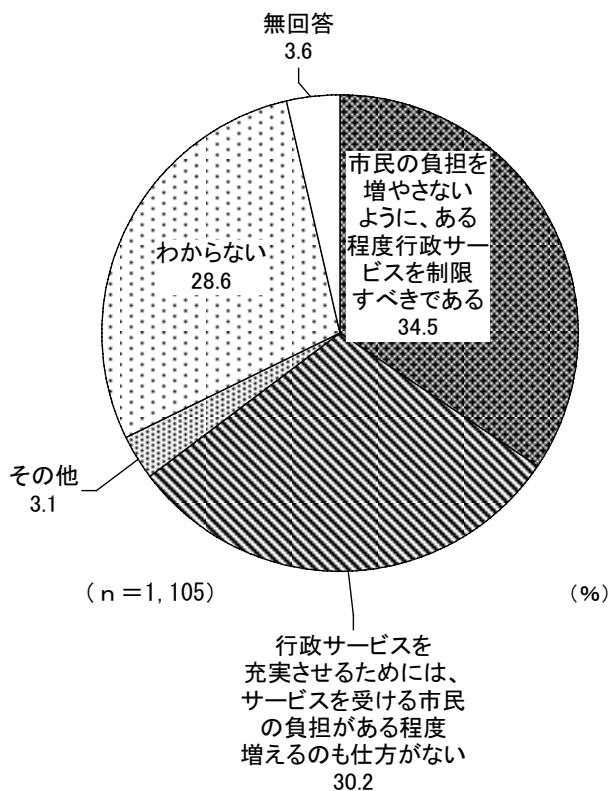


(2) 行政サービスの利用者負担について

◇「市民の負担を増やさずに、ある程度行政サービスを制限すべきである」が3割半ば

問29 行政サービスの利用者負担について、あなたの意見に最も近いものを1つ選んでください。

図9-2-1

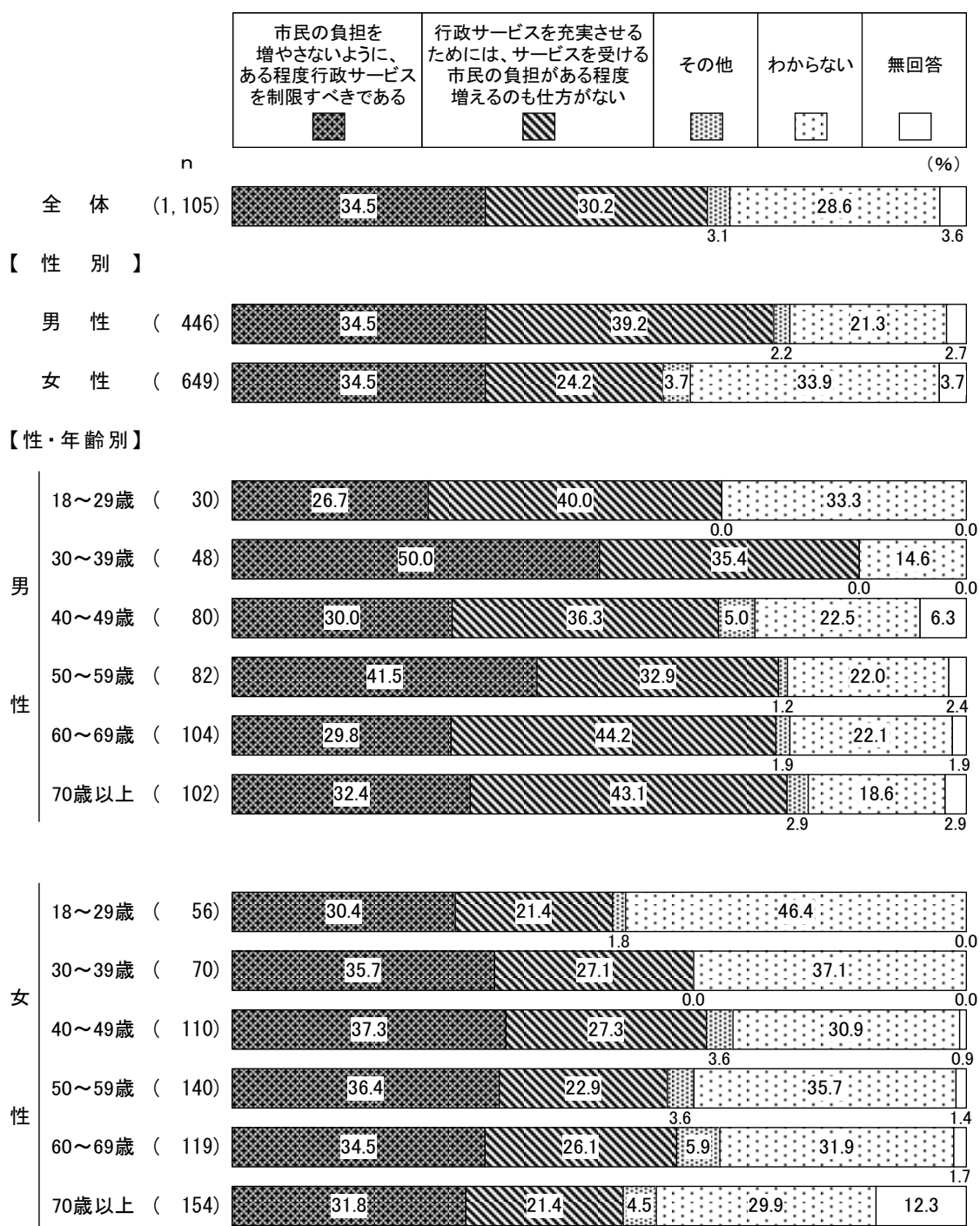


行政サービスの利用者負担について聞いたところ、「市民の負担を増やさずに、ある程度行政サービスを制限すべきである」(34.5%)が3割半ばとなっている。一方、「行政サービスを充実させるためには、サービスを受ける市民の負担がある程度増えるのも仕方がない」(30.2%)は3割となっている。(図9-2-1)

性別にみると、「行政サービスを充実させるためには、サービスを受ける市民の負担がある程度増えるのも仕方がない」は男性（39.2%）が女性（24.2%）より15.0ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「市民の負担を増やさないように、ある程度行政サービスを制限すべきである」は男性30～39歳（50.0%）で5割、男性50～59歳（41.5%）で4割を超えて高くなっている。一方、「行政サービスを充実させるためには、サービスを受ける市民の負担がある程度増えるのも仕方がない」は男性60～69歳（44.2%）で4割半ばと高くなっている。（図9－2－2）

図9－2－2 行政サービスの利用者負担について（性・年齢別）

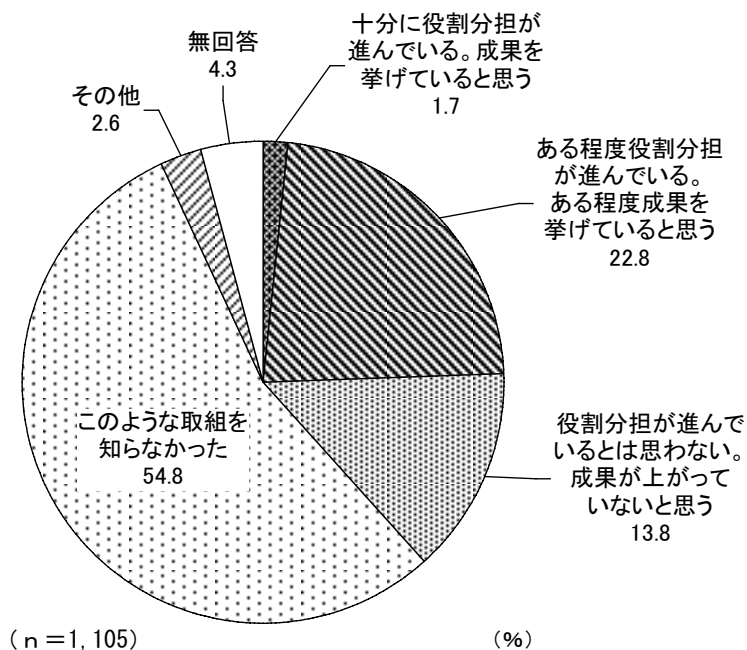


(3) 公共的なサービスの民間委託について

◇「ある程度役割分担が進んでいる。ある程度成果を挙げていると思う」が2割を超える

問30 公共的なサービスを、市と市民と民間事業者が役割分担して提供することで、サービスをよくしながら経費の節約などを進める取組について、あなたの意見に近いものを1つ選んでください。

図9-3-1

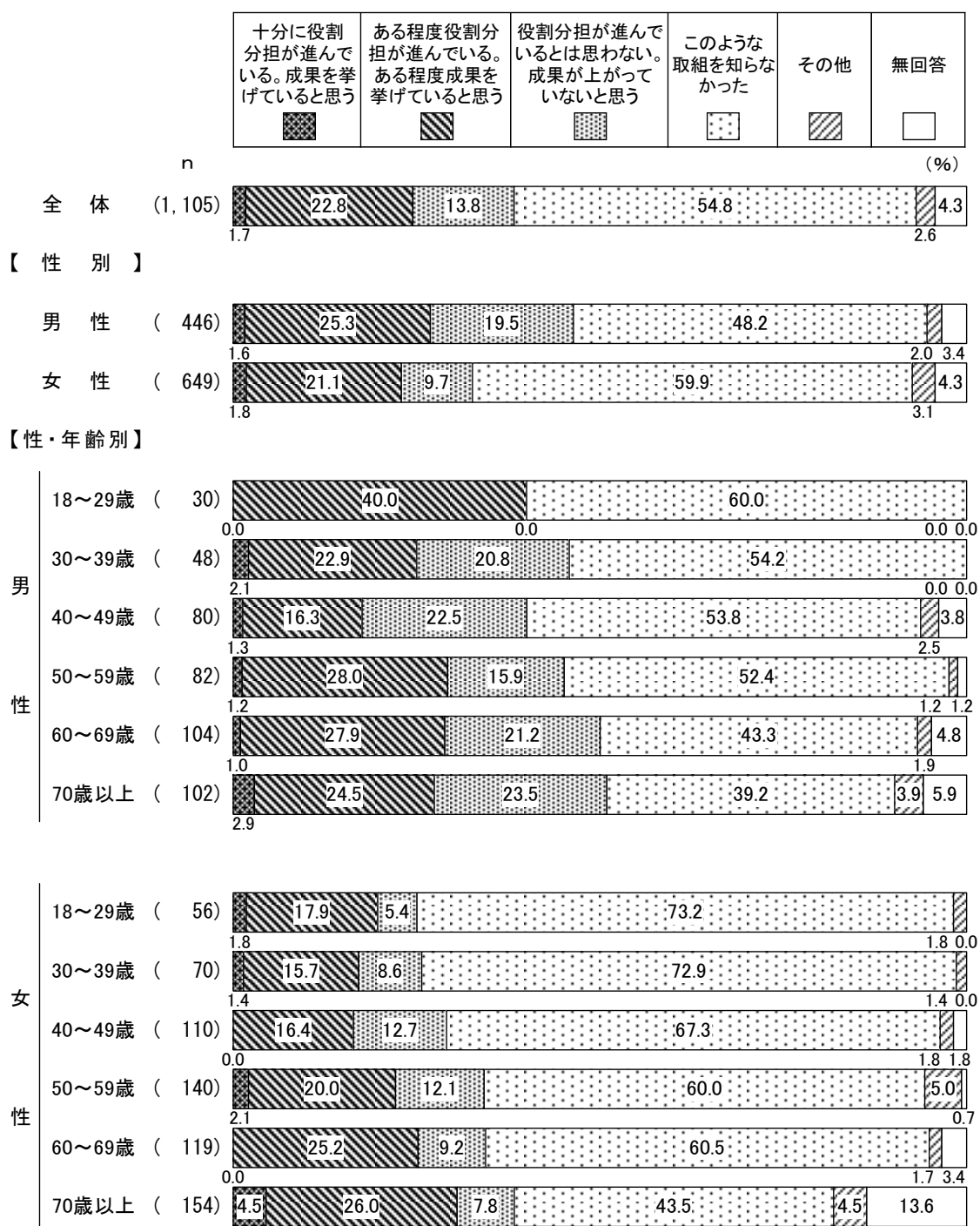


公共的なサービスの民間委託について聞いたところ、「ある程度役割分担が進んでいる。ある程度成果を挙げていると思う」(22.8%)が2割を超えており、「役割分担が進んでいるとは思わない。成果が上がっていないと思う」(13.8%)は1割を超えている。また、「このような取組を知らなかった」(54.8%)は5割半ばとなっている。(図9-3-1)

性別にみると、「役割分担が進んでいるとは思わない。成果が上がっていないと思う」は男性（19.5%）が女性（9.7%）より9.8ポイント、「ある程度役割分担が進んでいる。ある程度成果を挙げていると思う」は男性（25.3%）が女性（21.1%）より4.2ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「このような取組を知らなかった」は女性（59.9%）が男性（48.2%）より11.7ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「ある程度役割分担が進んでいる。ある程度成果を挙げていると思う」は男性18～29歳（40.0%）で4割と高くなっている。「このような取組を知らなかった」は女性18～29歳（73.2%）と女性30～39歳（72.9%）で7割を超えて高くなっている。（図9－3－2）

図9－3－2 公共的なサービスの民間委託について（性・年齢別）

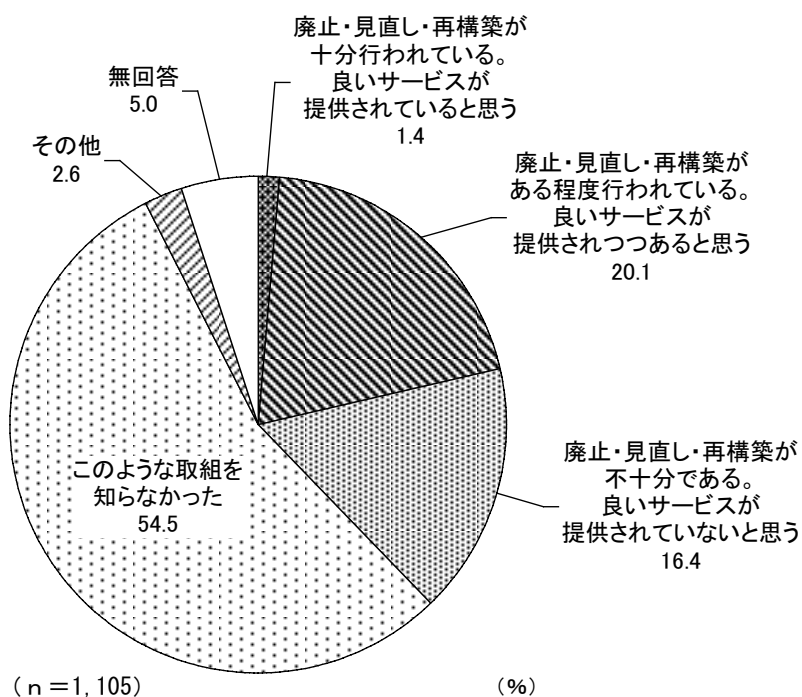


(4) 目的を達成した事業・効果が低くなった事業の廃止・見直し・再構築について

◇「廃止・見直し・再構築がある程度行われている。良いサービスが提供されつつあると思う」が2割

問31 目的を達成した事業や効果が低くなった事業はどんどん廃止・見直しなどをして、市民ニーズに合わせて効率よく質の高いサービスを提供していくという取組について、あなたの意見に近いものを1つ選んでください。

図9-4-1

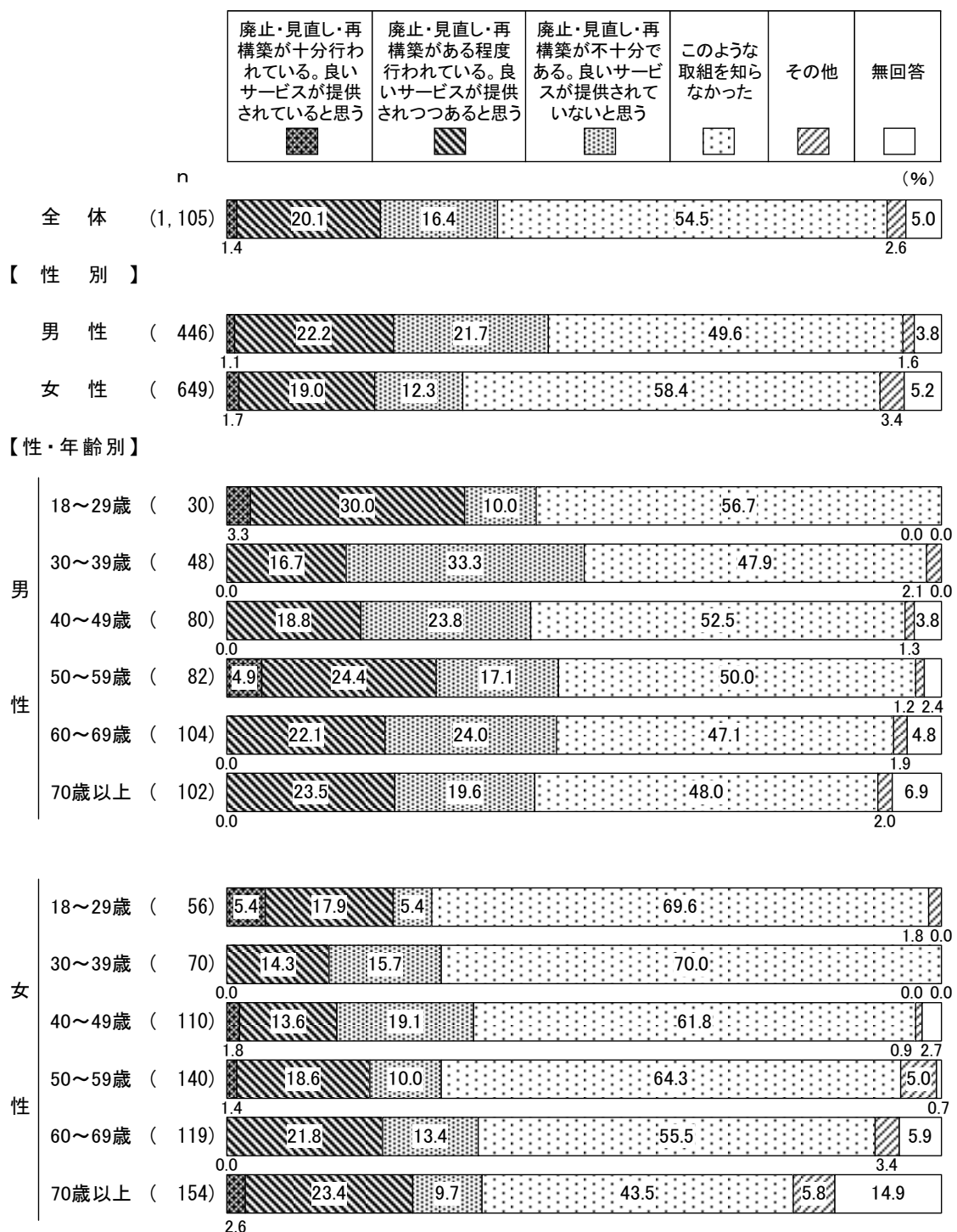


目的を達成した事業・効果が低くなった事業の廃止・見直し・再構築について聞いたところ、「廃止・見直し・再構築がある程度行われている。良いサービスが提供されつつあると思う」(20.1%)が2割、「廃止・見直し・再構築が不十分である。良いサービスが提供されていないと思う」(16.4%)は1割半ばとなっている。また、「このような取組を知らなかった」(54.5%)は5割半ばとなっている。(図9-4-1)

性別にみると、「廃止・見直し・再構築が不十分である。良いサービスが提供されていないと思う」は男性（21.7%）が女性（12.3%）より9.4ポイント高くなっている。一方、「このような取組を知らなかった」は女性（58.4%）が男性（49.6%）より8.8ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「廃止・見直し・再構築がある程度行われている。良いサービスが提供されつつあると思う」は男性18～29歳（30.0%）で3割と高くなっている。「廃止・見直し・再構築が不十分である。良いサービスが提供されていないと思う」は男性30～39歳（33.3%）で3割を超えて高くなっている。「このような取組を知らなかった」は女性18～29歳（69.6%）と女性30～39歳（70.0%）で7割と高くなっている。（図9－4－2）

図9－4－2 目的を達成した事業・効果が低くなった事業の廃止・見直し・再構築について（性・年齢別）

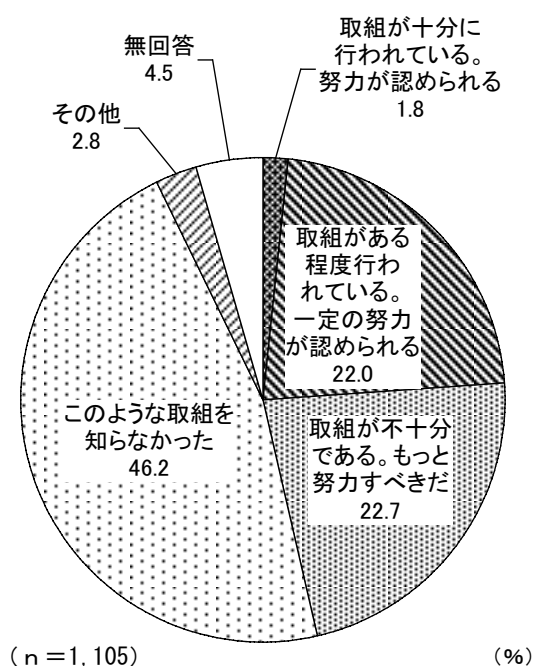


(5) 歳入の増加・歳出の削減の取組について

◇「取組が不十分である。もっと努力すべきだ」と「取組がある程度行われている。一定の努力が認められる」がともに2割を超える

問32 有料広告やふるさと納税といった新しい収入の確保、施設・サービスの利用料の見直しなどにより歳入を増やし、事務事業の実施体制や手順の見直し、コスト削減、統廃合などにより歳出を減らす市の取組について、あなたの意見に近いものを1つ選んでください。

図 9 - 5 - 1



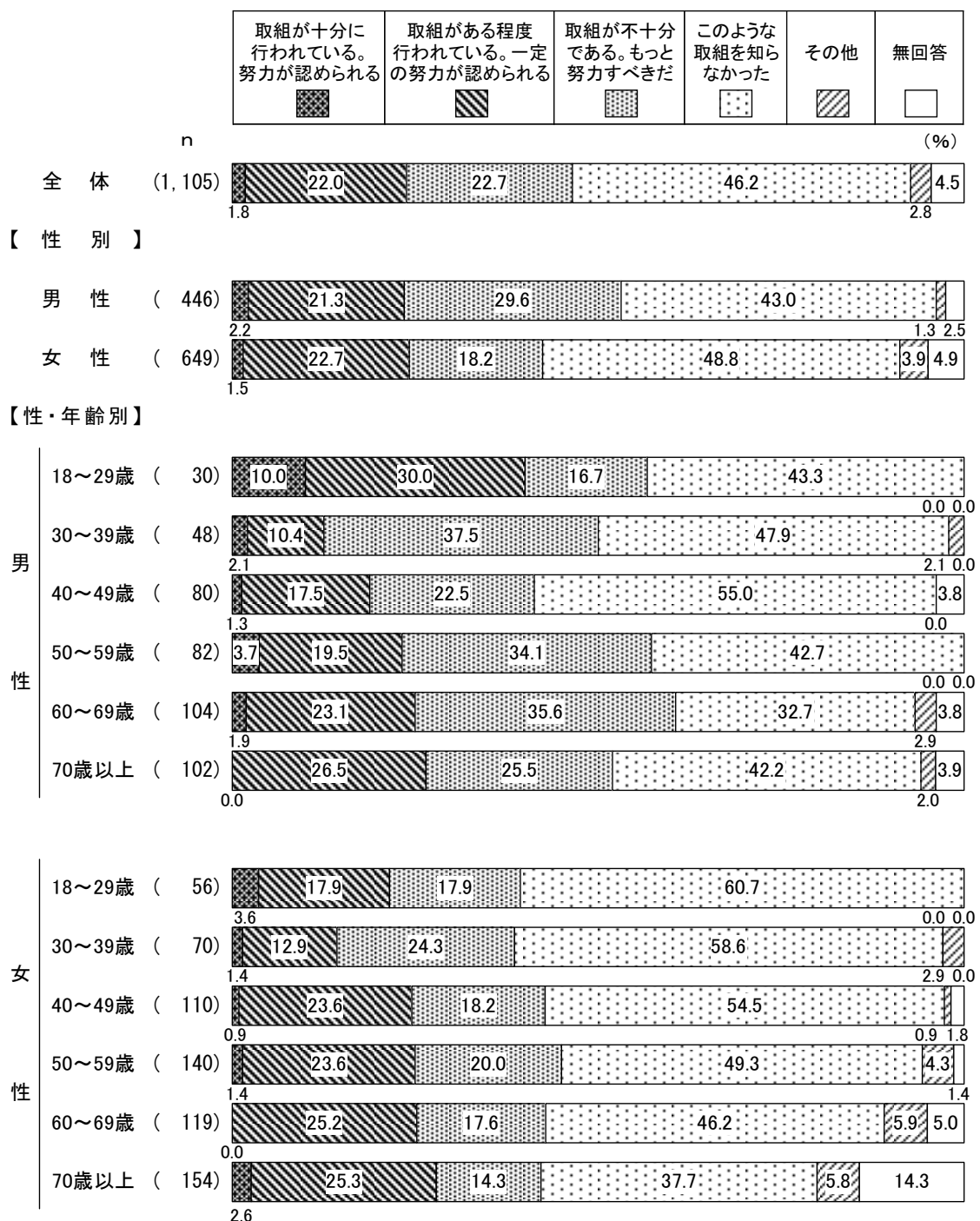
歳入の増加・歳出の削減の取組について聞いたところ、「取組が不十分である。もっと努力すべきだ」(22.7%)と「取組がある程度行われている。一定の努力が認められる」(22.0%)がともに2割を超えている。また、「このような取組を知らなかった」(46.2%)は4割半ばとなっている。

(図 9 - 5 - 1)

性別にみると、「取組が不十分である。もっと努力すべきだ」は男性（29.6%）が女性（18.2%）より11.4ポイント高くなっている。一方、「このような取組を知らなかった」は女性（48.8%）が男性（43.0%）より5.8ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「取組がある程度行われている。一定の努力が認められる」は男性18～29歳（30.0%）で3割と高くなっている。「取組が不十分である。もっと努力すべきだ」は男性30～39歳（37.5%）で4割近くと高くなっている。「このような取組を知らなかった」は女性18～29歳（60.7%）でほぼ6割と高くなっている。（図9－5－2）

図9－5－2 歳入の増加・歳出の削減の取組について（性・年齢別）

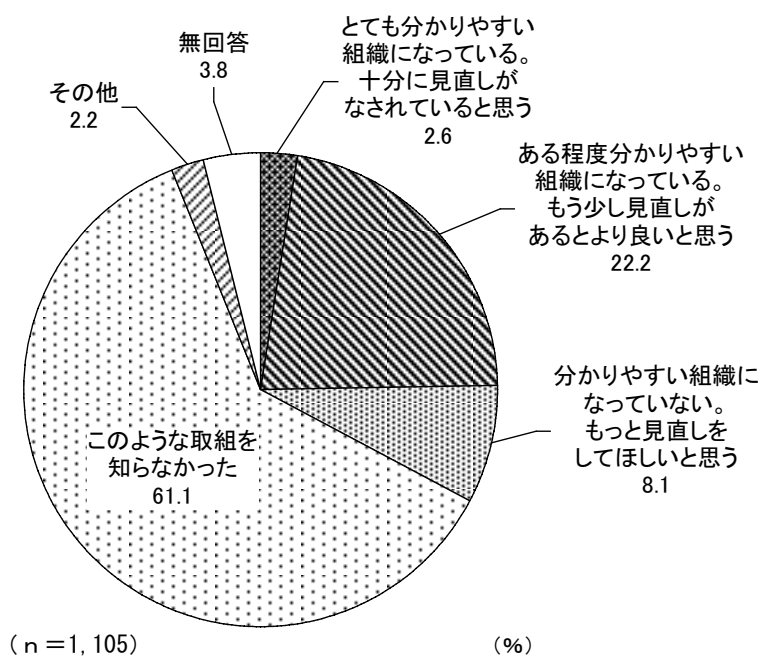


(6) 市役所の組織の見直しについて

◇「ある程度分かりやすい組織になっている。もう少し見直しがあるとより良いと思う」が2割を超える

問33 市役所の組織は、時代や市民ニーズの変化に対応するため、定期的に部署の配置や担当人数を変えています。最近では、平成29年度に組織を大きく見直しましたが、あなたの意見に近いものを1つ選んでください。

図9-6-1

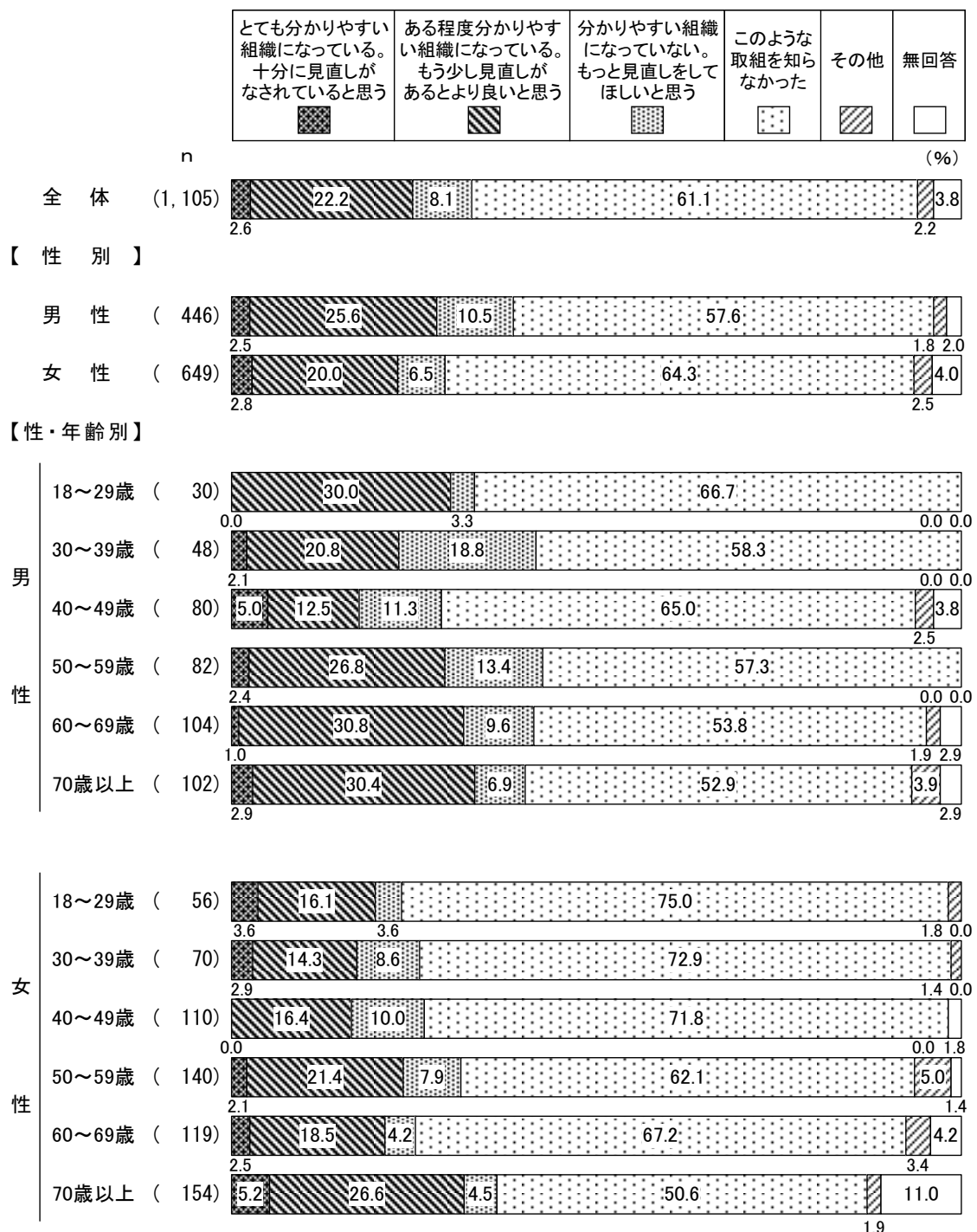


市役所の組織の見直しについて聞いたところ、「ある程度分かりやすい組織になっている。もう少し見直しがあるとより良いと思う」(22.2%)が2割を超えており、「分かりやすい組織になっていない。もっと見直しをしてほしいと思う」(8.1%)は1割未満となっている。また、「このような取組を知らなかった」(61.1%)は6割を超えている。(図9-6-1)

性別にみると、「ある程度分かりやすい組織になっている。もう少し見直しがあるとより良いと思う」は男性（25.6%）が女性（20.0%）より5.6ポイント、「分かりやすい組織になっていない。もっと見直しをしてほしいと思う」は男性（10.5%）が女性（6.5%）より4.0ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「このような取組を知らなかった」は女性（64.3%）が男性（57.6%）より6.7ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「ある程度分かりやすい組織になっている。もう少し見直しがあるとより良いと思う」は男性18～29歳（30.0%）、男性60～69歳（30.8%）、男性70歳以上（30.4%）でほぼ3割と高くなっている。「このような取組を知らなかった」は女性18～29歳（75.0%）で7割半ばと高くなっている。（図9-6-2）

図9-6-2 市役所の組織の見直しについて（性・年齢別）

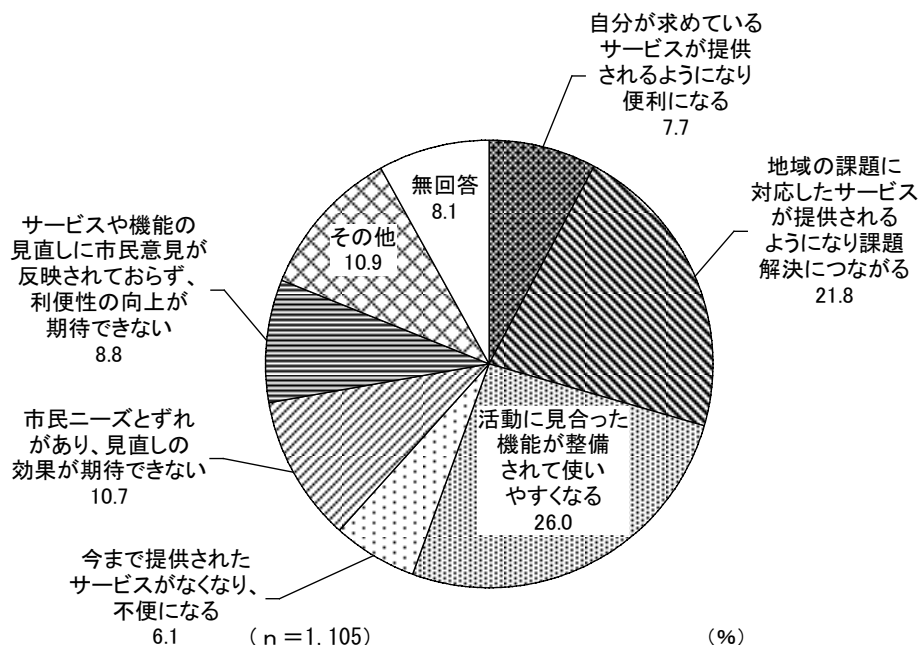


(7) 施設で提供するサービスや施設機能の見直しが進むことについて

◇「活動に見合った機能が整備されて使いやすくなる」が2割半ば

問34 公共施設マネジメントの取り組みにより、施設で提供するサービスや施設機能の見直しが進むことについてあなたの考えに近いものを1つ選んでください。

図9-7-1

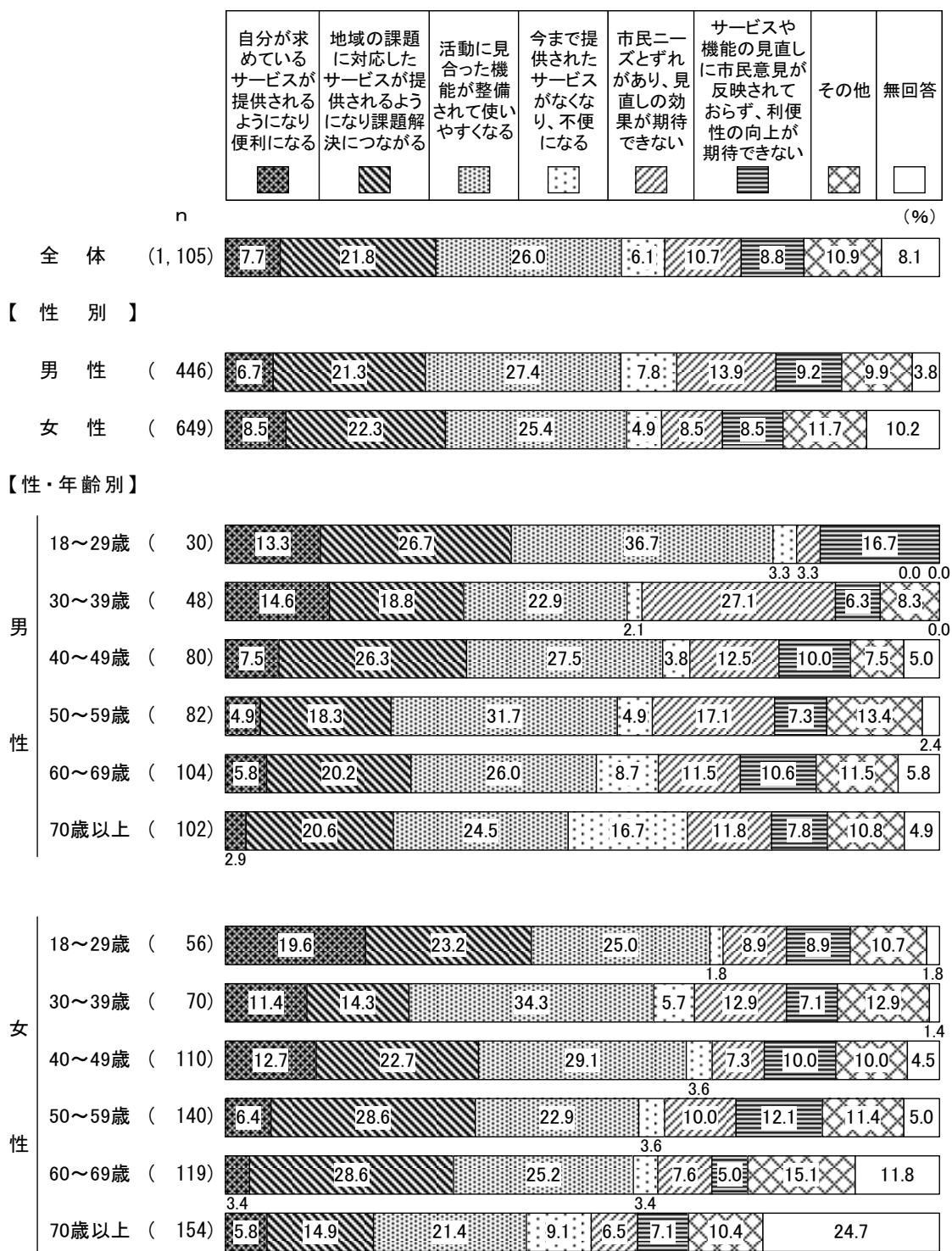


施設で提供するサービスや施設機能の見直しが進むことについて聞いたところ、「活動に見合った機能が整備されて使いやすくなる」(26.0%)が2割半ばで最も高く、次いで「地域の課題に対応したサービスが提供されるようになり課題解決につながる」(21.8%)、「市民ニーズとずれがあり、見直しの効果が期待できない」(10.7%)、「サービスや機能の見直しに市民意見が反映されておらず、利便性の向上が期待できない」(8.8%)などの順となっている。(図9-7-1)

性別にみると、「市民ニーズとずれがあり、見直しの効果が期待できない」は男性（13.9%）が女性（8.5%）より5.4ポイント高くなっている。

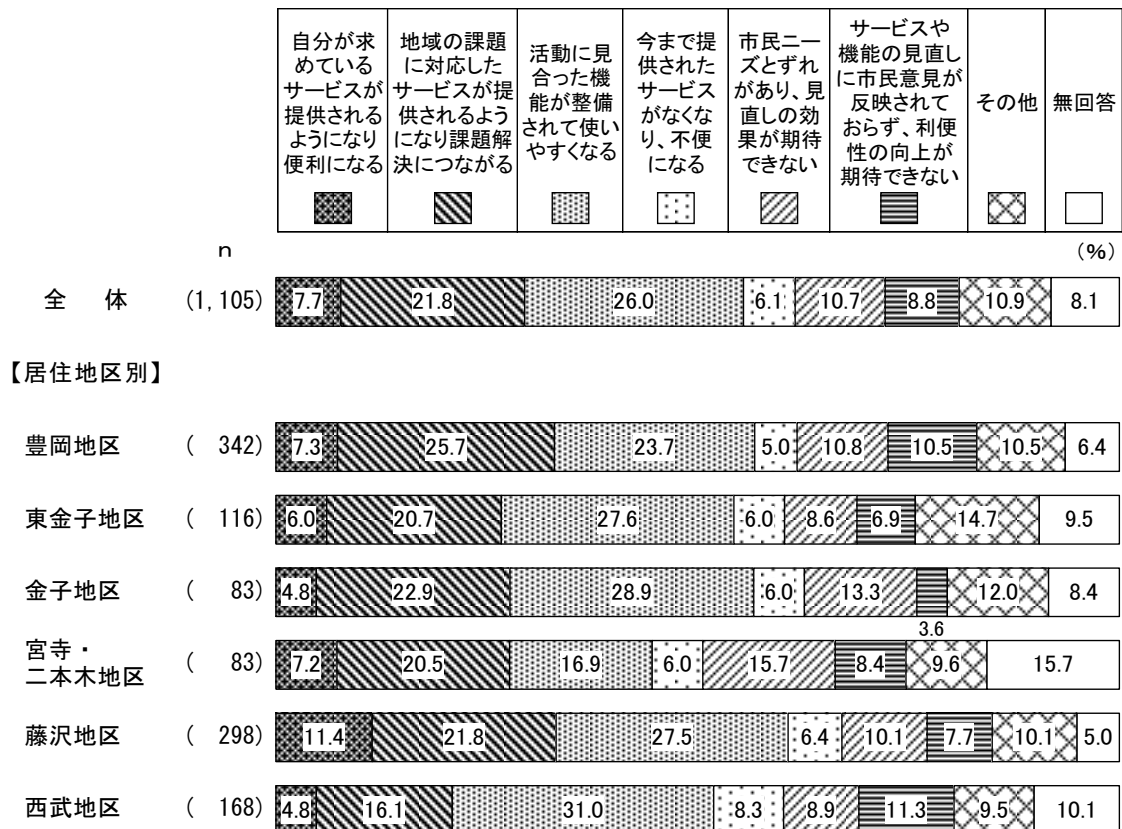
性・年齢別にみると、「活動に見合った機能が整備されて使いやすくなる」は男性18～29歳（36.7%）で4割近くと高くなっている。「市民ニーズとずれがあり、見直しの効果が期待できない」は男性30～39歳（27.1%）で3割近くと高くなっている。（図9－7－2）

図9－7－2 施設で提供するサービスや施設機能の見直しが進むことについて（性・年齢別）



居住地区別にみると、「地域の課題に対応したサービスが提供されるようになり課題解決につながる」は豊岡地区（25.7%）で2割半ばと高くなっている。「活動に見合った機能が整備されて使いやすくなる」は西武地区（31.0%）で3割を超えて高くなっている。（図9－7－3）

図9－7－3 施設で提供するサービスや施設機能の見直しが進むことについて（居住地区別）

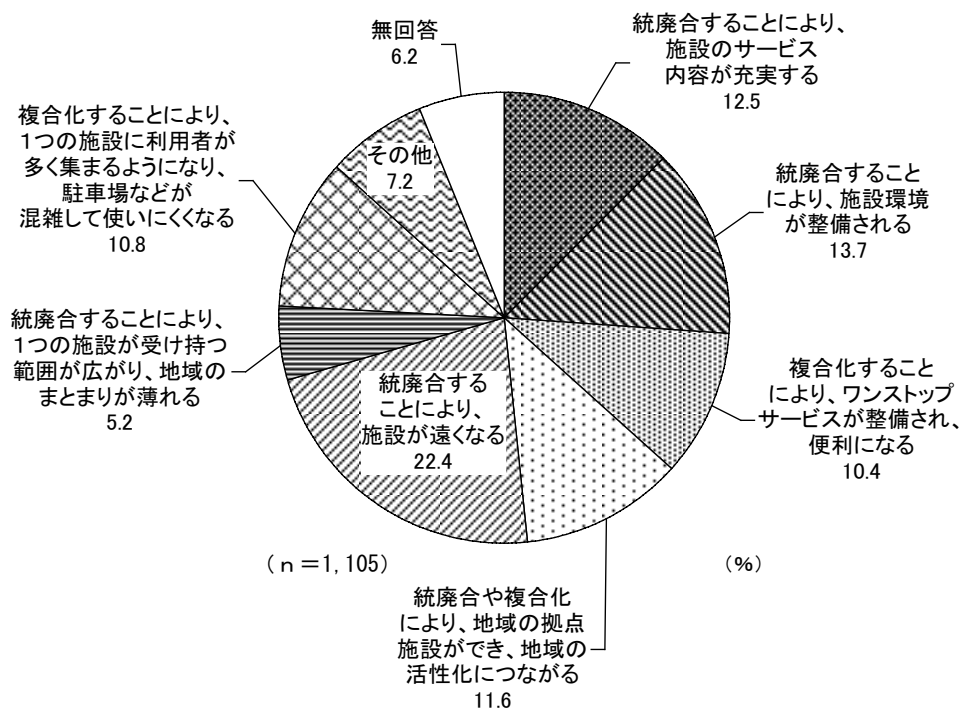


（８）施設の統廃合や複合化が進むことについて

◇「統廃合することにより、施設が遠くなる」が２割を超える

問35 公共施設マネジメントの取り組みにより、施設の統廃合や複合化が進むことについて、あなたの考えに近いものを１つ選んでください。

図 9－8－1



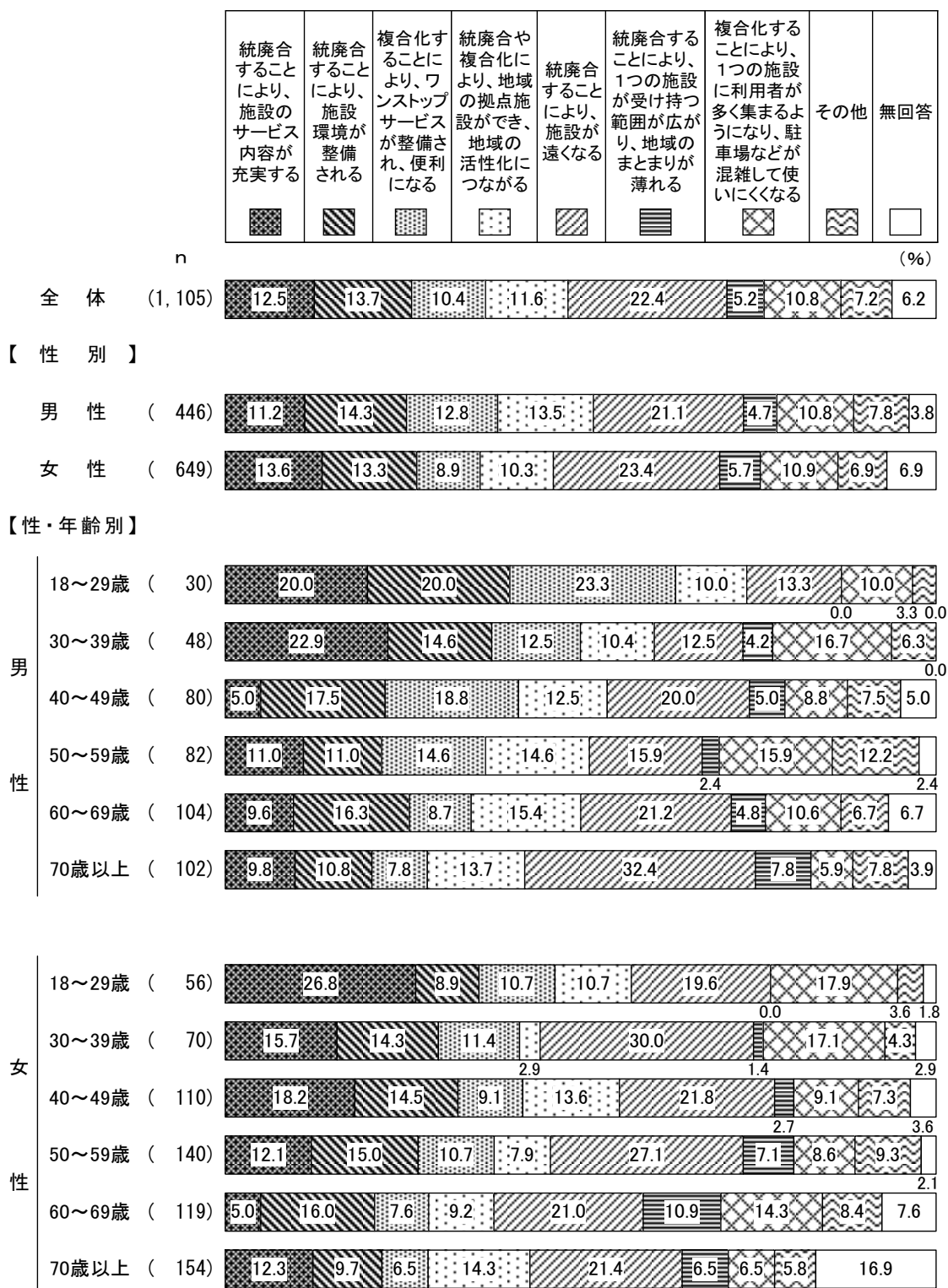
施設の統廃合や複合化が進むことについて聞いたところ、「統廃合することにより、施設が遠くなる」(22.4%)が２割を超えて最も高く、次いで「統廃合することにより、施設環境が整備される」(13.7%)、「統廃合することにより、施設のサービス内容が充実する」(12.5%)、「統廃合や複合化により、地域の拠点施設ができ、地域の活性化につながる」(11.6%)などの順となっている。

(図 9－8－1)

性別にみると、「複合化することにより、ワンストップサービスが整備され、便利になる」は男性（12.8%）が女性（8.9%）より3.9ポイント、「統廃合や複合化により、地域の拠点施設ができ、地域の活性化につながる」は男性（13.5%）が女性（10.3%）より3.2ポイント、それぞれ高くなっている。

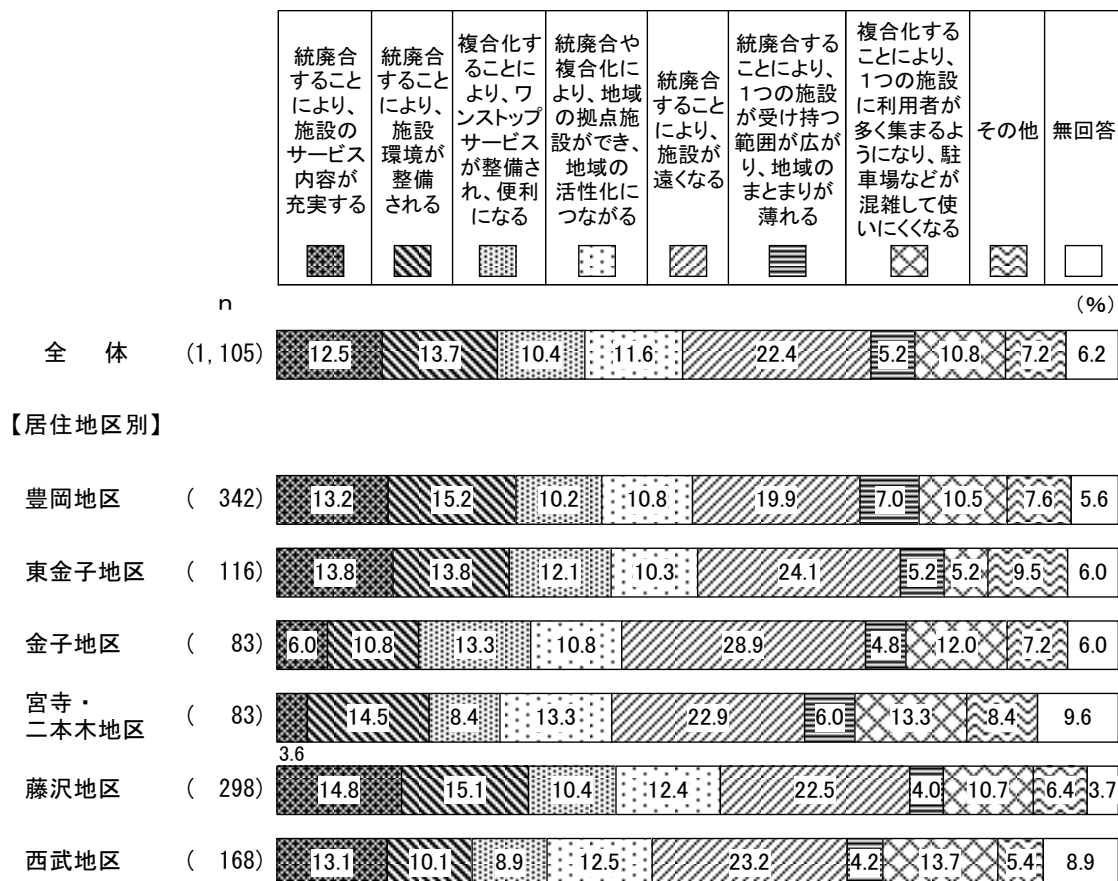
性・年齢別にみると、「統廃合することにより、施設のサービス内容が充実する」は女性18～29歳（26.8%）で3割近くと高くなっている。「統廃合することにより、施設が遠くなる」は男性70歳以上（32.4%）と女性30～39歳（30.0%）で3割台と高くなっている。（図9－8－2）

図9－8－2 施設の統廃合や複合化が進むことについて（性・年齢別）



居住地区別にみると、「統廃合することにより、施設が遠くなる」は金子地区（28.9%）で3割近くと高くなっている。（図9－8－3）

図9－8－3 施設の統廃合や複合化が進むことについて（居住地区別）



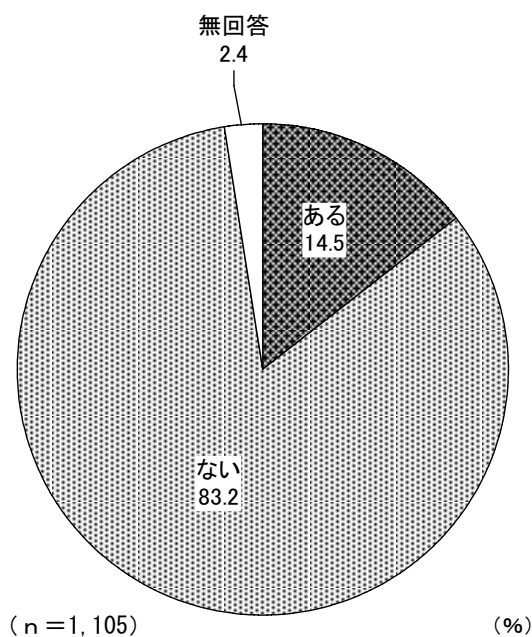
10. 人権や持続可能な開発目標について

(1) 差別を受けたと感じた・差別しているのを見聞きしたことがあるか

◇「ある」が1割半ば

問36 人権に関して、あなた自身が過去5年間に差別を受けたと感じたことがありますか。
また差別をしているのを見聞きしたことがありますか。

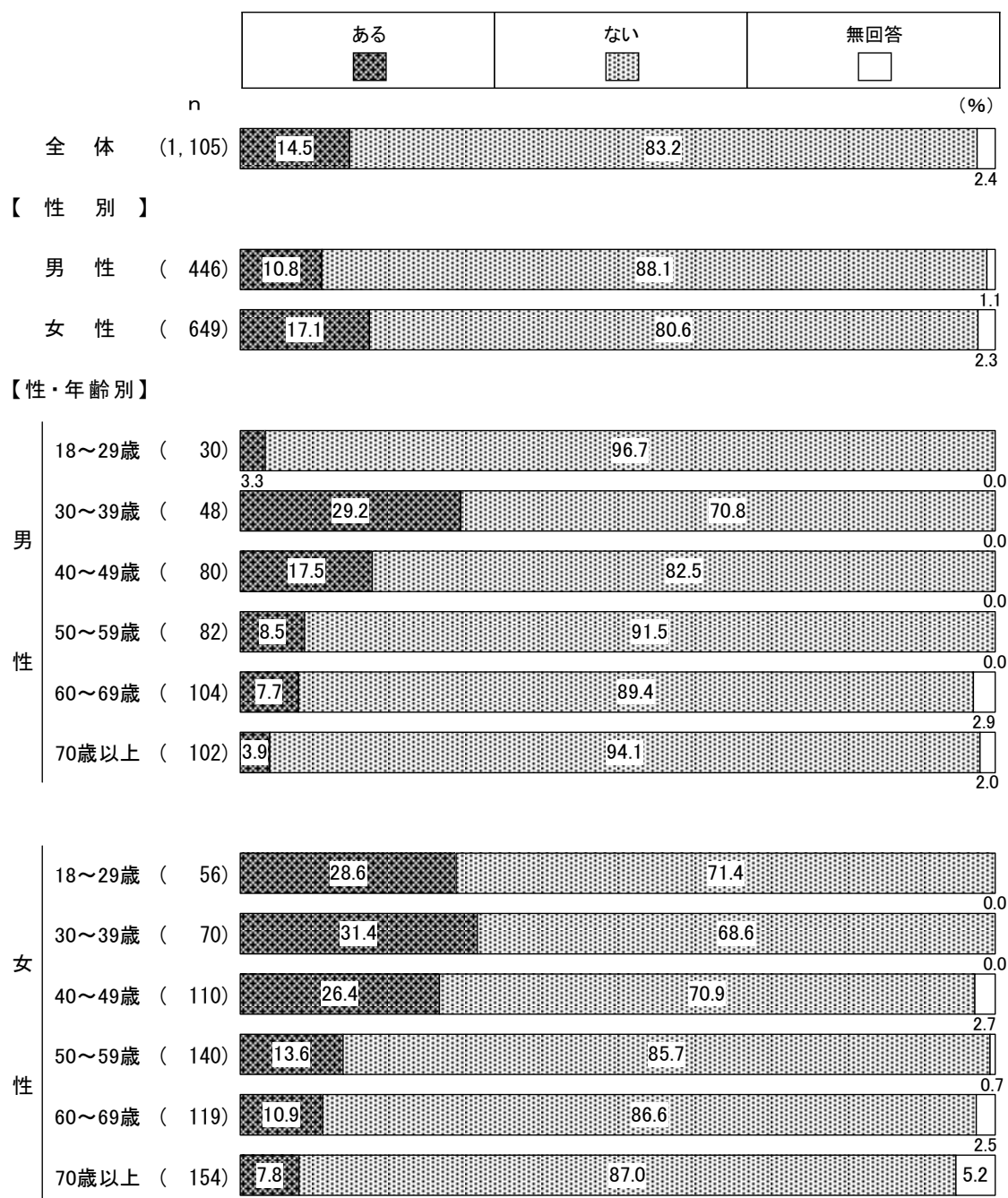
図10－1－1



差別を受けたと感じた、差別しているのを見聞きしたことがあるか聞いたところ、「ある」(14.5%)が1割半ば、「ない」(83.2%)は8割を超えている。(図10－1－1)

性別にみると、「ある」は女性（17.1%）が男性（10.8%）より6.3ポイント高くなっている。
 性・年齢別にみると、「ある」は女性30～39歳（31.4%）で3割を超えて高くなっている。一方、
 「ない」は男性18～29歳（96.7%）で10割近くと高くなっている。（図10－1－2）

図10－1－2 差別を受けたと感じた・差別しているのを見聞きしたことがあるか（性・年齢別）



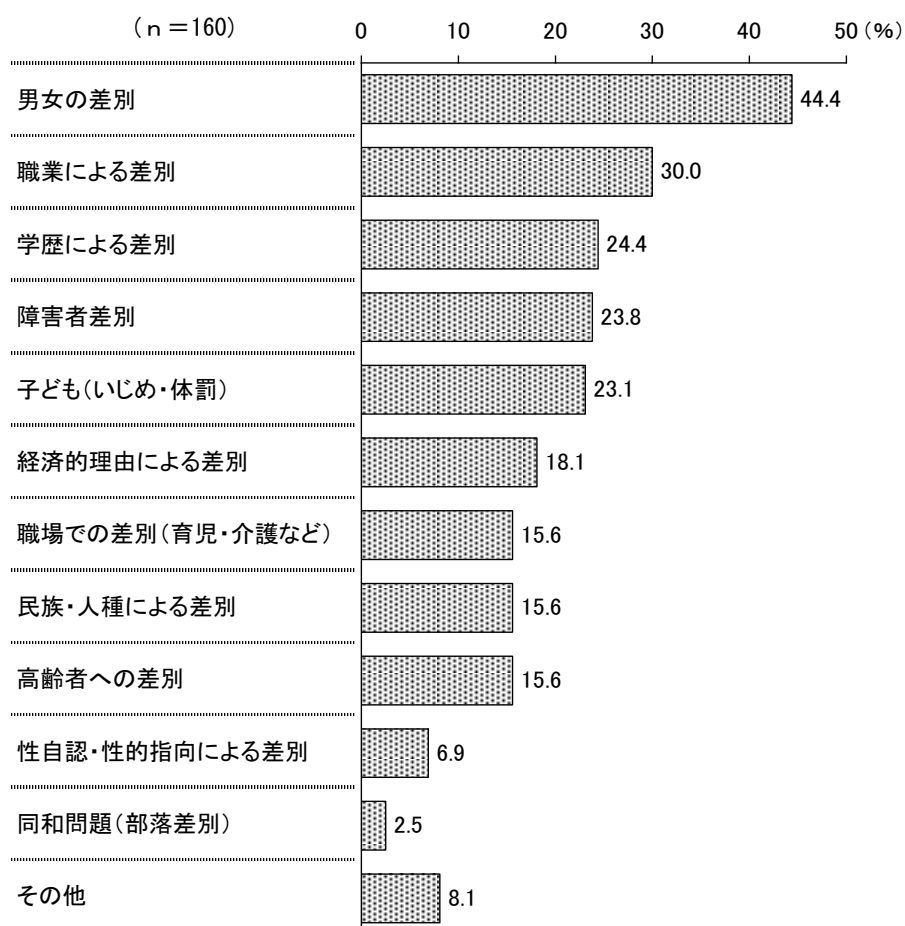
(2) 差別の内容

◇「男女の差別」が4割半ば

(問36で、「ある」と答えた方に)

問36－1 それはどのような差別ですか。次の選択肢の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。

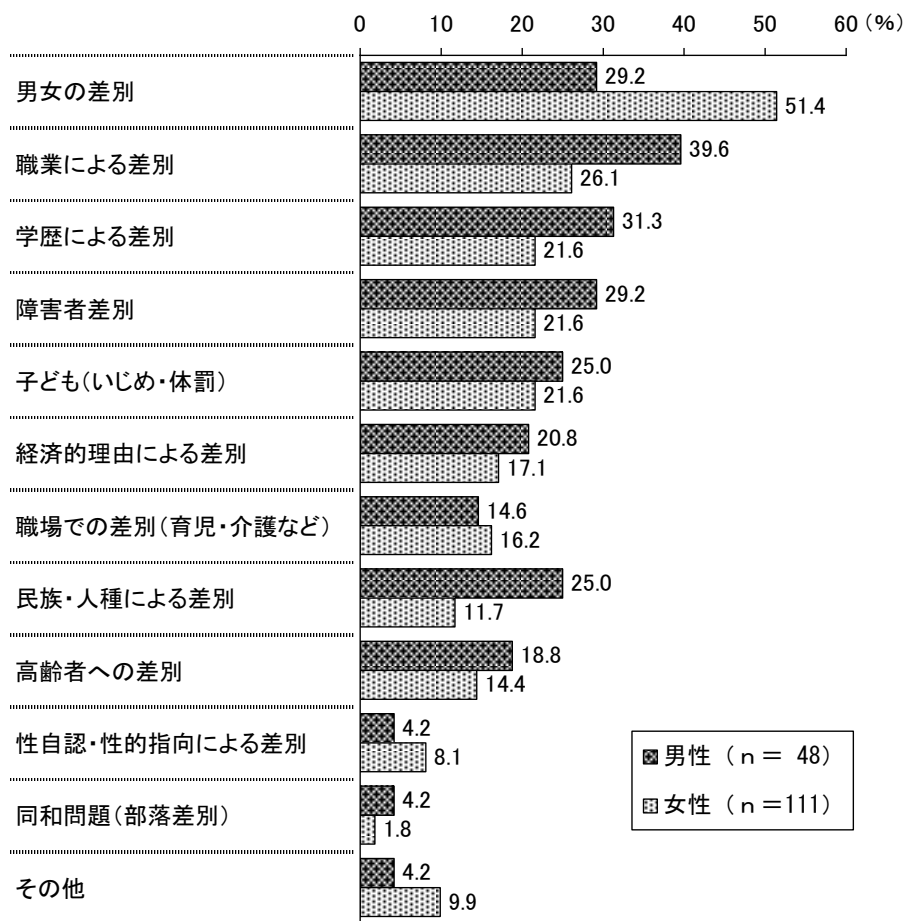
図10－2－1



差別を受けたと感じた、差別しているのを見聞きしたことが「ある」と答えた人(160人)に、その内容について聞いたところ、「男女の差別」(44.4%)が4割半ばで最も高く、次いで「職業による差別」(30.0%)、「学歴による差別」(24.4%)、「障害者差別」(23.8%)、「子ども(いじめ・体罰)」(23.1%)などの順となっている。(図10－2－1)

性別にみると、「男女の差別」は女性（51.4%）が男性（29.2%）より22.2ポイント高くなっている。一方、「職業による差別」は男性（39.6%）が女性（26.1%）より13.5ポイント、「民族・人種による差別」は男性（25.0%）が女性（11.7%）より13.3ポイント、「学歴による差別」は男性（31.3%）が女性（21.6%）より9.7ポイント、それぞれ高くなっている。（図10－2－2）

図10－2－2 差別の内容（性別）



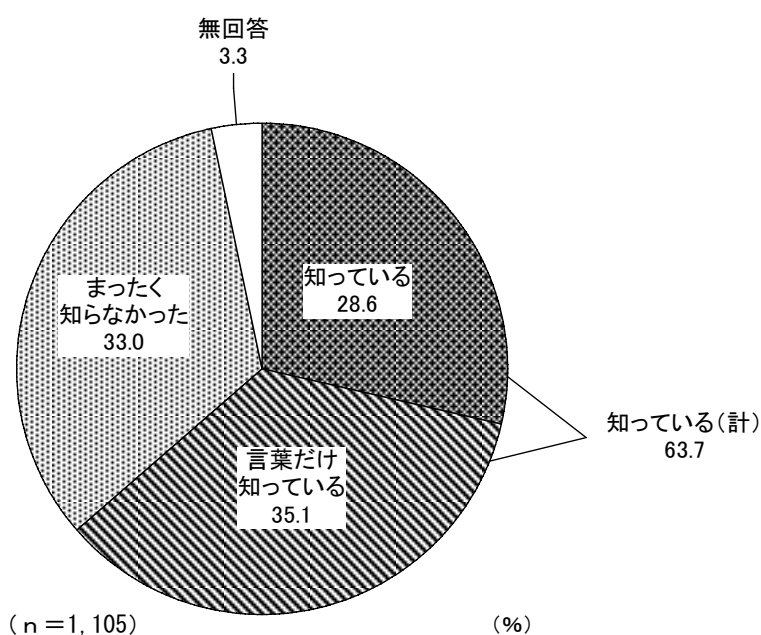
(3) 持続可能な開発目標について

◇『知っている（計）』が6割を超える

問37 持続可能な開発目標（SDGs : Sustainable Development Goals）は、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「誰ひとり取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標（※）です。あなたはこの取り組みをご存じですか。

※この目標の下に169のターゲット、232の指標が定められています。

図10－3－1



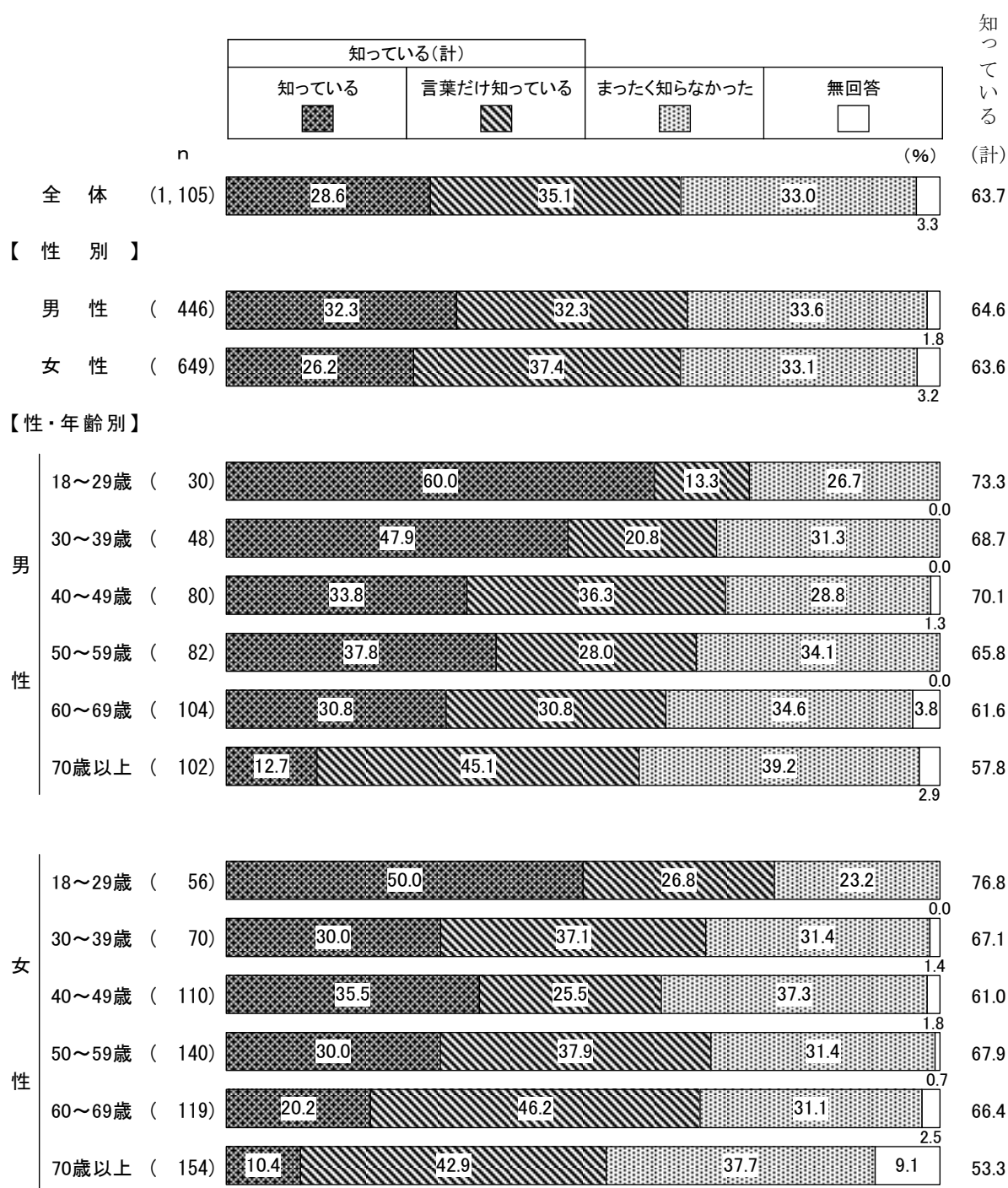
持続可能な開発目標について聞いたところ、「知っている」（28.6%）と「言葉だけ知っている」（35.1%）を合わせた『知っている（計）』（63.7%）が6割を超えて高くなっている。一方、「まったく知らなかった」（33.0%）は3割を超えている。（図10－3－1）

性別にみると、「知っている」は男性（32.3%）が女性（26.2%）より6.1ポイント高くなっている。一方、「言葉だけ知っている」は女性（37.4%）が男性（32.3%）より5.1ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「知っている」は男性18～29歳（60.0%）で6割、女性18～29歳（50.0%）で5割と高くなっている。『知っている（計）』は女性18～29歳（76.8%）で8割近くと高くなっている。一方、「まったく知らなかった」は男性70歳以上（39.2%）でほぼ4割と高くなっている。

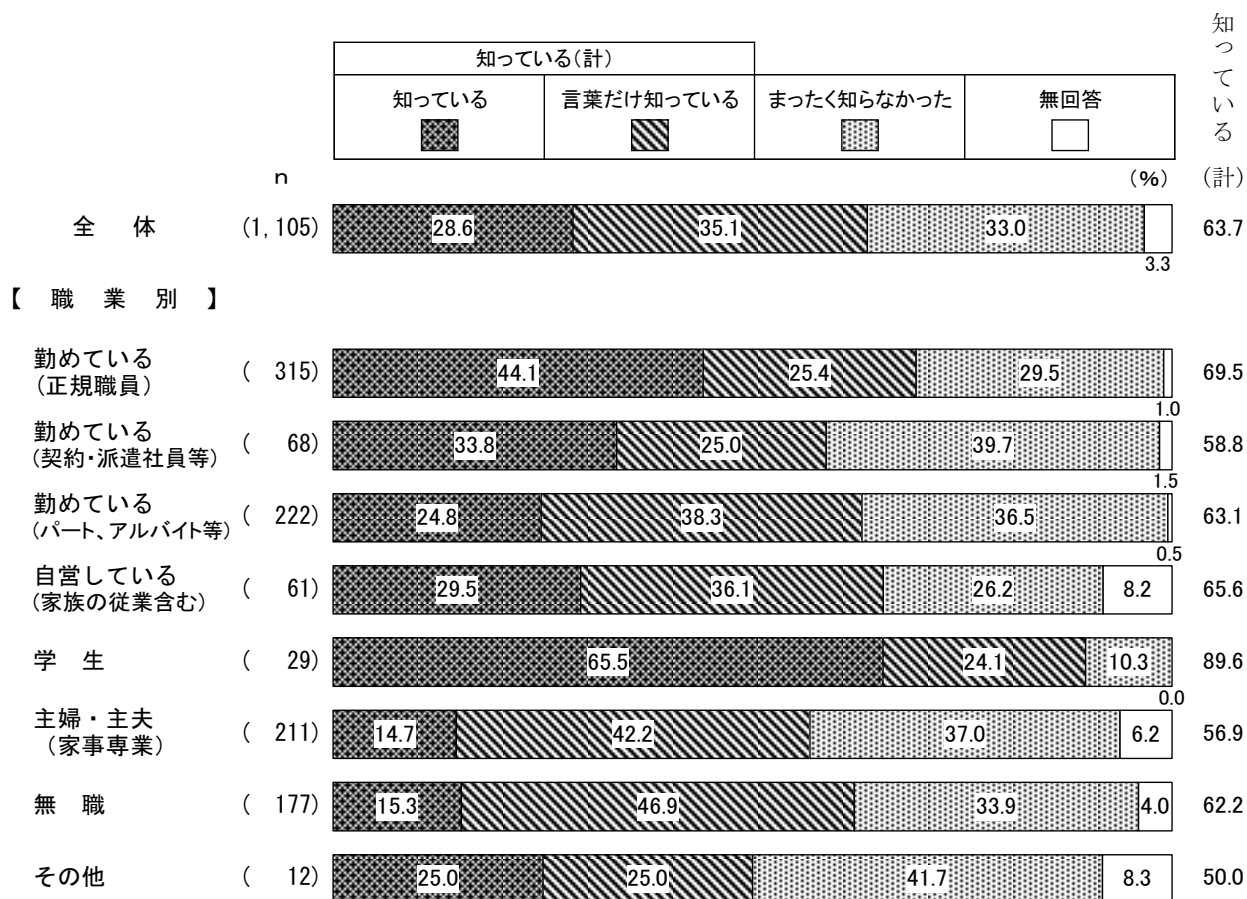
（図10－3－2）

図10－3－2 持続可能な開発目標について（性・年齢別）



職業別にみると、「知っている」は“学生”（65.5%）で6割半ばと高くなっている。『知っている（計）』は“学生”（89.6%）で9割、“勤めている（正規職員）”（69.5%）で7割と高くなっている。一方、「まったく知らなかった」は“勤めている（契約・派遣社員等）”（39.7%）で4割と高くなっている。（図10－3－3）

図10－3－3 持続可能な開発目標について（職業別）



IV 調査票

～あなたの声をお聴かせください～

－市民意識調査ご協力をお願い－

日ごろから市政推進のために格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

入間市では、市民の皆様と行政が一体となり、「みんなでつくる住みやすさが実感できるまち いるま」を実現するため、定期的に市民意識調査を実施して、市民の皆さんのご意見やご要望などをお伺いし、今後の市政に反映させる基礎資料として活用しています。

今回実施する第13回入間市市民意識調査では、市内にお住まいの18歳以上の方2,000人を無作為に抽出し、調査対象としています。

つきましては、調査票にご回答いただき、同封の返信用封筒に入れて、

9月17日（金）までにご返送いただくか、パソコンやスマートフォン等からインターネットでご回答ください。

なお、調査票に名前の記入欄はありません。調査結果はすべて数字だけで統計的に処理をし、他の目的には使用しませんので、ご回答いただきました皆様にご迷惑をおかけすることはございません。ありのままのご意見をお聴かせください。

調査票・インターネットそれぞれの回答方法については、裏面をご確認ください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年9月

入間市長 杉 島 理一郎

【問い合わせ先】 調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

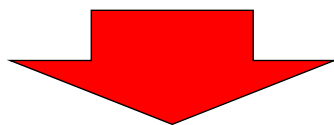
入間市企画部企画課政策推進室

電 話 04-2964-1111（代表）（内線3141・3142）

ファックス 04-2965-0232

Eメール ir113011@city.iruma.lg.jp

裏面の注意点を必ずご確認ください。
ご回答ください。



【ご回答の際のご注意】

あて名のご本人がご回答ください。

調査票・インターネットそれぞれの回答方法における注意点をよくお読みください。

○調査票で回答する場合

- ① 回答は、あてはまる番号を選び、その番号を○で囲んでください。記入欄が設けられている場合は、記入欄にご回答ください。
- ② 「1つだけ」「2つまで」など回答の数が限られている質問では、あなたがもっともよくあてはまるとお考えになる回答を、指定の数以内で選んで、その番号に○をつけてください。
記入欄が設けられている場合は、記入欄にご回答ください。
- ③ 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが（ ）内にできるだけ具体的にその内容をご記入ください。
- ④ 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や（ ）内のことわり書きをよくお読みください。

調査票の記入が済みしましたら・・・

同封の返信用封筒に入れて9月17日（金）までにご返送ください。

○インターネットで回答する場合

- ① 以下に記載しておりますURLをブラウザのURL欄に直接入力するか、QRコードを読み込み、回答フォームへアクセスしてください。
- ② 最初に以下のIDを入力し、それぞれの設問にご回答ください。
回答内容により設問の表示が自動的に切り替わりますので、お手数ですが設問順にお答えください。
※IDは二重回答を防ぐために用いており、個人を特定するものではありません。
- ③ 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが（ ）内にできるだけ具体的にその内容をご記入ください。

全て入力が完了したら・・・

『回答する』をクリックして回答完了となります。9月17日（金）までにご回答ください。

URL : <https://logoform.jp/form/7Bob/30312>



ID : ●●●●●●

インターネットで回答する場合、最初にこのIDを入力してください。

第13回 入間市市民意識調査 ～あなたの声をお聴かせください～

～はじめに、入間市のくらしやイメージ、地域活動などについておたずねします。～

【住みよさ】

問1 あなたは、今住んでいる入間市を住みよい所であると思いますか。それとも住みにくい所であると思いますか。次の中から1つ選んでください。

1 住みよい

2 どちらかといえば住みよい

3 どちらともいえない →問2へ

4 どちらかといえば住みにくい → 問1-2へ

5 住みにくい

(問1で、「1」「2」と答えた方に)

→問1-1 住みよいと思われる理由を1つ選んでください。

1 住みなれているから

2 通勤・通学に便利だから

3 地域での人間関係がよいから

4 買い物など毎日の生活に便利だから

5 自然環境がよいから

6 居住環境がよいから

7 公共施設が充実しているから

8 娯楽・文化施設が充実しているから

9 その他 ()

→ 問2へお進みください

(問1で、「4」「5」と答えた方に)

問1-2 住みにくいと思われる理由を1つ選んでください。

1 転入して間もないのでよくわからないから

2 通勤・通学に不便だから

3 地域での人間関係がよくないから

4 買い物など毎日の生活に不便だから

5 自然環境がよくないから

6 居住環境がよくないから

7 公共施設が充実していないから

8 娯楽・文化施設が充実していないから

9 その他 ()

【愛着】

問2 あなたは、入間市に何か誇りや、愛着のようなものを感じますか。次の中から1つ選んでください。

1 非常に感じる

2 ある程度感じる

3 ふつう

4 あまり感じない

5 まったく感じない

【入間市の魅力】

問3 市では、「暮らしてみたいまち」「住み続けたいまち」を目指して、地域資源を活かしたシティセールスに取り組んでいます。あなたが入間市の環境や施設、行事等の中で入間らしい魅力や個性を感じるものは何ですか。次の1～39の項目の中から7つまで選んでください。

【自然環境】

- 1 茶畑と狭山茶
- 2 加治丘陵（桜山展望台・トラスト地唐沢流域樹林地含む）
- 3 狭山丘陵（さいたま緑の森博物館含む）
- 4 入間川・霞川・不老川（大森調節池含む）
- 5 谷田（やた）の泉
- 6 牛沢カタクリ自生地

【生活環境】

- 7 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）
- 8 ていーろーど・ていーワゴン
- 9 西武池袋線・JR八高線沿線
- 10 入間市駅周辺の商業地（アイボット、サイオス含む）
- 11 大型商業施設（アウトレット、イオンなど）
- 12 米軍ハウスのある街並み
- 13 彩の森入間公園
- 14 中央公園

【施設】

- 15 健康福祉センター
- 16 入間市博物館「アリット」
- 17 児童センター「アイクス」
- 18 青少年活動センター
- 19 市民会館
- 20 産業文化センター

21 文化創造アトリエ・アミーゴ

22 旧石川組製糸西洋館

23 旧黒須銀行

【行事】

- 24 入間万燈まつり
- 25 八十八夜新茶まつり
- 26 入間茶祭り
- 27 入間納涼花火大会（西武市民運動場）
- 28 生涯学習フェスティバル
- 29 いるま太鼓セッション
- 30 農業まつり・ふれあい朝市
- 31 おとろうまつり

【その他】

- 32 わんぱく相撲
- 33 入間市民大学
- 34 防災訓練
- 35 市民清掃デー
- 36 姉妹都市・友好都市交流
- 37 入間市マスコットキャラクター「いるティー」
- 38 いるまの子どもへ贈る歌「どこから来たの？」
- 39 その他（ ）

問3-1 問3の1～39の項目のうち、入間市の魅力を市内外に発信するために、市が優先してPRに取り組むべきものは何ですか。該当する番号を【記入欄】に3つ選んで記入してください。

【記入欄】

優先してPRに取り組むべきもの



--	--	--

【入間市のまちづくり】

問4 あなたは、将来の入間市はどのようなまちであってほしいと思いますか。あなたが希望するまちを次の項目の中から3つまで選んでください。

- 1 地域の活動やボランティア活動など、コミュニティ活動が盛んなまち
- 2 生涯にわたって学習活動やスポーツ活動が盛んなまち
- 3 子どもの教育環境が充実したまち
- 4 安心して子育てができるまち
- 5 高齢者や障害者が安心して生活できるまち
- 6 健康増進のための環境や医療体制が整ったまち
- 7 入間市駅前などの中心市街地ににぎわいのあるまち
- 8 区画整理により市街地が整備された利便性の高いまち
- 9 公園や緑地などの多い、うるおいのあるまち
- 10 鉄道やバスなどの公共交通網が整備された利便性の高いまち
- 11 自然環境の保全が進んだ緑豊かなまち
- 12 地域の特性を活かした農業の盛んなまち
- 13 商業・工業が盛んで活気のあるまち
- 14 観光客が多く訪れる、魅力あるまち
- 15 芸術や文化活動が盛んなまち
- 16 防災・防犯体制の充実した安全で安心して暮らせるまち
- 17 その他 ()

【定住】

問5 あなたは、これからもずっと入間市に住んでいたいと思いますか。それとも市外に移りたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 これからも住み続けたい
- 2 当分住んでいたい

- 3 できれば市外へ移りたい
- 4 市外へ移るつもり

5 わからない→問6へ

(問5で、「1」「2」と答えた方に)

問5-1 住み続けたいと思われる理由を2つまで選んでください。

- 1 住みなれているから
- 2 自分の家(土地)だから
- 3 家の広さなど居住環境がよいから
- 4 家賃や住宅の価格が安いから
- 5 通勤・通学に便利だから
- 6 仕事の関係で
- 7 買い物など毎日の生活に便利だから
- 8 地域での人間関係がよいから
- 9 自然・街並みが好きだから
- 10 娯楽・文化施設が充実しているから
- 11 子どもの教育・子育て環境が充実しているから
- 12 その他 ()

(問5で、「3」「4」と答えた方に)

問5-2 市外へ移りたいと思われる理由を2つまで選んでください。

- 1 自分の家(土地)でないから
- 2 家が狭いなど居住環境がよくないから
- 3 家賃や住宅の価格が高いから
- 4 通勤・通学に不便だから
- 5 仕事の関係で
- 6 買い物など毎日の生活に不便だから
- 7 地域での人間関係がよくないから
- 8 自然・街並みがよくないから
- 9 娯楽・文化施設が充実していないから
- 10 子どもの教育・子育て環境が充実していないから
- 11 その他 ()

【地域活動】

問6 あなたは、近所との付き合いをふだんどのようにしていますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 困った時などお互いに助け合っている
- 2 一緒に買い物に行ったり、訪問し合ったりしている
- 3 たまに立ち話をするくらいである
- 4 道で会えばあいさつする程度である
- 5 近所との付き合いはほとんどしていない
- 6 その他（ ）

問7 あなたの家庭（世帯）では、区・自治会に加入していますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 加入している
- 2 加入していない →問7-4へ
- 3 加入していたが退会した →問7-5へ
- 4 加入していないが、今後加入する予定 →問8へ
- 5 わからない →問8へ

（問7で、「1」と答えた方に）

→ 問7-1 区・自治会などの地域活動にどの程度参加をしていますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 積極的に参加している2 どちらかという、積極的に参加している3 どちらともいえない →問8へ | <ol style="list-style-type: none">4 どちらかという、消極的である5 消極的である |
|--|---|
- 問7-3へ

（問7-1で、「1」「2」と答えた方に）

→ 問7-2 参加する主な理由を1つ選んでください。

- 1 地域の課題が解決できて住みやすくなると思うから
- 2 地域の人とコミュニケーションが取れるから
- 3 地域で暮らす人としての責任だと思うから
- 4 地域の役に立てることが生きがいになるから
- 5 知り合いに誘われたから
- 6 その他（ ）

→ 問8へお進みください

（問7-1で、「4」「5」と答えた方に）

問7-3 地域活動の参加に対して消極的な理由を1つ選んでください。

- 1 忙しくて時間がないから
- 2 参加するきっかけがないから
- 3 どんな活動をしているのか情報がないから
- 4 参加するメリットがないから
- 5 地域の人とのつきあいがわずらわしいから
- 6 地域に関心がないから
- 7 その他（ ）

→ 問8へお進みください

(問7で、「2」と答えた方に)

問7-4 加入しない主な理由を1つ選んでください。

- 1 忙しくて時間がないから
- 2 加入方法が分からないから
- 3 加入するメリットがないから
- 4 地域の人とのつきあいがわずらわしいから
- 5 どんな活動をしているのか情報がないから
- 6 地域に関心がないから
- 7 勧誘されていないから
- 8 その他 ()

→ 問8へお進みください

(問7で、「3」と答えた方に)

問7-5 退会された主な理由を1つ選んでください。

- 1 忙しくて参加できなくなったから
- 2 加入するメリットがないから
- 3 地域の人とのつきあいがわずらわしいから
- 4 活動や行事が大変だったから
- 5 活動や行事が楽しくないから
- 6 その他 ()

～つぎに、生活環境についておたずねします。～

【生活環境の満足度】

問8 あなたは、次のような生活環境項目について、どの程度満足していますか。また、市はどの施策に取り組むことが重要だと思いますか。あなたのお気持ちに最も近いものを1つずつ選んでください。

＜項 目＞	＜満足度＞					＜重要度＞				
	とても満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	非常に不満	とても重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要でない
(1) 上水道による水の安定供給	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 公共下水道の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 道路・道路網・橋の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) 鉄道利用の便と路線網	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5) バス利用の便と路線網	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6) 駐車場・自転車置き場	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7) 区画整理などによる市街地整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8) 信号機・ガードレールなどの交通安全施設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9) 公園・緑地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10) 河川の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11) 地震や風水害などの防災対策や体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12) ごみ収集・処理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

※項目は次ページに続きます

＜項 目＞	＜満足度＞					＜重要度＞				
	とても満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	非常に不満	とても重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要でない
(13) 騒音・受動喫煙などの公害防止体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14) 防犯灯などの防犯施設や体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15) 消防・救急施設や体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16) 医療機関・医療体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17) 休日・夜間診療体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18) 健康診断・健康増進などの保健予防体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19) 障害者(児)福祉のための施設や体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(20) 高齢者福祉のための施設や体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(21) ひとり親家庭の福祉のための施設や体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22) 保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23) 幼稚園の整備・充足	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24) 小・中学校の施設や教育内容	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25) 社会教育活動・文化サークル活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(26) スポーツ・レクリエーション活動の推進と施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(27) 博物館の施設やサービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(28) 図書館の施設やサービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(29) 公民館の施設や活動内容	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(30) 文化施設や文化活動内容	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(31) 自然環境保全の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(32) 観光資源の活用と観光基盤の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(33) 文化財などの保護	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(34) 自治会等のコミュニティ活動への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(35) 地域の連帯感	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(36) 市民との協働のまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(37) 就労のための機関や体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(38) 若者や子育て世代のための定住支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(39) 買い物・金融機関など日常生活の便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(40) 国際交流・多文化共生の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(41) 市役所の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(42) 市職員の対応	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問8-1 問8の1～42の項目のうち、あなたが市の施策として優先的に取り組むべきであると思うものを7つまで選んで、該当する番号を【記入欄】に記入してください。

優先的に取り組むべき施策項目 →

【記入欄】

【環境にやさしい取り組み】

問9 日常生活の中で、ちょっとした工夫をすることによって環境をよくしたり、ごみを減らしたりすることができます。あなたやご家族が日ごろ行っていることを、次の中から該当するものを全て選んでください。

- 1 使い捨て商品を購入しないようにしたり、シャンプーや洗剤などは詰め替え製品を選んだり、環境にやさしい製品の利用や購入をしたりしている
- 2 買い物にはマイバッグを持参し、余分な包装紙や袋をもらわない
- 3 省エネ型の家電製品の購入や照明器具・電球類をLED照明に交換している
- 4 バザーやフリーマーケット、リサイクルショップなどを活用している
- 5 ごみの分別を徹底している
- 6 食べ物は残さず食べきるよう心がけている
- 7 生ごみを堆肥化している
- 8 台所の排水口や三角コーナーに水切りごみ袋をつけ、よく水を切ってからごみに出している
- 9 車を運転するときは、エコドライブを心がけ、急発進や急加速をしない
- 10 外出するときは、できるだけバスや電車などの公共交通機関や自転車を利用している
- 11 こまめな消灯や冷暖房の設定温度を控えるなど、節電に努めている
- 12 水やお湯をこまめに止める、雨水や風呂の残り湯を利用するなどで節水に努めている
- 13 地球温暖化などの環境問題について、環境講座に参加したり、インターネットで調べたりしている
- 14 その他（ ）
- 15 特になにもしていない

～つぎに、防災についておたずねします。～

【防災】

問10 災害に備えて、準備や対策をとっていますか。(災害時の対応について、家族などで相談して決めてあることや準備していることがありますか。)

1 ある

2 ない →問11へ

(問10で、「1」と答えた方に)

問10-1 それは具体的にどのようなことですか。次の中からいくつでも選んでください。

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| 1 家族の集合場所や連絡方法などを話し合っている | 7 特に、火気器具周辺の整理整頓をしている |
| 2 防災訓練などに参加するようにしている | 8 隣近所の人と初期消火や避難について協力できる体制ができている |
| 3 携帯用ラジオなど、情報収集の手段を用意している | 9 住まいの耐震診断を行い、改修工事や補強を行った(行う予定) |
| 4 水や食料(2～3日間程度)の備えをしている | 10 消火器・救急セットなどの備えをしている |
| 5 倒れやすい家具等の転倒防止やガラス等の飛散防止対策をしている | 11 その他() |
| 6 食料品以外にも、非常時の持ち出し品の備えをしている | |

～つぎに、ボランティア活動についておたずねします。～

【ボランティア活動】

問11 あなたは、ボランティア活動に参加したことがありますか。次の中から1つ選んでください。

1 現在参加している

3 参加したことがない→問11-2へ

2 過去に参加したことがある

→ 問11-1へ

(問11で、「1」「2」と答えた方に)

問11-1 参加の動機は何ですか。主なものを3つまで選んでください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 社会や人のために何か役に立ちたかった | 7 自分の技術・能力・経験を活かしたかった |
| 2 地域と関わりを持ちたかった | 8 友人や仲間が欲しかった |
| 3 人に誘われた | 9 生きがいが欲しかった |
| 4 時間的に余裕ができた | 10 その他 () |
| 5 まちづくりに参加したかった | 11 特に理由はない |
| 6 自分自身の成長のため | |

→ 問12へお進みください

(問11で、「3」と答えた方に)

問11-2 参加しない理由は何ですか。主なものを2つまで選んでください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 参加する機会がなかった | 6 関心のある人がやればよいと思う |
| 2 活動の方法や内容がよくわからなかった | 7 市・県・国など行政できちんとやればよい |
| 3 一緒に活動する仲間がいなかった | 8 関心がない |
| 4 時間的に余裕がない | 9 その他 () |
| 5 健康に自信がない | 10 特に理由はない |

問12 今後、ボランティア活動に参加してみたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- | | | |
|---------------|--------------|--------|
| 1 ぜひ参加したい | 3 参加するつもりはない | → 問13へ |
| 2 機会があれば参加したい | 4 わからない | |

(問12で、「1」「2」と答えた方に)

▶ 問12-1 あなたは、どんなボランティア活動に参加したいですか。次の中からいくつでも選んでください。

- | | | |
|--------------|-------------|-------------------------|
| 1 コミュニティ活動推進 | 7 子育て支援 | 13 男女共同参画社会の促進 |
| 2 まちづくり | 8 青少年の健全育成 | 14 情報化社会支援
(パソコン指導等) |
| 3 交通安全 | 9 障害者の支援 | 15 芸術・文化振興 |
| 4 防災・防犯活動 | 10 高齢者の支援 | 16 スポーツ振興 |
| 5 環境・自然保護 | 11 保健・医療・福祉 | 17 その他 () |
| 6 国際交流・外国人支援 | 12 社会教育の推進 | |

～つぎに、情報化についておたずねします。～

【情報化】

問13 あなたは、次にあげるメディアなどを利用していますか。それぞれの項目について1つずつ選んでください。

＜項 目＞	＜利用度＞			
	よく 利用している	たまに 利用している	今は利用していないが 今後は利用したい	今も利用していないし 今後も利用しない
(1) 入間ケーブルテレビ	1	2	3	4
(2) エフエム茶笛 (チャッピー)	1	2	3	4
(3) テレホンガイドいるま	1	2	3	4
(4) 市公式ホームページ	1	2	3	4
(5) 市公式モバイルサイト	1	2	3	4
(6) 茶の都メール (メール配信)	1	2	3	4
(7) 市公式 SNS (Twitter、Facebook、LINE)	1	2	3	4
(8) マイナポータル	1	2	3	4
(9) コンビニ交付サービス	1	2	3	4

問 14 あなたは今年、入間市公式ホームページをご覧になったことがありますか。

1 ある →問14-1へ

2 ない →問15へ

(問 14 で、「1」と答えた方に)

問 14-1 ホームページの満足度をうかがいます。それぞれの項目について1つずつ選んでください。

＜項 目＞	＜満足度＞	とても満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	非常に不満
(1) 情報掲載の速さ		1	2	3	4	5
(2) 情報の探しやすさ		1	2	3	4	5
(3) 掲載情報のわかりやすさ		1	2	3	4	5
(4) ページの見やすさ		1	2	3	4	5
(5) 必要な情報が得られましたか		1	2	3	4	5

問 15 市がインターネットで行うサービスのうち、どのようなものを利用していますか(利用したいと思いますか)。
次の項目から5つまで選んでください。

- | | |
|------------------------|------------------------------------|
| 1 公共施設や図書館などの貸出予約 | 14 子育てワンストップサービス |
| 2 証明書の申請等、各種手続き | 15 コンビニ交付サービス |
| 3 市税や水道料金、施設使用料などの電子納付 | 16 イベント情報 |
| 4 選挙の投票速報・開票速報 | 17 サークル情報 |
| 5 防災情報 | 18 高齢者支援情報 |
| 6 災害時の安否確認などの伝言板 | 19 市政情報 |
| 7 不審者情報・身近な犯罪情報 | 20 メール配信サービス |
| 8 防災行政用無線の放送内容 | 21 市公式 SNS (Twitter、Facebook、LINE) |
| 9 交通情報 | 22 市公式 You Tube チャンネル |
| 10 休日・夜間の当番医 | 23 その他 () |
| 11 在宅健康相談・医療相談 | 24 特にない |
| 12 在宅教育・育児相談 | 25 情報機器を持っているが利用しない |
| 13 子育て情報 | 26 情報機器を持っていないので利用しない |

【マイナンバーカード】

問 16 あなたは、マイナンバーカードを持っていますか。次の中から1つ選んでください。

1 持っている

2 持っていない →問16-2へ

(問 16 で、「1」と答えた方に)

問 16-1 マイナンバーカードを取得したきっかけは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1 本人確認の際に写真付きの身分証明書になるから | 6 子育てワンストップサービスを利用したいから |
| 2 インターネットで確定申告 (e-Tax) ができるから | 7 家族・友人などにすすめられたから |
| 3 電子申請・届出サービスを利用したいから | 8 マイナポイントが取得できるから |
| 4 コンビニ交付サービスを利用したいから | 9 健康保険証として利用が開始されるから |
| 5 マイナポータルを利用したいから | 10 その他 () |

→ 問 17 へお進みください

(問16で、「2」と答えた方に)

問16-2 マイナンバーカードを持っていない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1 取得する必要性がないと感じている | 5 手続きが面倒、または手続きする時間がない |
| 2 写真付きの身分証明書を持っている | 6 申請方法がわからない |
| 3 個人情報の漏えいが心配 | 7 身のまわりに持っている人がいない |
| 4 マイナンバーカードを持つことが不安(盗難・紛失) | 8 その他 () |

～つぎに、市政への関心度や市政情報についておたずねします。～

【市政への関心度】

問17 あなたは入間市政にどの程度関心をお持ちになっていますか。次の中から1つ選んでください。

- | | | |
|-------------|-------------|----------|
| 1 関心がある | 3 あまり関心がない | → 問17-2へ |
| 2 まあまあ関心がある | 4 まったく関心がない | |

(問17で、「1」「2」と答えた方に)

→ 問17-1 市政に関心を持たれるのはどのようなお気持ちからですか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 自分の暮らしに直接関係があるから | 4 入間市をもっとよくしたいから |
| 2 入間市政を身近に感じているから | 5 市民としての義務であると思うから |
| 3 政治というものに興味を持っているから | 6 その他 () |

→ 問18へお進みください

(問17で、「3」「4」と答えた方に)

問17-2 市政に関心のない理由は、どのようなお気持ちからですか。次の中から1つ選んでください。

- | |
|-------------------------|
| 1 自分の暮らしにあまり関係がないから |
| 2 忙しくて市政のことなど考えるひまがないから |
| 3 政治はむずかしくてよくわからないから |
| 4 今の入間市政はうまくいっていると思うから |
| 5 個人の意見は行政に反映されにくいだろうから |
| 6 その他 () |

問18 あなたは、市政の動きや市の仕事・行事などについて、主に何から情報を得ていますか。

次の中から4つまで選んでください。

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1 広報いるま | 11 テレホンガイドいるま |
| 2 広報いるまのデータ配信サービス (※) | 12 自治会などの掲示板 |
| 3 エフエム茶笛 (チャッピー) | 13 自治会などの会合 |
| 4 入間ケーブルテレビ | 14 知人・友人や家族との話 |
| 5 いるま市議会だより | 15 新聞 (日刊紙) |
| 6 市公式ホームページ | 16 テレビ (ケーブルテレビを除く) |
| 7 市公式モバイルサイト | 17 タウン誌・ミニコミ誌 |
| 8 茶の都メール (メール配信サービス) | 18 その他 () |
| 9 市公式 SNS (Twitter、Facebook、LINE) | 19 特になし |
| 10 市公式 You Tube チャンネル | |

※広報アプリ「マチイロ」やインターネットサイト「マイ広報紙」で広報いるまの記事を配信しています。

問 19 あなたは、市政に関する情報を十分得られていると思いますか。次の中から 1 つ選んでください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 十分に得られている | 3 あまり得られていない |
| 2 ほぼ得られている | 4 得られていない |

【広報いるま】

問 20 あなたは「広報いるま」をどの程度読んでいますか。次の中から 1 つ選んでください。

- | | |
|--------------|------------|
| 1 必ず毎号読んでいます | 3 あまり読まない |
| 2 ときどき読んでいます | 4 まったく読まない |

（問 20 で、「1」「2」と答えた方に）

問 20-1 それでは、どのような内容に関心を持って読まれますか。次の中から いくつでも 選んでください。

- | |
|-----------------|
| 1 すべての記事を読む |
| 2 見開きの特集ページ |
| 3 税・予算 |
| 4 健康・福祉 |
| 5 教育・文化 |
| 6 環境（ごみ・自然・ペット） |
| 7 催し物情報 |
| 8 産業・観光 |
| 9 まち・人の話題 |
| 10 その他（ ） |

（問 20 で、「3」「4」と答えた方に）

問 20-2 読まないのはなぜですか。次の中から 1 つ選んでください。

- | |
|------------------|
| 1 忙しいから |
| 2 内容がおもしろくないから |
| 3 入間市のことに興味がないから |
| 4 自分の家には届かないから |
| 5 なんとなく |
| 6 その他（ ） |

【市議会だより】

問 21 市の議会では年 4 回「市議会だより」を発行していますが、あなたはどの程度読んでいますか。次の中から 1 つ選んでください。

- | | |
|--------------|------------|
| 1 必ず毎号読んでいます | 3 あまり読まない |
| 2 ときどき読んでいます | 4 まったく読まない |

【議会放送】

問 22 以下のメディアによる市議会の放送をご覧もしくはお聴きになったことがありますか。それぞれの項目について 1 つずつ選んでください。

＜項 目＞ ＜満足度＞	よく 見ている (聴いている)	たまに 見る (聴く) ことがある	知っている が見ない (聴かない)	知らない	機器がないの で見られない (聴けない)
(1) 入間ケーブルテレビ	1	2	3	4	5
(2) 入間市議会ホームページ	1	2	3	4	5
(3) エフエム茶笛	1	2	3	4	5

～つぎに、施設利用についておたずねします。～

【施設利用】

問 23 市内にはさまざまな公共施設がありますが、あなたは次の施設を利用していますか。また、利用していない場合、その理由は何ですか。それぞれの項目について1つずつ選んでください。

(ア) 利用の程度で「3. あまり利用していない」「4. まったく利用していない」と回答された方は、(イ) 利用していない理由をお答えください。

利用の程度 利用していない理由 項目	(ア) 利用の程度				(イ) 利用していない理由					
	よく利用している	たまに利用している	あまり利用していない	まったく利用していない	利用する必要がある	場所をしない	施設まで遠い	内容が充実していない	利用時間帯が合わない	その他
(1) 図書館 (分館含む)	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(2) 市民会館	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(3) 産業文化センター	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(4) 児童センター「アイクス」	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(5) 博物館「アリット」	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(6) 公民館	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(7) 老人福祉センターやまゆり荘	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(8) 市民体育館・地区体育館	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(9) 武道館	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(10) 屋外スポーツ施設 (野球場・テニスコート・プール他)	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(11) 健康福祉センター	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(12) 農村環境改善センター	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(13) 総合クリーンセンター・リサイクルプラザ	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(14) 学校開放 (体育館・グラウンド)	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(15) 桜山展望台・唐沢樹林地 (加治丘陵)	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(16) さいたま緑の森博物館 (狭山丘陵)	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(17) 文化創造アトリエ・アミーゴ	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(18) 彩の森入間公園	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(19) 中央公園	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(20) 青少年活動センター	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(21) 市民活動センター (イルミン)	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
(22) 男女共同参画推進センター (イルミン)	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6

～つぎに、健康・スポーツ、芸術文化活動についておたずねします。～

【健康・スポーツ】

問 24 あなたは、この 1 年間に運動やスポーツをどの程度行いましたか。次の中から 1 つ選んでください。

1 週に 5 日以上	5 月に 1～3 日	8 していない →問24-4 へ
2 週に 3 日以上	6 3 か月に 1～2 日	9 わからない →問25 へ
3 週に 2 日以上	7 年に 1～3 日	
4 週に 1 日以上		
▶ 問24-1、2、3 へ	▶ 問24-1、2、3、4 へ	

(問 24 で、「1」～「7」と答えた方に)

問 24-1 それはどんな運動やスポーツですか。次の中からいくつでも選んでください。

1 ウォーキング (散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩き等)	14 自転車 (BMX 含む)・サイクリング・ボタリング
2 体操 (ラジオ体操・職場体操・美容体操等)	15 マリンスポーツ
3 武道・格闘技	16 トレーニング (筋トレ等)
4 エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス	17 アーチェリー (弓道含む)・射撃
5 ボウリング	18 野球・ソフトボール・キャッチボール
6 ゲートボール・グラウンドゴルフ	19 サッカー (フットサル含む)
7 ランニング (ジョギング)・マラソン・陸上競技	20 バレーボール・ソフトバレーボール
8 水泳 (競泳・水球・飛び込み等)・水中ウォーク	21 バスケットボール
9 ダンス (社交ダンス等)	22 テニス・ソフトテニス
10 スキー・スノーボード	23 卓球
11 アイススケート・アイスホッケー	24 バトミントン
12 登山・オリエンテーリング・クライミングスポーツ	25 その他の競技的スポーツ ()
13 ゴルフ (練習含む)	26 その他の軽スポーツ ()

(問 24 で、「1」～「7」と答えた方に)

問 24-2 どんな場所で行いましたか。次の中から該当するものを全て選んでください。

1 公共体育・スポーツ施設	8 公民館
2 学校体育施設	9 空地
3 民間商業インドア施設 (フィットネスクラブ、ジム等)	10 道路
4 民間商業アウトドア施設 (スキー場、ゴルフ場等)	11 山岳・海・川等の自然環境
5 自宅または自宅敷地内	12 その他 ()
6 職場または職場敷地内	13 わからない
7 公園	

(問 24 で、「1」～「7」と答えた方に)

問 24-3 行った目的は何ですか。主なものを 2 つまで選んでください。

1 健康のため	6 精神の修養や訓練のため	10 美容のため
2 体力増進・維持のため	7 自己の記録や能力を 向上させるため	11 肥満解消、ダイエットのため
3 筋力増進・維持のため	8 家族のふれあいとして	12 その他 ()
4 楽しみ・気晴らしとして	9 友人・仲間との交流として	13 わからない
5 運動不足を感じるから		

(問24で、「5」～「8」と答えた方に)

問24-4 運動・スポーツを行わなかった(少なかった)理由は何ですか。主なものを3つまで選んでください。

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1 仕事や家事が忙しいから | 9 運動・スポーツが嫌いだから |
| 2 子どもに手がかかるから | 10 面倒くさいから |
| 3 病気やけがをしているから | 11 運動・スポーツ以上に大切なことがあるから |
| 4 年をとったから | 12 生活や仕事で体を動かしているから |
| 5 場所や施設がないから | 13 その他 () |
| 6 仲間がいないから | 14 特に理由はない |
| 7 指導者がいないから | 15 わからない |
| 8 お金に余裕がないから | |

【芸術文化活動】

問25 あなたは、この1年に、自ら芸術文化的な活動を行ったことがありますか。該当するものを全て選んでください。

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1 音楽 | 9 工芸(陶芸・染色など) |
| 2 演劇(現代劇・ミュージカルなど) | 10 文芸(詩・俳句・短歌・文学など) |
| 3 バレエ・モダンダンス | 11 生活文化(華道・茶道・書道など) |
| 4 日本舞踊 | 12 写真 |
| 5 伝統芸能(歌舞伎・能・狂言・文楽など) | 13 映画・ビデオ |
| 6 民俗芸能(神楽・人形芝居・地域の祭りなど) | 14 その他 () |
| 7 邦楽(民謡・箏・三味線・尺八など) | 15 特になし |
| 8 美術(絵画・彫刻など) | |

問26 あなたは、この1年間に、芸術文化を鑑賞したことがありますか。該当するものを全て選んでください。

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1 音楽 | 9 工芸(陶芸・染色など) |
| 2 演劇(現代劇・ミュージカルなど) | 10 文芸(詩・俳句・短歌・文学など) |
| 3 バレエ・モダンダンス | 11 生活文化(華道・茶道・書道など) |
| 4 日本舞踊 | 12 写真 |
| 5 伝統芸能(歌舞伎・能・狂言・文楽など) | 13 映画・ビデオ |
| 6 民俗芸能(神楽・人形芝居・地域の祭りなど) | 14 その他 () |
| 7 邦楽(民謡・箏・三味線・尺八など) | 15 特になし |
| 8 美術(絵画・彫刻など) | |

問27 入間市の芸術文化の振興のために、市はどのようなことをすればよいと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

- | | |
|-------------------------------|----------------|
| 1 入間市の文化の内外への情報発信 | 5 市民の芸術文化活動の支援 |
| 2 文化資産の保存・継承 | 6 文化施設の整備 |
| 3 芸術文化の交流を進めるための
ネットワークづくり | 7 芸術文化イベントの開催 |
| 4 新たな芸術文化の創造への支援 | 8 その他 () |
| | 9 特に必要ない |

～つぎに、市で行っている行政改革の取組についておたずねします。～

【行政改革】

問 28 行政改革を進めるにあたって、市が重点的に取り組むべきと思うものは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 情報通信技術（ＩＣＴ）を活用したサービス提供の充実（利用者に合わせた情報提供、電子申請、コンビニ交付など）
- 2 公共施設の見直し（施設の統廃合、複合化、多機能化の推進など）
- 3 民間活力の導入の強化（窓口業務の民間委託、公共施設運営の民営化＜指定管理者制度やＰＦＩ（※）の活用＞など）
- 4 市民参加と協働のまちづくりの推進
- 5 事務を効率化・合理化する
- 6 事務事業の見直し（事務事業の選択と重点化、事業の評価と改善、効果のうすれた事業の廃止・縮小など）
- 7 新たな財源の確保（ふるさと納税や有料広告の充実、優良企業の誘致・定着、その他財源の開発など）
- 8 組織機構の簡素化・効率化と職員数の適正管理
- 9 職員の意識改革や人材育成の推進
- 10 その他（ ）
- 11 わからない

※ＰＦＩ（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法

問 29 行政サービスの利用者負担について、あなたの意見に最も近いものを1つ選んでください。

- 1 市民の負担を増やさないように、ある程度行政サービスを制限すべきである
- 2 行政サービスを充実させるためには、サービスを受ける市民の負担がある程度増えるのも仕方がない
- 3 その他（ ）
- 4 わからない

問 30 公共的なサービスを、市と市民と民間事業者が役割分担して提供することで、サービスをよくしながら経費の節約などを進める取組について、あなたの意見に近いものを1つ選んでください。

- 1 十分に役割分担が進んでいる。成果を挙げていると思う
- 2 ある程度役割分担が進んでいる。ある程度成果を挙げていると思う
- 3 役割分担が進んでいるとは思わない。成果が上がっていないと思う
- 4 このような取組を知らなかった
- 5 その他（ ）

問 31 目的を達成した事業や効果が低くなった事業はどんどん廃止・見直しなどをして、市民ニーズに合わせて効率よく質の高いサービスを提供していくという取組について、あなたの意見に近いものを1つ選んでください。

- 1 廃止・見直し・再構築が十分行われている。良いサービスが提供されていると思う
- 2 廃止・見直し・再構築がある程度行われている。良いサービスが提供されつつあると思う
- 3 廃止・見直し・再構築が不十分である。良いサービスが提供されていないと思う
- 4 このような取組を知らなかった
- 5 その他（ ）

問 32 有料広告やふるさと納税といった新しい収入の確保、施設・サービスの利用料の見直しなどにより歳入を増やし、事務事業の実施体制や手順の見直し、コスト削減、統廃合などにより歳出を減らす市の取組について、あなたの意見に近いものを1つ選んでください。

- 1 取組が十分に行われている。努力が認められる
- 2 取組がある程度行われている。一定の努力が認められる
- 3 取組が不十分である。もっと努力すべきだ
- 4 このような取組を知らなかった
- 5 その他（ ）

問 33 市役所の組織は、時代や市民ニーズの変化に対応するため、定期的に部署の配置や担当人数を変えています。最近では、平成29年度に組織を大きく見直しましたが、あなたの意見に近いものを1つ選んでください。

- 1 とても分かりやすい組織になっている。十分に見直しがなされていると思う
- 2 ある程度分かりやすい組織になっている。もう少し見直しがあるとより良いと思う
- 3 分かりやすい組織になっていない。もっと見直しをしてほしいと思う
- 4 このような取組を知らなかった
- 5 その他（ ）

【公共施設マネジメント】

問 34 公共施設マネジメントの取り組みにより、施設で提供するサービスや施設機能の見直しが進むことについてあなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 1 自分が求めているサービスが提供されるようになり便利になる
- 2 地域の課題に対応したサービスが提供されるようになり課題解決につながる
- 3 活動に見合った機能が整備されて使いやすくなる
- 4 今まで提供されたサービスがなくなり、不便になる
- 5 市民ニーズとずれがあり、見直しの効果が期待できない
- 6 サービスや機能の見直しに市民意見が反映されておらず、利便性の向上が期待できない
- 7 その他（ ）

問 35 公共施設マネジメントの取り組みにより、施設の統廃合や複合化が進むことについて、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 1 統廃合することにより、施設のサービス内容が充実する
- 2 統廃合することにより、施設環境が整備される
- 3 複合化することにより、ワンストップサービスが整備され、便利になる
- 4 統廃合や複合化により、地域の拠点施設ができ、地域の活性化につながる
- 5 統廃合することにより、施設が遠くなる
- 6 統廃合することにより、1つの施設が受け持つ範囲が広がり、地域のまとまりが薄れる
- 7 複合化することにより、1つの施設に利用者が多く集まるようになり、駐車場などが混雑して使いにくくなる
- 8 その他（ ）

～つぎに、人権や持続可能な開発目標についておたずねします。～

【人権問題】

問 36 人権に関して、あなた自身が過去 5 年間に差別を受けたと感じたことがありますか。また差別をしているのを見聞きしたことがありますか。

1 ある →問36-1へ

2 ない →問37へ

(問 36 で、「1」と答えた方に)

問 36-1 それはどのような差別ですか。次の選択肢の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。

1 学歴による差別

5 男女の差別

9 子ども (いじめ・体罰)

2 職業による差別

6 経済的理由による差別

10 高齢者への差別

3 職場での差別 (育児・介護など)

7 民族・人種による差別

11 性自認・性的指向による差別

4 障害者差別

8 同和問題 (部落差別)

12 その他 ()

【SDGs】

問 37 持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals) は、2015 年 9 月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「誰ひとり取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030 年を年限とする 17 の国際目標 (※) です。あなたはこの取り組みをご存じですか。

※この目標の下に 169 のターゲット、232 の指標が定められています。

1 知っている

2 言葉だけ知っている

3 まったく知らなかった

～最後に、あなたご自身のことがらについておたずねします。～

統計的にのみ用いますので、ご迷惑をおかけするようなことはございません。

問 38 あなたの性別についておたずねします。

1 男性

2 女性

3 その他 ()

問 39 あなたの年齢についておたずねします。

1 18～29歳

3 40～49歳

5 60～69歳

2 30～39歳

4 50～59歳

6 70歳以上

問 40 あなたのご家族の構成はどうなっていますか。

※選択肢「3」と「4」、両方に当てはまる場合には「4」にのみ○をつけてください。

1 単身

3 二世帯世帯 (親と子 (18歳以上))

5 三世帯世帯 (親と子と孫)

2 夫婦だけ

4 二世帯世帯 (親と子 (18歳未満))

6 兄弟だけ

7 その他 ()

問 41 あなたは、入間市に何年ぐらい住んでいますか。

1 生まれてからずっと →問42へ

4 5年以上～10年未満

2 20年以上

5 1年以上～5年未満

→問41-1へ

3 10年以上～20年未満

6 1年未満

(問41で、「2」～「6」と答えた方に)

問41-1 あなたは、入間市に住む前はどこに住んでいましたか。

- | | |
|-------------------|------------|
| 1 所沢市・飯能市・狭山市・日高市 | 4 東京都下の市町村 |
| 2 その他の埼玉県内の市町村 | 5 その他 () |
| 3 東京都23区内 | |

問42 あなたは、現在仕事をお持ちですか。

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1 勤めている(正規職員) | 6 主婦・主夫(家事専業) |
| 2 勤めている(契約・派遣社員等) | 7 無職 |
| 3 勤めている(パート、アルバイト等) | 8 その他 () |
| 4 自営している(家族の従業含む) | |
| 5 学生 | |

(問42で、「1」～「5」と答えた方に)

問42-1 職場や通学地はどこでしょうか。

- | | |
|-------------------|------------|
| 1 自宅と同じ | 5 東京都23区内 |
| 2 入間市内 | 6 東京都下の市町村 |
| 3 所沢市・飯能市・狭山市・日高市 | 7 その他 () |
| 4 その他の埼玉県内の市町村 | |

問43 現在のお住まいは、次のうちどれにあてはまりますか。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 持ち家(一戸建て) | 5 公営・UR(旧公団)・公社の賃貸住宅 |
| 2 持ち家(中高層集合住宅) | 6 社宅・寮・官舎 |
| 3 民間の借家(一戸建て) | 7 間借り・同居 |
| 4 民間の借家(アパート・マンション) | |

問44 あなたは、どの地区に住んでいますか。

- | | | |
|---------|------------|--------|
| 1 豊岡地区 | 3 金子地区 | 5 藤沢地区 |
| 2 東金子地区 | 4 宮寺・二本木地区 | 6 西武地区 |

【自由意見】

市政についてお気づきの点がありましたら、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

～お忙しいところ、調査にご協力いただきましてありがとうございました。～

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、

9月17日(金)まで にご返送ください。

令和 3 年度

第13回 入間市市民意識調査 報告書

令和 4 （2022） 年 1 月

発行： 入間市企画部企画課政策推進室

埼玉県入間市豊岡一丁目16番1号

〒358-8511 電話：04-2964-1111（代表）

編集： 株式会社 エスピー研